

中野山遺跡
(第4・5・8～13次)
発掘調査報告

—四日市市北山町—

第二分冊

2022（令和4）年2月

三重県埋蔵文化財センター

凡 例

- 1 第二分冊に掲載の図版・表については、第一分冊掲載図表からの続き番号を付す。
- 2 遺構にかかる各一覧表については、以下のとおりとした。
 - ・グリッドについては当該遺構が存在するグリッドのうち、主なものを記載した。
 - ・遺構一覧表における「掲載図版」欄には、当該遺構および出土遺物が掲載される、本文編Ⅳ・Ⅴ章に掲載の図番を記載した。
 - ・規模の数値欄で「≤」は「以上」、() が付されているものは、推定規模を記す。
 - ・遺構一覧表にあげる主な遺物について、出土数1点は「片」、2～5点は「数点」、5点以上は「多数」と表記する。
 - ・本報告と調査時とで遺構の略称が異なるものは、調査時の略称を備考欄に記した。
 - ・遺構種別一覧の記載要領については、本文編凡例と同じとし、本文編凡例掲載の模式図も併せて参照されたい。
- 3 遺物観察表については以下のとおりとした。
 - ・実測番号は実測図作成時に各遺物の実測図に付与した整理番号である。
 - ・色調は小山正忠・竹原秀雄（編）『新版 標準土色帖』（1967年初版）日本色研事業株式会社に拠る。
 - ・土器等の残存度については、口縁部、底部等の復元径を12分割したうちの残存度を記す。口縁部と底部が遺存するものについては、基本的に口縁部の残存度を示した。「小片」としたものは、細片のため残存度が示せなかったものである。

目次 (第二分冊)

VI	自然科学分析	1
1	分析の目的	1
2	放射性炭素年代測定	(株式会社パレオ・ラボ) 3
3	中野山遺跡出土炭化材の樹種同定	(株式会社パレオ・ラボ) 21
4	土器付着炭化物の炭素・窒素安定同位体分析	(株式会社パレオ・ラボ) 25
5	出土石器の残存デンプン粒分析	(渋谷綾子) 28
6	中野山遺跡(第8・10～12次)出土滓の分析調査	(日鉄住金テクノロジー株式会社) 35
VII	調査のまとめ	48
1	遺構の分布状況と変遷について	(服部) 48
2	古墳時代後期から古代にかけての中野山遺跡とその変遷-近隣遺跡との関係を視座として-	(水橋) 67
3	中野山遺跡とその周辺遺跡における冶金活動	(大川) 83

図版目次 (第二分冊)

第257図	マルチプロット図(1)	(6)	第275図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(45)
第258図	マルチプロット図(2)	(7)	第276図	鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(46)
第259図	マルチプロット図(3)	(8)	第277図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(47)
第260図	暦年較正結果(1)	(15)	第278図	煙道付炉穴方位図	(56)
第261図	暦年較正結果(2)	(16)	第279図	古代竪穴建物平面形パターン模式図	(58)
第262図	暦年較正結果(3)	(17)	第280図	古代竪穴建物付帯施設位置略記号凡例	(58)
第263図	暦年較正結果(4)	(18)	第281図	時代別遺構分布図1	(61)
第264図	暦年較正結果(5)	(19)	第282図	時代別遺構分布図2	(62)
第265図	暦年較正結果(6)	(20)	第283図	時代別遺構分布図3	(63)
第266図	中野山遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真	(24)	第284図	時代別遺構分布図4	(64)
第267図	中野山遺跡(第5次)の試料	(26)	第285図	時代別遺構分布図5	(65)
第268図	炭素・窒素安定同位体比	(27)	第286図	時代別遺構分布図6	(66)
第269図	炭素安定同位体比とC/N比の関係	(27)	第287図	須恵器杯Hの放量変化	(68)
第270図	分析した中野山遺跡出土石器の例と検出された残存デンプン粒	(33)	第288図	中野山1期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器	(69)
第271図	デンプン粒の形態分類の基準と現生標本17属の形態分類図、および出土した石器から検出した残存デンプン粒の形態分類図	(34)	第289図	中野山2～5期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器	(70)
第272図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(42)	第290図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷1	(72)
第273図	鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(43)	第291図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷2	(73)
第274図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果	(44)	第292図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷3	(74)

第 293 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 4	(75)
第 294 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 5	(76)
第 295 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 6	(77)
第 296 図	主な遺構の時期区分	(79)

第 297 図	遺跡の動向と暦年代観	(79)
第 298 図	冶金関連遺物の分布	(84・85)
付図	中野山遺跡調査区全体図	

表目次 (第二分冊)

第 3 表	自然科学分析試料一覧 (1)・(2)・(3)	(1-2)	第 18 表	煙道付炉穴場所別方角・形状・規模一覧表	(57)
第 4 表	測定試料および処理 (1)～(3)	(9-11)	第 19 表	縄文時代場所別遺構数一覧表	(57)
第 5 表	放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 (1)～(3)	(12-14)	第 20 表	弥生時代場所別遺構数一覧表	(58)
第 6 表	中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果	(21)	第 21 表	古代竪穴建物カマド位置一覧表	(58)
第 7 表	中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果一覧	(23)	第 22 表	古代場所別遺構数一覧表	(59)
第 8 表	測定結果	(25)	第 23 表	朱書土器出土遺跡一覧表 (1)・(2)	(59・60)
第 9 表	第 4 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)	第 24 表	遺構一覧表 (1)～(13)	(87-99)
第 10 表	第 5 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)	第 25 表	煙道付炉穴一覧表 (1)～(3)	(100-102)
第 11 表	第 9 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)	第 26 表	集石炉一覧表 (1)・(2)	(102・103)
第 12 表	石器から検出した残存デンプン粒	(32)	第 27 表	弥生時代竪穴建物一覧表	(103)
第 13 表	供試材の履歴と調査項目	(41)	第 28 表	弥生時代掘立柱建物一覧表	(103)
第 14 表	供試材の化学組成	(41)	第 29 表	古代竪穴建物一覧表 (1)～(3)	(103-105)
第 15 表	出土遺物の調査結果のまとめ	(41)	第 30 表	古代土坑一覧表 (1)・(2)	(105・106)
第 16 表	三重県内煙道付炉穴調査遺跡一覧表	(55)	第 31 表	古代掘立柱建物・柱列一覧表 (1)～(5)	(107-111)
第 17 表	煙道付炉穴方位別一覧表	(56)	第 32 表	遺物観察表 (1)～(33)	(112-144)

写真図版目次

遺構写真

写真図版 1	(147)
第 4 次調査区調査前 (西から)	
第 4 次調査区全景 (北から)	
写真図版 2	(148)
第 5 次北調査区 (東から)	
第 8 次調査区 (西から)	
写真図版 3	(149)
第 10 次南調査区から北調査区 (南西から)	
第 9 次調査区 (東上空から)	
写真図版 4	(150)
S H 1013・1025・1012・1009 (東から)	
S H 1013 (東から)	

写真図版 5	(151)
S H 1009 (北から)	
S H 1025・1012・1009 (南から)	
第 4 次調査区北西隅 (東から)	
写真図版 6	(152)
S F 1003・1004 (東から)	
S F 1015 (北東から)	
S F 1016・1022 (北東から)	
写真図版 7	(153)
S F 1114・1115・1116・1125 (東から)	
S F 1402 (南東から)	

写真図版 8	(154)	写真図版 22	(168)
S F 1405 (南西から)		S H 1104 (南から)	
S F 1405 (南西から)		S K 1311 (南から)	
S F 1410・1419 ~ 1424・1434・1457・1458・1499 (東から)		写真図版 23	(169)
写真図版 9	(155)	S K 1657 (南から)	
S F 1421 ~ 1424・1457・1458・1499 (南から)		S X 1109 遺物出土状況 (南から)	
S F 1421 (北から)		写真図版 24	(170)
写真図版 10	(156)	S X 1109 遺物出土状況 (南から)	
S F 1421・1457・1458・1499 (南西から)		S X 1118 遺物出土状況 (東から)	
S F 1423・1424 (北東から)		写真図版 25	(171)
写真図版 11	(157)	S X 1517 遺物出土状況 (北から)	
S F 1425 (南から)		S X 1590 遺物出土状況 (南から)	
S F 1425 (南西から)		写真図版 26	(172)
写真図版 12	(158)	S H 1333 (北西から)	
S F 1478 (北東から)		S H 1444 (北西から)	
S F 1484・1478 (北から)		写真図版 27	(173)
写真図版 13	(159)	S H 1639 (南から)	
S F 1484 (北から)		S H 1639 遺物出土状況 (北東から)	
S F 1594 (南西から)		写真図版 28	(174)
写真図版 14	(160)	S H 1644 ~ 1646 (北東から)	
S F 1023 検出状況 (南から)		S H 1645 遺物出土状況 (南から)	
S F 1023 (東から)		写真図版 29	(175)
写真図版 15	(161)	S H 1646・1677 (南西から)	
S F 1404 礫出土状況 (西から)		S H 1646 遺物出土状況 (東から)	
S F 1404 (南東から)		S H 1646 遺物出土状況 (南西から)	
写真図版 16	(162)	写真図版 30	(176)
S F 1506 底石出土状況 (北東から)		S H 1647 (北から)	
S F 1506 (東から)		S H 1661 (南から)	
写真図版 17	(163)	写真図版 31	(177)
S F 1514 底石出土状況 (南から)		S H 1683 (北から)	
S F 1514 (南から)		S B 1643 (南から)	
写真図版 18	(164)	写真図版 32	(178)
S F 1546 検出状況 (西から)		S H 1011 (南から)	
S F 1570 底石出土状況 (南西から)		S H 1011 貼床下土坑 (南から)	
写真図版 19	(165)	写真図版 33	(179)
S F 1584 炭化物出土状況 (南から)		S H 1057・S K 1061 (北から)	
S F 1585 底石出土状況 (南から)		S K 1043・S H 1044・S B 1070 (南西から)	
写真図版 20	(166)	写真図版 34	(180)
S F 1629 断面 (西から)		S H 1063 (西から)	
S F 1629 (西から)		S H 1164 (北西から)	
写真図版 21	(167)	写真図版 35	(181)
S H 1103 遺物出土状況 (南から)		S H 1313 (北西から)	
S H 1103 (南から)		S H 1318 (南西から)	

写真図版 36	(182)	写真図版 50	(196)
S H 1318 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1650 カマド (南西から)	
S H 1320 (南東から)		S H 1651 (南西から)	
写真図版 37	(183)	写真図版 51	(197)
S H 1321 (南東から)		S H 1663 (南から)	
S H 1322 (南から)		S H 1664 カマド (西から)	
写真図版 38	(184)	写真図版 52	(198)
S K 1325 遺物出土状況 (東から)		S H 1672 (南東から)	
S H 1436 (南から)		S H 1672 カマド (南東から)	
写真図版 39	(185)	写真図版 53	(199)
S H 1438 (南から)		S H 1675・1676 (南から)	
S H 1438 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1675 カマド (南西から)	
写真図版 40	(186)	写真図版 54	(200)
S H 1450 (南から)		S H 1676 カマド (西から)	
S H 1450 北東土坑遺物出土状況 (北から)		S H 1681・1682 (南東から)	
写真図版 41	(187)	写真図版 55	(201)
S H 1446 (西から)		S H 1682 カマド (北から)	
S H 701 (南西から)		S H 1805 (北から)	
写真図版 42	(188)	写真図版 56	(202)
S H 1562 (南西から)		S H 1805 貯蔵穴遺物出土状況 (南東から)	
S H 1562 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1808 (南東から)	
写真図版 43	(189)	写真図版 57	(203)
S H 1606 (南西から)		S H 1813 (北から)	
S H 1714 (北から)		S H 1813 カマド遺物出土状況 (西から)	
写真図版 44	(190)	写真図版 58	(204)
S H 1607 (西から)		S H 1814 (北東から)	
S H 1617 (南から)		S H 1814 貯蔵穴遺物出土状況 (南西から)	
写真図版 45	(191)	写真図版 59	(205)
S H 1624 (西から)		S H 1814 カマド (北東から)	
S H 1624 カマド (西から)		S H 1818 (南東から)	
写真図版 46	(192)	写真図版 60	(206)
S H 1628 (南から)		S H 1818 カマド遺物出土状況 (南東から)	
S H 1628 カマド (西から)		S H 1818 貯蔵穴遺物出土状況 (南東から)	
写真図版 47	(193)	写真図版 61	(207)
S H 1631 (南から)		S H 1820 (南東から)	
S H 1631 カマド (南から)		S H 1820 カマド遺物出土状況 (南から)	
写真図版 48	(194)	写真図版 62	(208)
S H 1648・1649・1662・1678 (南から)		S H 1831 (南から)	
S H 1648 カマド (南から)		S H 1831 貯蔵穴遺物出土状況 (南から)	
写真図版 49	(195)	写真図版 63	(209)
S H 1649 カマド (北から)		S H 1832 (南から)	
S H 1650 (西から)		S H 1832 カマド東土坑遺物出土状況 (南から)	

写真図版 64	(210)	写真図版 78	(224)
S H 1834 (南東から)		S B 1614 (南から)	
S H 1834 カマド遺物出土状況 (東から)		S B 1620・1621 (南から)	
写真図版 65	(211)	写真図版 79	(225)
S B 1045 (東から)		S B 1626 (南から)	
S B 1065 (北から)		S B 1632 (西から)	
写真図版 66	(212)	写真図版 80	(226)
S B 1066 (北西から)		S B 1636 (南から)	
S B 1067 (北東から)		S B 1642 (南東から)	
写真図版 67	(213)	写真図版 81	(227)
S B 1069 (北西から)		S B 1665 (西から)	
S B 1187 (西から)		S B 1667 (北から)	
写真図版 68	(214)	写真図版 82	(228)
S B 1188 (北から)		S B 1691・1697 (南西から)	
S B 1188・1193 (西から)		S B 1801 (西から)	
写真図版 69	(215)	写真図版 83	(229)
S B 1192 (西から)		S B 1812 (南から)	
S B 1201 (南東から)		S B 1817 (南東から)	
写真図版 70	(216)	写真図版 84	(230)
S B 1309 (北西から)		S B 1822・1824・1845 (西から)	
S B 1317 (北西から)		S B 1825 (南から)	
写真図版 71	(217)	写真図版 85	(231)
S B 1328 (北東から)		S B 1826 (東から)	
S B 1426 (南東から)		S B 1829 (南東から)	
写真図版 72	(218)	写真図版 86	(232)
S B 1440 (東から)		S K 1051 (東から)	
S B 1443 (南から)		S K 1052 (北から)	
写真図版 73	(219)	写真図版 87	(233)
S B 1504 (南東から)		S K 1161 (北東から)	
S B 1557 (北東から)		S K 1165 (北から)	
写真図版 74	(220)	写真図版 88	(234)
S B 1571 (西から)		S K 1167 (北から)	
S B 1574 (西から)		S K 1206 (南から)	
写真図版 75	(221)	写真図版 89	(235)
S B 1575 (東から)		S K 1323 遺物出土状況 (南から)	
S B 1576 (北から)		S K 1323 遺物出土状況 (南から)	
写真図版 76	(222)	S K 1427 (南から)	
S B 1704 (東から)		写真図版 90	(236)
S B 1708 (北西から)		S K 1442 遺物出土状況 (南東から)	
写真図版 77	(223)	S K 1503 (南から)	
S B 1604・1619 (東から)		写真図版 91	(237)
S B 1613 (南から)		S K 1509・1510 (東から)	
		S K 1520・1526 (東から)	

写真図版 92	……………	(238)	写真図版 119	出土遺物 22	……………	(265)	
S K 1524	・ 1542	(北から)	写真図版 120	出土遺物 23	……………	(266)	
S K 1543		(西から)	写真図版 121	出土遺物 24	……………	(267)	
写真図版 93	……………	(239)	写真図版 122	出土遺物 25	……………	(268)	
S K 1563		(南西から)	写真図版 123	出土遺物 26	……………	(269)	
S K 1567	・ 1568	・ 1569	・ 1572	(西から)			
写真図版 94	……………	(240)	写真図版 124	出土遺物 27	……………	(270)	
S K 1601	半截状況	(北から)	写真図版 125	出土遺物 28	……………	(271)	
S K 1630		(南東から)	写真図版 126	出土遺物 29	……………	(272)	
写真図版 95	……………	(241)	写真図版 127	出土遺物 30	……………	(273)	
S K 1687	遺物出土状況	(南東から)	写真図版 128	出土遺物 31	……………	(274)	
S K 1811		(南から)	写真図版 129	出土遺物 32	……………	(275)	
写真図版 96	……………	(242)	写真図版 130	出土遺物 33	……………	(276)	
S K 1830		(西から)	写真図版 131	出土遺物 34	……………	(277)	
S X 1828		(南から)	写真図版 132	出土遺物 35	……………	(278)	
写真図版 97	……………	(243)	写真図版 133	出土遺物 36	……………	(279)	
S X 1039		(北西から)	写真図版 134	出土遺物 37	……………	(280)	
S X 1330		(南から)	写真図版 135	出土遺物 38	……………	(281)	
S X 1040		(西から)	写真図版 136	出土遺物 39	……………	(282)	
			写真図版 137	出土遺物 40	……………	(283)	
			写真図版 138	出土遺物 41	……………	(284)	
			写真図版 139	出土遺物 42	……………	(285)	
遺物写真			写真図版 140	出土遺物 43	……………	(286)	
写真図版 98	出土遺物 1	……………	(244)	写真図版 141	出土遺物 44	……………	(287)
写真図版 99	出土遺物 2	……………	(245)	写真図版 142	出土遺物 45	……………	(288)
写真図版 100	出土遺物 3	……………	(246)	写真図版 143	出土遺物 46	……………	(289)
写真図版 101	出土遺物 4	……………	(247)	写真図版 144	出土遺物 47	……………	(290)
写真図版 102	出土遺物 5	……………	(248)	写真図版 145	出土遺物 48	……………	(291)
写真図版 103	出土遺物 6	……………	(249)	写真図版 146	出土遺物 49	……………	(292)
写真図版 104	出土遺物 7	……………	(250)	写真図版 147	出土遺物 50	……………	(293)
写真図版 105	出土遺物 8	……………	(251)	写真図版 148	出土遺物 51	……………	(294)
写真図版 106	出土遺物 9	……………	(252)	写真図版 149	出土遺物 52	……………	(295)
写真図版 107	出土遺物 10	……………	(253)	写真図版 150	出土遺物 53	……………	(296)
写真図版 108	出土遺物 11	……………	(254)	写真図版 151	出土遺物 54	……………	(297)
写真図版 109	出土遺物 12	……………	(255)	写真図版 152	出土遺物 55	……………	(298)
写真図版 110	出土遺物 13	……………	(256)	写真図版 153	出土遺物 56	……………	(299)
写真図版 111	出土遺物 14	……………	(257)	写真図版 154	出土遺物 57	……………	(300)
写真図版 112	出土遺物 15	……………	(258)	写真図版 155	出土遺物 58	……………	(301)
写真図版 113	出土遺物 16	……………	(259)				
写真図版 114	出土遺物 17	……………	(260)				
写真図版 115	出土遺物 18	……………	(261)				
写真図版 116	出土遺物 19	……………	(262)				
写真図版 117	出土遺物 20	……………	(263)				
写真図版 118	出土遺物 21	……………	(264)				

Ⅵ 自然科学分析

1 分析の目的

中野山遺跡における自然科学分析は、第3表にある65遺構からの採取試料について行った¹⁾。

分析は、放射性炭素年代測定、樹種同定、炭素・窒素安定同位体分析、残存デンプン粒分析、出土滓分析を実施した。

放射性炭素年代測定 遺構の時期を推定および暦年

第3表 自然科学分析試料一覧(1)

遺構	層位等	時代	試料No. AMS測定No.	報告 No.	種別*	分析種類					備考	
						C14	樹種	炭素 窒素	残存デ ンプン粒	滓		
SF1005	2層(東側)		試料No.1 PLD-21563		炭化材	1						
SF1008	4層	縄文	試料No.2・3		炭化材		2				コナラ属コナラ節, クリ	
		縄文	NNY-SRP20	38	石器 磨石				2		敲石1 A II	
SH1009		縄文	NNY-SRP7	5	石器 石皿				2		石皿2 A I, A II	
			NNY-SRP27	4	石器 石皿				3		石皿12 D	
			NNY-SRP29	3	石器 磨石				2		石皿13	
SF1010	2層	縄文	NNY-SRP6	147	石器 石皿				4		石皿1	
			試料No.4・5		土サンプル		2					クリ
SH1013		縄文	NNY-SRP28	17	石器 磨石				2		敲石4 D	
SF1015	4層	縄文	試料No.6 PLD-19852		炭化材	1	○				環孔材	
			NNY-SRP26	39	石器 石皿				3			石皿11
SF1016	6層目(3層目)	縄文	試料No.7 PLD-19853		炭化材	1	1				クリ	
SF1018	4層③	縄文	試料No.8 PLD-19854		炭化材	1	1				コナラ属コナラ節	
	4層		試料No.9		炭化材		1				クリ	
SF1019		縄文	NNY-SRP19	54	石器 石皿				2		石皿7	
SF1022	3層	縄文	試料No.10 PLD-19855		炭化材	1	1				クリ	
	3層		試料No.11		炭化材		1				コナラ属クスギ節	
			NNY-SRP14	159	石器 石皿				4		石皿4 A III	
			NNY-SRP18	155	石器 磨石				2		礫1	
			NNY-SRP21	156	石器 敲石				2		磨石1	
		NNY-SRP24	157	石器 石皿				2		石皿9 A III		
SF1023	4層	縄文	試料No.12 PLD-19856		炭化植物遺体	1						
SF1024		縄文	NNY-SRP23	55	石器 磨石				2		磨石2	
SH1025		縄文	NNY-SRP8	25	石器 石皿				3		敲石1 A II, A III, D	
			NNY-SRP9	26	石器 磨石				3		石皿3	
			NNY-SRP16	28	石器 磨石				2		石皿6	
SF1030	4層①	縄文	試料No.13 PLD-19857		炭化材	1	1				クリ	
			試料No.14		炭化材		1					クリ
			NNY-SRP15	71	石器 石皿				4			石皿5
			NNY-SRP17	73	石器 敲石				2			敲石2
			NNY-SRP22	74	石器 石皿				2			石皿8
	NNY-SRP30	72	石器 磨石				2			磨石3		
SF1062	3層(西側) 取上No.③	縄文	試料No.15 PLD-19851	—	炭化材	1	○				広葉樹	
	3層(西側) 取上No.②		試料No.16 PLD-21564	—	炭化材	1						
SH1104	Pit1	縄文	NNY-SRP13	378	石器 凹石				2		凹石1	
SF1110		縄文	NNY-SRP10	63	石器 石皿				4		礫2	
			NNY-SRP11						2		礫3	

代の推定値を得ることを目的に、煙道付炉穴から採取した炭化物、土器付着の炭化物、時期決定可能な共伴遺物がなかった焼成遺構(SF1212)の炭化材について放射性炭素年代測定を行った。

樹種同定 煙道付炉穴、古代堅穴建物、中世墓出土の各炭化材について樹種の同定を試みた。選定樹種の用途および遺跡周辺の植生検討の手がかりを得ることを目的として行った。放射性炭素年代測定を

第3表 自然科学分析試料一覧（2）

遺構	層位等	時代	試料No. AMS測定No.	報告 No.	種別*	分析種類					備考
						C14	樹種	炭素 窒素	残存 フロン粒	滓	
SF1116		縄文	NNY-SRP12	76	石器 石皿				3		石皿14
SK1311		縄文	NNY-SRP31	—	石器				4		石皿15 A III
SF1204	炭化物A No.8	縄文	試料No.23 PLD-24207		炭化材	1					
SF1402	No.2	縄文	試料No.24 PLD-27465		炭化材	1					
SF1404		縄文	試料No.25 PLD-27466		炭化材	1	1				クリ
SF1410	No.3	縄文	試料No.26 PLD-27467		炭化材	1					
SF1412	No.4	縄文	試料No.27 PLD-27468		炭化材	1	1				クリ
SF1415	No.5	縄文	試料No.28 PLD-27469		炭化材	1	○				クリ
SF1419	No.6	縄文	試料No.29 PLD-27470		炭化材	1	1				クリ
SF1422	No.7	縄文	試料No.30 PLD-27471		炭化材	1	○				クリ
SF1441	No.8	縄文	試料No.31 PLD-27472		炭化材	1	1				クリ
SF1454	No.9	縄文	試料No.32 PLD-27473		炭化材	1					
SF1471	No.10	縄文	試料No.33 PLD-27474		炭化材	1	○				クリ
SF1489	No.11	縄文	試料No.34 PLD-27475		炭化材	1	○				クリ
SF1490	No.12	縄文	試料No.35 PLD-27476		炭化材	1	1				クリ
SF1498	No.13	縄文	試料No.36 PLD-27477		炭化材	1					
SF1499	No.14	縄文	試料No.37 PLD-27478		炭化材	1					
SF1506	No.12	縄文	試料No.49 PLD-27117		炭化材	1					
SF1508	No.1	縄文	試料No.38 PLD-27106		炭化材	1					
SF1513	No.2	縄文	試料No.39 PLD-27107		炭化材	1					
SF1533	No.3	縄文	試料No.40 PLD-27108		炭化材	1	○				クリ
SF1537	No.4	縄文	試料No.41 PLD-27109		炭化材	1	○				コナラ属クスギ節
SF1541	No.5	縄文	試料No.42 PLD-27110		炭化材	1	1				クリ
SF1544	No.6	縄文	試料No.43 PLD-27111		炭化材	1	1				クリ
SF1546	No.7	縄文	試料No.45 PLD-27112		炭化材	1	○				クリ
SF1547	No.8	縄文	試料No.45 PLD-27113		炭化材	1	1				クリ
SF1548	No.9	縄文	試料No.46 PLD-27114		炭化材	1					
SF1564	No.10	縄文	試料No.47 PLD-27115		炭化材	1	○				クリ
SF1570	No.11	縄文	試料No.48 PLD-27116		炭化材	1	1				クリ
SF1584	No.13	縄文	試料No.50 PLD-27118		炭化材	1	1				コナラ属クスギ節
SF1585	No.14	縄文	試料No.51 PLD-27119		炭化材	1	○				コナラ属クスギ節
SF1594	No.16	縄文	試料No.52 PLD-27120		炭化材	1	○				クリ
SF1629	覆土下部 (2層)	縄文	試料No.56 PLD-26787		炭化材	1					
	覆土下部 (2層)		試料No.57 PLD-26788		炭化材	1					
SK1657	覆土上部 (1層)	縄文	試料No.58 PLD-26789		炭化材	1					
SF1713	No.17	縄文	試料No.54 PLD-27122		炭化材	1					
SF1718	No.16	縄文	試料No.53 PLD-27121		炭化材	1					
SF1724	No.18	縄文	試料No.55 PLD-27123		炭化材	1					
SX1109	深鉢内面炭化物	縄文	試料No.21-1 PLD-21560	463	深鉢付着炭化物	1		1			AMS同一試料
	深鉢外面炭化物		試料No.21-2 PLD-21561		深鉢付着炭化物	1		1			AMS同一試料
SH1026		弥生	NNY-SRP25	496	石器 石皿				3		石皿10
SH1011	No.7	古代	試料No.17・18		炭化材		2				焼失住居建築材 コナラ属クスギ節
SF1212	サンプル③No.7	古代	試料No.22 PLD-24206		炭化材	1					
—	M-L24pit4	古代	NKN-1		椀形鍛冶滓					1	鍛錬鍛冶滓
SH1624	No.1	古代	NKN-2		鍛冶滓					1	鍛錬鍛冶滓
SK1439	No.2	古代	NKN-3		椀形鍛冶滓					1	鍛錬鍛冶滓
	Pit1 No.3②	古代	NKN-4		椀形鍛冶滓					1	鍛錬鍛冶滓
SB1558	No.4①	古代	NKN-5		鍛冶滓 (ガラス質)					1	鍛錬鍛冶滓
SK1543	No.5	古代	NKN-6		椀形鍛冶滓 (ガラス質)					1	鍛造鉄器とそれに伴う銅小物製作に伴う反応副生物
SX1039	No.7	中世	試料No.19		炭化材		1				サクラ属
			試料No.20		炭化材		1				クリ

* 報告文における種別（器種名）を表記する。分析報告本文中の名称は備考欄へ記載。樹種同定欄の○は、顕鏡写真を伴わない同定材のみの報告。

行った炭化材のうち、顕鏡観察結果のみを報告したのも第3表に掲載した。

炭素・窒素安定同位体分析 縄文時代埋設土器の内外面に付着した炭化物について、付着炭化物から食生活に関する動植物の情報を得ることを目的として実施した。

残存デンプン粒分析 縄文時代の煙道付炉穴や竪穴建物出土の石器を中心に残存デンプン粒の検出を行い、石器の加工対象となった植物の情報を得ることを試みた²⁾。

出土滓の分析 古墳時代後期以降の土坑・竪穴建物柱穴等から出土した滓の鉄成分分析を行った。中野山遺跡で行われた冶金活動の内容を把握することを

目的とした。

【註】

1) 分析は、各次数の調査について遺構・遺物の整理前に実施しており、本報告への掲載にあたり、報告時の遺構名称に修正して掲載した。また、放射性炭素年代測定・樹種同定・炭素・窒素安定同位体分析については、各次数ごとに報告されていたものを、分析者の協力を得て統括した報告を掲載した。

2) 調査直後に行った分析で、調査担当による遺物種別(器種)名称で報告されているため、報告時の遺物名称と異なる表記となる。報告Noとの対応は第3表を参照されたい。

2 放射性炭素年代測定

1. はじめに

三重県四日市市の中野山遺跡第4・5・8・10・11・12次発掘調査で出土した試料について、加速器質量分析法(AMS法)による放射性炭素年代測定を行った。なお、一部の試料については樹種同定も行われている(樹種同定の項参照)。

2. 試料と方法

放射性炭素年代測定試料は、第4次発掘調査で9点、第5次発掘調査で2点、第8次発掘調査で2点、第10次発掘調査で14点、第11次発掘調査で18点、第12次発掘調査で3点の、計48点である。測定試料の情報、調製データは表4(1)～(3)のとおりである。

第4次発掘調査の試料は、SF1005 煙道付炉穴(PLD-21563)、SF1015 煙道付炉穴(PLD-19852)、SF1016 煙道付炉穴(PLD-19853)、SF1018 煙道付炉穴(PLD-19854)、SF1022 集石炉(PLD-19855)、SF1023 集石炉(PLD-19856)、SF1030 煙道付炉穴(PLD-19857)から各1点、SF1062 煙道付炉穴から2点(PLD-19851、PLD-21564)採取された、計9点の炭化植物遺体である。植物遺体の種類は、PLD-19856 が材か種子か判断できない植物遺体で、それ以外は炭化材であった。樹種同定の結果、PLD-19853、PLD-19855、PLD-19857 はクリ、PLD-19854 はコナラ属コナラ節、PLD-19852 は環孔材、PLD-19851 は広葉樹であった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第5次発掘調査の試料は、SX1109の埋甕に付着した炭化物である。横位で設置された深鉢の内外面に炭化物が付着していた。深鉢は煮炊きに用いられ、使用時に炭化物が付着し、その後埋甕に転用されたと解釈されている。内面付着炭化物は胴下部(PLD-21560)、外面付着炭化物は胴中部(PLD-21561)から採取された。

第8次発掘調査の試料は、SF1212 焼成遺構(PLD-24206)とSF1204 煙道付炉穴(PLD-24207)から各1点採取された、計2点の出土炭化材である。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第10次調査の試料は、SF1402 煙道付炉穴(PLD-27465)、SF1404 集石炉(PLD-27466)、SF1410 煙道付炉穴(PLD-27467)、SF1412 煙道付炉穴(PLD-27468)、SF1415 煙道付炉穴(PLD-27469)、SF1419 煙道付炉穴(PLD-27470)、SF1422 煙道付炉穴(PLD-27471)、SF1441 煙道付炉穴(PLD-27472)、SF1454 集石炉(PLD-27473)、SF1471 煙道付炉穴(PLD-27474)、SF1489 煙道付炉穴(PLD-27475)、SF1490 集石炉(PLD-27476)、SF1498 土坑炉(PLD-27477)、SF1499 煙道付炉穴(PLD-27478)から各1点採取された、計14点の炭化材である。樹種同定の結果、PLD-27466、PLD-27468、PLD-27469、PLD-27470、PLD-27471、PLD-27472、PLD-27474、PLD-27475、PLD-27476 はいずれもクリであった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第11次調査の試料は、SF1508 煙道付炉穴(PLD-27106)、SF1513 煙道付炉穴(PLD-27107)、SF1533

煙道付炉穴 (PLD-27108)、SF1537 煙道付炉穴 (PLD-27109)、SF1541 煙道付炉穴 (PLD-27110)、SF1544 集石炉 (PLD-27111)、SF1546 集石炉 (PLD-27112)、SF1547 煙道付炉穴 (PLD-27113)、SF1548 煙道付炉穴 (PLD-27114)、SF1564 煙道付炉穴 (PLD-27115)、SF1570 集石炉 (PLD-27116)、SF1506 集石炉 (PLD-27117)、SF1584 集石炉 (PLD-27118)、SF1585 集石炉 (PLD-27119)、SF1594 煙道付炉穴 (PLD-27120)、SF1718 煙道付炉穴 (PLD-27121)、SF1713 煙道付炉穴 (PLD-27122)、SF1724 煙道付炉穴 (PLD-27123) から各 1 点採取された、計 18 点の炭化材である。樹種同定の結果、PLD-27108、PLD-27110、PLD-27111、PLD-27112、PLD-27113、PLD-27115、PLD-27116、PLD-27120 はクリ、PLD-27109、PLD-27118、PLD-27119 はコナラ属クヌギ節であった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第 12 次調査の試料は、SF1629 集石炉から 2 点 (PLD-26787、PLD-26788)、SK1657 土坑 (PLD-26789) から 1 点採取された、計 3 点の炭化材である。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

試料は調製後、加速器質量分析計 (パレオ・ラボ、コンパクト AMS: NEC 製 1.5SDH) を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

表 5 (1) ~ (3) に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代を、図 257 ~ 259 にマルチプロット図を、図 260 ~ 265 に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.27%

であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.4 (較正曲線データ: IntCal20) を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

4. 考察

以下、 2σ 暦年代範囲 (確率 95.45%) に着目し、暦年代が古い順に結果を整理する。なお、暦年代範囲と縄文土器編年との対応関係については、泉 (2008)、小林 (2017)、工藤 (2012)、増子 (2008)、佐藤 (2008)、矢野 (2008) を参照した。

SF1547 煙道付炉穴の PLD-27113 は 13519 - 13195 cal BC (95.45%) の暦年代を示した。これは、縄文時代草創期前半に相当する。

縄文時代早期前葉~中葉に相当する暦年代を示す試料は、42 点みられた。中でも紀元前 9100 ~ 7700 年頃の暦年代を示したのは、SF1513 煙道付炉穴の PLD-27107、SF1410 煙道付炉穴の PLD-27467、SF1548 煙道付炉穴の PLD-27114、SF1564 煙道付炉穴の PLD-27115、SF1544 集石炉の PLD-27111、SF1585 集石炉の PLD-27119、SF1537 煙道付炉穴の PLD-27109、SF1546 集石炉の PLD-27112、SF1508 煙道付炉穴の PLD-27106、SF1419 煙道付炉穴の PLD-27470、SF1489 煙道付炉穴の PLD-27475、SF1541 煙道付炉穴の PLD-27110、SF1204 煙道付炉穴の PLD-24207、SF1454 集石炉の PLD-27473、SF1412 煙道付炉穴の PLD-27468、SF1533 煙道付炉穴の PLD-27108、SF1018 煙道付炉穴の PLD-19854、SF1718 煙

道付炉穴の PLD-27121、SF1713 煙道付炉穴の PLD-27122、SF1570 集石炉の PLD-27116、SF1016 煙道付炉穴の PLD-19853、SF1030 煙道付炉穴の PLD-19857、SF1415 煙道付炉穴の PLD-27469、SF1441 煙道付炉穴の PLD-27472、SF1594 煙道付炉穴の PLD-27120、SF1471 煙道付炉穴の PLD-27474、SF1422 煙道付炉穴の PLD-27471、SF1005 煙道付炉穴の PLD-21563、SF1499 煙道付炉穴の PLD-27478、SF1404 集石炉の PLD-27466、SF1506 集石炉の PLD-27117、SF1724 煙道付炉穴の PLD-27123、SF1015 煙道付炉穴の PLD-19852、SF1062 煙道付炉穴の PLD-19851、PLD-21564、SF1584 集石炉の PLD-27118、SF1490 集石炉の PLD-27476、SF1629 集石炉の PLD-26788、PLD-26787、SF1498 土坑炉の PLD-27477、SF1022 集石炉の PLD-19855、SF1023 集石炉の PLD-19856 である。

SF1402 煙道付炉穴の PLD-27465 は 3082 - 3061 cal BC (5.91%) および 3028 - 2910 cal BC (89.54%) の暦年代を示した。これは、縄文時代中期中葉に相当する。

SK1657 土坑の PLD-26789 は 2464 - 2333 cal BC (81.97%) および 2330 - 2297 cal BC (13.48%) で、紀元前 2500 ~ 2200 年頃の暦年代を示した。これは、縄文時代後期初頭に相当する。

SX1109 埋甕の深鉢内面胴下部付着炭化物 (PLD-21560) は 1266 - 1114 cal BC (95.45%) であった。一方、外面胴中部付着炭化物 (PLD-21561) は 1216 - 1051 cal BC (95.45%) であった。これらは縄文時代晩期前葉に相当する。なお、炭素・窒素安定同位体比測定の結果では、内面付着炭化物 (PLD-21560) は C_3 植物や草食動物、外面付着炭化物 (PLD-21561) は主に C_3 植物に由来すると推定されている (別項参照)。

SF1212 焼成遺構で出土した炭化材 (PLD-24206) は、 2σ の暦年代範囲で 673 - 774 cal AD (95.45%) を示し、7 世紀後半 ~ 8 世紀後半であった。発掘調査の所見では SF1212 の時期は古代と考えられていたが、測定によって 7 世紀後半 ~ 8 世紀後半頃であると、時期の絞り込みができた。

(パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

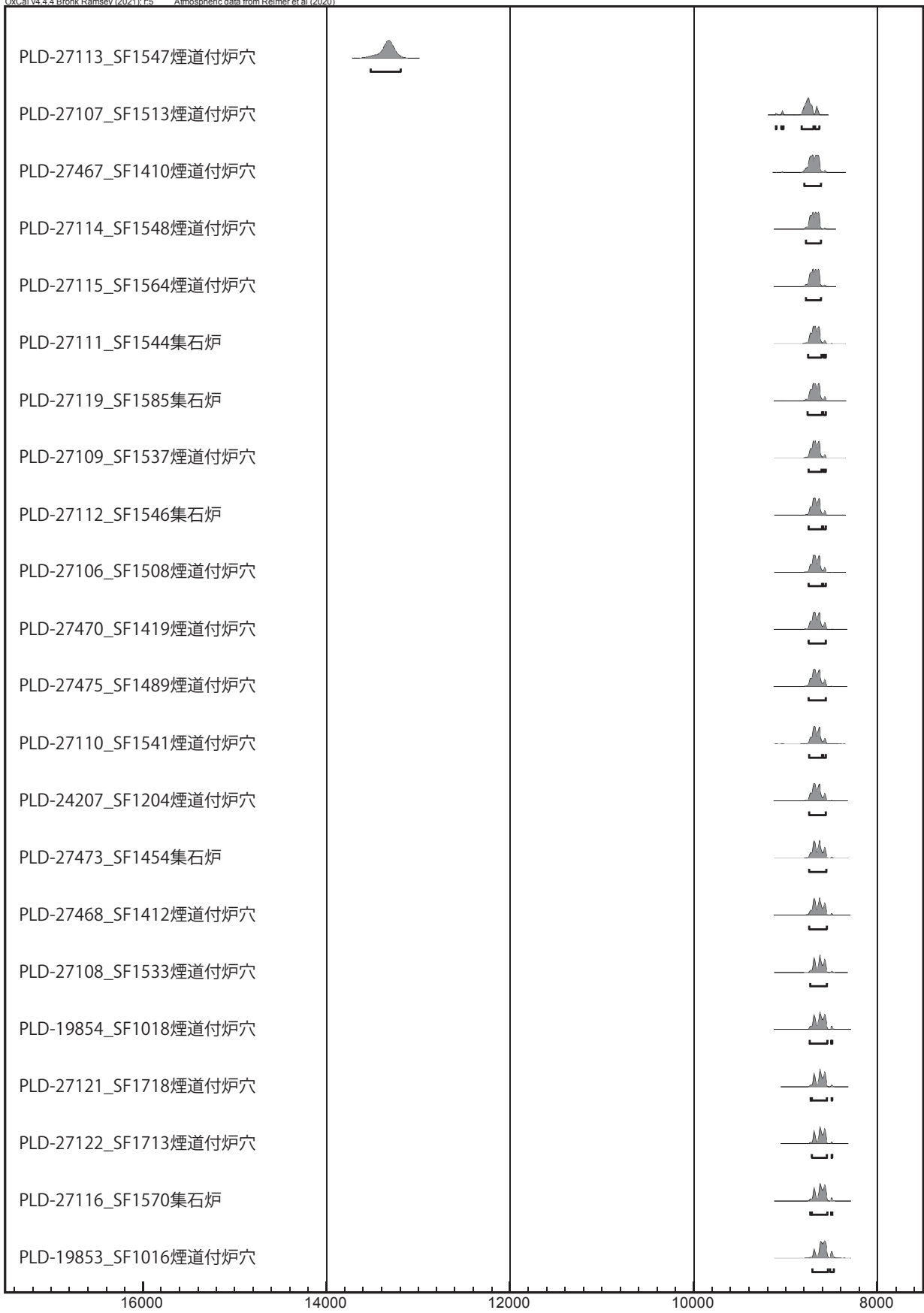
伊藤 茂・安昭炫・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・小林紘一

Zaur Lomtadze・Ineza Jorjoliani・

中村賢太郎・小林克也)

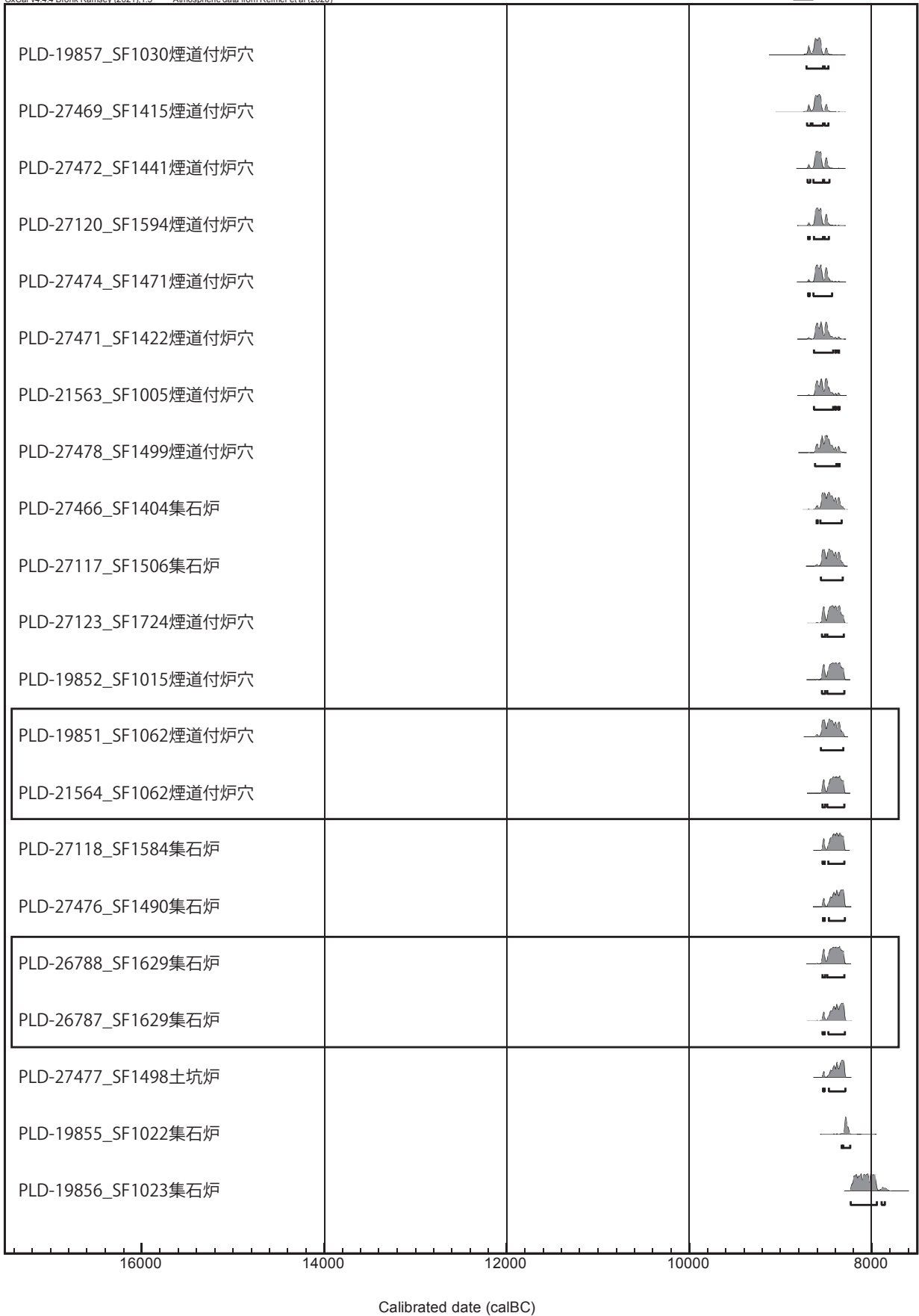
【参考文献】

- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51 (1), 337-360.
- 泉 拓良 (2008) 鷹島式・船元式・里木Ⅱ式土器. 小林達雄編「総覧縄文土器」: 502-509, アム・プロモーション.
- 小林謙一 (2017) 縄文時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—. 263p, 同成社.
- 工藤雄一郎 (2012) 旧石器・縄文時代の環境文化史—高精度放射性炭素年代測定と考古学—. 373p, 神泉社.
- 増子康真 (2008) 北裏 C ~ 北裏敷Ⅱ式土器. 小林達雄編「総覧縄文土器」: 486-493, アム・プロモーション.
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の ^{14}C 年代編集委員会編「日本先史時代の ^{14}C 年代」: 3-20, 日本第四紀学会.
- Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62 (4), 725-757, doi: 10.1017/RDC.2020.41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)
- 佐藤雅一 (2008) 隆起線文系土器群. 小林達雄編「総覧縄文土器」: 20-27, アム・プロモーション.
- 矢野健一 (2008) 押型文系土器 (大川式・神宮寺式土器). 小林達雄編「総覧縄文土器」: 154-161, アム・プロモーション

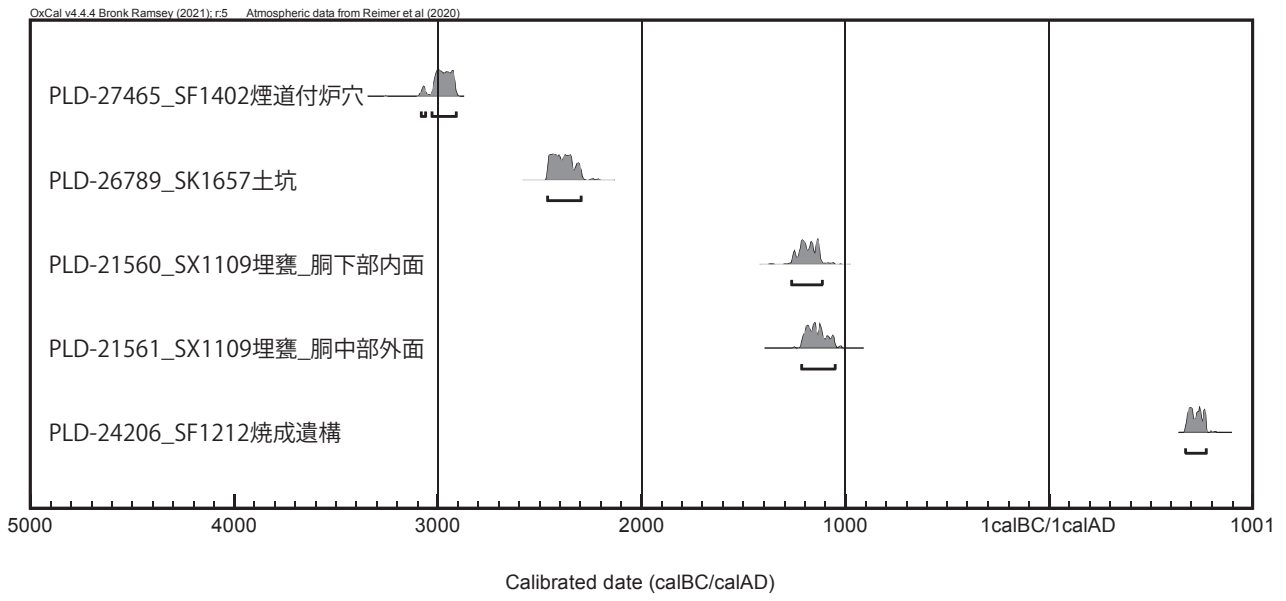


第 257 図 マルチプロット図 (1)

Calibrated date (calBC)



第 258 図 マルチプロット図 (2)



第 259 図 マルチプロット図 (3)

第4表 測定試料および処理(1)

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-21563	試料No.1 調査:第4次 遺構:SF1005煙道付炉穴 位置:東側 層位:2層	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.5 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19852	試料No.6 調査:第4次 遺構:SF1015煙道付炉穴 層位:4層	種類:炭化材(環孔材) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19853	試料No.7 調査:第4次 遺構:SF1016煙道付炉穴 層位:6層(3層目)	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19854	試料No.8 調査:第4次 遺構:SF1018煙道付炉穴 層位:4層	種類:炭化材(コナラ属コナラ節) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19855	試料No.10 調査:第4次 遺構:SF1022集石炉 層位:3層	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19856	試料No.12 調査:第4次 遺構:SF1023集石炉 層位:4層	種類:炭化植物遺体 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19857	試料No.13 調査:第4次 遺構:SF1030煙道付炉穴 層位:4層	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-19851	試料No.15 調査:第4次 遺構:SF1062煙道付炉穴 層位:3層(西側)	種類:炭化材(広葉樹) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-21564	試料No.16 調査:第4次 遺構:SF1062煙道付炉穴 層位:3層(西側)	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.5 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-21560	試料No.21-1 調査:第5次 グリッド:F-S1 遺構: SX1109埋壺	種類:土器附着炭化物 器種:深鉢 部位:胴下部内面 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-21561	試料No.21-2 調査:第5次 グリッド:F-S1 遺構: SX1109埋壺	種類:土器附着炭化物 器種:深鉢 部位:胴中部外面 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-24206	試料No.22 調査:第8次 グリッド:N-G16 遺構:SF1212焼成遺構	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 部位:外側5年輪分 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-24207	試料No.23 調査:第8次 グリッド:G-U15 遺構:SF1204煙道付炉穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27465	試料No.24 調査:第10次 グリッド:F-U12 遺構:SF1402煙道付炉穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.2 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27466	試料No.25 調査:第10次 グリッド:F-U14 遺構:SF1404集石炉	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.2 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27467	試料No.26 調査:第10次 グリッド:F-V16 遺構:SF1410煙道付炉穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27468	試料No.27 調査:第10次 グリッド:F-U19 遺構:SF1412煙道付炉穴	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27469	試料No.28 調査:第10次 グリッド:F-U18 遺構:SF1415煙道付炉穴	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27470	試料No.29 調査:第10次 グリッド:F-W16 遺構:SF1419煙道付炉穴	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27471	試料No.30 調査:第10次 グリッド:F-W17 遺構:SF1422煙道付炉穴	種類:炭化材(クリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 部位不明 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)

第4表 測定試料および処理（2）

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-27472	試料No. 31 調査：第10次 グリッド：F-A17 遺構：SF1441煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27473	試料No. 32 調査：第10次 グリッド：M-D14 遺構：SF1454集石炉	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27474	試料No. 33 調査：第10次 グリッド：F-Q18 遺構：SF1471煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27475	試料No. 34 調査：第10次 グリッド：F-R25 遺構：SF1489煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27476	試料No. 35 調査：第10次 グリッド：F-R25 遺構：SF1490集石炉	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27477	試料No. 36 調査：第10次 グリッド：G-R1 遺構：SF1498土坑炉	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27478	試料No. 37 調査：第10次 グリッド：F-W17 遺構：SF1499煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.2 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27106	試料No. 38 調査：第11次 グリッド：L-A12 遺構：SF1508煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27107	試料No. 39 調査：第11次 グリッド：L-F13 遺構：SF1513煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27108	試料No. 40 調査：第11次 グリッド：L-I16 遺構：SF1533煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27109	試料No. 41 調査：第11次 グリッド：L-K17 遺構：SF1537煙道付炉穴	種類：炭化材（コナラ属クスギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27110	試料No. 42 調査：第11次 グリッド：L-I14 遺構：SF1541煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27111	試料No. 43 調査：第11次 グリッド：L-G16 遺構：SF1544集石炉	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27112	試料No. 44 調査：第11次 グリッド：L-H18 遺構：SF1546集石炉	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27113	試料No. 45 調査：第11次 グリッド：L-H19 遺構：SF1547煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27114	試料No. 46 調査：第11次 グリッド：L-G17 遺構：SF1548煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27115	試料No. 47 調査：第11次 グリッド：L-J21 遺構：SF1564煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27116	試料No. 48 調査：第11次 グリッド：L-I23 遺構：SF1570集石炉	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27117	試料No. 49 調査：第11次 グリッド：L-D15 遺構：SF1506集石炉	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-27118	試料No. 50 調査：第11次 グリッド：M-A5 遺構：SF1584集石炉	種類：炭化材（コナラ属クスギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

第4表 測定試料および処理(3)

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-27119	試料No. 51 調査：第11次 グリッド：M-B4 遺構：SF1585集石炉	種類：炭化材（コナラ属クヌギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27120	試料No. 52 調査：第11次 グリッド：F-X6 遺構：SF1594煙道付炉穴	種類：炭化材（クリ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27121	試料No. 53 調査：第11次 グリッド：L-L16 遺構：SF1718煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27122	試料No. 54 調査：第11次 グリッド：M-A6 遺構：SF1713煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27123	試料No. 55 調査：第11次 グリッド：L-I14 遺構：SF1724煙道付炉穴	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26787	試料No. 56 調査：第12次 遺構：SF1629集石炉 層位：覆土下部(2層)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26788	試料No. 57 調査：第12次 遺構：SF1629集石炉 層位：覆土下部(2層)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26789	試料No. 58 調査：第12次 遺構：SK1657土坑 層位：覆土上部(1層)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年校正の結果(1)

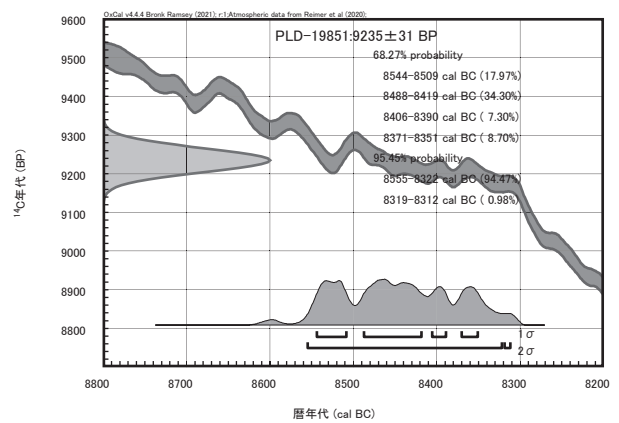
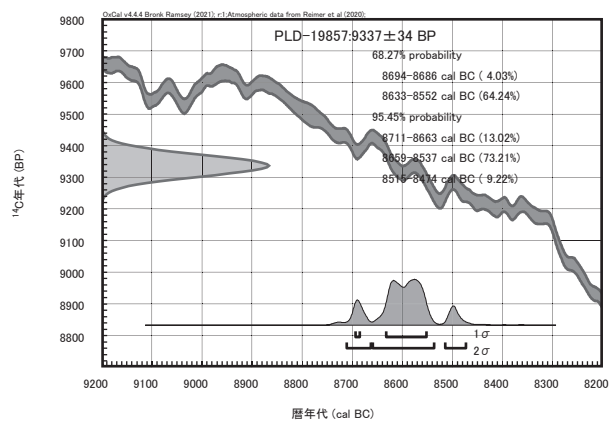
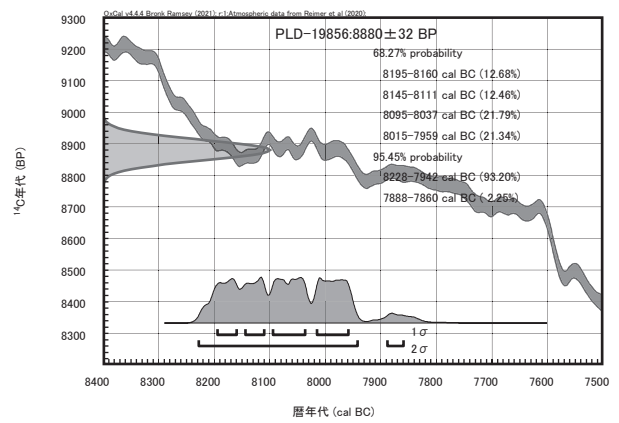
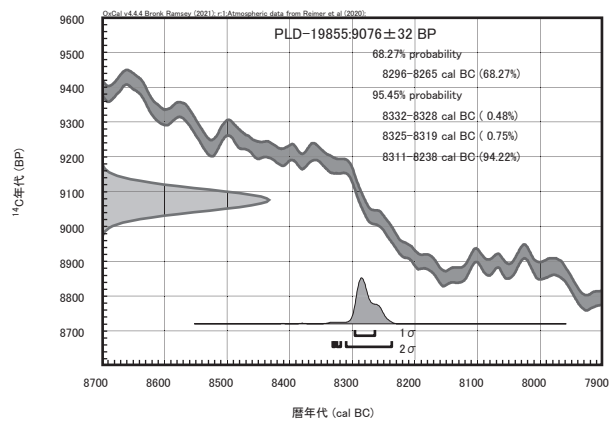
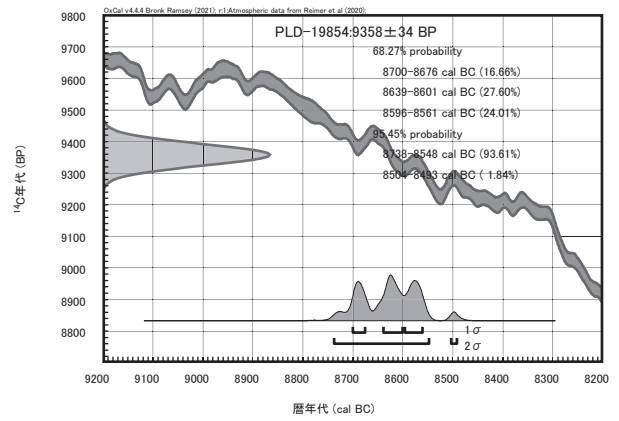
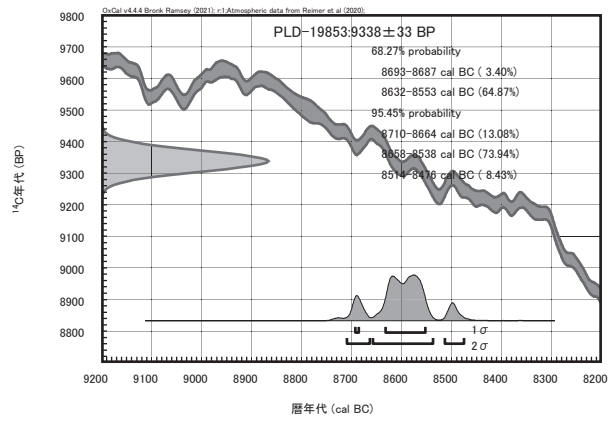
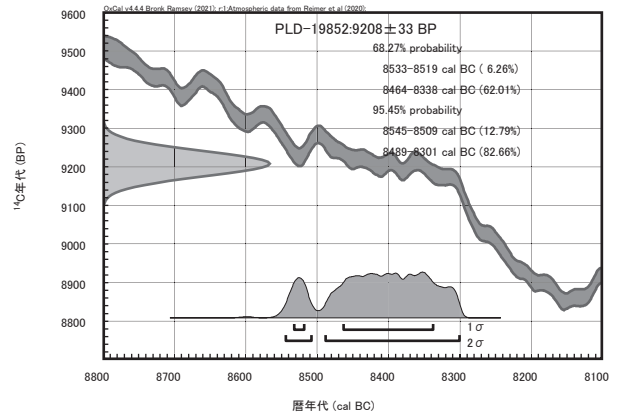
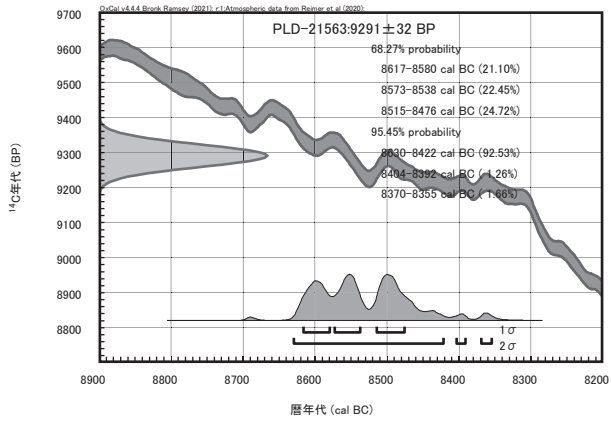
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年校正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に校正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-21563 第4次発掘調査 SF1005煙道付炉穴	-24.76 \pm 0.19	9291 \pm 32	9290 \pm 30	8617-8580 cal BC (21.10%) 8573-8538 cal BC (22.45%) 8515-8476 cal BC (24.72%)	8630-8422 cal BC (92.53%) 8404-8392 cal BC (1.26%) 8370-8355 cal BC (1.66%)
PLD-19852 第4次発掘調査 SF1015煙道付炉穴	-24.08 \pm 0.13	9208 \pm 33	9210 \pm 35	8533-8519 cal BC (6.26%) 8464-8338 cal BC (62.01%)	8545-8509 cal BC (12.79%) 8489-8301 cal BC (82.66%)
PLD-19853 第4次発掘調査 SF1016煙道付炉穴	-23.86 \pm 0.14	9338 \pm 33	9340 \pm 35	8693-8687 cal BC (3.40%) 8632-8553 cal BC (64.87%)	8710-8664 cal BC (13.08%) 8658-8538 cal BC (73.94%) 8514-8476 cal BC (8.43%)
PLD-19854 第4次発掘調査 SF1018煙道付炉穴	-25.05 \pm 0.19	9358 \pm 34	9360 \pm 35	8700-8676 cal BC (16.66%) 8639-8601 cal BC (27.60%) 8596-8561 cal BC (24.01%)	8738-8548 cal BC (93.61%) 8504-8493 cal BC (1.84%)
PLD-19855 第4次発掘調査 SF1022集石炉	-25.08 \pm 0.13	9076 \pm 32	9075 \pm 30	8296-8265 cal BC (68.27%)	8332-8328 cal BC (0.48%) 8325-8319 cal BC (0.75%) 8311-8238 cal BC (94.22%)
PLD-19856 第4次発掘調査 SF1023集石炉	-25.30 \pm 0.16	8880 \pm 32	8880 \pm 30	8195-8160 cal BC (12.68%) 8145-8111 cal BC (12.46%) 8095-8037 cal BC (21.79%) 8015-7959 cal BC (21.34%)	8228-7942 cal BC (93.20%) 7888-7860 cal BC (2.25%)
PLD-19857 第4次発掘調査 SF1030煙道付炉穴	-26.07 \pm 0.13	9337 \pm 34	9335 \pm 35	8694-8686 cal BC (4.03%) 8633-8552 cal BC (64.24%)	8711-8663 cal BC (13.02%) 8659-8537 cal BC (73.21%) 8515-8474 cal BC (9.22%)
PLD-19851 第4次発掘調査 SF1062煙道付炉穴	-26.93 \pm 0.13	9235 \pm 31	9235 \pm 30	8544-8509 cal BC (17.97%) 8488-8419 cal BC (34.30%) 8406-8390 cal BC (7.30%) 8371-8351 cal BC (8.70%)	8555-8322 cal BC (94.47%) 8319-8312 cal BC (0.98%)
PLD-21564 第4次発掘調査 SF1062煙道付炉穴	-24.97 \pm 0.17	9202 \pm 30	9200 \pm 30	8529-8522 cal BC (3.01%) 8459-8332 cal BC (65.26%)	8541-8512 cal BC (10.29%) 8485-8301 cal BC (85.16%)
PLD-21560 第5次発掘調査 SX1109埋甕 胴下部内面	-23.87 \pm 0.21	2968 \pm 21	2970 \pm 20	1253-1251 cal BC (1.17%) 1223-1187 cal BC (29.88%) 1181-1156 cal BC (19.24%) 1147-1126 cal BC (17.98%)	1266-1114 cal BC (95.45%)
PLD-21561 第5次発掘調査 SX1109埋甕 胴中部外面	-25.08 \pm 0.17	2935 \pm 21	2935 \pm 20	1208-1138 cal BC (50.46%) 1136-1111 cal BC (17.23%) 1061-1060 cal BC (0.58%)	1216-1051 cal BC (95.45%)
PLD-24206 第8次発掘調査 SF1212焼成遺構	-26.56 \pm 0.30	1278 \pm 19	1280 \pm 20	680-707 cal AD (31.95%) 724-746 cal AD (24.22%) 759-767 cal AD (9.87%) 771-773 cal AD (2.23%)	673-774 cal AD (95.45%)
PLD-24207 第8次発掘調査 SF1204煙道付炉穴	-28.75 \pm 0.28	9384 \pm 31	9385 \pm 30	8727-8725 cal BC (0.93%) 8713-8618 cal BC (67.33%)	8747-8561 cal BC (95.45%)
PLD-27465 第10次発掘調査 SF1402煙道付炉穴	-26.74 \pm 0.17	4370 \pm 24	4370 \pm 25	3011-2974 cal BC (31.53%) 2969-2940 cal BC (23.32%) 2938-2922 cal BC (13.41%)	3082-3061 cal BC (5.91%) 3028-2910 cal BC (89.54%)
PLD-27466 第10次発掘調査 SF1404集石炉	-26.85 \pm 0.17	9247 \pm 31	9245 \pm 30	8550-8501 cal BC (25.37%) 8496-8425 cal BC (35.52%) 8401-8393 cal BC (2.97%) 8367-8356 cal BC (4.41%)	8607-8591 cal BC (2.02%) 8564-8328 cal BC (93.43%)
PLD-27467 第10次発掘調査 SF1410煙道付炉穴	-26.72 \pm 0.13	9417 \pm 32	9415 \pm 30	8741-8697 cal BC (32.67%) 8682-8635 cal BC (35.60%)	8796-8617 cal BC (95.45%)
PLD-27468 第10次発掘調査 SF1412煙道付炉穴	-28.02 \pm 0.21	9369 \pm 32	9370 \pm 30	8705-8670 cal BC (25.63%) 8650-8608 cal BC (28.25%) 8589-8564 cal BC (14.39%)	8741-8554 cal BC (95.45%)
PLD-27469 第10次発掘調査 SF1415煙道付炉穴	-26.46 \pm 0.11	9332 \pm 31	9330 \pm 30	8630-8552 cal BC (68.27%)	8705-8669 cal BC (9.19%) 8651-8537 cal BC (76.13%) 8515-8475 cal BC (10.14%)
PLD-27470 第10次発掘調査 SF1419煙道付炉穴	-27.35 \pm 0.13	9386 \pm 31	9385 \pm 30	8728-8725 cal BC (1.21%) 8713-8619 cal BC (67.06%)	8748-8601 cal BC (85.40%) 8598-8561 cal BC (10.05%)
PLD-27471 第10次発掘調査 SF1422煙道付炉穴	-28.65 \pm 0.12	9296 \pm 31	9295 \pm 30	8617-8578 cal BC (25.23%) 8575-8541 cal BC (23.19%) 8512-8483 cal BC (19.85%)	8691-8689 cal BC (0.17%) 8632-8425 cal BC (93.77%) 8400-8394 cal BC (0.53%) 8368-8357 cal BC (0.98%)
PLD-27472 第10次発掘調査 SF1441煙道付炉穴	-25.96 \pm 0.13	9320 \pm 30	9320 \pm 30	8625-8550 cal BC (65.45%) 8501-8496 cal BC (2.82%)	8701-8675 cal BC (4.44%) 8641-8533 cal BC (74.70%) 8519-8464 cal BC (16.30%)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果(2)

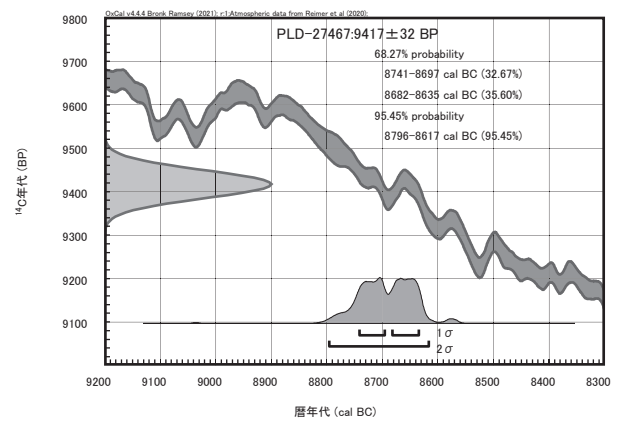
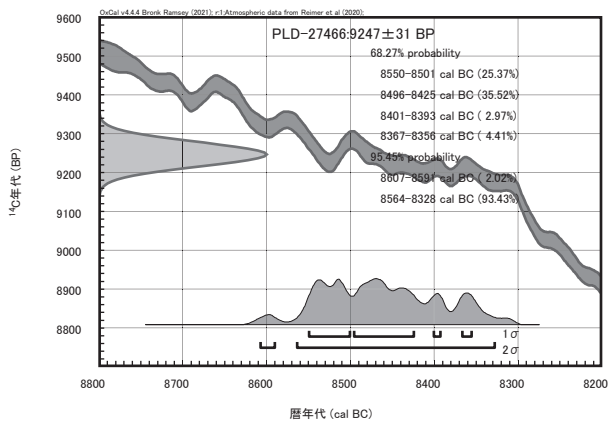
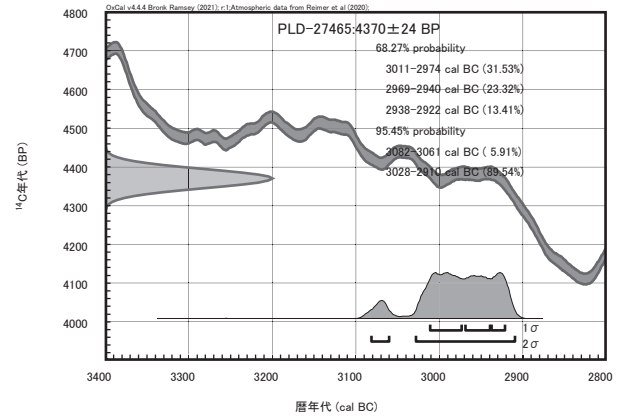
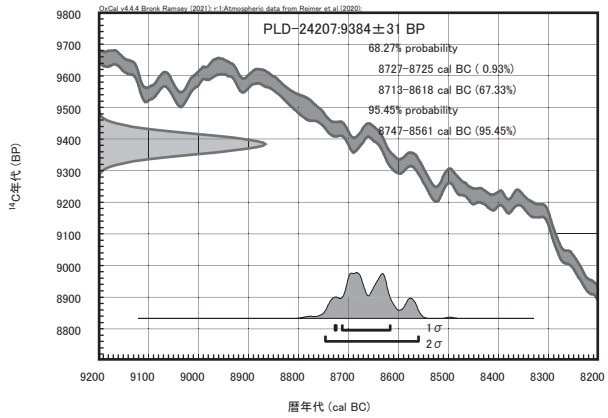
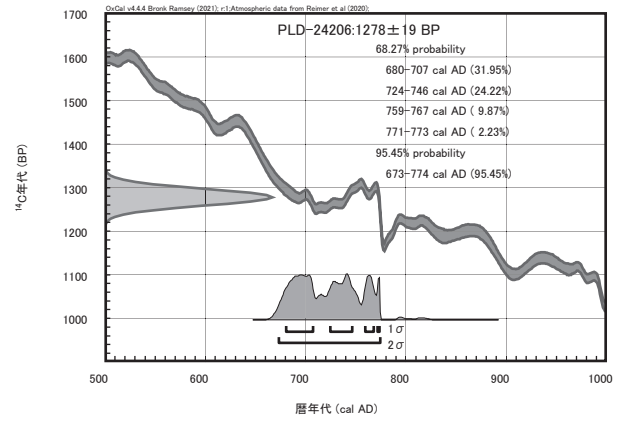
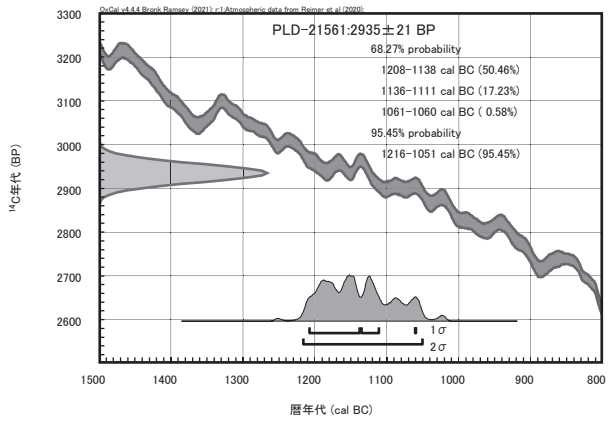
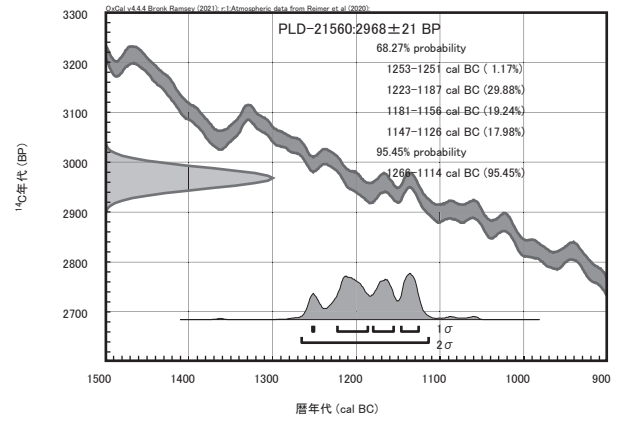
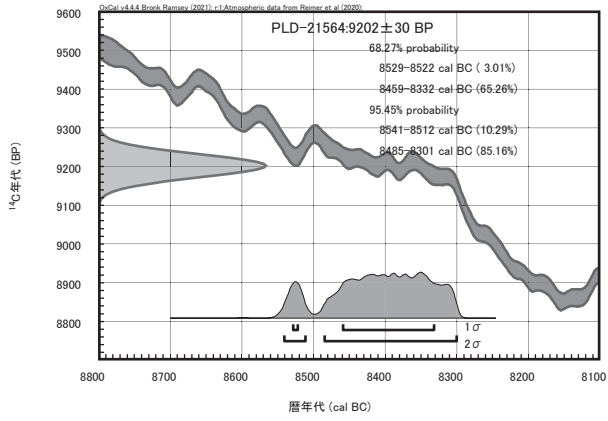
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-27473 第10次発掘調査 SF1454集石炉	-24.85 \pm 0.12	9373 \pm 30	9375 \pm 30	8706-8668 cal BC (29.05%) 8652-8611 cal BC (28.57%) 8586-8566 cal BC (10.65%)	8739-8558 cal BC (95.45%)
PLD-27474 第10次発掘調査 SF1471煙道付炉穴	-26.38 \pm 0.13	9307 \pm 31	9305 \pm 30	8620-8546 cal BC (56.85%) 8507-8490 cal BC (11.41%)	8697-8681 cal BC (1.83%) 8636-8448 cal BC (92.91%) 8444-8434 cal BC (0.71%)
PLD-27475 第10次発掘調査 SF1489	-27.07 \pm 0.11	9386 \pm 31	9385 \pm 30	8728-8725 cal BC (1.21%) 8713-8619 cal BC (67.06%)	8748-8601 cal BC (85.40%) 8598-8561 cal BC (10.05%)
PLD-27476 第10次発掘調査 SF1490集石炉	-27.04 \pm 0.12	9181 \pm 30	9180 \pm 30	8427-8398 cal BC (15.07%) 8395-8366 cal BC (17.05%) 8359-8301 cal BC (36.15%)	8537-8515 cal BC (5.75%) 8473-8295 cal BC (89.70%)
PLD-27477 第10次発掘調査 SF1498土坑炉	-26.09 \pm 0.13	9170 \pm 30	9170 \pm 30	8424-8402 cal BC (11.49%) 8393-8368 cal BC (15.01%) 8355-8297 cal BC (41.77%)	8535-8517 cal BC (3.95%) 8465-8292 cal BC (91.50%)
PLD-27478 第10次発掘調査 SF1499煙道付炉穴	-27.03 \pm 0.12	9270 \pm 30	9270 \pm 30	8605-8592 cal BC (4.83%) 8563-8455 cal BC (62.17%) 8440-8436 cal BC (1.27%)	8619-8415 cal BC (86.77%) 8411-8389 cal BC (4.25%) 8372-8351 cal BC (4.43%)
PLD-27106 第11次発掘調査 SF1508煙道付炉穴	-25.52 \pm 0.15	9389 \pm 26	9390 \pm 25	8711-8663 cal BC (40.17%) 8659-8623 cal BC (28.10%)	8748-8606 cal BC (89.27%) 8590-8563 cal BC (6.18%)
PLD-27107 第11次発掘調査 SF1513煙道付炉穴	-25.67 \pm 0.16	9468 \pm 26	9470 \pm 25	8799-8710 cal BC (65.53%) 8663-8658 cal BC (2.74%)	9109-9101 cal BC (0.93%) 9047-9025 cal BC (4.14%) 8827-8698 cal BC (76.52%) 8680-8635 cal BC (13.86%)
PLD-27108 第11次発掘調査 SF1533煙道付炉穴	-26.19 \pm 0.14	9362 \pm 26	9360 \pm 25	8701-8675 cal BC (20.66%) 8640-8607 cal BC (28.02%) 8590-8563 cal BC (19.59%)	8732-8720 cal BC (1.67%) 8715-8553 cal BC (93.78%)
PLD-27109 第11次発掘調査 SF1537煙道付炉穴	-24.75 \pm 0.15	9395 \pm 25	9395 \pm 25	8711-8662 cal BC (41.38%) 8660-8626 cal BC (26.89%)	8752-8610 cal BC (91.88%) 8587-8565 cal BC (3.57%)
PLD-27110 第11次発掘調査 SF1541煙道付炉穴	-27.48 \pm 0.14	9385 \pm 25	9385 \pm 25	8710-8664 cal BC (39.23%) 8658-8620 cal BC (29.04%)	8745-8605 cal BC (87.72%) 8591-8562 cal BC (7.73%)
PLD-27111 第11次発掘調査 SF1544集石炉	-27.32 \pm 0.13	9398 \pm 26	9400 \pm 25	8711-8628 cal BC (68.27%)	8756-8610 cal BC (92.37%) 8586-8565 cal BC (3.08%)
PLD-27112 第11次発掘調査 SF1546集石炉	-27.48 \pm 0.15	9391 \pm 26	9390 \pm 25	8711-8663 cal BC (40.58%) 8659-8624 cal BC (27.69%)	8750-8607 cal BC (90.06%) 8589-8563 cal BC (5.39%)
PLD-27113 第11次発掘調査 SF1547煙道付炉穴	-24.71 \pm 0.16	12809 \pm 32	12810 \pm 30	13393-13254 cal BC (68.27%)	13519-13195 cal BC (95.45%)
PLD-27114 第11次発掘調査 SF1548煙道付炉穴	-26.74 \pm 0.15	9410 \pm 26	9410 \pm 25	8733-8718 cal BC (10.73%) 8716-8695 cal BC (16.64%) 8684-8634 cal BC (40.91%)	8779-8619 cal BC (95.45%)
PLD-27115 第11次発掘調査 SF1564煙道付炉穴	-26.04 \pm 0.15	9410 \pm 26	9410 \pm 25	8733-8718 cal BC (10.73%) 8716-8695 cal BC (16.64%) 8684-8634 cal BC (40.91%)	8779-8619 cal BC (95.45%)
PLD-27116 第11次発掘調査 SF1570集石炉	-27.91 \pm 0.19	9353 \pm 30	9355 \pm 30	8697-8681 cal BC (11.63%) 8635-8601 cal BC (28.29%) 8597-8561 cal BC (28.35%)	8731-8722 cal BC (1.04%) 8714-8547 cal BC (92.07%) 8506-8491 cal BC (2.33%)
PLD-27117 第11次発掘調査 SF1506集石炉	-28.85 \pm 0.19	9236 \pm 29	9235 \pm 30	8544-8509 cal BC (18.73%) 8488-8420 cal BC (34.73%) 8405-8390 cal BC (6.66%) 8370-8352 cal BC (8.15%)	8556-8324 cal BC (95.11%) 8317-8314 cal BC (0.34%)
PLD-27118 第11次発掘調査 SF1584集石炉	-27.40 \pm 0.15	9195 \pm 26	9195 \pm 25	8433-8308 cal BC (68.27%)	8538-8515 cal BC (7.56%) 8479-8300 cal BC (87.89%)
PLD-27119 第11次発掘調査 SF1585集石炉	-27.03 \pm 0.26	9397 \pm 30	9395 \pm 30	8729-8724 cal BC (2.32%) 8713-8627 cal BC (65.94%)	8760-8605 cal BC (90.55%) 8591-8563 cal BC (4.90%)
PLD-27120 第11次発掘調査 SF1594煙道付炉穴	-26.41 \pm 0.15	9316 \pm 26	9315 \pm 25	8622-8550 cal BC (67.54%) 8499-8498 cal BC (0.73%)	8697-8682 cal BC (2.10%) 8635-8535 cal BC (76.60%) 8516-8470 cal BC (16.74%)
PLD-27121 第11次発掘調査 SF1718煙道付炉穴	-27.37 \pm 0.17	9357 \pm 26	9355 \pm 25	8699-8678 cal BC (15.54%) 8637-8604 cal BC (28.22%) 8593-8562 cal BC (24.52%)	8729-8723 cal BC (0.71%) 8713-8550 cal BC (94.09%) 8501-8495 cal BC (0.65%)
PLD-27122 第11次発掘調査 SF1713煙道付炉穴	-27.22 \pm 0.17	9356 \pm 26	9355 \pm 25	8698-8679 cal BC (14.52%) 8636-8604 cal BC (28.33%) 8593-8562 cal BC (25.42%)	8728-8724 cal BC (0.44%) 8712-8549 cal BC (94.09%) 8502-8494 cal BC (0.92%)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 (3)

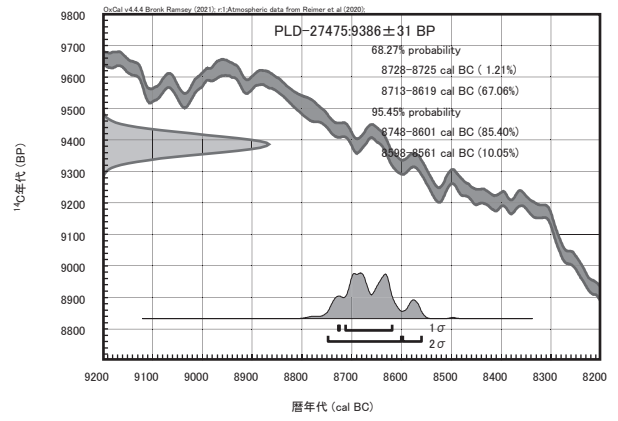
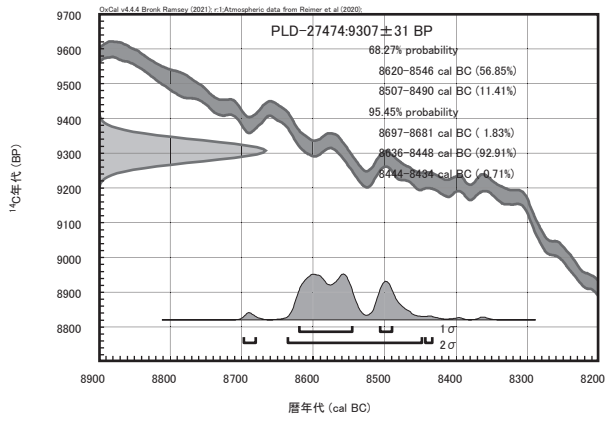
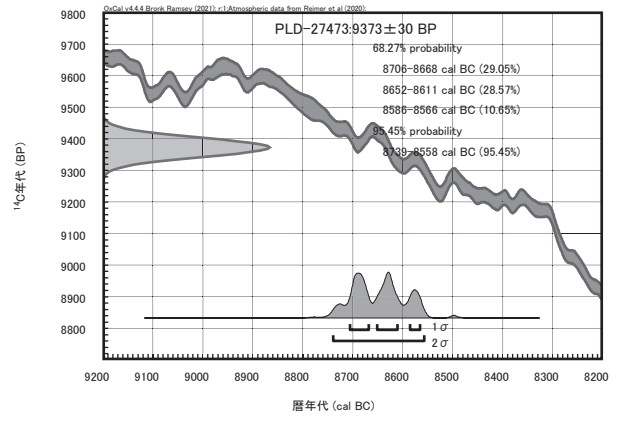
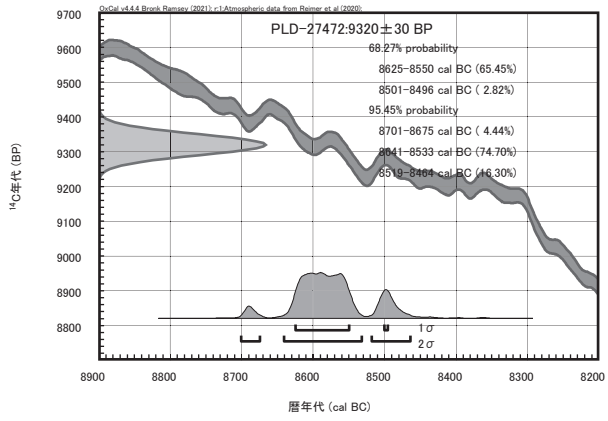
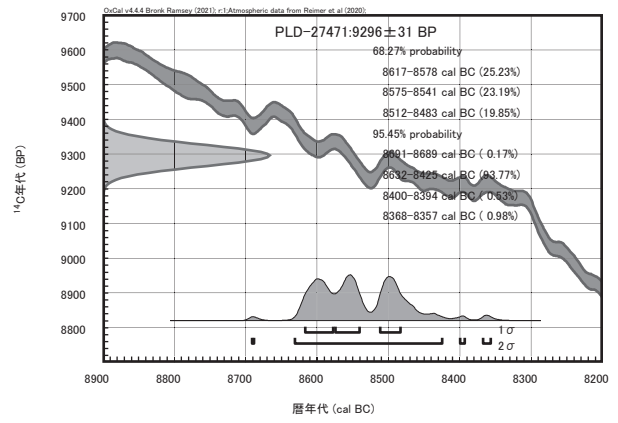
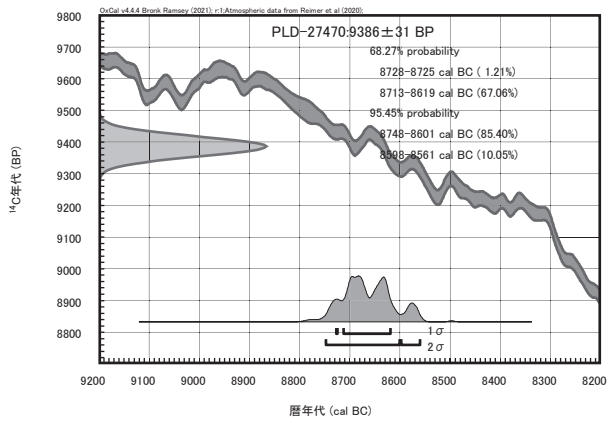
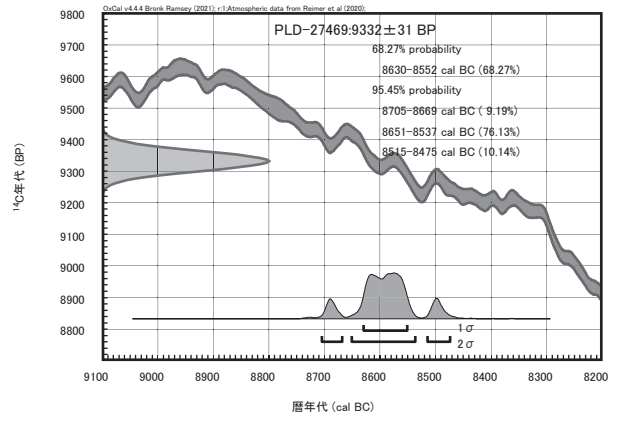
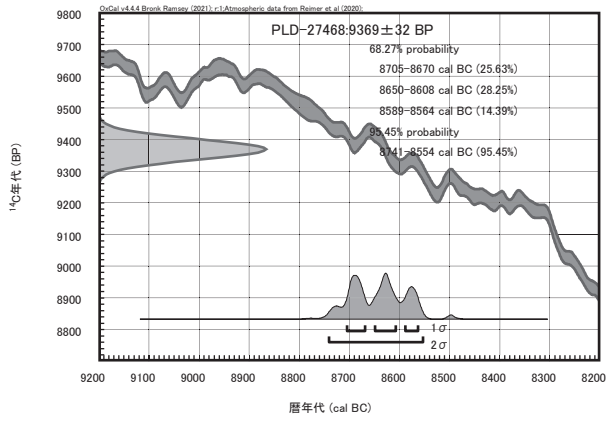
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-27123 第11次発掘調査 SF1724煙道付炉穴	-27.24 \pm 0.15	9216 \pm 26	9215 \pm 25	8535-8517 cal BC (8.94%)	8544-8509 cal BC (14.41%) 8488-8306 cal BC (81.04%)
				8467-8385 cal BC (43.21%)	
				8376-8345 cal BC (16.11%)	
PLD-26787 第12次発掘調査 SF1629集石炉	-25.77 \pm 0.16	9178 \pm 33	9180 \pm 35	8427-8398 cal BC (14.83%)	8537-8515 cal BC (5.85%) 8475-8294 cal BC (89.60%)
				8396-8366 cal BC (16.81%)	
				8359-8299 cal BC (36.62%)	
PLD-26788 第12次発掘調査 SF1629集石炉	-28.15 \pm 0.17	9203 \pm 33	9205 \pm 35	8530-8521 cal BC (4.09%)	8543-8510 cal BC (11.31%) 8487-8300 cal BC (84.14%)
				8461-8332 cal BC (64.18%)	
PLD-26789 第12次発掘調査 SK1657土坑	-29.23 \pm 0.16	3894 \pm 23	3895 \pm 25	2458-2398 cal BC (40.58%)	2464-2333 cal BC (81.97%) 2330-2297 cal BC (13.48%)
				2386-2344 cal BC (27.69%)	



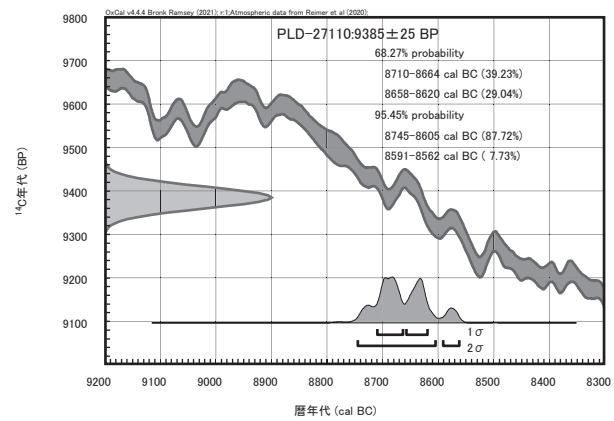
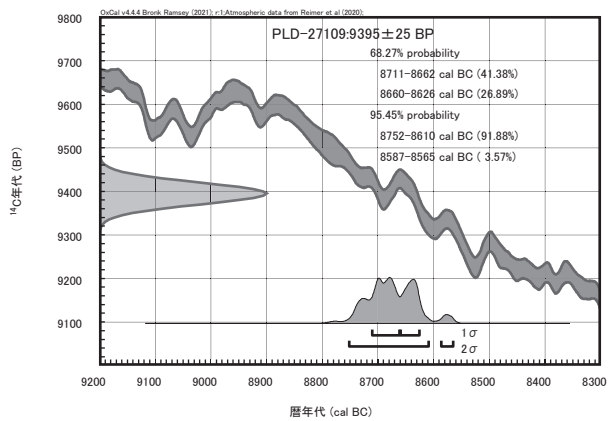
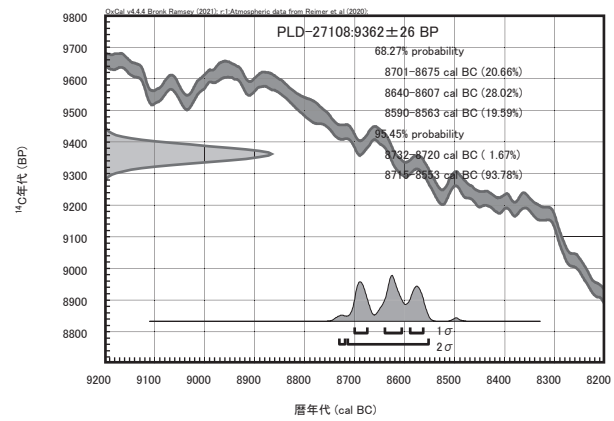
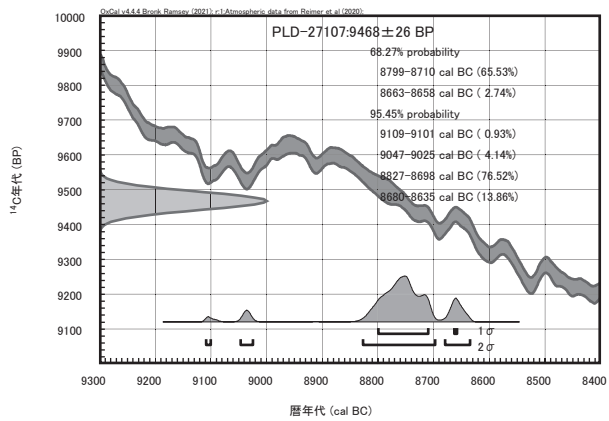
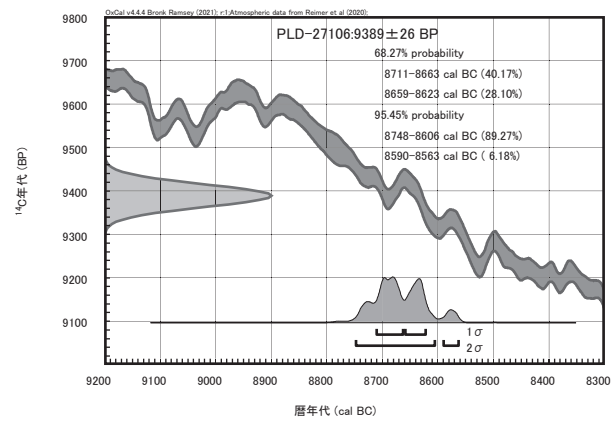
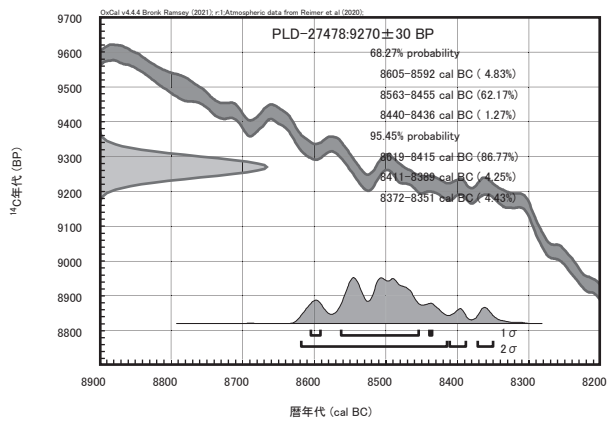
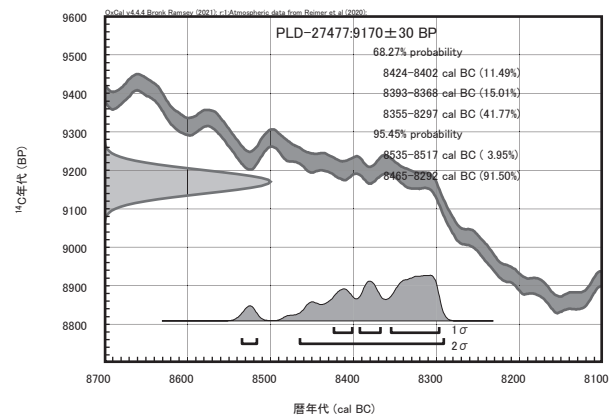
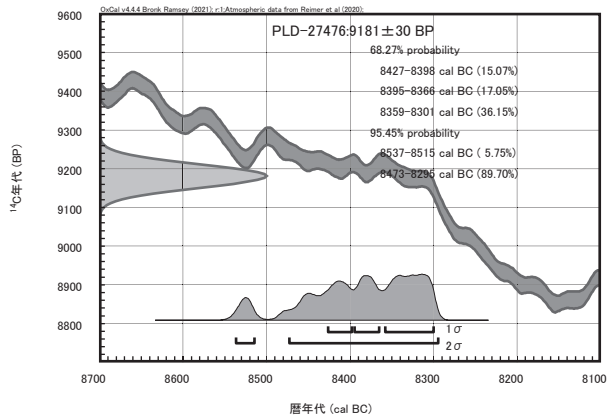
第 260 図 曆年較正結果 (1)



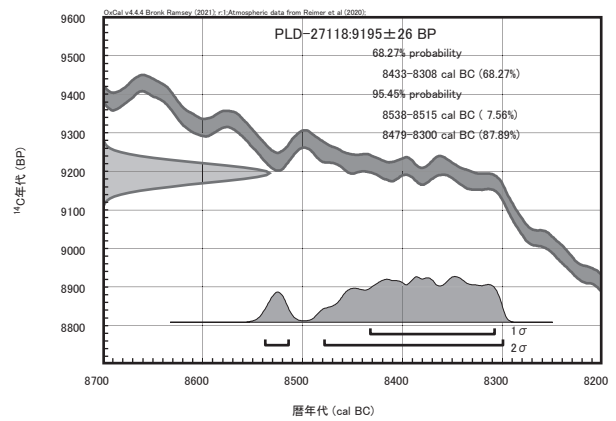
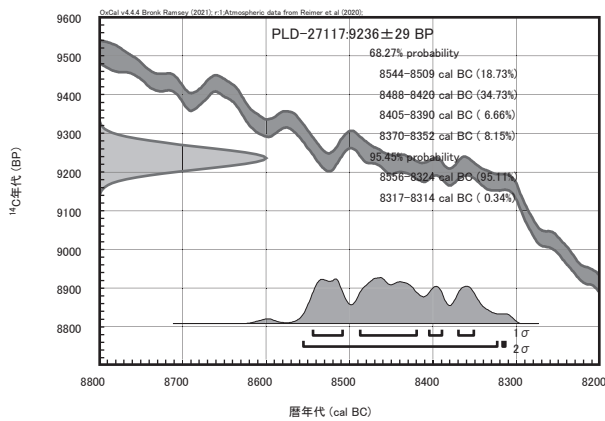
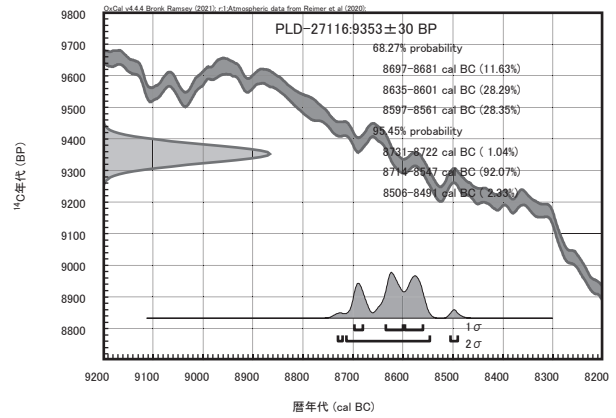
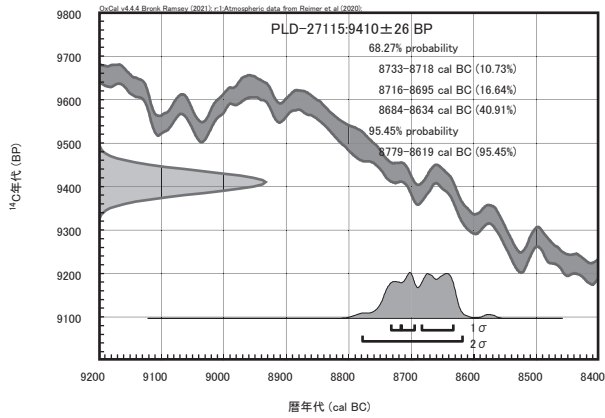
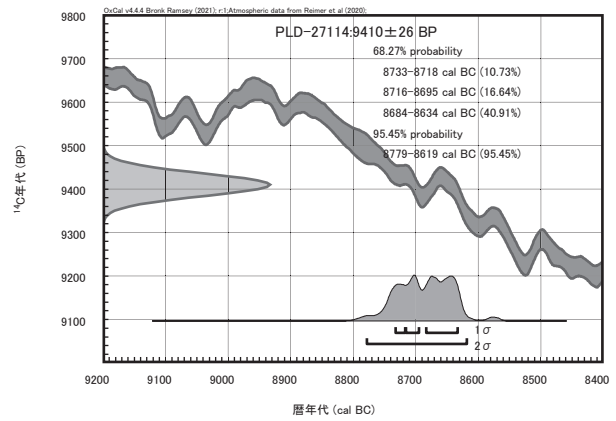
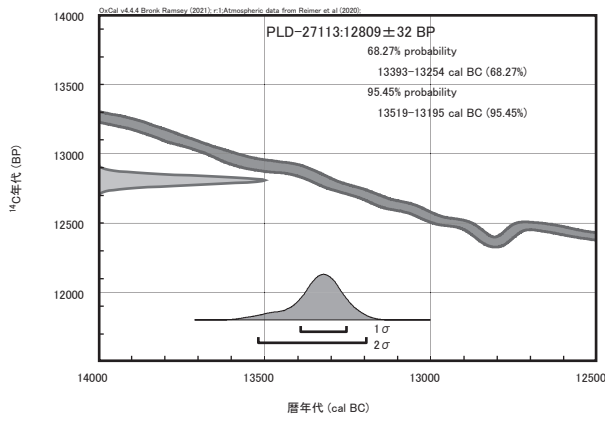
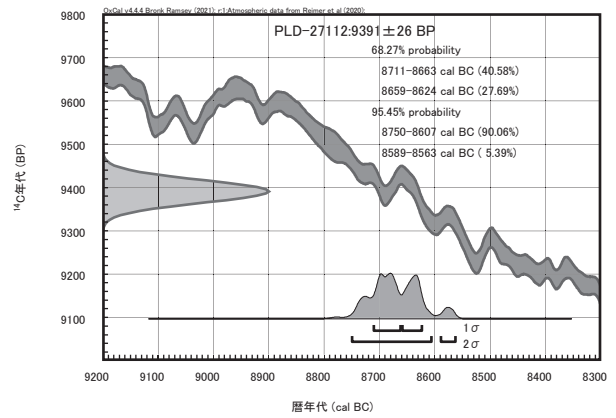
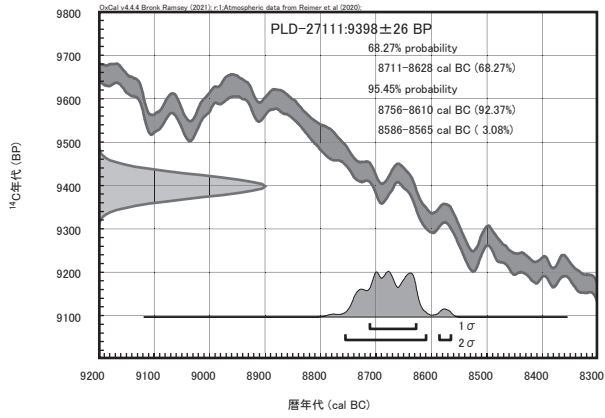
第 261 図 曆年較正結果 (2)



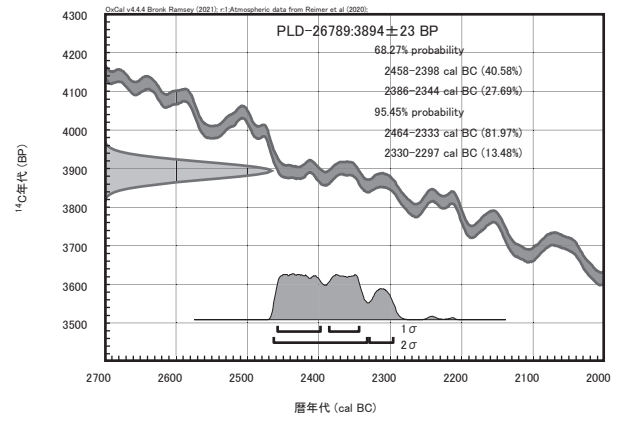
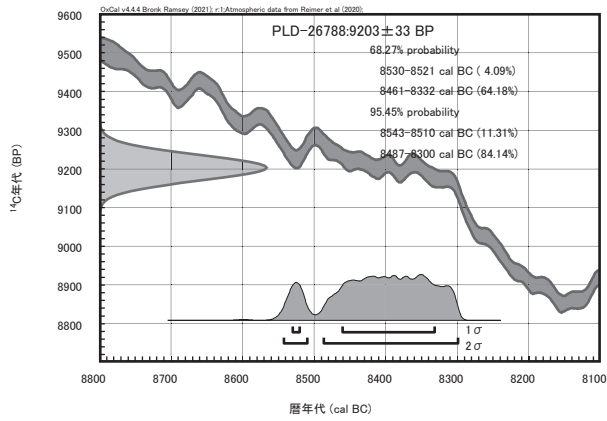
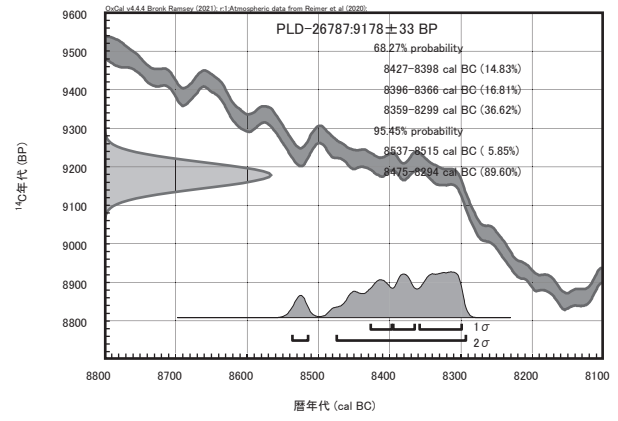
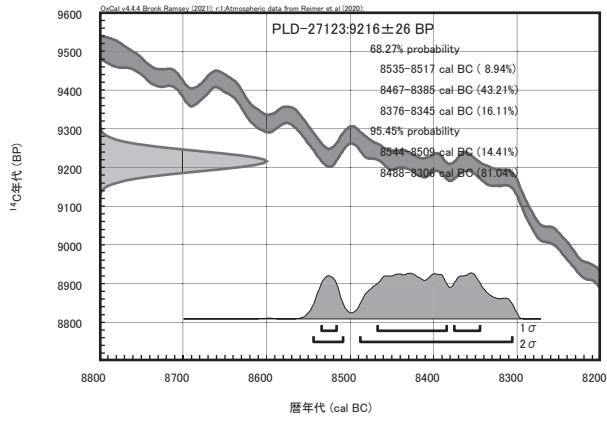
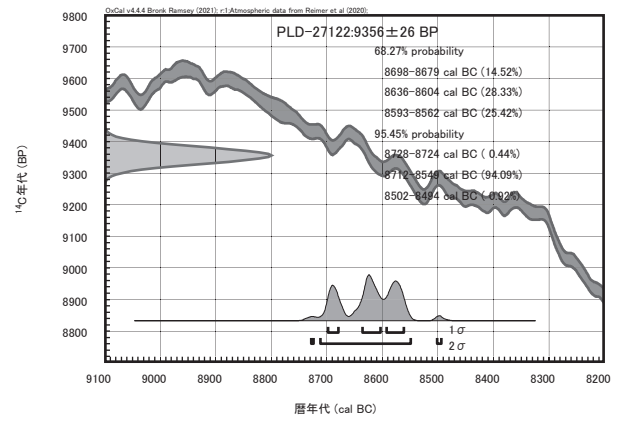
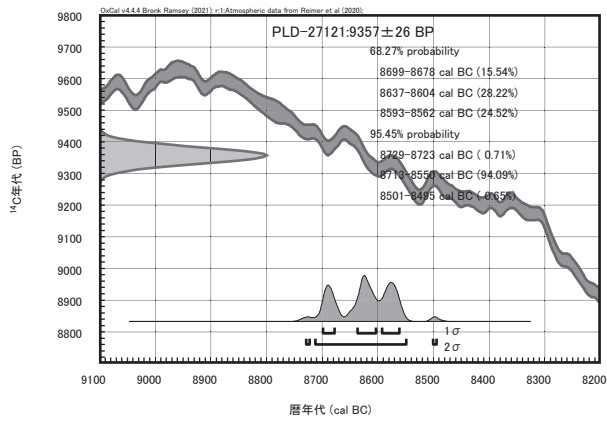
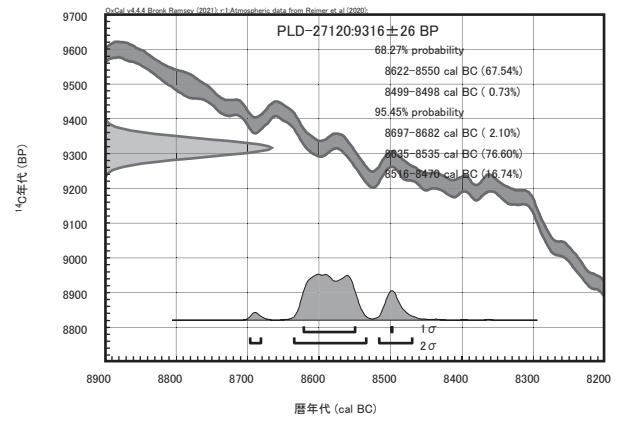
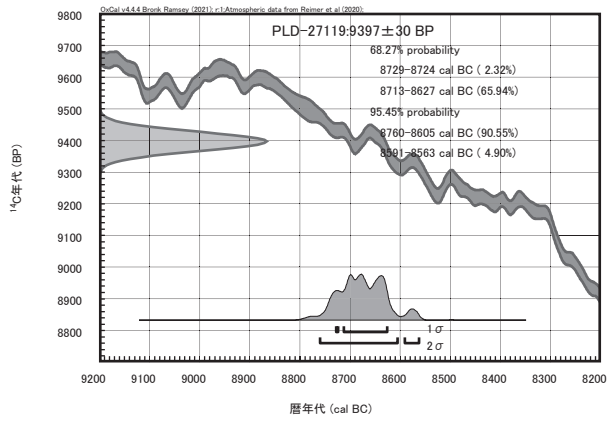
第 262 図 暦年較正結果 (3)



第 263 図 曆年較正結果 (4)



第 264 図 曆年較正結果 (5)



第 265 図 曆年較正結果 (6)

3 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定

1. はじめに

四日市市北山町の丘陵上に立地する中野山遺跡の第4・10・11次調査で出土した炭化材について、樹種同定を行なった。なお、一部の試料について放射性炭素年代測定も行われている（放射性炭素年代測定の項参照）。

2. 試料と方法

試料は、縄文時代早期前半のSF1547から1点、縄文時代早期の煙道付炉穴であるSF1008、SF1018、SF1030から各2点、SF1412、SF1415、SF1419、SF1422、SF1441、SF1471、SF1489、SF1533、SF1537、SF1541、SF1564、SF1594から各1点、集石炉であるSF1010、SF1022から各2点、SF1404、SF1490、SF1544、SF1546、SF1570、SF1584、SF1585から各1点、古代の竪穴建物であるSH1011から2点、中世の墓であるSX1039から2点の、計34点である。

測定可能な試料について、残存半径と残存年輪数の計測を行なった。残存半径は試料に残存する半径を直接計測し、残存年輪数は残存半径内の年輪数を計測した。

炭化材の樹種同定では、まず試料を乾燥させ、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柁目）について、カミソリと手で割断面を作製し、整形して試料台にカーボンテープで固定した。その後イオンスパッタにて金蒸着を施し、走査型電子顕微鏡（日本電子（株）製 JSM - 5900LV）にて検鏡および写真撮影を行なった。

3. 結果

同定の結果、広葉樹のサクラ属とクリ、コナラ属クヌギ節（以下、クヌギ節）、コナラ属コナラ節（以下、コナラ節）の4分類群がみられた。クリが最も多く26点で、クヌギ節が5点、コナラ節が2点、サクラ属が1点であった。同定結果を表6に、一覧を表7に示す。

次に、同定された材の特徴を記載し、第266図に走査型電子顕微鏡写真を示す。

(1) サクラ属（広義） *Prunus* s.l. バラ科 第266図 1a-1c (No.19)

やや小型の道管が、単独あるいは斜め方向に数個複合して分布する散孔材である。道管の穿孔は単一で、道管内にはらせん肥厚がある。放射組織は1～5列幅の異性である。

サクラ属は温帯に生育する落葉または常緑の高木または低木である。サクラ属はさらにサクラ亜属、スモモ亜属、モモ亜属、ウズミザクラ亜属などに分類され、25種がある。木材組織からはモモとバクチノキ以外は識別困難なため、この2種を除いたサクラ属とする。

(2) クリ *Castanea crenata* Siebold. et Zucc.

ブナ科 第266図 2a-2c (No.4)、3a-3c (No.13)、4a (No.10)

年輪のはじめに大型の道管が1～3列並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で単列である。

クリは、北海道の石狩、日高地方以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で耐朽性が高い。

第6表 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果

遺構種類	縄文時代		縄文時代早期														古代	中世	合計							
	時期	草創期前半	煙道付炉穴														竪穴建物	墓								
遺構番号	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S		
サクラ属	1																									
クリ		1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
コナラ属クヌギ節																										
コナラ属コナラ節		1	1																							
合計	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(3) コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科 第266図 5a-5c (No.17)

年輪のはじめに大型の道管が1列並び、晩材部では急に径を減じた、厚壁で丸い道管が接線方向に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと同放射組織がみられる。

コナラ属クヌギ節にはクヌギとアベマキがあり、温帯から暖帯にかけて分布する落葉高木の広葉樹である。材は重硬で切削などの加工はやや困難である。

(4) コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 第266図 6a-6c (No.2)

年輪のはじめに大型の道管が1～2列並び、晩材部では急に径を減じた、薄壁で角張った道管が放射状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと同放射組織がみられる。

コナラ属コナラ節にはコナラやミズナラなどがあり、温帯から暖帯にかけて広く分布する落葉高木の広葉樹である。代表的なミズナラの材は、やや重く強靱で、切削加工はやや難しい。

4. 考察

縄文時代草創期前半のSF1547 煙道付炉穴では、クリが1点みられた。試料は燃料材の残渣である可能性が考えられている。クリは堅硬な樹種であり、燃料材としてみると燃焼性はそれほど高くないが、火持ちが良く長時間燃焼する、という材質をもつ(伊東ほか, 2011)。

縄文時代早期の遺構では、煙道付炉穴ではクリとクヌギ節、コナラ節が、集石炉ではクリとクヌギ節がみられ、クリの産出が多かった。いずれも燃料材の残渣である可能性が考えられている。クヌギ節とコナラ節は、クリと同様に堅硬で、長時間燃焼するという材質をもつ(伊東ほか, 2011)。

同じ頃の遺跡である松阪市の鴻ノ木遺跡では、縄文時代早期の炉跡から出土した炭化材でクリが非常に多く確認されている(伊東・山田, 2012)。三重下では、縄文時代早期頃にはクリを燃料材として選択的に利用していた可能性がある。

中野山遺跡とは時期および地域が異なるが、青森

平野周辺では、縄文時代前期から後期の遺跡で出土した木材の樹種組成の解析から、人間によるクリ林の管理が行なわれていたと想定されている(Noshiro and Suzuki, 2006)。また、関東南部の縄文時代中期頃の集石遺構ではクリが多くみられており(小林, 2010; 野村, 2007)、以上のように、縄文時代前期から後期にかけての東日本では、クリが顕著に利用されていたことが確認されている。

クリは、前述のとおり重硬で強靱かつ長時間燃焼し続ける他に、果実は食用としての利用も可能である。中野山遺跡では、縄文時代草創期の段階からクリが有用材として認識され、利用されていた可能性がある。

古代の竪穴建物から出土した炭化材は、クヌギ節であった。試料は焼けた建築材と考えられる。試料は割れていたが、元は直径2cm程度の丸木材と思われる、小径の材であるため、屋根材などの住居構築材である可能性が考えられる。

中世の墓から出土した炭化材は、サクラ属とクリであった。試料は遺体を茶毘に付した際の、燃料材の残渣であると考えられる。サクラ属はやや硬質で靱性があり、薪炭材としてもクヌギやカシに次いでよいとされる(平井, 1996)。

四日市市に所在する山川遺跡では、古代から中世の火葬墓から出土した炭化材の樹種同定が行われ、9世紀中頃～10世紀中頃の遺構ではコナラ属アカガシ亜属とサクラ属、ユズリハ属、11世紀中頃～12世紀中頃の遺構ではタケ亜科、14世紀前半～15世紀後半の遺構ではマツ属複維管束亜属、15～17世紀の遺構ではタケ亜科とムクノキが確認されている。時期による樹種構成の違いは周辺植生の変化を反映していると考えられるが、樹種を選択利用していた可能性も推測されている(パリノ・サーヴェイ、植田, 2000)。周辺地域との火葬墓および火葬穴の木材利用傾向を検討するには分析点数が少ないが、本遺跡で確認されたサクラ属は時期が異なるが山川遺跡でも使用されており、周辺地域の傾向と一致する可能性がある。

(パレオ・ラボ 小林克也・黒沼保子)

【引用文献】

平井信二（1996）木の大本科。394p, 朝倉書店。

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂（2011）

日本有用樹木誌。238p, 海青社。

伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学。449p, 海青社。

小林克也（2010）武蔵国分寺跡関連遺跡・武蔵台遺跡出土炭化材の樹種同定。東京スポーツ文化事業団編「武蔵国分寺関連遺跡・武蔵台遺跡 第4分冊」：173-177, 東京都埋蔵文化財センター。

野村敏江（2007）山王上遺跡集石出土炭化材の樹種同定。東京都スポーツ文化事業団編「山王上遺跡」：223-224, 東京都埋蔵文化財センター。

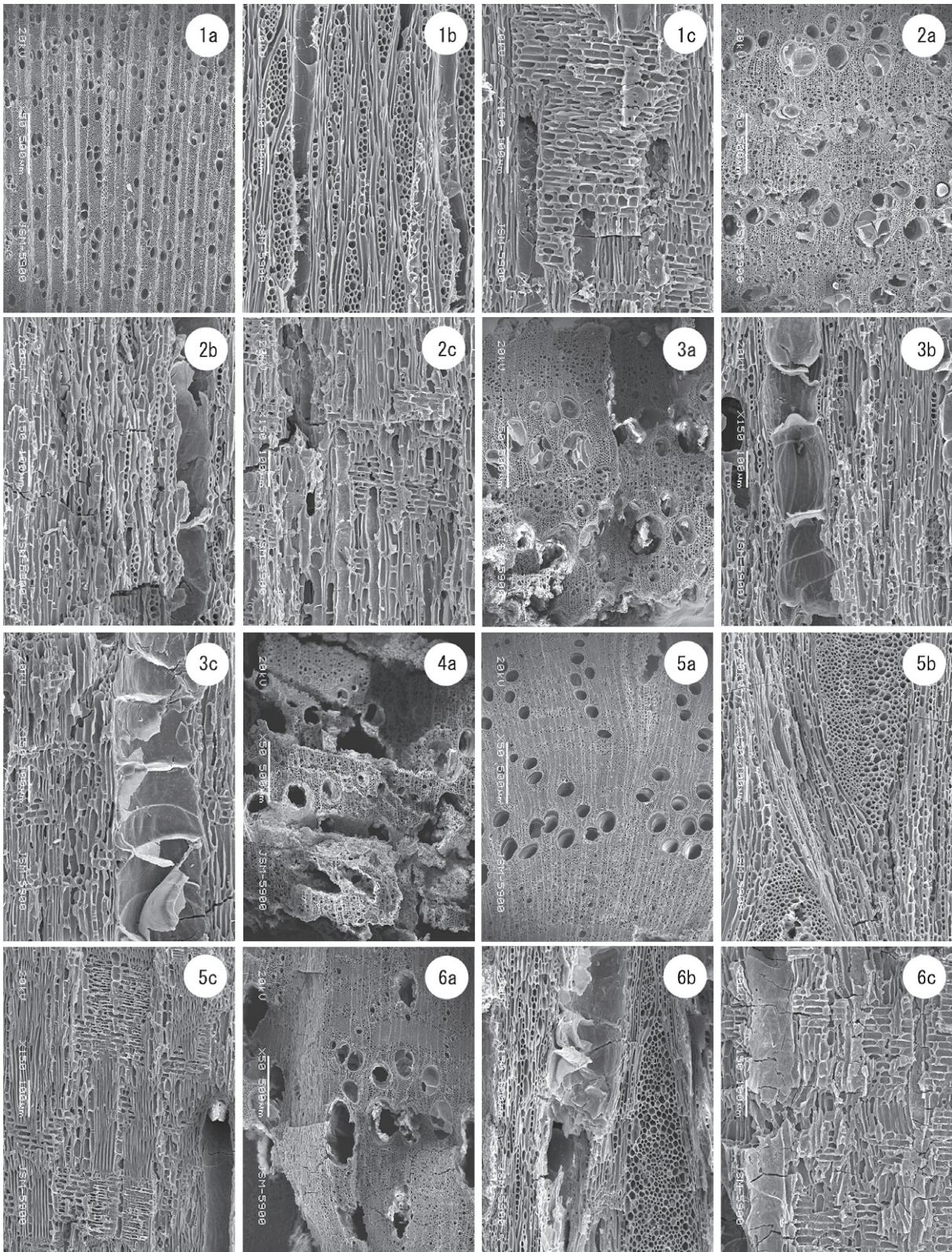
Noshiro, S., Suzuki, M. (2006) Utilization of forest resources in the early Jomon period at and around the Sannai-maruyama site in Aomori Prefecture, northern Japan. 辻誠一郎・能城修一編「植生史研究 特別第2号」：83-100, 日本植生史学会。

バリノ・サーヴェイ株式会社（2000）山川遺跡における自然科学分析調査報告。四日市市教育委員会編「山川遺跡・山川古墳群」：57-64p, 四日市市教育委員会。

植田弥生（2000）山川遺跡第2次出土炭化材の樹種同定。四日市市教育委員会編「山川遺跡・山川古墳群」：67-68p, 四日市市教育委員会。

第7表 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果一覧

試料No.	調査年次	グリッド	出土遺構	層位	遺物No.	種類	樹種	残存半径 (cm)	残存年輪数	時期	年代測定番号
2	第4次	F-U21	SF1008煙道付炉穴	4層	①	炭化材	コナラ属コナラ節	1	3	縄文時代早期	
3	第4次	F-U21	SF1008煙道付炉穴	4層		炭化材	クリ	0.9	10	縄文時代早期	
4	第4次	F-V20	SF1010集石炉	2層	土サンプル	炭化材	クリ	-	4	縄文時代早期	
5	第4次	F-V20	SF1010集石炉	2層	土サンプル	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期	
8	第4次	F-U22	SF1018煙道付炉穴	4層	③	炭化材	コナラ属コナラ節	-	5	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19854
9	第4次	F-U22	SF1018煙道付炉穴	4層		炭化材	クリ	0.3	2	縄文時代早期前葉～中葉	
10	第4次	F-V21	SF1022集石炉	3層	①	炭化材	クリ	-	4	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19855
11	第4次	F-V21	SF1022集石炉	3層		炭化材	クリ	0.6	4	縄文時代早期前葉～中葉	
13	第4次	F-V24	SF1030煙道付炉穴	4層	①	炭化材	クリ	-	5	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19857
14	第4次	F-V24	SF1030煙道付炉穴	4層		炭化材	クリ	0.5	12	縄文時代早期前葉～中葉	
17	第4次	G-W4	SH1011古代堅穴建物	-	⑦	炭化材	コナラ属クスギ節	1	2	古代	
18	第4次	G-W4	SH1011古代堅穴建物	-	7	炭化材	コナラ属クスギ節	1.3	2	古代	
19	第4次	N-C9	SX1039中世墓	-	-	炭化材	サクラ属	-	1	中世	
20	第4次	N-C9	SX1039中世墓	-		炭化材	クリ	-	-	中世	
25	第10次	F-U14	SF1404集石炉	-	31	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27466
27	第10次	F-U19	SF1412煙道付炉穴	-	3	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27468
28	第10次	F-U18	SF1415煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	0.4	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27469
29	第10次	F-W16	SF1419煙道付炉穴	-	13	炭化材	クリ	0.7	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27470
30	第10次	F-W17	SF1422煙道付炉穴	-	25	炭化材	クリ	0.7	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27471
31	第10次	F-A17	SF1441煙道付炉穴	-	28	炭化材	クリ	0.9	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27472
33	第10次	F-Q18	SF1471煙道付炉穴	-	15	炭化材	クリ	0.9	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27474
34	第10次	F-R25	SF1489煙道付炉穴	-	32	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27475
35	第10次	F-R25	SF1490集石炉	-	20	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27476
40	第11次	L-I16	SF1533煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27108
41	第11次	L-K17	SF1537煙道付炉穴	-	1	炭化材	コナラ属クスギ節	0.6	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27109
42	第11次	L-I14	SF1541煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27110
43	第11次	L-G16	SF1544集石炉	-	1	炭化材	クリ	0.3	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27111
44	第11次	L-H18	SF1546集石炉	-	1	炭化材	クリ	0.3	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27112
45	第11次	L-H19	SF1547煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代草創期前半	PLD-27113
47	第11次	L-J21	SF1564煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27115
48	第11次	L-I23	SF1570集石炉	-	1	炭化材	クリ	0.8	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27116
50	第11次	M-A5	SF1584集石炉	-	1	炭化材	コナラ属クスギ節	1.4	6	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27118
51	第11次	M-B4	SF1585集石炉	-	1	炭化材	コナラ属クスギ節	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27119
52	第11次	F-X6	SF1594煙道付炉穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27120



第 266 図 中野山遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

1a-1c. サクラ属 (No. 19)、2a-2c. クリ (No. 4)、3a-3c. クリ (No. 13)、4a. クリ (No. 10)、
5a-5c. コナラ属クスギ節 (No. 17)、6a-6c. コナラ属コナラ節 (No. 2)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

4 土器付着炭化物の炭素・窒素安定同位体分析

1. はじめに

三重県に位置する中野山遺跡より検出された土器片に付着した炭化物の起源物質を推定するために、炭素と窒素の安定同位体比を測定した。また、炭素含有量と窒素含有量を測定して試料の C/N 比を求めた。なお、同一試料で放射性炭素年代測定も行っている（放射性炭素年代測定の項参照）。

2. 試料および方法

試料は、中野山遺跡 SX1109 埋甕の深鉢（報 463）の胴下部内面と胴中部外面に付着していた炭化物 2 点（PLD-21560・21561）である。なお、試料番号として放射性炭素年代測定の測定番号を用いた。測定に先立ち、炭化物試料は、酸・アルカリ・酸洗浄（HCl : 1.2N, NaOH : 0.1N）を施して試料以外の不純物を除去した。

炭素含有量および窒素含有量の測定には、EA（ガス化前処理装置）である Flash EA1112（Thermo Fisher Scientific 社製）を用いた。スタンダードは、アセトニトリル（キシダ化学製）を使用した。

炭素安定同位体比（ $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ ）および窒素安定同位体比（ $\delta^{15}\text{N}_{\text{Air}}$ ）の測定には、質量分析計 DELTA V（Thermo Fisher Scientific 社製）を用いた。スタンダードは、炭素安定同位体比に IAEA Sucrose（ANU）、窒素安定同位体比に IAEA N1 を使用した。

測定は、次の手順で行った。スズコンテナに封入した試料を、超高純度酸素と共に、EA 内の燃焼炉に落とし、スズの酸化熱を利用して高温で試料を燃

焼、ガス化させ、酸化触媒で完全酸化させる。次に還元カラムで窒素酸化物を還元し、水を過塩素酸マグネシウムでトラップ後、分離カラムで CO_2 と N_2 を分離し、TCD でそれぞれ検出・定量を行う。この時の炉および分離カラムの温度は、燃焼炉温度 1000°C 、還元炉温度 680°C 、分離カラム温度 45°C である。分離した CO_2 および N_2 はそのまま He キャリアガスと共にインターフェースを通して質量分析計に導入し、安定同位体比を測定した。

得られた炭素含有量と窒素含有量に基づいて C/N 比を算出した。

3. 結果

第 8 表に、試料名と炭素安定同位体比、窒素安定同位体比、炭素含有量、窒素含有量、C/N 比を示す。第 268 図は炭素安定同位体比と窒素安定同位体比の関係、第 269 図は炭素安定同位体比と C/N 比の関係を示したものである。

第 268 図において、中野山遺跡の埋甕内面付着炭化物（PLD-21560）は C_3 植物・草食動物の位置に、埋甕外面付着炭化物（PLD-21561）は C_3 植物・草食動物より少々 $\delta^{15}\text{N}$ が高い位置にプロットされた。

第 269 図において、中野山遺跡の埋甕内面付着炭化物（PLD-21560）は C_3 植物・草食動物と土壌（黒色土）が重複する位置に、埋甕外面付着炭化物（PLD-21561）は土壌（黒色土）の位置にプロットされた。

4. 考察

中野山遺跡 SX1109 埋甕の深鉢（報 463）の胴下部内面付着炭化物（PLD-21560）は、第 268 図と第 269 図のいずれにおいても C_3 植物・草食動物に相当する位置にプロットされたことから、 C_3 植物や

第 8 表 測定結果

試料番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ (‰)	$\delta^{15}\text{N}_{\text{Air}}$ (‰)	炭素含有量 (%)	窒素含有量 (%)	C/N 比
PLD-21560	中野山遺跡 第5次 SX1109埋甕 F-S1 試料No. 21-1 深鉢(胴下部内面) 土器付着炭化物	-23.8	1.82	47.2	2.91	18.9
PLD-21561	中野山遺跡 第5次 SX1109埋甕 F-S1 試料No. 21-2 深鉢(胴中部外面) 土器付着炭化物	-25.8	10.2	51.5	2.71	22.2

草食動物に由来すると推定される。同じ埋甕の胴中部外面付着炭化物 (PLD-21561) は、低い $\delta^{13}\text{C}$ から陸産物と考えられ、かつ炭素窒素比がやや高いため、主に C_3 植物に由来すると推定される。 C_3 植物や草食動物の調理に使用された深鉢が転用され、SX1109 に埋設されたと解釈できる。

(パレオ・ラボ 山形秀樹・中村賢太郎)

【参考文献】

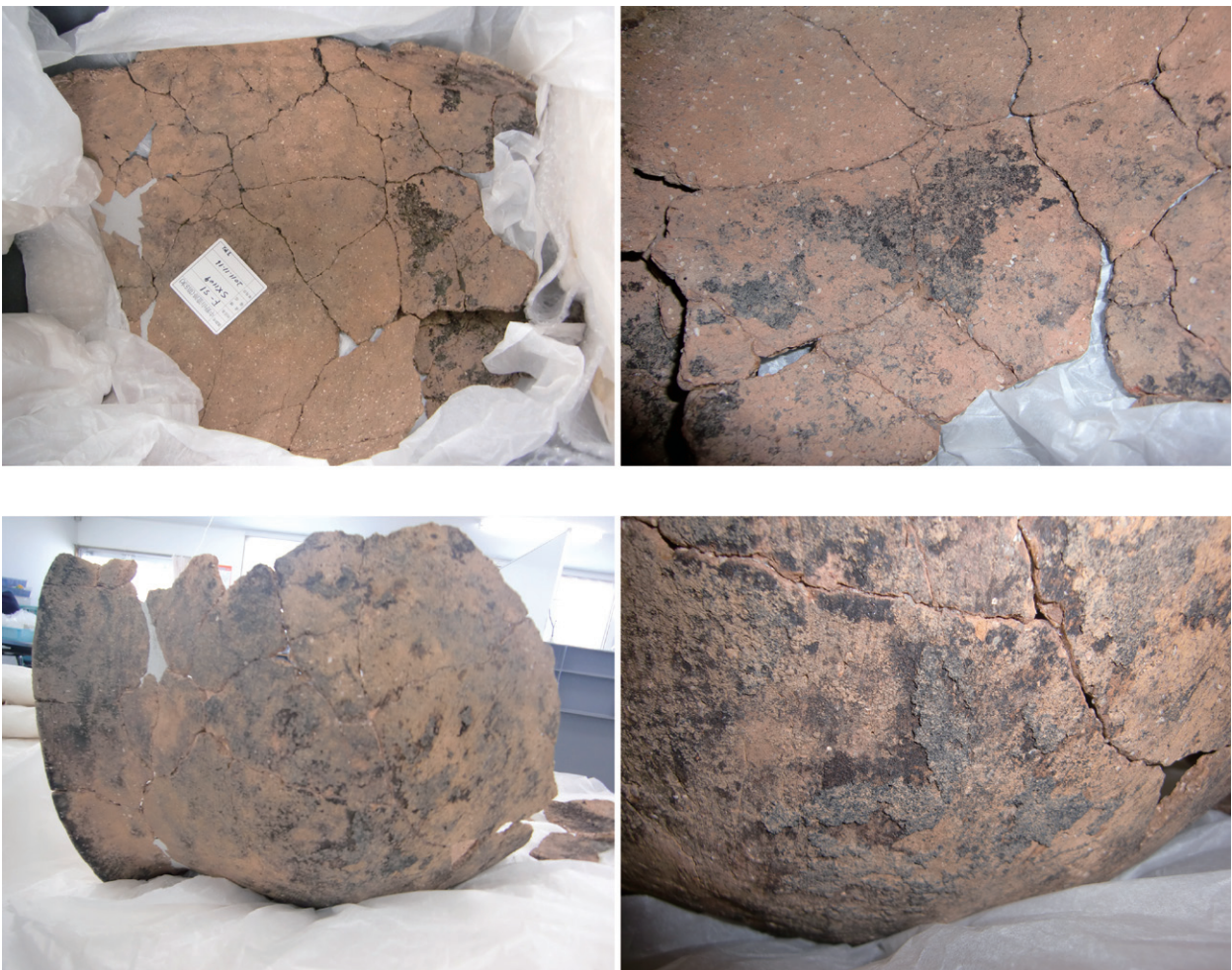
赤澤 威・南川雅男 (1989) 炭素・窒素同位体比に基づく古代人の食生活の復元. 田中 琢・佐原 眞編「新しい研究法は考古学になにをもたらしたか」: 132-143, クバプロ.
坂本 稔 (2007) 安定同位体比に基づく土器付着物の分析. 国立歴史民俗博物館研究報告, 137, 305-315.
Yoneda, M., M. Hirota, M. Uchida, A. Tanaka, Y. Shibata, M.

Morita, and T. Akazawa (2002) Radiocarbon and stable isotope analyses on the Earliest Jomon skeletons from the Tochibara rockshelter, Nagano, Japan. Radiocarbon 44 (2), 549-557.

米田 穰 (2008) 丸根遺跡出土土器付着炭化物の同位体分析. 豊田市郷土資料館編「丸根遺跡・丸根城跡」: 261-263, 豊田市教育委員会.

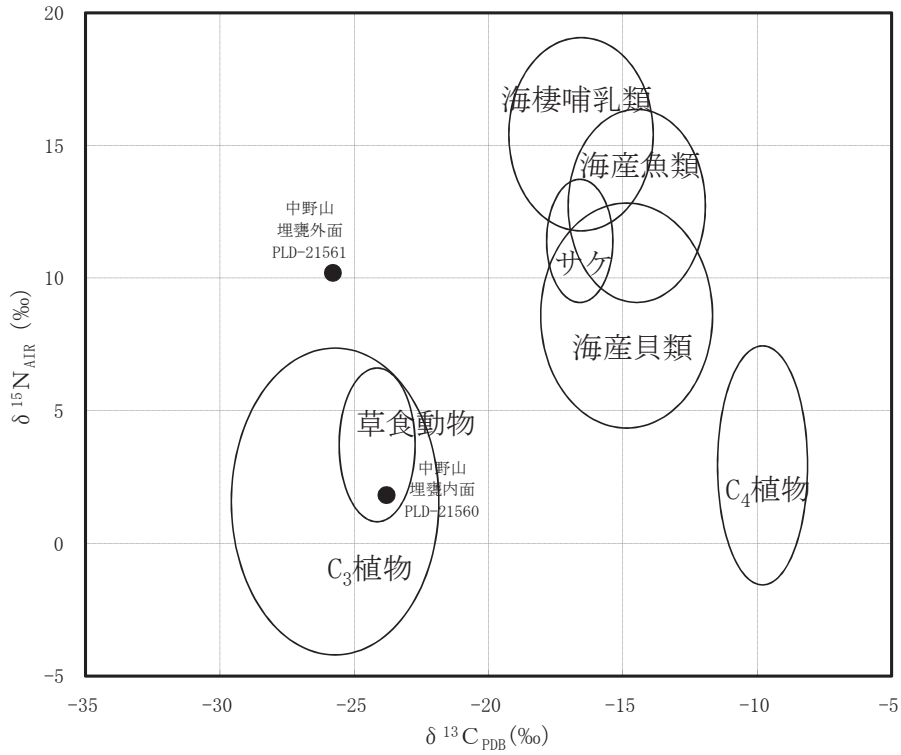
吉田邦夫・宮崎ゆみ子 (2007) 煮炊きして出来た炭化物の同位体分析による土器付着炭化物の由来についての研究. 平成 16-18 年度科学研究補助金基礎研究 B (課題番号 16300290) 研究報告書 研究代表者西田泰民「日本における稲作以前の主食植物の研究」, 85-95.

吉田邦夫・西田泰民 (2009) 考古科学が探る火炎土器. 新潟県立歴史博物館編「火炎土器の国 新潟」: 87-99, 新潟日報事業社.

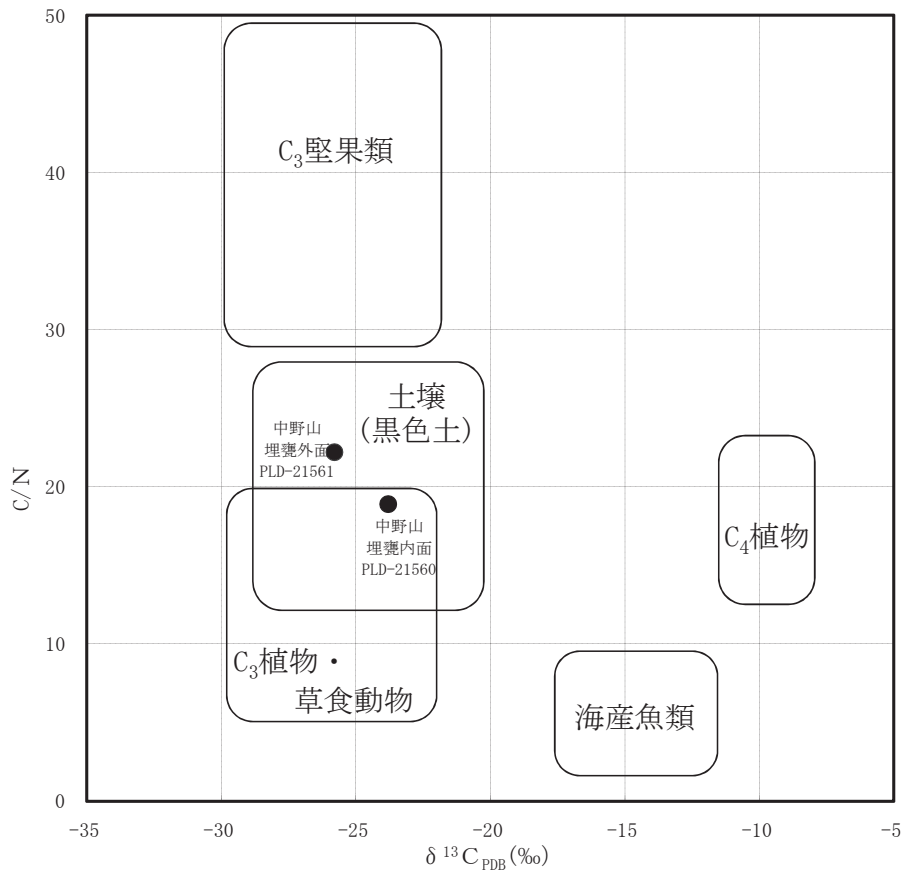


第 267 図 中野山遺跡 (第 5 次) の試料

上段: 出土埋甕内面付着炭化物 下段: 出土埋甕外面付着炭化物



第 268 図 炭素・窒素安定同位体比 (吉田・西田 (2009) に基づいて作製)



第 269 図 炭素安定同位体比と C / N 比の関係 (吉田・西田 (2009) に基づいて作製)

5 出土石器の残存デンプン粒分析

中野山遺跡第4次（縄文時代早期）、第5次（縄文時代中期後半）、第9次（縄文時代早期～中期）の調査で出土した石器に対して残存デンプン粒分析を実施した。その分析結果にもとづいて、本稿では、これらの石器で植物加工が行われた可能性を検討するとともに、検出された残存デンプン粒の形態学的特徴から石器の加工対象物について考察した。

第1節 調査対象とした石器

(1) 分析の対象とした石器

調査対象の石器は、第4次調査の出土資料が石皿13点、磨石3点、敲石4点、礫1点、第5次調査の出土資料が石皿1点、凹石1点、礫2点、第9次調査の出土資料が石皿1点の合計26点である（第9～11表）。いずれも発掘調査で出土した後に水洗され、三重県埋蔵文化財センターで保管されている。

試料採取時に行った観察では、石器の面の中央部を利用して対象物を磨る・敲くという使用状況が推定された。ただし、植物のような軟質物を磨った時に生じる光沢痕は、肉眼での観察では確認することができなかった。

(2) 分析方法

試料採取 本分析では、2012年2月と2013年2月の2度にわたって、三重県埋蔵文化財センター四日市整理所で資料観察と分析試料を採取した。資料の採取時は異物の混入を避けるため、白衣の着用や資料ごとの手洗い等、採取条件に留意した。

石器から分析試料を採取する際は Fullagar (2006) の方法を参照し、敲打痕と磨面の確認された部位を主に選択するとともに、使用痕の外側の面、確認されなかった部位の試料も採取し、残存デンプン粒の有無と検出量を検討した。マイクロピペットにチップをはめて精製水（シグマ社製）を吸入し、採取する対象に注入、洗浄しながら試料が16 μ l以上（複数枚のプレパラートを作製する必要量）になるまで吸引した。1資料につき試料を4～6箇所、石器の表面の凹所から採取した。この方法は、後期旧石器時代や縄文時代の石器に対する他の分析事例（渋谷2010a, 2011, 2012）でも採用している。

プレパラート作製と顕微鏡観察 プレパラートの作製と顕微鏡観察は、2012年採取分を広島大学総合博物館事務室、2013年採取分を国立歴史民俗博物館の第1室準備室で行った。

採取した試料はすべて、現生デンプン粒標本の作製（渋谷綾子2006, 2010b）と同じ方法でプレパラートを作製し、試料を遠心後（13,000rpm・1分）、8 μ lをグリセロール・ゼラチン（シグマ社製、屈折率1.46-1.48）8 μ lで封入し、1試料につき2～3枚作製した。試料を入れないブランクスライドも毎回作製し、スライドガラスやカバーガラス、スライド封入剤における汚染の有無を確認した。

次に光学顕微鏡（Olympus BX53-33Z、簡易偏光装置付）を用いて、接眼レンズを10倍、対物レンズを10～40倍、総合倍率100～400倍の視野条件で観察した。デンプン粒の外形や偏光十字の形状などの特徴を記録する際は400倍で観察し、写真記録を行った。

顕微鏡観察の際は、検出したデンプン粒の形態に対して現生植物を用いたデンプン粒標本の形態分類法（渋谷2010b）をふまえ、A：円形・いびつな円形・楕円形、B：半円形・三角形・四角形、C：多角形の3つのカテゴリーに分類し、大きさは最大粒径を計測してI：10 μ m未満、II：10～20 μ m、III：20 μ mより大、の3つのサイズクラスに分け、合わせて9つのタイプに分類した。分解・損傷して原形の識別が難しい残存デンプン粒はこれらとは別に、「D：分解・損傷」とした。残存デンプン粒を確認した場合は、これらの項目で形態分類を行うとともに、デンプン粒の外形や粒芯、層紋（半結晶ラメラ構造）、形成核（粒芯の中央部で偏光十字が交差する箇所、ヘソ hilum）の位置、偏光十字の形状も記録した。この作業を資料ごとに行い、残存デンプン粒の形態分類図を作製した。

第2節 分析結果

(1) 残存デンプン粒の検出状況

分析した石器26点のうち、石皿2・4・9・12・15、敲石1・3・4より合計17この残存デンプン粒が検出された。石皿12、敲石1・4の分解デンプン粒をのぞき、ほかはすべて形態や偏光十字の形状を識別することができた（第12表）。デンプン粒の検

出状態は単独粒（1粒単独の状態）、複数粒（複数の粒が密集した状態、第270図：1）であり、植物繊維や細胞組織の微細な断片も試料に含まれていた。

検出された残存デンプン粒の形態については、石皿2：AII・AIII、石皿4：AIII、石皿9：AIII、石皿15：AIII、敲石1：AII・AIII、敲石3：AIIが確認できた（第12表）。第271図では、これらの形態が明確に識別可能なデンプン粒を図示した。

石器の磨面や敲打痕のある範囲から検出された残存デンプン粒は、石器で加工された植物の痕跡である可能性が高い。しかし第11表に見られるように、石皿15の残存デンプン粒（第270図：5）は磨面の確認されない部位（IS4）から検出された。そのため、このデンプン粒は植物加工に伴うものとコンタミネーションの可能性という2通りの解釈が提示できる。他の石器の残存デンプン粒は、すべて磨面や敲打痕からの検出であり、使用痕の確認されない部位からは検出されなかった。磨面・敲打痕との関係性が推定され、これらのデンプン粒は加工対象物の残滓である可能性が考えられる。

（2）石器の残存デンプン粒の由来する植物

以上の検出結果を受けて、石皿2・4・9・15、敲石1・3の形態と現生標本を比較し（第271図）、残存デンプン粒の由来する植物を検討する。

今回検出された残存デンプン粒のうち、石皿9のAIIIのデンプン粒（第270図：3）はアミロプラストと呼ばれる細胞内構造体に包含された状態で確認された。このような状態のデンプン粒は鱗茎・根茎類に由来する可能性がある。円形で短径21.19 μm ・長径23.82 μm 、卍形の偏光十字という特徴から、ユリ科鱗茎が由来する植物の候補として挙げられる。同じSF1022から出土した石皿4のAIIIのデンプン粒も外形や粒径、偏光十字の形状から石皿9のデンプン粒と同じ植物種に由来する可能性が高い。ただし、ユリ科のどの属・種に該当するのかについては現生標本自体をさらに検討する必要があり、今後の課題としたい。

石皿15の残存デンプン粒（第270図：4）は、短径35.88 μm ・長径36.43 μm の楕円形、形成核が粒子の端部にあり、縦十字をなす偏光十字という特徴から、カタクリ *Erythronium japonicum* Decne. のデ

ンプン粒と非常に類似している。由来する植物の候補としてこの植物が挙げられる。

石皿2のデンプン粒2個（第270図：1）、敲石1のAIIのデンプン粒（第270図：7）、敲石3のデンプン粒（第270図：8）はいずれも楕円形で、粒径ならびに十字の暗線が粒子の中央で斜めに交差する偏光十字の特徴とあわせると、コナラ属 *Quercus* sp. のデンプン粒である可能性が高い。

敲石1のAIIIのデンプン粒3個（うち1個は第270図：6）については、粒径と粒子の中央で縦に交差する偏光十字の特徴から、コナラ属のデンプン粒に見られる形態学的特徴と一致せず、むしろユリ科鱗茎に由来する可能性が考えられる。そのため、敲石1については、コナラ属とユリ科鱗茎に由来する可能性のある残存デンプン粒が付着していたことになる。

以上をまとめると、検出された残存デンプン粒の由来する植物の種類は、石皿2：コナラ属、石皿4：ユリ科鱗茎、石皿9：ユリ科鱗茎、石皿15：カタクリ、敲石1：コナラ属・ユリ科鱗茎、敲石3：コナラ属、が考えられる。

先述したように、石皿15のデンプン粒は磨面の確認されない部位から検出されたため、植物加工に伴うもの、あるいは遺跡土壤などによる混入という2通りの可能性がある。石器が使用された当時の当該地域の古植生に対する詳細な復元結果や他の石器類に対する残存デンプン粒分析の結果とあわせて検証する必要がある。

分解デンプン粒については、粒子の膨潤が起きて偏光十字の幅が拡張された状態の石皿12の分解デンプン粒（第270図：4）、粒子の膨潤と偏光十字の幅の拡張が見られる敲石1の分解デンプン粒、外縁の損傷が起きた状態の敲石4の分解デンプン粒（第270図：9）という特徴がある。これらの石器には被熱の痕跡が明確には認められなかったため、石器の被熱に伴った糊化・糖化が生じたとは考え難い。

デンプン粒の残留条件を考えると、このデンプン粒は石皿での磨り潰し作業の際に植物のセルロースごと部分的に損壊され、土壌での埋没中にその壊れた部位から酵素反応が進んで原形の識別ができなくなったこと、一方の無傷のデンプン粒はセルロース

に、いわば守られる形で損傷を受けずに石器に残留したこと、つまり、デンプン粒が損壊した植物とそうでない植物の両方が石器で加工されたという仮説を提示することができる。

この仮説と関連して、考古資料の分析結果と実験用石皿で磨り潰した植物のデンプン粒を比較検討した報告 (Liu et al. 2013) がある。Liu らの実験結果によると、加工作業時にデンプン粒が損壊する植物種と、損壊せずに無傷のままの植物種が存在するという。

この結果を参照すると、特に敲石 1 については(1) コナラ属・ユリ科鱗茎のみの加工、(2) コナラ属、ユリ科鱗茎、他の植物の加工 (ただし他の植物のデンプン粒は損傷した)、という 2 通りの解釈が考えられる。つまり、敲石 1 の敲打痕から検出された分解デンプン粒は加工作業中にデンプン粒が損傷した植物に由来する可能性がある。

石皿 12 と敲石 4 の分解デンプン粒についても、石器での加工作業中にデンプン粒が損傷した植物に由来すると考えられる。どちらの石器からも 1 個のみの検出量であり、コンタミネーションの可能性もある。同じ遺構から出土した他の石器ではどうか、さらに検討する必要がある。

(3) まとめ

今回分析した中野山遺跡第 4 次・第 5 次・第 9 次調査で出土した石器について、石皿 2・4・9・12・15、敲石 1・3・4 を検出することに成功し、これらがコナラ属や鱗茎類などに由来する可能性を提示した。採取した試料中の植物性物質の含有量からは、検出された残存デンプン粒が石皿の加工対象物の残滓である可能性を考えることができる。ただし、同じ遺構から出土した他の石器、同じ土層中から出土した石皿類において残存デンプン粒が見られないかを検討する必要がある。

今後、中野山遺跡を含む遺跡周辺の古環境が詳細に復元され、遺跡での植物利用や石器の用途の検討がさまざまな角度から行われれば、残存デンプン粒の候補となる植物の範囲がより狭められ植物種の同定が可能となる。本分析の結果を含めて学際的な視点から研究していくことが必要である。

(渋谷綾子)

【引用文献】

Fullagar, R. 2006 「Starch on artifacts」『Ancient starch research』 (Torrence R.・Barton H.)、pp.177-203 Left Coast Press, INC., Walnut Creek.

Liu, L., Bestel, S., Shi, J., Song, Y., Chen, X. 2013 「Paleolithic human exploitation of plant foods during the last glacial maximum in North China」『Proceedings of the National Academy of Science (PNAS)』, pp.1-6

渋谷綾子 2006 「日本の現存植物を用いた参照デンプン標本」『新潟県立歴史博物館研究紀要』7, 7-16 頁

渋谷綾子 2010a 「高山寺貝塚、溝ノ口、市脇、下芳養、丁の町・妙寺遺跡から出土した縄文時代石器の残存デンプン粒分析」『和歌山市立博物館研究紀要』25, 105-117 頁

渋谷綾子 2010b 「日本列島における現生デンプン粒標本と日本考古学研究への応用—残存デンプン粒の形態分類をめざして」『植生史研究』18 (1), 13-27 頁

渋谷綾子 2011 「飛田給北遺跡から出土した石器の残存デンプン粒分析」(比田井民子・田中純男・杉原重夫・渋谷綾子・上條朝宏・武笠多恵子『調布市飛田給北遺跡 第 9 地点』、多摩市)、192-203 頁

渋谷綾子 2012 「鹿児島県水迫遺跡出土石器の残存デンプン粒と縄文時代草創期・早期における植物利用」『植生史研究』21 (2), 55-66 頁

第9表 第4次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

(IS：第1次試料，使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿1	NNY-SRP6	F-V20	SF1010	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿2	NNY-SRP7	F-U25	SH1009	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	2
石皿3	NNY-SRP9	F-V25	SH1025	IS1	無	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
石皿4	NNY-SRP14	F-V21	SF1022	IS1	磨面	1	
					IS2	磨面	0
					IS3	磨面	0
					IS4	磨面	0
石皿5	NNY-SRP15	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿6	NNY-SRP16	F-V25	SH1025	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
石皿7	NNY-SRP19	F-T22	SF1019	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
石皿8	NNY-SRP22	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
石皿9	NNY-SRP24	F-W21	SF1022	IS1	磨面	1	
					IS2	無	0
石皿10	NNY-SRP25	G-V3	SH1026	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
石皿11	NNY-SRP26	F-V21	SF1015	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
石皿12	NNY-SRP27	F-U25	SH1009	IS1	磨面	1	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
石皿13	NNY-SRP29	F-U25	SH1009	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
磨石1	NNY-SRP21	F-V21	SF1022	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
磨石2	NNY-SRP23	F-W21	SF1024	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
磨石3	NNY-SRP30	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
敲石1	NNY-SRP8	F-V25	SH1025	IS1	敲打痕	3	
					IS2	敲打痕	6
					IS3	敲打痕	0
敲石2	NNY-SRP17	F-V24	SF1030	IS1	敲打痕	0	
					IS2	磨面	0
敲石3	NNY-SRP20	F-V21	SF1008	IS1	敲打痕	1	
					IS2	無	0
敲石4	NNY-SRP28	G-U1	SH1013	IS1	敲打痕	1	
					IS2	無	0
礫1	NNY-SRP18	F-V21	SF1022	IS1	無	0	
					IS2	敲打痕	0

第10表 第5次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

(IS：第1次試料，使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿14	NNY-SRP12	北区	SF1116	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
凹石1	NNY-SRP13	西側Pit 1	SH1104	IS1	敲打痕	0	
					IS2	敲打痕	0
礫2	NNY-SRP10	E-V23	SF1110	IS1	無	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
礫3	NNY-SRP11	E-V23	SF1110	IS1	無	0	
					IS3	無	0

第11表 第9次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

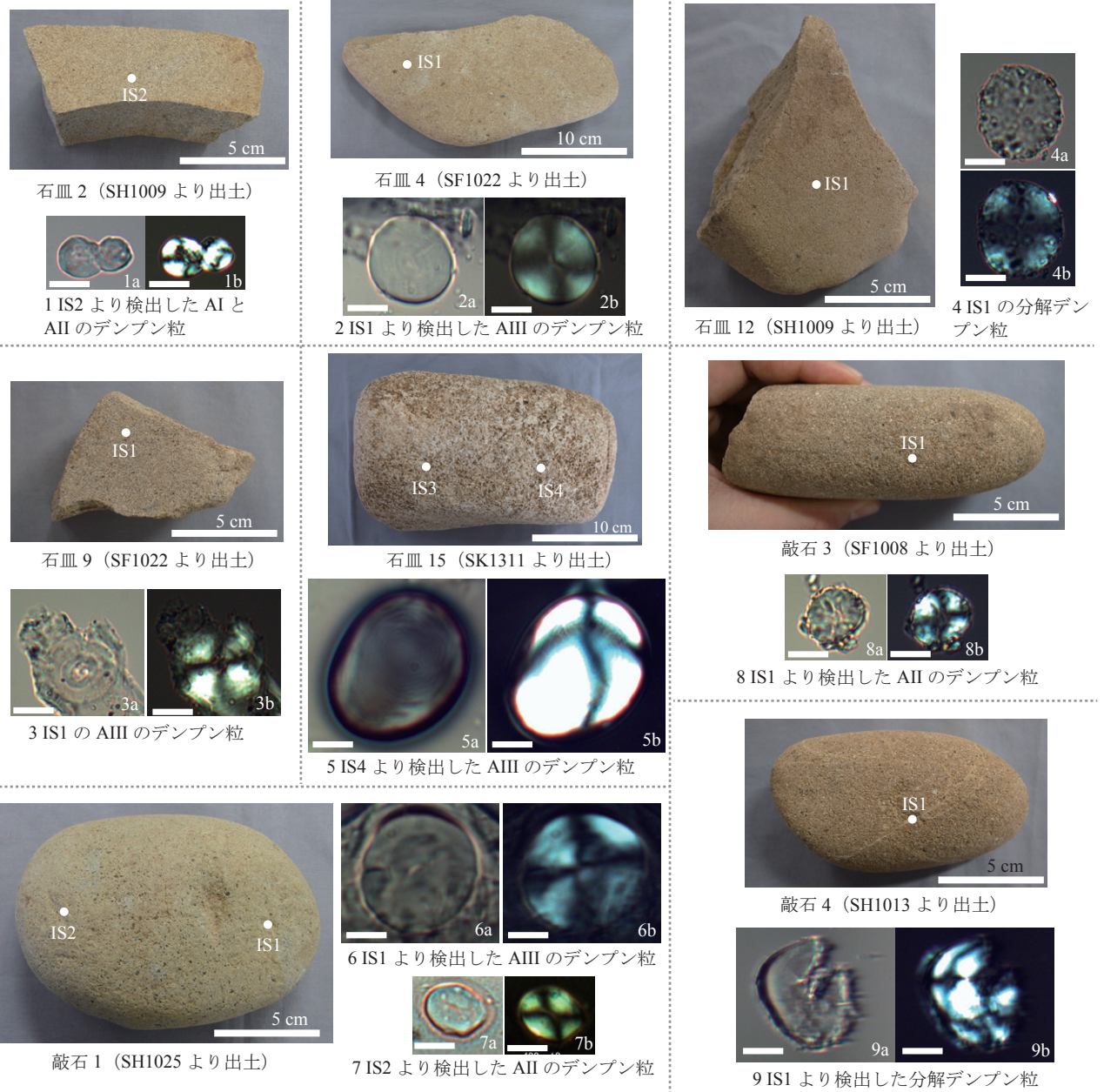
(IS：第1次試料，使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿15	NNY-SRP31	K-T13	SK1311	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
					IS4	無	1

第 12 表 石器から検出した残存デンプン粒（単位：個）

分析した 石器	円形主体			半円・三角・ 四角形			多角形			D	計
	AI	AII	AIII	BI	BII	BIII	CI	CII	CIII		
石皿1											0
石皿2	1	1									2
石皿3											0
石皿4				1							1
石皿5											0
石皿6											0
石皿7											0
石皿8											0
石皿9				1							1
石皿10											0
石皿11											0
石皿12									1		1
石皿13											0
石皿14											0
石皿15				1							1
磨石1											0
磨石2											0
磨石3											0
敲石1		3	3							3	9
敲石2											0
敲石3		1									1
敲石4									1		1
凹石1											0
礫1											0
礫2											0
礫3											0
計	1	5	6	0	0	0	0	0	0	5	17

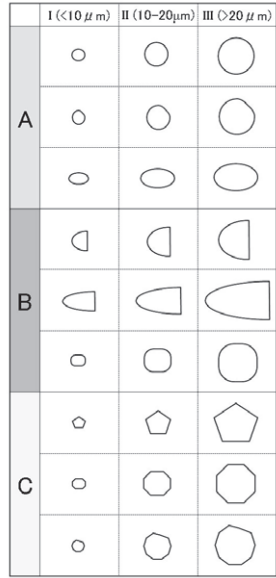
※A：円形・いびつな円形・楕円形，B：半円形・三角形・四角形，C：多角形，D：分解して原形の識別が困難なもの。I：10μm未満，II：10～20μm，III：20μm以上



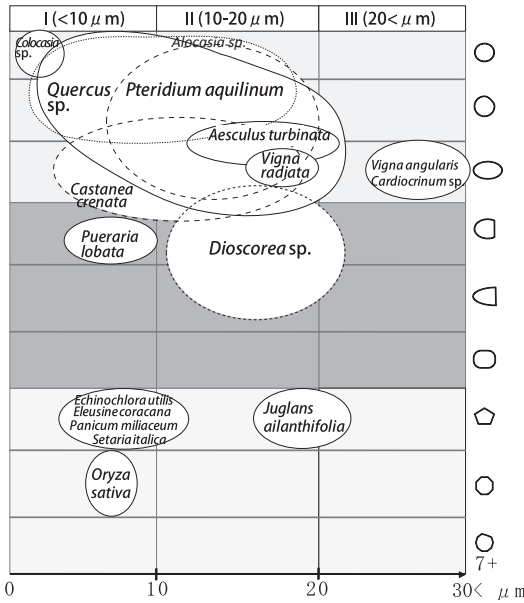
第 270 図 分析した中野山遺跡出土石器の例と検出された残存デンプン粒

白丸は試料採取箇所，IS：第 1 次試料，残存デンプン粒写真のスケールバーは 10µm を示す。デンプン粒の写真はすべて 400 倍；a：開放ニコル，b：直交ニコルで撮影。

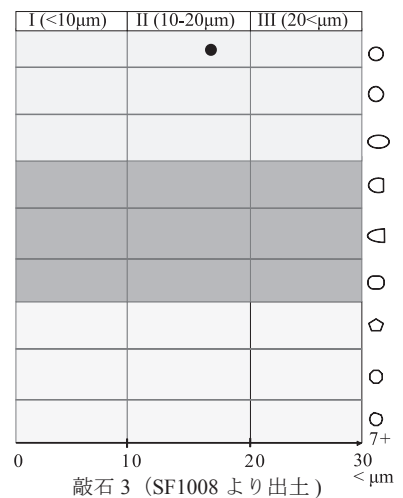
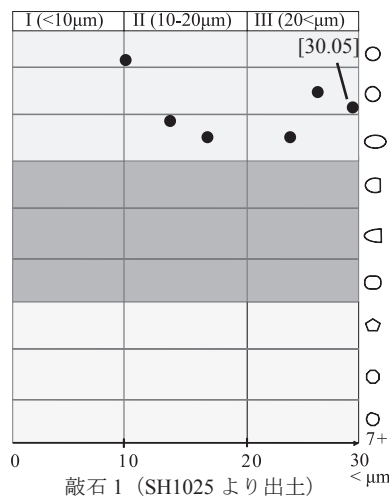
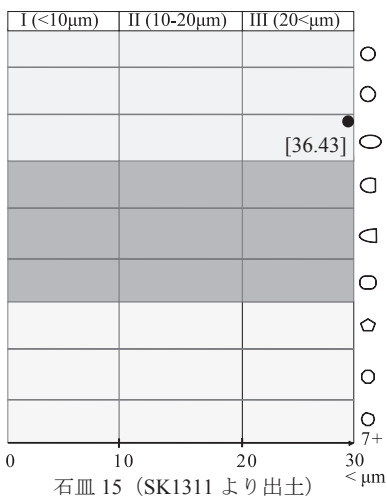
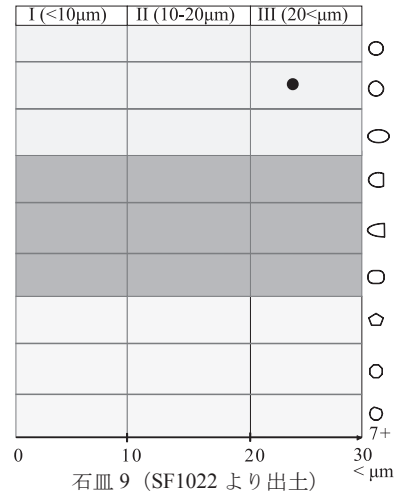
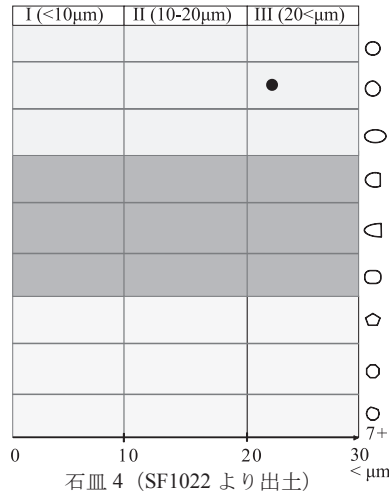
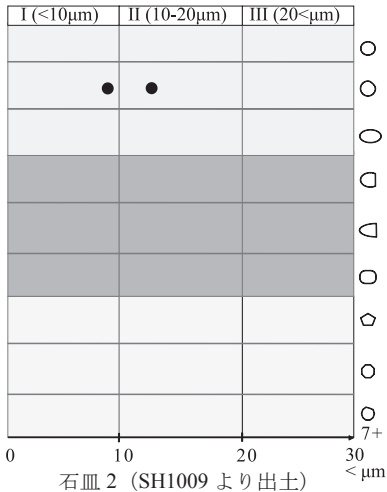
デンブンプンの形態分類の基準



現生標本 17 属の形態分類図



A : 円形
 B : 半円形・三角形・四角形
 C : 多角形
 I : <10 μm
 II : 10-20 μm
 III : 20< μm



第 271 図 デンブンプンの形態分類の基準と現生標本 17 属の形態分類図（渋谷 2010b をもとに作製），および分析した石器から検出した残存デンブンプンの形態分類図。

黒丸は形態が識別可能なデンブンプン粒（分解／損傷デンブンプン粒を除く）の形態と最大粒径を示す。

6 中野山遺跡（第8・10～12次） 出土滓の分析調査

1. いきさつ

中野山遺跡は三重県四日市市北山町に所在する。東海環状自動車道部分の第3・6・7次調査、新名神高速道路部分の第4・5・8～12次調査地区からは奈良～飛鳥時代の鍛冶滓（一部青銅製品製作の影響が残る滓を含む）が確認されている。調査地区内の鍛冶関連遺構は未確認であるが、同時期の滓が複数出土したため、各地区での作業内容を比較検討する目的から、調査を実施する運びとなった。

2. 調査方法

2-1. 供試材

第13表に示す。出土滓6点の調査を行った。

2-2. 調査項目

(1) 肉眼観察

分析調査を実施する遺物の外観の特徴など、調査前の観察所見を記載した。

(2) マクロ組織

本来は肉眼またはルーペで観察した組織であるが、本稿では顕微鏡埋込み試料の断面を、低倍率で撮影したものを指す。当調査は顕微鏡検査よりも、広範囲で組織の分布状態、形状、大きさなどが観察できる利点がある。

(3) 顕微鏡組織

銚滓の銚物組成や金属部の組織観察、非金属介在物の調査などを目的とする。

試料観察面を設定・切り出し後、試験片は樹脂に埋込み、エメリー研磨紙の#150、#240、#320、#600、#1000、及びダイヤモンド粒子の3 μ mと1 μ mで鏡面研磨した。また観察には金属反射顕微鏡を用い、特徴的・代表的な視野を選択して写真撮影を行った。

(4) ビッカース断面硬度

ビッカース断面硬度計（Vickers Hardness Tester）を用いて硬さの測定を行い、文献硬度値に照らして、銚滓中の晶出物の判定を行った。また金属鉄の硬さ測定も同様に実施した。

試験は鏡面研磨した試料に136°の頂角をもったダイヤモンドを押し込み、その時に生じた窪みの面積をもって、その荷重を除いた商を硬度値としている。試料は顕微鏡用を併用し、荷重は50gfで測定した。

(5) EPMA（Electron Probe Micro Analyzer）調査

日本電子（株）製（JXA-8800RL 波長分散型5チャンネル）にて含有元素の定性・定量分析を実施した。定量分析は試料電流 2.0×10^{-8} アンペア、ビーム径3 μ m、補正法はZAFに従った。

試料面（顕微鏡試料併用）に真空中で電子線を照射し、発生する特性X線を分光後に画像化し定性的な結果を得る。更に標準試料とX線強度との対比から元素定量値をコンピューター処理してデータ解析を行う方法である。

反射電子像（COMP）は、調査面の組成の違いを明度で表示するものである。重い元素で構成される個所ほど明るく、軽い元素で構成される個所ほど暗い色調で示される。これを利用して、各相の組成の違いを確認後、定量分析を実施している。

また元素の分布状態を把握するため、反射電子像に加え、特性X線像の撮影も適宜行った。

(6) 化学組成分析

出土遺物の性状を調査するため、構成成分の定量分析を実施した。

全鉄分（Total Fe）、金属鉄（Metallic Fe）、酸化第一鉄（FeO）：容量法。

炭素（C）、硫黄（S）：燃焼容量法、燃焼赤外吸収法。

二酸化硅素（SiO₂）、酸化アルミニウム（Al₂O₃）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化カリウム（K₂O）、酸化ナトリウム（Na₂O）、酸化マンガン（MnO）、二酸化チタン（TiO₂）、酸化クロム（Cr₂O₃）、五酸化燐（P₂O₅）、バナジウム（V）、銅（Cu）、二酸化ジルコニウム（ZrO₂）：ICP（Inductively Coupled Plasma Emission Spectrometer）法：誘導結合プラズマ発光分光分析。

3. 調査結果

NKN-1：梔形鍛冶滓

(1) 肉眼観察：小形で偏平な梔形鍛冶滓（51.8g）である。側面1面は破面の可能性が高い。表面には広い範囲で茶褐色の土砂や銹化鉄が付着するが、ま

とまった鉄部はみられない。滓の地の色調は黒灰色で着磁性がある。破面の気孔は少なく緻密な滓である。また上面端部から側面にかけて、部分的にガラス質滓が付着する。炉材粘土の溶融物と推測される。

(2) マクロ組織：第 272 図①に示す。写真右寄りの楕円状の明灰色部は錆化鉄である。錆化が進み内部が大きく空洞化するが、他にも滓中にごく微細な錆化鉄が多数散在する。

(3) 顕微鏡組織：第 272 図②③に示す。②は滓部の確認である。白色樹枝状結晶ウスタイト (Wustite: FeO)、暗色多角形結晶ヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$)、淡灰色盤状結晶ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) が晶出する。③は錆化鉄部の拡大である。微かに層状のパーライト (Pearlite) 組織の痕跡が残存しており、亜共析組織 ($C < 0.77\%$) であったと推測される。

(4) ビッカース断面硬度：第 272 図②の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 450Hv であった。ウスタイトの文献硬度値¹⁾ (450 ~ 500Hv) の範囲内であり、ウスタイトに同定される。また淡灰色部の硬度値は 734Hv、910Hv であった。ファヤライトの文献硬度値より硬質であるが、内部に微細な暗色多角形結晶ヘルシナイトが晶出しているため、その影響を受けた値と判断される。後述の EPMA 調査結果からも、素地部分はファヤライトと推定される。

(5) EPMA 調査：第 272 図④に滓部の反射電子像 (COMP) を示す。白色樹枝状結晶は鉄 (Fe)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 102.8%FeO (分析点 41) であった。ウスタイト (Wustite: FeO) に同定される。微細な暗色結晶は特性 X 線像では鉄 (Fe)、アルミニウム (Al) に反応がある。定量分析値は 51.9%FeO - 50.7% Al_2O_3 (分析点 42) であった。ヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$) である。淡灰色柱状結晶は特性 X 線像では鉄 (Fe)、珪素 (Si)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 68.8%FeO - 30.1% SiO_2 (分析点 43) であった。ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) に同定される。また球状明灰色粒は、特性 X 線像では鉄 (Fe)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は 87.2%Fe (分析点 44) で、錆化鉄と推測される。

(6) 化学組成分析：第 14 表に示す。全鉄分 (Total

Fe) 47.28% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.06%、酸化第 1 鉄 (FeO) 35.06%、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 28.55% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) 31.16% で、このうち塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) は 0.83% と低い。主に砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO_2) は 0.31%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.06% と極低値で、銅 (Cu) は 0.03% と高めである。

NKN - 2 : 鍛冶滓

(1) 肉眼観察：(10 ~ 12 次調査地区) 出土滓中では、比較的大形 (108.7g) の鍛冶滓の破片である。上面と側面の一部は黒色ガラス質滓で、砂を多量に混和した被熱粘土も点在する。炉材粘土の溶融物と推定される。滓部は暗灰色で、弱い着磁性がある。側面 2 面は破面で、中小の気孔が散在する。下面は微細な木炭痕による凹凸が著しい。

(2) マクロ組織：第 273 図①に示す。観察面は比較的緻密なファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) 組成の滓である。表層付近に微細な錆化鉄 (青灰色部) が散在するが、とまった鉄部はみられない。

(3) 顕微鏡組織：第 273 図②③に示す。上述したように、滓中には淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また微細な明白色粒は金属鉄、不定形青灰色部は錆化鉄である。金属組織 (痕跡) は不明瞭で、炭素含有率の推定等は困難な状態であった。

(4) ビッカース断面硬度：第 273 図②の淡灰色柱状結晶の硬度を測定した。硬度値は 573Hv、592Hv であった。ファヤライトの文献硬度値²⁾ 600 ~ 700Hv と比較すると軟質であるが、結晶の色調や形態および後述の EPMA 調査結果から、ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) と推定される。

(5) EPMA 調査：第 273 図④に滓部 (第 273 図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。淡灰色柱状結晶は特性 X 線像をみると鉄 (Fe)、珪素 (Si)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 65.5%FeO - 30.6% SiO_2 (分析点 1) であった。ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) に同定される。素地部分の定量分析値は 42.4% SiO_2 - 23.8% Al_2O_3 - 5.6%CaO - 5.0% K_2O - 1.1% Na_2O (分析点 2) であった。非晶質硅酸塩である。

また微細な明白色粒は特性 X 線像では鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は 97.4%Fe (分析点 3) であった。金属鉄 (Metallic Fe) である。

(6) 化学組成分析：第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 45.78% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.09%、酸化第 1 鉄 (FeO) 42.32%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 18.29% の割合であった。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 33.12% で、このうち塩基性成分 (CaO + MgO) は 1.03% と低い割合である。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO₂) は 0.27%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。また酸化マンガン (MnO) も 0.08%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。

当鉄滓は鉄分 (FeO) および炉材粘土の溶融物 (SiO₂ 主成分) 主体の鉄滓であった。製鉄原料起源の脈石成分 (鉄鉱石：CaO、MgO、MnO、砂鉄：TiO₂、V など) は低減傾向が著しい。以上の特徴から、鉄素材を熱間で鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛冶滓と推定される。

NKN - 3 : 椀形鍛冶滓

(1) 肉眼観察：偏平な椀形鍛冶滓 (42.0g) である。表面は広い範囲で薄く茶褐色の錆化物が付着するが、まとまった鉄部はみられない。上面には灰褐色のガラス質滓 (粘土溶融物) が部分的に付着する。また滓の色調は黒灰色で弱い着磁性がある。上下面とも細かい木炭痕による凹凸が目立つ。側面 4 面は破面で、細かい気孔が散在する。

(2) マクロ組織：第 274 図①に示す。左上の不定形小形の青灰色部は錆化鉄であるが、まとまった鉄部を持つ滓ではない。

(3) 顕微鏡組織：第 274 図②③に示す。滓中には白色樹枝状・粒状結晶ウスタイト (Wustite：FeO)、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。またごく微細な金属鉄 (明白色) 粒が多数点在する。

(4) ビッカース断面硬度：第 274 図②の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 396Hv、443Hv であった。ウスタイトの文献硬度値 450 ~ 500Hv と比較するとやや軟質であるが、結晶の色調や形態および後述の EPMA 調査結果から、ウスタイト (Wustite：FeO) の可能性が高い。また淡灰色柱状結晶の硬度

値は 630Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトと推定される。

(5) EPMA 調査：第 274 図④に滓部 (第 274 図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。白色樹枝状結晶は特性 X 線像では鉄 (Fe)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は 95.8%FeO (分析点 4) であった。ウスタイト (Wustite：FeO) に同定される。非常に微細な暗色結晶の定量分析値は 68.9%FeO - 15.3%SiO₂ - 2.8%Al₂O₃ (分析点 5) であった。イスコライト (Iscoreite：5FeO·Fe₂O₃·SiO₁₀) と推測される。また黒色結晶の定量分析値は 16.6%K₂O - 61.9%SiO₂ - 23.9%Al₂O₃ - 1.5%FeO (分析点 6) であった。オルソクレーズ (Orthoclase：KAlSi₃O₈) と推定される。さらに微小明白色粒は特性 X 線像をみると、鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は 101.4%Fe (分析点 2) であった。金属鉄 (Metallic Fe) である。

(6) 化学組成分析：第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 53.28% と高値であった。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.14%、酸化第 1 鉄 (FeO) が 46.13%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 24.71% の割合である。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 24.04% で、塩基性成分 (CaO + MgO) の割合は 1.37% と低い。また主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO₂) は 0.25%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.08%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。

当鉄滓は鉄酸化物 (FeO) の割合が高めで、製鉄起源の脈石成分は低減傾向が著しい。この特徴から、やはり鉄素材を熱間で鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛冶滓と推定される。

NKN - 4 : 椀形鍛冶滓

(1) 肉眼観察：椀形鍛冶滓の側面端部破片 (42.8g) である。滓の色調は黒灰色で、弱い着磁性がある。上面は比較的平坦で、下面には細かい木炭痕による凹凸がある。側面 4 面は破面で、細かい気孔が散在するが重量感のある滓である。

(2) マクロ組織：第 275 図①に示す。比較的緻密な鍛冶滓で、まとまった金属鉄 (またはその錆化物) はみられない。

(3) 顕微鏡組織：第 275 図②③に示す。滓中には

白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また非常に微細な金属鉄（明白色粒）が若干点在する。

（４）ビッカース断面硬度：第 275 図③の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 470Hv であった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトに同定される。また淡灰色柱状結晶の硬度値は 659Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内で、ファヤライトに同定される。

（５）EPMA 調査：第 275 図④に滓部の反射電子像（COMP）を示す。白色粒状結晶は特性 X 線像をみると鉄（Fe）、酸素（O）に反応がある。定量分析値は 95.8%FeO - 1.3%Al₂O₃ - 1.3%MnO（分析点 7）であった。ウスタイト（Wustite : FeO）に同定される。また素地部分の定量分析値は 38.0%SiO₂ - 21.4%Al₂O₃ - 11.1%CaO - 8.0%K₂O - 1.7%Na₂O - 19.8%FeO（分析点 8）であった。非晶質珪酸塩に同定される。淡灰色柱状結晶は特性 X 線像では鉄（Fe）、珪素（Si）、酸素（O）に反応がある。定量分析値は 64.2%FeO - 25%MnO - 1.6%MgO - 30.9%SiO₂（分析点 9）であった。ファヤライトに同定される（Fayalite : 2FeO·SiO₂）。さらに微小明白色粒は特性 X 線像をみると、鉄（Fe）にのみ強い反応がある。定量分析値は 98.2%Fe（分析点 3）であった。金属鉄（Metallic Fe）である。

（６）化学組成分析：第 14 表に示す。全鉄分（Total Fe）53.76% と高値であった。金属鉄（Metallic Fe）は 0.10%、酸化第 1 鉄（FeO）が 61.07%、酸化第 2 鉄（Fe₂O₃）8.85% の割合である。造滓成分（SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O）は 26.71% で、このうち塩基性成分（CaO + MgO）の割合は 2.01% と低い。主に製鉄原料の砂鉄（含チタン鉄鉱）に含まれる二酸化チタン（TiO₂）は 0.24%、バナジウム（V）が 0.01% と低値であった。また酸化マンガン（MnO）も 0.10%、銅（Cu）< 0.01% と低値である。

当鉄滓は梔形鍛冶滓（NKN - 3）と同様、鉄酸化物（FeO）の割合が高めで、製鉄起源の脈石成分は低減傾向が著しい。鉄素材を熱間で鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛冶滓と推定される。

NKN - 5 : 鍛冶滓

（１）肉眼観察：扁平な鍛冶滓（27.5g）である。全

体に軽い質感で、ガラス質滓（炉材粘土溶融物）の割合が高いと推測される。上面は比較的平滑で、弱い着磁性がある。下面はほぼ全面灰褐色の鍛冶炉床土が付着する。また端部に径 5 mm 程の銹化鉄部が確認される。側面 1 面は破面である。

（２）マクロ組織：第 276 図①に示す。右上の暗色部は羽口先端の溶融物（ガラス質滓）、下面表層の暗色部は熱影響を受けた鍛冶炉床土と推測される。また中央の明灰色部は鍛冶滓部分である。

（３）顕微鏡組織：第 276 図②③に示す。ともに鍛冶滓部分の拡大である。灰褐色多角形結晶はマグネタイト（Magnetite : FeO·Fe₂O₃）とヘルシナイト（Hercynite : FeO·Al₂O₃）を主な端成分とする固溶体³⁾と推定される。さらに白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色針状結晶イスコライト、淡灰色盤状結晶ファヤライトが晶出する。

（４）ビッカース断面硬度：第 276 図③灰褐色多角形結晶はマグネタイトの硬度を測定した。硬度値は 790Hv と硬質であった。マグネタイトとヘルシナイトを主な端成分とする固溶体として妥当な値といえる。また淡灰色盤状結晶の硬度値は 699Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

（５）EPMA 調査：第 276 図④に滓部（第 276 図②の拡大）の反射電子像（COMP）を示す。白色樹枝状結晶は特性 X 線像では鉄（Fe）、酸素（O）に強い反応がある。定量分析値は 91.3%FeO（分析点 10）、86.0%FeO - 3.8%Al₂O₃ - 1.1%TiO₂（分析点 11）であった。ウスタイト（Wustite : FeO）に同定される。また淡灰色針状結晶の定量分析値は 83.8%FeO - 9.3%SiO₂ - 3.5%Al₂O₃（分析点 12）であった。イスコライト（Iscorite : 5FeO·Fe₂O₃·SiO₁₀）と推測される。淡灰色盤状結晶は特性 X 線像をみると鉄（Fe）、珪素（Si）、酸素（O）に強い反応がある。定量分析値は 66.7%FeO - 1.4%MnO - 30.8%SiO₂（分析点 13）、62.6%FeO - 1.1%MnO - 32.1%SiO₂（分析点 14）であった。ファヤライト（Fayalite : 2FeO·SiO₂）で、マンガン（MnO）を微量固溶する。灰褐色多角形は特性 X 線像では鉄（Fe）、アルミニウム（Al）、酸素（O）に強い反応がある。定量分析値は 75.6%FeO - 15.4%Al₂O₃ - 1.5%TiO₂（分析点 15）であった。マ

グネタイト (Magnetite : $\text{FeO} \cdot \text{Fe}_2\text{O}_3$) とヘルシナイト (Hercynite : $\text{FeO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$) を主な端成分とする固溶体である。また素地部分の定量分析値 $52.5\% \text{SiO}_2 - 21.1\% \text{Al}_2\text{O}_3 - 9.2\% \text{CaO} - 8.1\% \text{K}_2\text{O} - 1.8\% \text{Na}_2\text{O} - 12.1\% \text{FeO}$ (分析点 16) であった。非晶質硅酸塩である。

(6) 化学組成分析 : 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 39.48% とやや低めである。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.06% 、酸化第 1 鉄 (FeO) 39.12% 、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 12.89% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は 44.42% と高値であるが、塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) の割合は 1.53% 低い。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO_2) は 0.33% 、バナジウム (V) が 0.01% 低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.09% と低値で、銅 (Cu) は 0.02% であった。

当鉄滓は炉材粘土溶融物の割合の高い鍛錬鍛冶滓と推定される。製鉄原料起源の脈石成分 (鉄鉱石 : CaO 、 MgO 、 MnO 、砂鉄 : TiO_2 、V など) はいずれも低減傾向が著しい。

NKN - 6 : 椀形鍛冶滓 (金属銅混在)

(1) 肉眼観察 : 完形の椀形鍛冶滓 (70.2g) と推測される。上面は広い範囲が白色礫を含む黒色ガラス質滓 (炉材粘土溶融物) で覆われる。下面の滓部は黒灰色で着磁性がある。また側面端部に 10mm 大の粒状の銹化鉄部が確認される。全体に木炭痕などによる細かい凹凸が顕著である。

(2) マクロ組織 : 第 277 図①に示す。上面側の暗色部は炉材粘土溶融物 (ガラス質滓) である。一方下側の明灰色部は滓部である。部分的に白色樹枝状結晶ウスタイト、全体に発達した淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。

(3) 顕微鏡組織 : 第 277 図②③に示す。②の不定形淡桃色部はガラス質滓部分と滓部の中間に確認された金属銅 (Cu) である。これに対して③は下側の滓部の拡大である。白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また滓中の非常に微細な明白色粒は金属鉄である。

(4) ビッカース断面硬度 : 第 277 図③の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 241Hv 、 390Hv であった。風化の影響か、ウスタイトの文献硬度値

$450 \sim 500\text{Hv}$ と比較すると軟質である。しかし結晶の色調・形態などからウスタイトと推測される。また淡灰色柱状結晶の硬度値は 606Hv 、 700Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

(5) EPMA 調査 : 第 277 図④に不定形金属部 (第 277 図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。淡桃色の金属部は特性 X 線像では銅 (Cu) に強い反応がある。定量分析値は $100.6\% \text{Cu}$ (分析点 8) であった。純銅に近い組成といえる。

もう 1 視野下面側の滓部の調査を実施した。反射電子像 (COMP) を第 277 図⑤に示す。滓中の非常に微細な明白色部は、特性 X 線像をみると鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は $101.8\% \text{Fe} - 1.8\% \text{Cu}$ (分析点 9)、 $103.4\% \text{Fe} - 1.9\% \text{Cu}$ (分析点 10) であった。金属鉄であるが、銅 (Cu) も検出された。また滓中の淡灰色柱状結晶は特性 X 線像では、鉄 (Fe)、珪素 (Si) に反応がある。定量分析値は $71.6\% \text{FeO} - 30.7\% \text{SiO}_2$ (分析点 28)、 $70.5\% \text{FeO} - 30.7\% \text{SiO}_2$ (分析点 29) であった。ファヤライト (Fayalite : $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$) に同定される。素地部分の定量分析値は $51.9\% \text{SiO}_2 - 19.9\% \text{Al}_2\text{O}_3 - 2.3\% \text{CaO} - 3.6\% \text{K}_2\text{O} - 21.1\% \text{FeO}$ (分析点 30) であった。非晶質硅酸塩である。暗色多角形結晶は特性 X 線像をみると鉄 (Fe)、アルミニウム (Al) に強い反応がある。定量分析値は $45.2\% \text{FeO} - 56.3\% \text{Al}_2\text{O}_3$ (分析点 31) であった。ヘルシナイト (Hercynite : $\text{FeO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$) に同定される。

(6) 化学組成分析 : 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 38.93% とやや低めである。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.11% 、酸化第 1 鉄 (FeO) 28.59% 、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 23.73% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は 39.80% と高値であるが、塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) の割合は 0.97% と低い。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO_2) は 0.34% 、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.05% と低値である。銅 (Cu) は 0.13% と高値傾向が著しい。

当鉄滓中には微細な金属銅が部分的に含まれることから、銅小物を含む製品の製作工程での反応副生物と判断される。一方で滓中には微細な金属鉄粒も

多数散在しており、成分的には炉材粘土溶融物の割合の高い椀形鍛冶滓（NKN - 5）と類似する。

仮に当鉛滓が鉄（Fe）、砒素（As）などを含む粗銅の溶解や精製に伴うものであれば、かなりの割合で砒素が含まれると考えられるが、EPMA を用いた定量分析結果を見るとその含有率は微量であった。こうした特徴から、同じ（鍛冶）炉または近接した作業空間で鍛造鉄器とそれに付属する銅小物が作られていた可能性が考えられる。

4. まとめ

中野山遺跡（第10～12次）から出土した滓を調査した結果、以下の点が明らかとなった。

〈1〉椀形鍛冶滓（NKN - 1～5）は鍛錬鍛冶滓に分類される。当地域周辺で鉄素材を熱間で鍛打加工して、鍛造鉄器を製作していたことを示す遺物といえる。鉄酸化物（FeO）および炉材粘土の溶融物（SiO₂ 主成分）主体で、製鉄原料起源の脈石成分（鉄鉱石：CaO、MgO、MnO、砂鉄：TiO₂、V など）の低減傾向が著しい。

中野山遺跡では、他の発掘調査地区（第3次・第8次）からも同様の鍛錬鍛冶滓が確認されている。製錬工程での不純物（製錬滓）が十分除去された鉄素材、または廃鉄器（古鉄）等を原料として、鍛造鉄器が製作されたと推定される。

またNKN - 2～5は銅（Cu）含有率が低い。一方、NKN - 1は銅（Cu）含有率がやや高めである。当鉄滓は内部に微細な金属鉄や亜共析組織（C < 0.77%）痕跡の残る銹化鉄部が確認されており、銅関連遺物の可能性は極めて低い。しかし近接する中野山遺跡（第3次）や、筆ヶ崎西遺跡（第3・4次）調査地区から微細な銅（青銅）を含む滓が出土している。滓中の銅分が製鉄原料に起因するものか（その場合、始発原料は塊状鉄鉱石と推測される）、鍛冶とともに銅（青銅）小物などを製作していたためかは慎重に判断していく必要がある。

〈2〉椀形鍛冶滓（NKN - 6）中には金属銅が部分的に混在する。この箇所はEPMAを用いた定量分析により純銅に近い組成であることが明らかになった。滓中の銅含有率も高値傾向を示す（Cu:0.13%）。以上の特徴から、銅小物を含む製品の製作工程での

反応副生物と推測される。

第3次調査地区からも、微細な青銅と金属鉄粒の双方を含む滓が1点（TNKN - 3）確認されている。こちらは錫（Sn）を6%程度含む青銅であることが明らかとなっている。用途に合わせて様々な銅（青銅）材料を用いていた様相が窺える。

（日鉄住金テクノロジー（株）八幡事業所⁴⁾・TACセンター 大澤正己・鈴木瑞穂）

【註】

- 1) 日刊工業新聞社『焼結鉛組織写真および識別法』1968
ウスタイトは450～500Hv、マグネタイトは500～600Hv、
ファイヤライトは600～700Hvの範囲が提示されている。
〔またマグネタイトにアルミナ（Al₂O₃）が加わり、ウル
ボスピネルとヘルシナイトを主な端成分とする固溶体と
なると硬度値は上昇する。ヘルシナイトでは1000Hvを
越える値を示す。〕
- 2) 1)に同じ。
- 3) 黒田吉益・諏訪兼位『偏光顕微鏡と造岩鉛物〔第2版〕』
共立出版株式会社1983
第5章 鉛物各論 D. 尖晶石類・スピネル類（Spinel
Group）の記載に加筆
尖晶石類の化学組成の一般式はXY₂O₄と表記できる。
Xは2価の金属イオン、Yは3価の金属イオンである。
その組み合わせでいろいろの種類のものがある。（略）
- 4) 分析報告時の社名・事業所名を記す。2019年4月に
社名変更により、日鉄テクノロジー株式会社、また
2021年7月に事業所名が九州事業所に変更となった。

第13表 供試材の履歴と調査項目

符号	遺跡名	出土位置	遺物No.	遺物名称	推定年代	計測値		調査項目						備考
						大きさ(mm)	重量(g)	メタル度	マクロ組織	顕微鏡組織	ヒックス断面硬度	EPMA化学分析	化学分析	
NKN-1	中野山(第8次)	M-L24 Pit4	14	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	54×46×21	51.8	なし	○	○	○	○	○	
NKN-2	中野山	SH1624	No.1	鍛冶滓	飛鳥~奈良	81×52.9×35.3	108.7	なし	○	○	○	○	○	
NKN-3	(10~12次)	SK1439	No.2	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	54.6×40.1×18.3	42.0	なし	○	○	○	○	○	
NKN-4		M-D14 Pit1	No.3②	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	39.6×40.7×25.7	42.8	なし	○	○	○	○	○	
NKN-5		SB1558	No.4①	鍛冶滓(ガラス質)	飛鳥~奈良	53.8×41.1×14.5	27.5	なし	○	○	○	○	○	
NKN-6		SK1543	No.5	楕形鍛冶滓(ガラス質)	飛鳥~奈良	64.1×47.5×39.3	70.2	なし	○	○	○	○	○	

第14表 供試材の化学組成

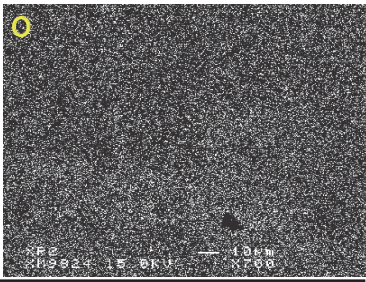
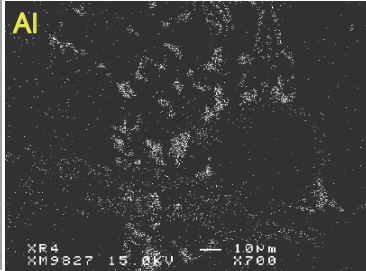
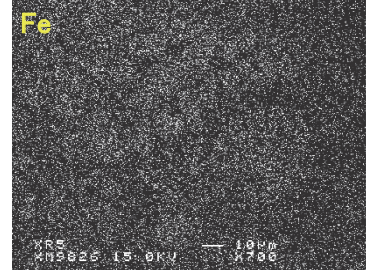
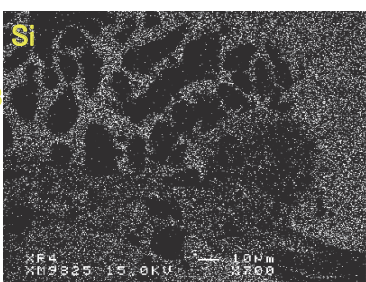
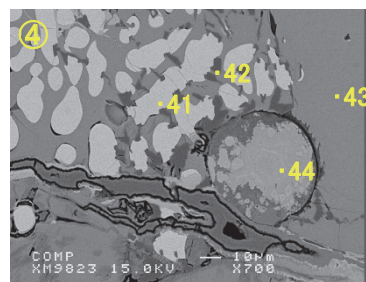
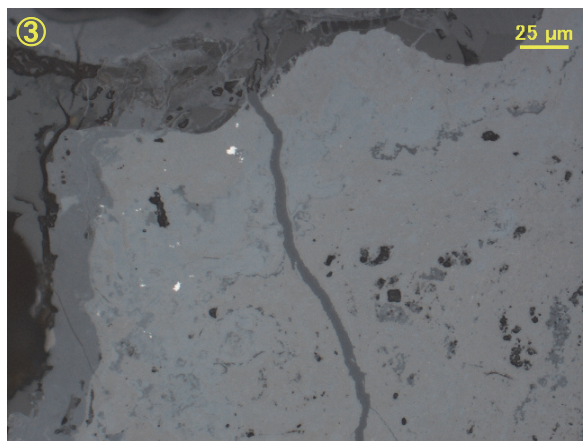
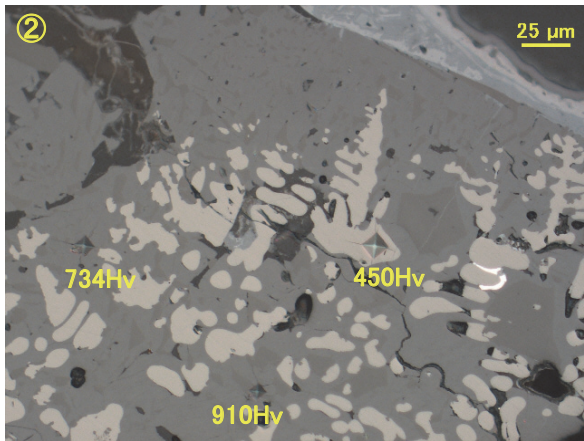
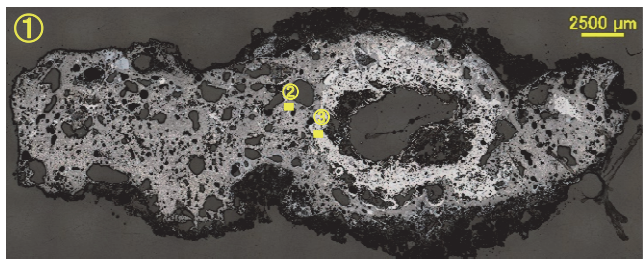
符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	全鉄分(Total Fe)	金属鉄(Fe)	酸化第1鉄(FeO)	酸化第2鉄(Fe ₂ O ₃)	二酸化珪素(SiO ₂)	酸化アルミナ(Al ₂ O ₃)	酸化カルシウム(CaO)	酸化マグネシウム(MgO)	酸化ナトリウム(Na ₂ O)	酸化マンガン(MnO)	二酸化チタン(TiO ₂)	酸化クロム(Cr ₂ O ₃)	酸化硫黄(S)	五酸化リン(P ₂ O ₅)	炭素(C)	ハフニウム(V)	銅(Cu)	二酸化ジルコニウム(ZrO ₂)	造滓成分	造滓成分	Total Fe	TiO ₂ Total Fe
NKN-1	中野山(第8次)	M-L24 Pit4	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	47.28	0.06	35.06	28.55	23.29	6.30	0.40	0.43	0.65	0.09	0.06	0.31	0.03	0.10	0.41	0.37	0.01	0.03	31.16	0.659	0.007	0.007
NKN-2	中野山	SH1624	鍛冶滓	飛鳥~奈良	45.78	0.09	42.32	18.29	25.19	5.85	0.63	0.40	0.91	0.14	0.08	0.27	0.01	0.079	0.12	0.35	0.01	<0.01	33.12	0.723	0.006	0.006
NKN-3	(10~12次)	SK1439	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	53.28	0.14	46.13	24.71	18.00	4.00	0.90	0.47	0.56	0.11	0.08	0.25	0.03	0.072	0.25	0.26	0.01	<0.01	24.04	0.451	0.005	0.005
NKN-4		M-D14 Pit1	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	53.76	0.10	61.07	8.85	19.41	4.12	1.36	0.65	0.98	0.19	0.10	0.24	0.01	0.044	0.20	0.12	0.01	<0.01	26.71	0.497	0.004	0.004
NKN-5		SB1558	鍛冶滓(ガラス質)	飛鳥~奈良	39.48	0.06	39.12	12.89	34.04	7.06	0.89	0.64	1.54	0.25	0.09	0.33	0.04	0.051	0.21	0.17	0.01	0.02	44.42	1.125	0.008	0.008
NKN-6		SK1543	楕形鍛冶滓(ガラス質)	飛鳥~奈良	38.93	0.11	28.59	23.73	30.04	7.77	0.52	0.45	0.87	0.15	0.05	0.34	0.03	0.078	0.28	0.58	0.01	0.13	39.80	1.022	0.009	0.009

第15表 出土遺物の調査結果のまとめ

符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	顕微鏡組織	化学組成(%)						所見			
						Total Fe	Fe ₂ O ₃	塩基性成分	TiO ₂	V	MnO		造滓成分	Cu	
NKN-1	中野山(第8次)	M-L24 Pit4	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	造部W+H+F 微小金属鉄・珪化鉄・ 微小金属鉄・珪化鉄・ 造部W+Is+F+Or	47.28	28.55	0.83	0.31	0.01	0.06	31.16	0.03	鍛錬鍛冶滓
NKN-2	中野山	SH1624	鍛冶滓	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	微小金属鉄・珪化鉄・ 造部F	45.78	18.29	1.03	0.27	0.01	0.08	33.12	<0.01	鍛錬鍛冶滓
NKN-3	(10~12次)	SK1439	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	微小金属鉄・珪化鉄・ 造部W+Is+F+Or	53.28	24.71	1.37	0.25	0.01	0.08	24.04	<0.01	鍛錬鍛冶滓
NKN-4		M-D14 Pit1	楕形鍛冶滓	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	微小金属鉄・珪化鉄・ 造部W+F	53.76	8.85	2.01	0.24	0.01	0.10	26.71	<0.01	鍛錬鍛冶滓
NKN-5		SB1558	鍛冶滓(ガラス質)	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	造部W+Is+MとHの固溶体+F	39.48	12.89	1.53	0.33	0.01	0.09	44.42	0.02	鍛錬鍛冶滓
NKN-6		SK1543	楕形鍛冶滓(ガラス質、金属銅混在)	飛鳥~奈良	飛鳥~奈良	微小金属銅・鉄・ 造部W+H+F	38.93	23.73	0.97	0.34	0.01	0.05	39.80	0.13	鍛錬鍛冶滓とそれに伴う銅小物の製作に伴う反応副生 物と推測される

W:Wustite (FeO), Mn:Magnetite (FeO·Fe₂O₃), H:Hercynite (FeO·Al₂O₃), Is:Iscorite (5FeO·Fe₂O₃·SiO₂), F:Fayalite (2FeO·SiO₂), Or:Orthoclase (KAlSi₃O₈)

NKN-1
 椀形鍛冶滓
 ①マクロ組織
 ②滓部拡大、ウスタイト・微細ヘルシナイト・ファヤライト、硬度:50gf
 ③錆化鉄部拡大、亜共析組織痕跡



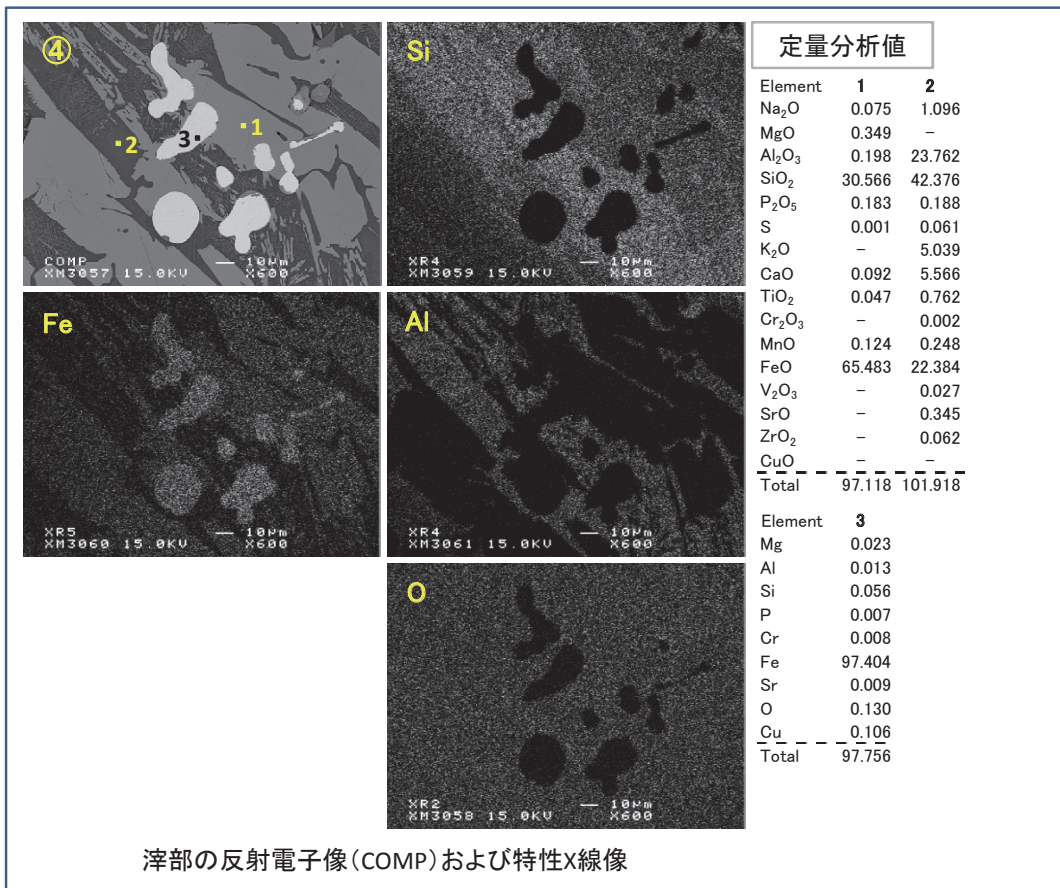
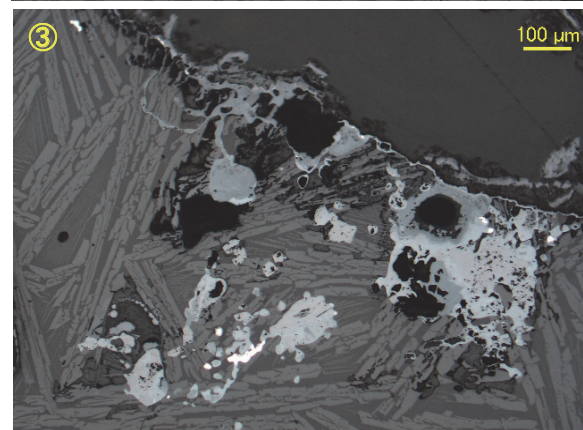
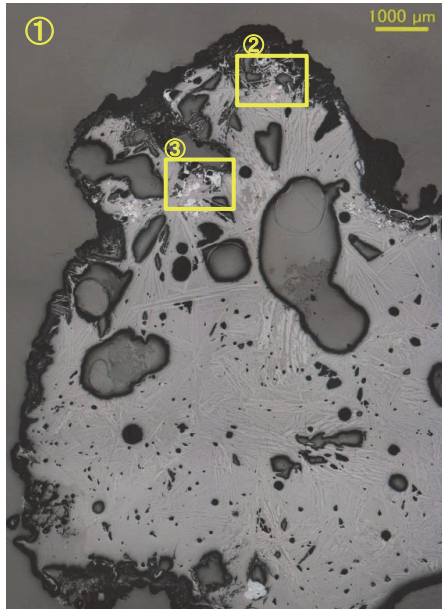
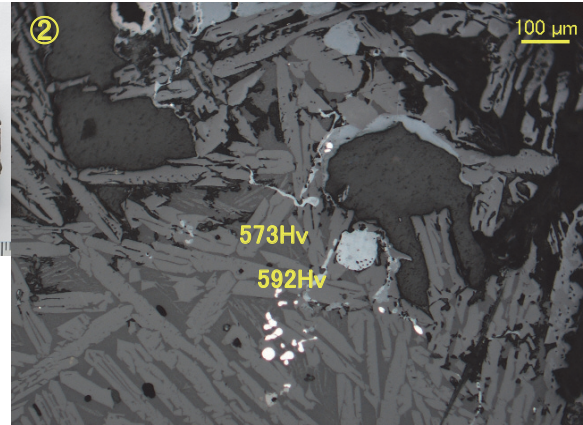
定量分析値				
Element	41	42	43	44
Na ₂ O	0.095	-	0.038	-
MgO	0.053	0.048	0.541	0.002
Al ₂ O ₃	0.972	50.721	0.316	0.028
SiO ₂	0.367	0.930	30.122	5.679
P ₂ O ₅	0.011	-	0.011	0.003
S	0.020	0.003	0.003	0.013
K ₂ O	-	-	-	0.006
CaO	-	-	0.131	-
TiO ₂	0.530	1.012	0.029	0.010
Cr ₂ O ₃	0.019	0.004	-	0.023
MnO	0.010	-	0.096	0.017
FeO	102.823	51.942	68.783	87.223
As ₂ O ₅	-	0.075	0.098	-
V ₂ O ₃	0.002	0.006	-	-
PbO	0.044	-	-	0.040
CuO	-	-	-	-
SnO ₂	0.008	0.053	0.005	0.082
Total	104.954	104.794	100.173	93.126

滓部の反射電子像 (COMP) および特性X線像

第 272 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E PMA 調査結果

NKN-2
鍛冶滓

- ①マクロ組織
- ②③滓部:ファヤライト、不定形青灰色部:錆化鉄、微小明白色粒:金属鉄
- 硬度:50gf

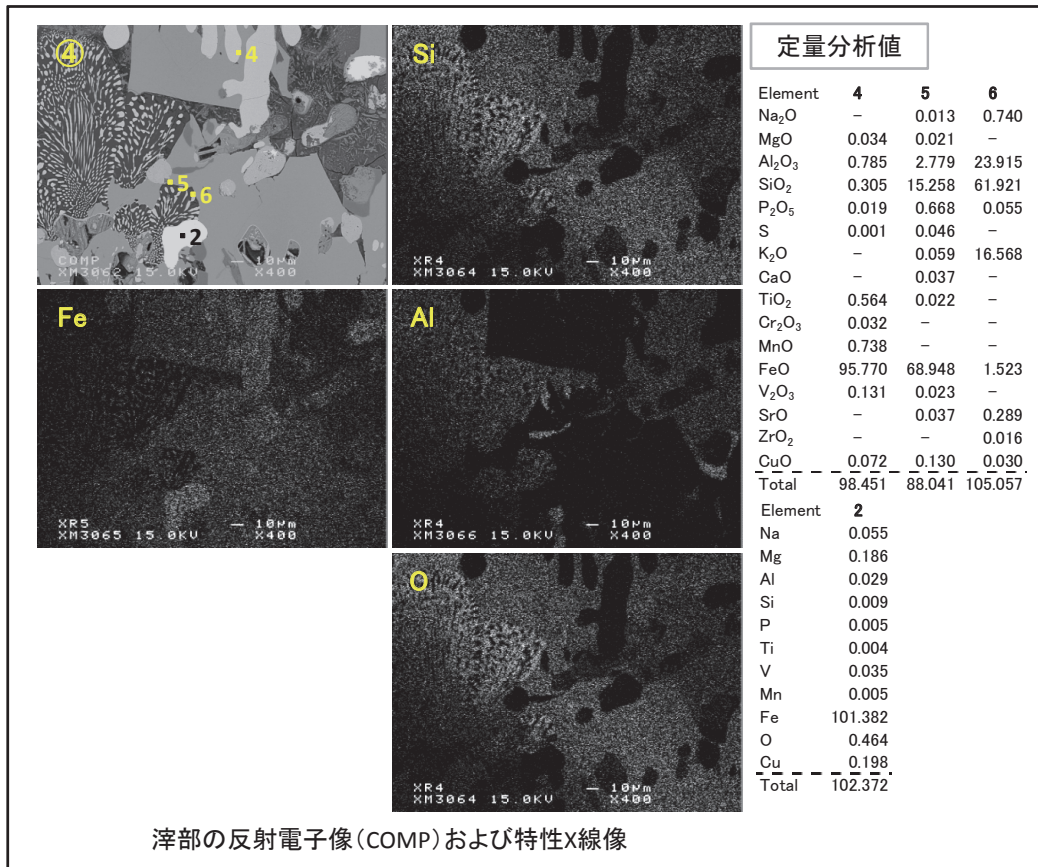
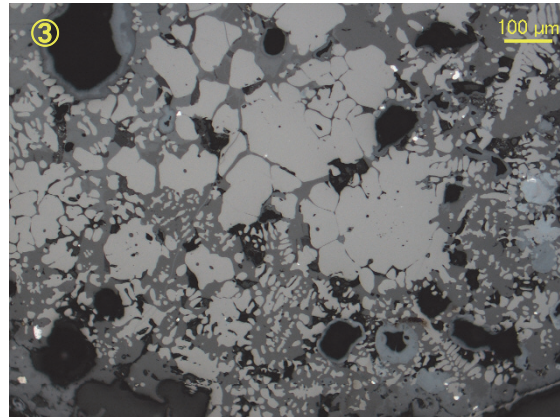
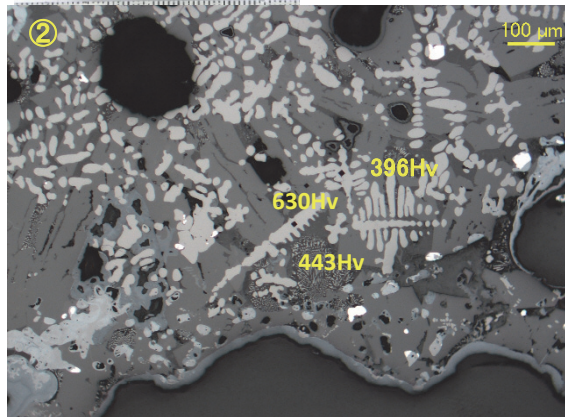
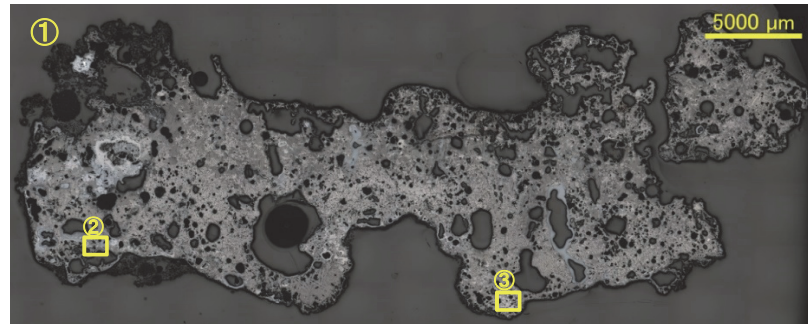


第 273 図 鍛冶滓の顕微鏡組織・EPM調査結果

NKN-3

椀形鍛冶滓

①マクロ組織、②③滓部:
ウスタイト・ファヤライト、
微小白色粒:金属鉄、
硬度:50gf



滓部の反射電子像 (COMP) および特性X線像

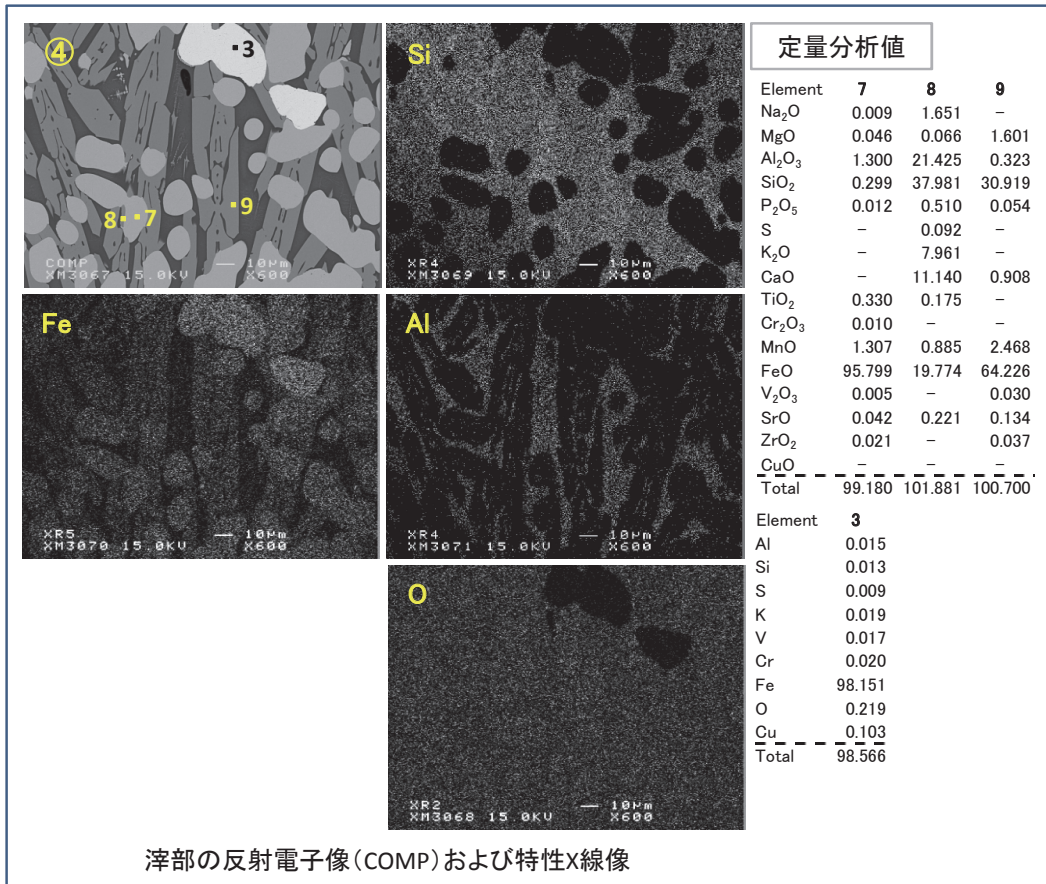
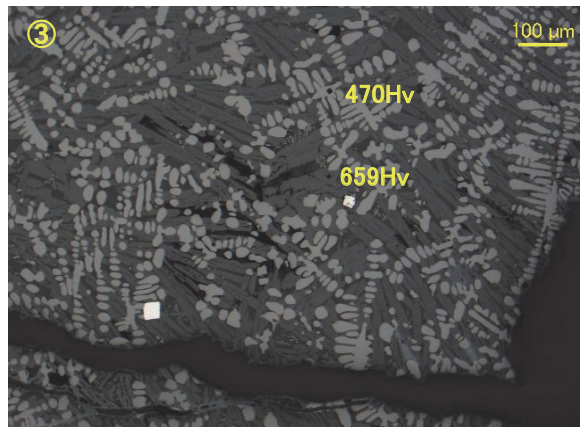
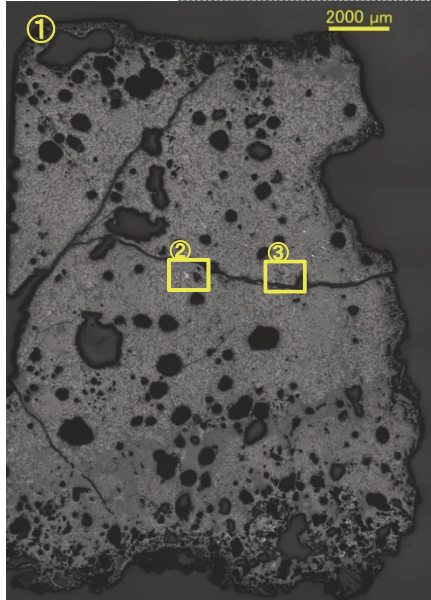
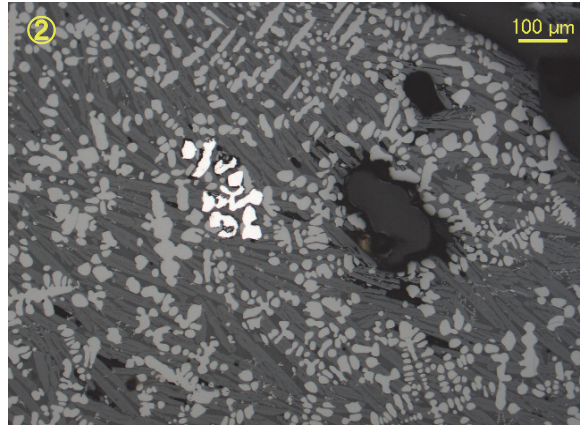
第 274 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・E PMA 調査結果

NKN-4

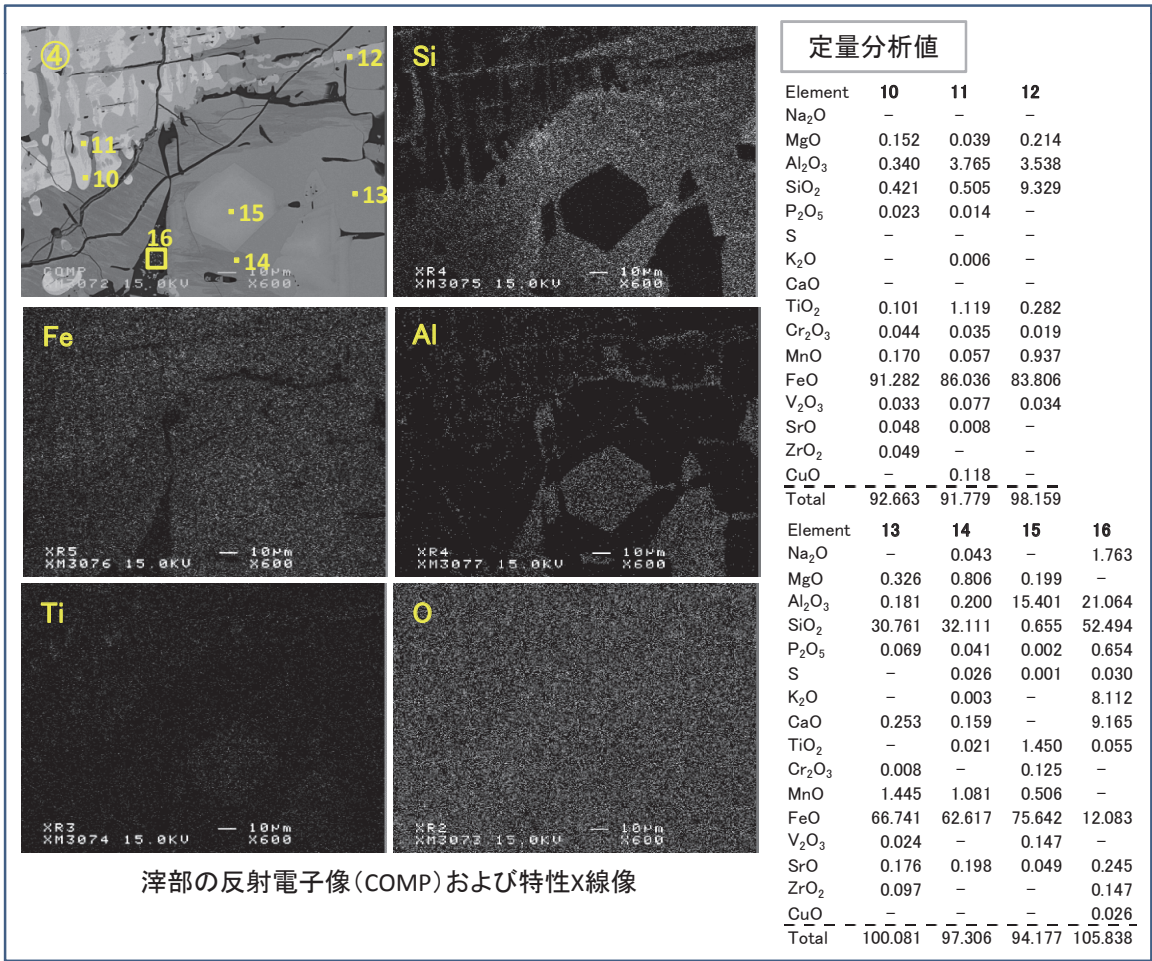
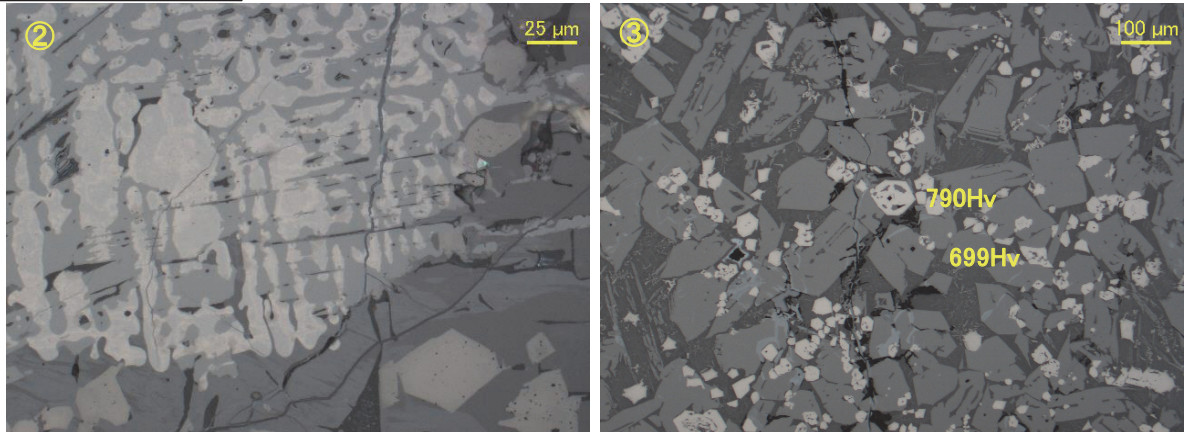
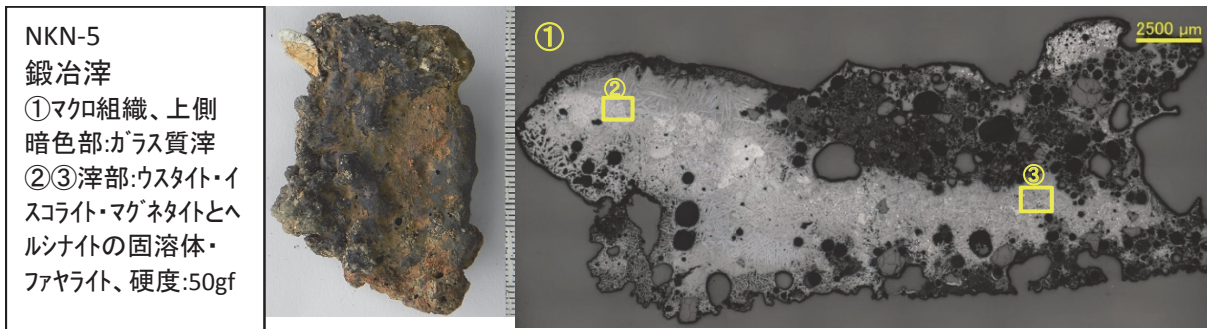
椀形鍛冶滓

①マクロ組織

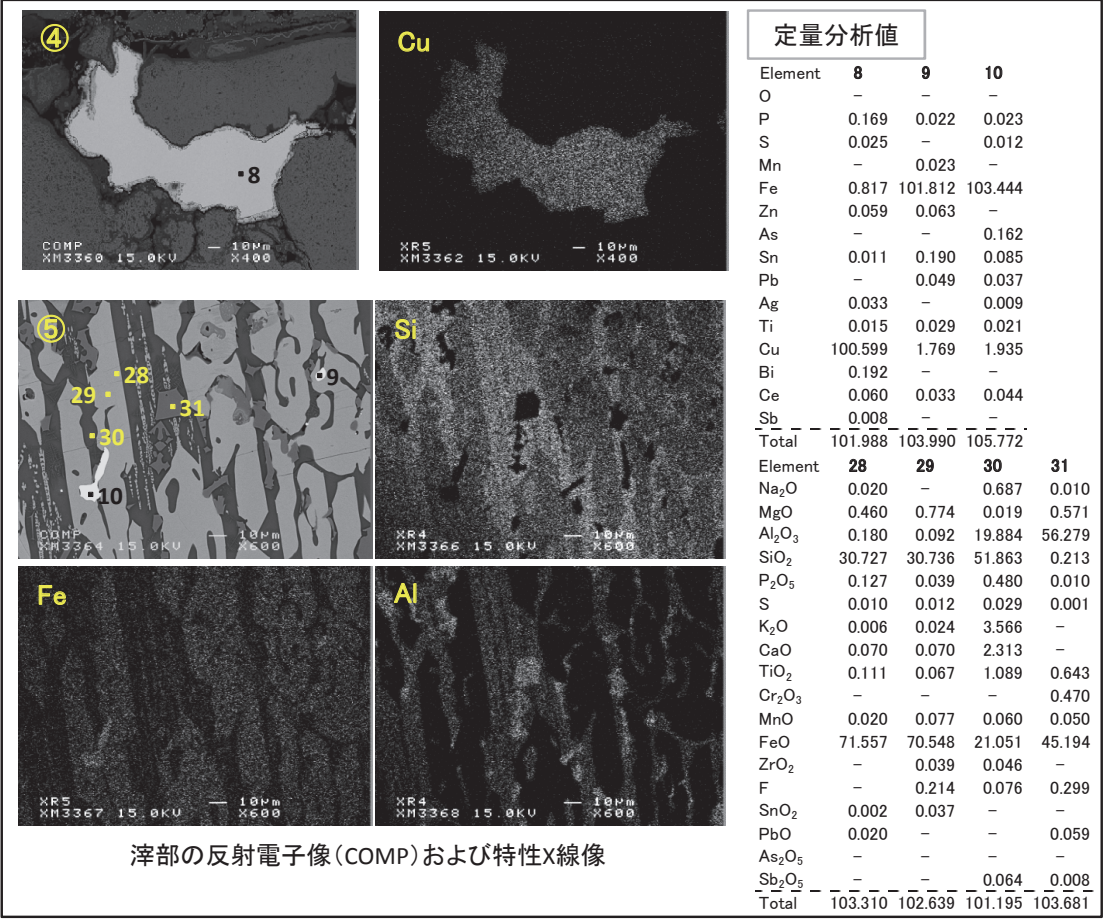
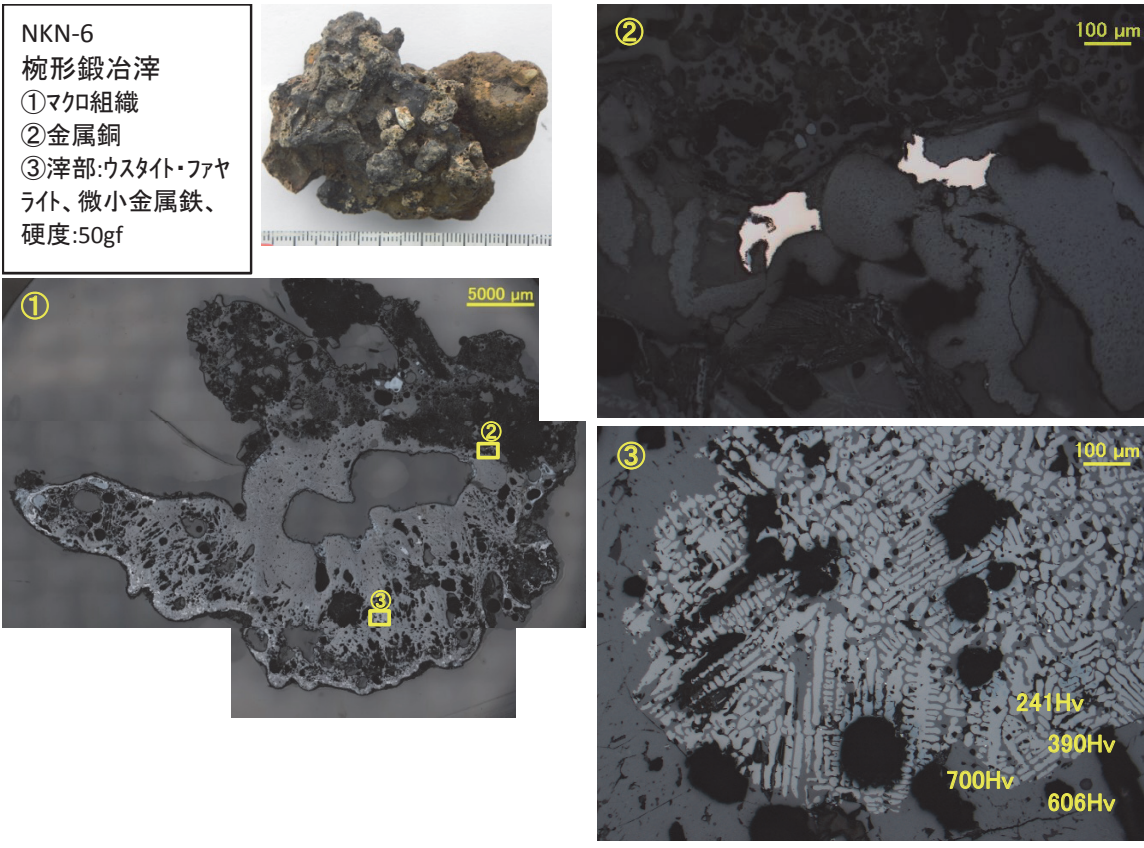
②③滓部:ウスタイト・
ファヤライト、微小明白
色粒:金属鉄、硬



第 275 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果



第 276 図 鍛冶滓の顕微鏡組織・E PMA 調査結果



第 277 図 梘形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMAs 調査結果

Ⅶ 調査のまとめ

1 遺構の分布状況と変遷について

遺構の分布状況について、まとまりがあるか、分散しているかの判断は、非常に主観的である。具体的には、どの範囲までを一つのまとまりとするか、また、どの程度の遺構の距離間を、近接しているか、離れているかなどは、人によって違いが生じる。

今回、当遺跡で広大な面積の発掘調査を行い、各時代の様々な遺構が数多く確認できた。さらに、近接した遺跡で発掘調査が行われており、その成果について、同じ組上で検討することが可能であると考えた。そのため、ある程度、主観的な判断となることは承知の上で、各時代の各遺構の分布状況について、検討を行うことにした。以下、時代順の変遷について、概説を行っていく。

(1) 縄文時代 早期

この時期の遺構は、竪穴建物5棟、煙道付炉穴159基、集石炉17基、土坑炉3基、集石遺構2基である。また、東海環状自動車道の調査では、竪穴建物1棟（この1棟は、新名神の調査と同一）、煙道付炉穴16基、集石炉11基、土坑炉1基が確認されている。

これらの遺構は、大きく3か所に分かれて、まとまりを見せている。調査区内の「北東部」、「中央部」、「西部」であるが、特に、「北東部」と「中央部」の2か所に集中している（第281図）。

各遺構の数は、以下の通りである。「北東部」では、竪穴建物4棟、煙道付炉穴120基、集石炉11基、土坑炉2基、集石遺構1基である。「中央部」では、竪穴建物1棟、煙道付炉穴55基、集石炉16基、集石遺構1基である。「西部」では、集石炉1基、土坑炉2基である（第19表）。

ところで、「北東部」と「中央部」の2か所の間は、北西方向に向かって緩やかに傾斜し、若干窪んでいる。また、この傾斜の先には、北側との丘陵を画する谷水田があり、当遺跡と筆ヶ崎古墳群とを画している。

この窪地に各遺構が見られないのは、谷への土砂

の流出や、後世の削平などを受けた結果なのかもしれない。しかし、早期の遺構群が、遺跡範囲内の、概ね東側にまとまっていることに間違いはないであろう。

なお、縄文時代の遺跡で通常確認される当時期の遺構として、陥し穴があるが、今回の調査では全く見つかっていない。また、竪穴建物については、遺構の上部が削平を受けるなど、残存状況が悪くて確認できなかつた可能性も考えられるが、その数は、煙道付炉穴の数に対して、圧倒的に少ない。

今回の調査区は、当遺跡のほぼ中央部分を東西方向に貫いており、調査区外の北側や南側に、平坦な地形が広がっている。この範囲に陥し穴や、竪穴建物が存在している可能性は十分に考えられる。

ア 煙道付炉穴について

煙道付炉穴は、159基という膨大な数が確認された（第25表）。また、東海環状自動車道の調査では、16基確認されているため、合計すると175基となる。これまでの発掘調査事例は、8遺跡、計85基であったが、その数をはるかに超えて、三重県内では、最多となった（第16表）。前述のように、今回の調査区外に煙道付炉穴が存在する可能性もあり、そうするとさらに数が増えることになる。

なお、AMS法による放射性炭素年代測定を行った48試料の内、その大半は縄文時代早期の年代に含まれる結果が得られている。

燃焼坑から煙出坑の方位について

煙道部分が残存するような、状態の良いものは非常に少なく、大半は後世の削平などを受けている。そのため、他の遺跡の調査報告を参考にしながら、図面上で、以下の様な観点をもとに、燃焼坑や煙出坑を推測して、その方位を計測した。主な観点とは、平面形、被熱痕跡の様相、長軸断面の深さなどである。

なお、方位については、個々の比較や検討をするために、座標北からの角度に統一して計測した。そのため、例えばN-130°-Eという、90°を超える数字も含まれる。以下に、具体的な方位の計測方法を記述する。

①：残存状況の良いものは、燃焼坑から煙道、煙出坑の方向の方位を計測した。

②：平面形で、二等辺三角形形状を呈するようなものは、短軸の幅が広い方から幅が狭い方向の方位を計測した。

③：燃焼坑から煙道、煙出坑にかけては、緩やかに深くなることが多いため、手前の浅い部分から深い部分の方向の方位を計測した。

④：被熱痕跡は、燃焼坑の前半部分や煙道の深い部分に多く見られるため、被熱痕跡の無い方から被熱痕跡が有る方向の方位を計測した。

なお、残存状態が非常に悪く、被熱痕跡程度のもものは、方位不明としたが、159基中152基について計測することができた。以下、検討したことを若干まとめてみることにする。

まず、第25表の方位の欄を、座標北NからE（東）とW（西）の方向へ、角度の数字を少ない順に並び替えて、10°の幅毎にその数を比べてみた（第17表）。その結果、どの10°毎にも、一定の数は含まれてはいるが、その数に多少が見られた。そこで、この結果を円グラフで表したところ、方位に一定の傾向が読み取ることが出来た（第278図）。

具体的には、10°毎の最大数が13基であるため、半分以上の7基以上の方位だけを抽出してみた。その結果、7基以上の方位は、N 30° E～70° Eと、N 110° W～140° Wの、北東方向と南西方向に集中することが判明した。

この方位は、図面上での計測値で、しかも1°単位であるため、2～3°程度の誤差は十分に考えられる。しかし、方位の傾向としては、一定程度の信憑性はあるものと思われる。

さらに、この北東方向と南西方向の方位は、「北東部」と「中央部」の2か所によって、数の多さに違いも見られる。すなわち、「北東部」の方位は、南西方向と北東方向が多く、「中央部」の方位は、北東方向が多いという傾向である（第18表）。

煙道付炉穴の方位について、これまでの報告^{1)・2)}では、一定はしておらず、地形や風向きも考慮されていないと指摘されていた。しかし、今回計測した結果は、若干違う傾向が見られた。その理由などについては、はっきりと分からないが、遺跡内での地

形や、他の遺構との関係性など、何らかの影響を受けて、一定程度同じ方向を指向した可能性があるのではないかと指摘に留めておくことにする。

形状と規模について

形状については、平面形などから、二等辺三角形、長楕円形、楕円形、円形の4つに分類した。なお、二等辺三角形については、ある程度見た目の判断であるが、長楕円形、楕円形、円形については、以下の数値で分類した。長軸の長さ：短軸の長さの比率が、2以上：1を長楕円形、2未満：1を楕円形、1：1を円形とした。

また、規模については、長軸が1.5 m以上か、1.5 m未満かを分岐として大型、小型とした。

形状と規模について、これまでの報告³⁾では、時期が下るにつれて、形状は、二等辺三角形などから長楕円形などへ変化し、規模は小型化するとされている。

そこで、この形状と規模の2点について、「北東部」と「中央部」で何らかの違いが見られるかどうか、それぞれの数をカウントして一覧表にした（第18表）。ただし、規模については、後世の遺構や攪乱などによって、明らかに削平を受けた推定の長軸数値の数は、省くことにした。

傾向としては、「北東部」には二等辺三角形が多く、しかも大型のものが多いこと。これに対して、「中央部」には小型のものが多いことが分かった。規模は、削平の度合いによって小さくなることも考えられるが、「北東部」に二等辺三角形が多いという形状の違いも考慮すると、「北東部」から「中央部」にかけて、時期が新しくなる可能性があるものと思われる。

イ 集石炉

種類・分布などについて

集石炉については、今回の調査で17基確認できた。また、東海環状自動車道の調査では11基確認されており、合わせると28基となる（第26表）。

煙道付炉穴が175基であるのに比べると、1割半程度の数である。前述したが、この集石炉についても、その分布状況は、「北東部」と「中央部」の2か所にまとまりを見せるなど、煙道付炉穴と同じような傾向がみられる。

ところで、この集石炉は、埋土に含まれる礫の法

量や状況などから、2つに分類（A類・B類）されている⁴⁾。A類は、拳大の礫のみが含まれて、底面が被熱するものである。B類は、底面に大型礫や石皿状の扁平な礫を4～5個敷き、上部に拳大の礫を充填するものである。底石の上面が被熱し、掘形の底面は被熱しない。また、埋土に炭化材が多く残る点、埋土が漆黒色を呈する点が特筆される。

2種類の数は17基中、A類が8基、B類が9基とほぼ同数である。また、東海環状自動車道の調査分の11基では、A類が4基、B類が7基である。

種類ごとの分布の状況を見てみる（第19表）。A類は、「北東部」で7基、単独で1基「中央部」から西に離れて見られる。B類は、「北東部」で4基、「中央部」で5基となる。なお、東海環状自動車道での調査区は「中央部」の南側に隣接しているため、その範囲内と判断すると、A類は「北東部」に、B類は「中央部」にそれぞれ多いという傾向が見られた。

また、大きさでは、A類は一辺1m強のものが多く、B類は若干小さいものが多い感がある。

なお、時期については、自然科学分析の結果から判断すると、A類の方が、B類より新しい可能性がある。

以上、種類や場所、大きさなどを若干まとめたが、煙道付炉穴に比べると対象数が少ないため、大まかな傾向であることを断っておく。

（2）縄文時代 中期～後期

この時期の遺構は、竪穴建物3棟、袋状土坑6基、土坑6基、集石遺構6基である。また、東海環状自動車道の調査では、土坑5基が確認されている。早期の遺構に対して、種類も数も少ないため、まとまりという観点では、あまり客観的な分布状況を示していないのかもしれない。

竪穴建物の2棟は、縄文時代早期で「北東部」と呼称した範囲の北西側、もう1棟の竪穴建物は、遺跡範囲の西側のほぼ中央部に所在する。この2か所について、「北部」と「西部」と呼称する（第282図）。

また、袋状土坑6基は、「西部」に全て存在し、1棟の竪穴建物を中心として、概ね東西両側に一定程度の距離はあるが、分散して存在する。なお、土坑6基は、「西部」に5基、早期で呼称した「中央部」に1基存在し、集石遺構の6基も「西部」に存在す

る（第19表）。

また、土坑などの当時期の遺構は、東海環状自動車道の調査では、「西部」に5基存在している。

上記のように、中期～後期の遺構は、「西部」でまとまりが見られる。また、「北部」で確認した竪穴建物2棟は、調査区の北端であるため、さらに北側には、当時期の遺構が存在する可能性は、十分に考えられる。

いずれせよ、早期で見られた遺構群のまとまる場所（「北東部」・「中央部」）から、中期～後期の遺構群は、「西部」と「北部」と、場所を変えているようである。

（3）縄文時代 晩期

この時期の遺構は、埋設土器4基で、東海環状自動車道の調査では当時期の遺構は見つかっていない。4基と数も少なく、まとまりを見せる感じではないが、その所在する位置については、早期で呼称した「北東部」と「中央部」にまたがって、分散している感がある（第282図・第19表）。なお、当時期の他の遺構の存在も不明であるため、これ以上の検討は出来ない。

（4）弥生時代 中期～後期

中期の遺構は、竪穴建物4棟、掘立柱建物1棟、土坑6基、溝1条、後期の遺構は、竪穴建物11棟である。なお、東海環状自動車道の調査では、中期の土坑2基、後期の竪穴建物4棟、土坑4基などが確認されている。

縄文時代に比べて、遺構の種類、数ともに決して多いわけではない。しかし、分布状況については、中期の遺構群は、遺跡範囲の「東部」（縄文時代の「北東部」と「中央部」を合わせた範囲）と「西部」の2か所に、後期の遺構群は、「西部」に集中する傾向が見られる（第283図・第20表）。特に、「西部」で見られる後期の遺構群は、西側に隣接する同時期の居林遺跡の一連で捉えることが出来るであろう。

（5）古墳時代後期～古代

この時期の遺構は、竪穴建物76棟、掘立柱建物97棟、柱列2列、土坑108基などである。また、東海環状自動車道の調査では、竪穴建物24棟、掘立柱建物38棟、土坑56基が確認されており、遺構数は非常に多く、当遺跡の中心となる時期である。なお、当時期の遺構は、東側に隣接する北山A遺跡でも、竪穴建物50棟⁵⁾、掘立柱建物25棟、土坑89

基と多数確認されているため、合わせて検討を行うこととする。

遺構数が多いこともあり、まとめ具合に、明瞭さは感じられない所もあるが、大きく4か所に分かれて、集中しているようである(第284図)。

以下に、竪穴建物、掘立柱建物、土坑と3つの遺構毎にその分布状況や、それぞれの関係などを検討していくことにする。

まずは、4か所のまとめの名称を、①群から④群として、記述していくことにする。

①群は、遺跡範囲の西側部分で、縄文時代に「西部」と呼称し、弥生時代後期の遺構が集中した範囲内の西寄りに当たる。次の②群は、①群の東側部分で、遺跡範囲のほぼ中央に当たる。「西部」の東寄りと、縄文時代に「中央部」を呼称した範囲全体を含む。この②群は、若干東西方向に長く、さらに2つか3つの小群に分けることが出来るかも知れない。③群は、さらに東側部分で、縄文時代に「北東部」と呼称した範囲に加えて、その南側を含む部分で、当遺跡範囲の東側に当たる。最後の④群は、北山A遺跡の範囲全体に当たる。

なお、①群から④群の各遺構の数は、以下の通りである。①群は、竪穴建物39棟、掘立柱建物28棟、土坑25基である。②群は、竪穴建物34棟、掘立柱建物76棟、土坑78基である、③群は、竪穴建物27棟、掘立柱建物31棟、土坑61基である。④群は、竪穴建物50棟、掘立柱建物25棟、土坑89基である(第22表)。以下、3つの遺構について、各群の状況を見ることにする。

ア 竪穴建物

中野山遺跡と北山A遺跡を合わせると150棟の竪穴建物を確認することが出来た。平面形状、規模、構造など多種多様であるが、ここでは、主に平面形状に着目して、分布状況を概観してみる(第284図)。

平面形状は、正方形と長方形の2つに分けたが、まず、その違いを明確にするため、直行する一辺の長さの差が30cm以上を長方形、30cm未満を正方形とした。なお、他の遺構との重複や、後世の攪乱などにより、一辺の長さが不明なものは省いた。

①群では、正方形13棟と長方形23棟と、長方形が多く、分布状況は調査区内のほぼ中央に集中する。

規模は、他の群に比べると若干大きい傾向にある。出土遺物から判断すると、古墳時代後期に含まれるものがある。また、正方形、長方形ともに2つの建物が、重複や近接しているものが多くみられる。

②群では、正方形15棟、長方形15棟と同数であるが、路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。前述したように、さらに2つか3つの小群に分けることが可能かもしれないが、①群と比べると分散している感がある。

なお、この②群には、壁立ちの建物と思われる竪穴建物SH317・SH319や、ヘラ記号や朱書きが施された須恵器⁶⁾が出土したSH1624があり、いずれも長方形であることは注目に値しようか。また、同じく朱書きで記号が施された須恵器が出土したSK1601も、この②群に含まれ、竪穴建物の3棟ともに、②群の中でも、概ね西側半分に存在している。

③群では、正方形10棟、長方形9棟と、ほぼ同数であるが、②群同様に路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。この③群にも、壁立ちの建物と思われるSH1011・SH1714があり、いずれも長方形である。

④群では、正方形26棟、長方形16棟と、正方形が多いが、②・③群同様に路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。

以下に、竪穴建物について、3点程まとめてみる。まず、数については、路線外の存在も考えると断定は出来ないが、①群から④群へ(西から東へ)と、長方形から正方形への比率が高くなる。2つ目として、①群から④群へと、規模はやや小さくなり、時期は全体的に新しくなる。また、集中して分布する傾向から、適度に分散して存在するように見受けられる。3つ目として、特に、②・③群で確認された特徴的な長方形の竪穴建物や、朱書き須恵器の出土がある。これらは、当遺跡の性格を考えるうえで重要な資料となるであろう。

なお、今回、竪穴建物の平面形状の分布状況をまとめるに当たり、基礎作業として、支柱穴やカマド、貯蔵穴などについて検討を行った。検討の内容は、支柱穴の距離と一辺の長さ、カマドと貯蔵穴はその位置についての全体的な傾向についてである。分布状況に直接反映させられる結果ではないが、若干記

述しておく。

各種検討を容易にするために、以下のような凡例(略記号・方位など)で、複数の竪穴建物をパターン化することにした。

まず、支柱穴について、直行する距離が同じ場合はA、違う場合は長い方をA、短い方をBとした。

また、一辺の長さが同じ正方形でも、支柱穴の直行する距離が同じ場合と違う場合がある。そのため、同じ場合は正方形パターン①、違う場合は正方形パターン②とした。また、一辺の長さが違う長方形でも、同様に支柱穴の距離が違う場合と同じ場合がある。違う場合は長方形パターン①、同じ場合は長方形パターン②と、大きくこの4つに分類した(第279図)。なお、4つの分類の中には、正方形、長方形ともに、一辺の長さが支柱穴の距離のちょうど2倍のものや、そうでないものもあり、他にもいくつかの細分化は出来そうである。

次に、カマドと貯蔵穴の位置については、正方形、長方形ともに、支柱穴がある場合は、4つの柱穴を通る線と、柱穴を二等分する線を縦横に、いわゆる四等分線を引き、4区画×4区画の16区画を設けた。その上で、カマドが存在する一辺の奥から手前にかけて1区画ずつにa・b・c・d、左から右にかけて1区画ずつに1・2・3・4を付けた。例えば、右上隅の区画はa4、左下隅の区画はd1、なお、奥の列の中央で、2つの区画にまたがる場合はa2・3と表記した(第280図・第29表)。

上記の正方形パターン①・②と、長方形パターン①・②の4つのパターンに加えて、支柱穴が確認できないが、正方形で不明パターン、また、長方形で不明パターン、一辺の状況が確認できない不明形の7つのパターンについて、カマドの位置について表にまとめた(第21表)。その結果を若干記述しておく。

いずれのパターンも見ても、一辺の中央a2・3にカマドが多くみられるが、中央の左側a2と中央の右側a3も、少ないながら存在する。

カマドが中央左側a2の内、正方形パターン②のSH1814・SH1820は、さらに左側のa1に貯蔵穴が存在する。貯蔵穴の位置については、その大半がカマドの右側に確認されているため、異例に感じる。また、カマドが中央の右側a3に存在するもの

は、長方形に若干多くみられる。特に、四隅のa4に存在する竪穴建物SH1624は、長方形でしかも、朱書き須恵器が出土しており、非常に興味深い。

今後、一辺の中央にカマドが存在するのではなく、左右どちらかに偏る位置にある竪穴建物の性格などについても、検討していく必要がある。

イ 掘立柱建物

中野山遺跡と北山A遺跡を合わせると、160棟の掘立柱建物を確認することが出来た。ここでは、側柱建物と総柱建物の分布状況を概観してみる。なお、側柱建物の中で、桁行の柱間が等間ではなく、両端の1間分が狭い(桁行中央の柱間が広い)掘立柱建物が、東海環状自動車の調査成果で、特徴的な存在である可能性⁷⁾が示唆されているため、このような建物についても見てみることにする(第285図)。

①群では、側柱建物15棟、総柱建物13棟と、ほぼ同数であるが、分布状況は、前述の竪穴建物よりは、やや西側に集中する感がある。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と少ない。また、総柱建物については、側柱建物の北側・西側・南側に、弧を描き、取り囲むような位置に存在するようにも見受けられる。

なお、総柱建物、側柱建物ともに2棟ずつが、近接や重複をしている。おそらく、2つの時期があり、2種類の掘立柱建物が連動して存在していた可能性が考えられよう。

②群では、側柱建物52棟、総柱建物24棟と、側柱建物が多く、その数は2倍強である。この②群は、前述したように、2つか3つの小群に分けられる可能性もあるが、全体的には側柱建物、総柱建物ともに、まばらで、分散しているように見受けられる。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は21棟と、側柱建物全体の約4割の数で、他の群と比べると多い。また、総柱建物については、①群で見られたような、側柱建物を取り囲む様な配置は、特に顕著ではないが、中央部分で、若干見受けられる。なお、この②群の掘立柱建物の規模は、他の群と比べてやや大きく、建物の方位は、複数棟がほぼ同一である。

③群では、側柱建物22棟、総柱建物9棟と、側柱建物が多く、②群同様に2倍強の数である。分布

状況についても、側柱建物、総柱建物ともにまばらで、分散しているようである。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と、①群同様に少ない。また、総柱建物については、中央部分に、若干集中しているように見受けられる。

④群では、側柱建物23棟、総柱建物2棟と、側柱建物が圧倒的に多い。分布状況については、側柱建物、総柱建物ともに、まばらで分散しているようである。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と、①・③群同様に少ない。以下に、掘立柱建物について、2点程まとめてみる。

まず、数についてである。側柱建物と総柱建物と、全体としては7：3の割合であるが、各群によって比率に違いがある。①群ではほぼ同数であるが、④群では圧倒的に側柱建物が多くなるため、概ね、①群から④群へと、総柱建物の比率が低くなる傾向にある。2つ目としては、桁行中央の柱間が広い掘立柱建物の比率の高さと、建物規模の大きさや方位の同一性など、②群が非常に目を引く状況が見られることである。

ウ 土坑

中野山遺跡と北山A遺跡を合わせると253基の土坑を確認することが出来た。平面形状や規模も様々であるため、ここでは、全土坑の半分以上の数である139基が確認された大型土坑を中心に、その分布状況を概観してみる。なお、前述したが、長径2m以上のものを大型土坑としたが、その中で、壁面や底面、もしくは、遺構の周辺にピットが存在する土坑（便宜上、ピット土坑と呼称）についても、合わせて見てみることにする（第285図）。ただし、このピット土坑の判断は、主観的なものである。

①群では、大型土坑13基、その内ピット土坑は約半分の7基である。大型土坑以外の土坑は12基と大型土坑とほぼ同数であるが、大型土坑の数自体は、他の群に比べると非常に少ない。また、まともも見受けられず、分散しているようである。

②群では、大型土坑47基、その内ピット土坑は33基と、その占める比率は約7割と高い。大型土坑以外の土坑は31基であるため、大型土坑の数自体も多く、その比率も高い。まとも具合は、集中しているとまではいかないが、②群の中央中心に広

がっている感がある。

③群では、大型土坑39基、その内ピット土坑は、3割強の14基である。大型土坑以外の土坑は22基であり、大型土坑は2倍弱の数である。まともについてはあまり見られず、分散する傾向にある。

④群では、大型土坑40基、その内ピット土坑は7基と、比率は非常に低い。大型土坑以外の土坑は49基、大型土坑とほぼ同数であるが、合計89基となり、土坑自体の数が非常に多い。まともというより、数が多いためか、調査区内全体に万遍なく分布するような感じである。以下に、土坑について、3点程まとめてみる。

まず、大型土坑については、①群では数は少なく、②・③・④群では多い傾向が見られる。2つ目として、大型土坑以外の土坑と、大型土坑の数の比率では、②・③群で大型土坑の高さが目立つことである。3つ目として、ピット土坑については、②群ではその数も多く、大型土坑の内に占める比率も高いことが分つたと同時に、④群の数の少なさと、大型土坑の内に占める比率の低さも顕著となった。

これまで、竪穴建物、掘立柱建物、土坑と3つの遺構について、個々の分布状況を見てきたが、最後に、各群別に概観しておくことにする。

①群では、竪穴建物は、正方形より長方形の方が若干多いが、それぞれが2基ずつ重複、あるいは近接している。掘立柱建物は、側柱建物と総柱建物とほぼ同数で、竪穴建物のように2棟ずつが重複、あるいは近接している。また、桁行中央が広い側柱建物は少なく、大型土坑とピット土坑は、ともに少ない。

上記の状況から、この①群では、正方形の竪穴建物と、長方形の竪穴建物、側柱建物、総柱建物、この4つの遺構が関連して、2時期に変遷した可能性が考えられる。

②群では、竪穴建物の内、壁立ち建物の可能性がある長方形竪穴建物の存在や、朱書き須恵器の出土が特徴的である。掘立柱建物でも、方位が揃い、規模が大きいものが多く、土坑では、大型土坑やピット土坑の数が多いなど、他の群と比較しても何らかの優位性が感じられる。

③群では、各遺構とも、②群ほどの特徴的な事は感じられない。

さらに東の④群では、竪穴建物で正方形が多くなり、掘立柱建物では側柱建物が圧倒的に多くなる。土坑ではピット土坑は少なく、大型土坑が多くなる。

全体的には、①群から④群へ（西から東へ）、時期が新しくなる。それにつれて、正方形と長方形の竪穴建物、側柱建物と総柱建物の掘立柱建物、大型土坑とピット土坑という各遺構が、それぞれ関係し合っ、例えば、主屋、副屋、倉庫、何らかの作業場などといった性格、機能として一つの単位を形成していた可能性も考えられる。

（6） 中世

この時期の遺構としては墓が4基、東海環状自動車道の調査では2基、合計6基が確認されている（第286図）。存在する場所として、まとまりを見せることはなく、また、墓以外の遺構も確認されていないため、分布の状況では、何も言及することは出来ない。

（7） まとめ

これまで時代を追って、各遺構の分布状況とその変遷を概観してきた。最後に、発掘調査で得られた成果や課題などを列挙して、まとめとしたい。

まず、第一に挙げられるのは、縄文時代早期の煙道付炉穴の確認である。三重県内で最多の数を検出することが出来たとともに、当遺跡ではそれらの方位に、一定の傾向が見られることを提示することが出来た。また、集石炉や竪穴建物などを含め、当地域ではこれまではっきりとしていなかった時期であっただけに、その空白を埋める資料として、非常に貴重な成果も得ることが出来た。今後は、他の遺跡でも見られる複数の煙道付炉穴の重複の様相などについても検討していく必要がある。

次の弥生時代では、遺構数は少なくなるものの、近接棟持柱の掘立柱建物の存在は、注目に値する。なお、後期に関しては、西側に近接する居林遺跡などへ展開するため、当遺跡内での活動は明瞭ではなくなることも判明した。

その後、古墳時代後期から古代にかけては、再び、当遺跡で非常に活発な活動の痕跡が見られることとなる。竪穴建物、掘立柱建物、土坑（特に大型土坑）などの遺構数は急増し、当遺跡の中心となる時期であることが明確になった。

掘立柱建物については、建物間の距離や柱通り、

方位などの検討課題は残すものの、竪穴建物や土坑との分布状況から、当該時期の集落の状況を明らかにすることが出来たものと思われる。なお、3つの遺構が、計画的に配置される所も少なからずあるが、西ヶ広遺跡や菟上遺跡で見られるような「公的」な性格と判断できる様相は、当遺跡では見受けられていない。

次に中世になると遺構数は急激に減少し、墓としての利用がなされるだけとなる。

その後は、特に目立った人間生活の痕跡を残すことなく、山林や雑木林、畑などとなり、現代を迎える事となった。そして、今回の発掘調査の後には、高速道路として利用されている。

最後になるが、今回の発掘調査で得られた成果の中で、いくつかのキーワードが提示された。特に古代に関して、朱書きの須恵器や鉄滓、轆の羽口の存在、また、壁立ちの竪穴建物、大型土坑、ピット土坑などである。これらは、当遺跡の性格を考える上で非常に重要であると思われる。

これらのキーワードという「点」と「点」が、今後の発掘調査などによる様々な検討で結びついて「線」となり、さらに、「線」と「線」が「面」となることで、当地域の歴史がさらに解明されることを期待している。

（服部）

【註・参考文献】

- 1) 櫻井拓馬・中村法道「近年の三重県の調査事例～野添大辻遺跡・中野山遺跡～」『東海地方における縄文時代早期前葉の諸問題』第10回東海縄文研究会2014
- 2) 山田猛「煙道付炉穴について」『東海地方における縄文時代早期前葉の諸問題』第10回東海縄文研究会2014
- 3) 田村陽一「1. 遺跡の立地環境と遺構」『一般国道42号線松阪・多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ 鴻ノ木遺跡（下層編）』三重県埋蔵文化財発掘調査報告1234下 三重県埋蔵文化財センター1998
- 4) 近畿自動車道名古屋神戸線（四日市JCT～亀山西JCT）建設事業に伴う『埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター2012
- 5) 平成24年度と25年度の2か年、個人住宅の建設に伴って四日市市教育委員会によって発掘調査が行われた。報告書が未刊行のため、平成25年11月行われた現地説明会の資料を参考にした。
- 6) 朱書きが施された土器は、全国的に見ても出土例が少なく、管見に触れた限りでは、当遺跡を含む32遺跡から出土している。（第23表）。

遺跡によって、その名称を朱書き土器、彩色記号が施された土器などと定まっておらず、また、記号や文字など書かれた内容や時代も様々である。しかし、今回、報告書を作成するに当たっては、出来るだけ多くの情報を掲載することに心掛けた。

いくつかの共通する傾向が見られるため、以下に、若干記述しておく。

器種は、圧倒的に須恵器の杯身・杯蓋が多い。

場所は杯身が底部、杯蓋が天井部と、いずれも外面に施されており、セット関係で出土する例も見受けられる。

朱書きの内容は、「×」あるいは「+」が多く、「—」・「○」・「:」・「T」などの記号もある。「×」と「+」は、向き次第でどちらにも考えられるため、本来同じなのかもしれない。

時期は、様々であるが、概ね6世紀後半～7世紀初め頃が多い感がある。なお、奈良時代や平安時代、また、土師器の杯、文字が書かれたりするもの、官衙関係遺跡出土例などあるが、これらは、上記の朱書き須恵器とは、全く性格が異なる所産のものであろう。

出土遺構は、古墳、横穴墓、集落跡、官衙など、様々であり、階層性の高い古墳や、何らかの古墳祭祀の在り方を示しているとか、渡来系氏族や鉄生産との関連などの検討がなされている。

当遺跡周辺にも、県内でも珍しい横穴墓の存在が知られており、興味深い。また、近接する筆ヶ崎古墳群からは、釵子が出土しており渡来系氏族との関わりも提示されている。さらに、これまでも、鉄滓・鞆羽口などの出土から古代大金山郷に属するとも言われている。

当遺跡から出土した朱書き土器は、それらとの関連性をさらに補完するものと考えられる。

- 7) 桁行の中央の柱間が広い側柱建物を、意識して抽出したが、東海環状自動車道の調査で見られたような、柱筋から外側へ飛び出るような形状の建物は、新名神の調査では明瞭ではない。

第16表 三重県内煙道付炉穴調査遺跡一覧表

	遺跡名	所在地	炉穴数	参考文献
1	中野山遺跡	四日市市北山町	175基（*）	①
2	鈴山遺跡	三重郡菰野町	10基	②
3	東庄内A遺跡	鈴鹿市東庄内町・亀山市川崎町	2基	③
4	大鼻遺跡	亀山市太岡寺町	16基	④
5	西出遺跡	津市美里町	3基	⑤
6	鴻ノ木遺跡	松阪市射和町・中万町	21基	⑥
7	コドノB遺跡	多気郡明和町上村	3基	⑦
8	坂倉遺跡	多気郡多気町東池上	19基	⑧
9	野添大辻遺跡	度会町大紀町野添	11基	⑨

（*）東海環状自動車道建設事業に伴う発掘調査分16基を含む

【参考文献】

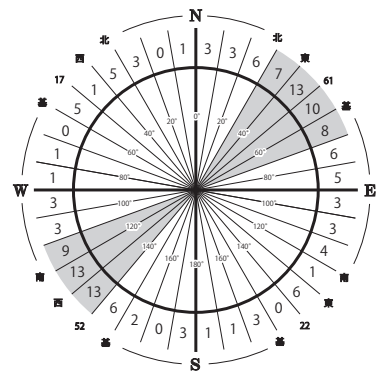
- ①三重県埋蔵文化財センター『中野山遺跡（第2・3・6・7次）発掘調査報告』2016
- ②三重県埋蔵文化財センター『鈴山遺跡（第2・3次）発掘調査報告』2018
- ③三重県埋蔵文化財センター『東庄内A遺跡（第2次）発掘調査報告』2009
- ④三重県埋蔵文化財センター『大鼻遺跡 - 本文編 - 図録編 -』1994
- ⑤三重県埋蔵文化財センター『西出遺跡・井之広遺跡』1990
- ⑥三重県埋蔵文化財センター『鴻ノ木遺跡（下層編）』1998
- ⑦三重県埋蔵文化財センター『コドノB遺跡（第2次・第3次）発掘調査報告』2000
- ⑧三重県教育委員会「坂倉遺跡」『三重県文化財年報5』1975・奥義次「第二編 原始」『多気町史 通史編』多気町1992
- ⑨三重県埋蔵文化財センター『野添大辻遺跡（第1次）発掘調査報告』2014

第 17 表 煙道付炉穴方位別一覽表

遺構番号	方位	数	方角
1 SF 1725	N-2°-E	3	北東 61
2 SF 1511	N-5°-E		
3 SF 1549	N-9°-E		
4 SF 1530	N-14°-E	3	
5 SF 1018	N-17°-E		
6 SF 1728	N-17°-E		
7 SF 1705	N-23°-E	6	
8 SF 1005	N-26°-E		
9 SF 1536	N-26°-E		
10 SF 1122	N-27°-E		
11 SF 1113	N-28°-E		
12 SF 1126	N-28°-E		
13 SF 1133	N-30°-E	7	
14 SF 1425	N-30°-E		
15 SF 1105	N-32°-E		
16 SF 1706	N-32°-E		
17 SF 1467	N-33°-E		
18 SF 1480	N-33°-E		
19 SF 1475	N-38°-E		
20 SF 1024	N-41°-E	13	
21 SF 1497	N-41°-E		
22 SF 1465	N-42°-E		
23 SF 1564	N-42°-E		
24 SF 1525	N-43°-E		
25 SF 1472	N-44°-E		
26 SF 1534	N-44°-E		
27 SF 1724	N-44°-E		
28 SF 1205	N-46°-E		
29 SF 1405	N-48°-E		
30 SF 1713	N-48°-E		
31 SF 1535	N-49°-E		
32 SF 1541	N-49°-E		
33 SF 1594	N-50°-E	10	
34 SF 1003	N-51°-E		
35 SF 1581	N-51°-E		
36 SF 1592	N-51°-E		
37 SF 1412	N-52°-E		
38 SF 1548	N-53°-E		
39 SF 1512	N-55°-E		
40 SF 1527	N-55°-E		
41 SF 1116	N-57°-E		
42 SF 1579	N-58°-E		
43 SF 1533	N-62°-E	8	
44 SF 1550	N-62°-E		
45 SF 1476	N-64°-E		
46 SF 1203	N-64°-E		
47 SF 1547	N-64°-E		
48 SF 1582	N-65°-E		
49 SF 1008	N-68°-E		
50 SF 1474	N-69°-E		
51 SF 1500	N-70°-E	6	
52 SF 1718	N-70°-E		
53 SF 1723	N-70°-E		
54 SF 1595	N-76°-E		
55 SF 1508	N-77°-E		
56 SF 1596	N-78°-E		
57 SF 1062	N-82°-E	5	
58 SF 1473	N-82°-E		
59 SF 1518	N-86°-E		
60 SF 1702	N-86°-E		
61 SF 1080	N-88°-E		

遺構番号	方位	数	方角
62 SF 1121	N-90°-E	3	南東 22
63 SF 1726	N-96°-E		
64 SF 1727	N-96°-E		
65 SF 1456	N-104°-E	3	
66 SF 1513	N-104°-E		
67 SF 1532	N-105°-E		
68 SF 1420	N-110°-E	4	
69 SF 1519	N-116°-E		
70 SF 1115	N-118°-E		
71 SF 1483	N-119°-E		
72 SF 1030	N-126°-E	1	
73 SF 1112	N-131°-E	1	
74 SF 1430	N-134°-E	6	
75 SF 1455	N-134°-E		
76 SF 1019	N-135°-E		
77 SF 1411	N-136°-E		
78 SF 1134	N-138°-E		
79 SF 1406	N-150°-E		
80 SF 1125	N-151°-E	3	
81 SF 1597	N-151°-E		
82 SF 1424	N-160°-E		
83 SF 1007	N-173°-E	1	
84 SF 1029	N-2°-W	1	
85 SF 1458	N-2°-W	3	
86 SF 1559	N-26°-W		
87 SF 1556	N-29°-W		
88 SF 1553	N-31°-W	5	
89 SF 1552	N-32°-W		
90 SF 1554	N-34°-W		
91 SF 1408	N-36°-W		
92 SF 1452	N-37°-W		
93 SF 1586	N-49°-W	1	
94 SF 1431	N-50°-W	5	
95 SF 1494	N-51°-W		
96 SF 1707	N-51°-W		
97 SF 1481	N-56°-W		
98 SF 1486	N-57°-W		
99 SF 1477	N-72°-W	1	
100 SF 1110	N-89°-W	1	
101 SF 1555	N-92°-W	3	
102 SF 1507	N-93°-W		
103 SF 1487	N-98°-W		
104 SF 1120	N-103°-W	3	
105 SF 1441	N-104°-W		
106 SF 1593	N-109°-W		
107 SF 1537	N-110°-W	9	
108 SF 1489	N-112°-W		
109 SF 1114	N-114°-W		
110 SF 1484	N-114°-W		
111 SF 1587	N-114°-W		
112 SF 1491	N-116°-W		
113 SF 1716	N-116°-W		
114 SF 1469	N-118°-W		
115 SF 1106	N-119°-W		
116 SF 1204	N-120°-W	13	
117 SF 1488	N-121°-W		
118 SF 1583	N-121°-W		
119 SF 1006	N-123°-W		
120 SF 1717	N-124°-W		
121 SF 1014	N-125°-W		
122 SF 1016	N-125°-W		

遺構番号	方位	数	方角	
123 SF 1457	N-125°-W	13	南西 52	
124 SF 1471	N-125°-W			
125 SF 1485	N-125°-W			
126 SF 1478	N-126°-W			
127 SF 1015	N-127°-W			
128 SF 1470	N-128°-W			
129 SF 1135	N-131°-W	13		
130 SF 1419	N-131°-W			
131 SF 1421	N-131°-W			
132 SF 1422	N-131°-W			
133 SF 1719	N-132°-W			
134 SF 1501	N-133°-W			
135 SF 1004	N-134°-W			
136 SF 1129	N-134°-W			
137 SF 1495	N-134°-W			
138 SF 1402	N-135°-W			
139 SF 1432	N-136°-W			
140 SF 1077	N-137°-W			
141 SF 1410	N-137°-W			6
142 SF 1131	N-140°-W			
143 SF 1423	N-140°-W			
144 SF 1482	N-140°-W			
145 SF 1074	N-142°-W			
146 SF 1123	N-144°-W			
147 SF 1403	N-147°-W	2		
148 SF 1416	N-151°-W			
149 SF 1415	N-152°-W	3		
150 SF 1499	N-171°-W			
151 SF 1434	N-176°-W			
152 SF 1521	N-178°-W	7		不明
153 SF 1073	不明			
154 SF 1136	不明			
155 SF 1528	不明			
156 SF 1529	不明			
157 SF 1561	不明			
158 SF 1580	不明			
159 SF 1721	不明			



第 278 図 煙道付炉穴方位図 (159 基中 152 基)

第 18 表 煙道付炉穴場所別方角・形状・規模一覧表

内容		場所		計
		北東部	中央部	
方角	北東	40	21	61
	南東	17	5	22
	北西	12	5	17
	南西	47	5	52
	不明	4	3	7
	合計	120	39	159
形状	二等辺三角形	12	2	14
	長楕円形	59	21	80
	楕円形	46	15	61
	円形	2	1	3
	不明	1	0	1
	合計	120	39	159
規模	1.5m以上(大型)	40	1	41
	1.5m未満(小型)	50	34	84
	不明	30	4	34
	合計	120	39	159

*新名神調査分のみ

第 19 表 縄文時代場所別遺構数一覧表

時期	遺構名	事業名	場所				計
			北東部	中央部	北部	西部	
早期	竪穴建物	新名神	4	1	0	0	5
		東環	0	(1)	0	0	(1)
	煙道付炉穴	新名神	120	39	0	0	159
		東環	0	16	0	0	16
	集石炉 A	新名神	7	0	0	1	8
		東環	0	4	0	0	4
	集石炉 B	新名神	4	5	0	0	9
		東環	0	7	0	0	7
	土坑炉	新名神	2	0	0	1	3
		東環	0	0	0	1	1
	集石遺構	新名神	1	1	0	0	2
	中期 ～ 後期	竪穴建物	新名神	0	0	2	1
袋状土坑		新名神	0	0	0	6	6
土坑		新名神	0	1	0	5	6
		東環	0	0	0	5	5
集石遺構		新名神	0	0	0	6	6
晩期	埋設土器	新名神	4		0	0	4

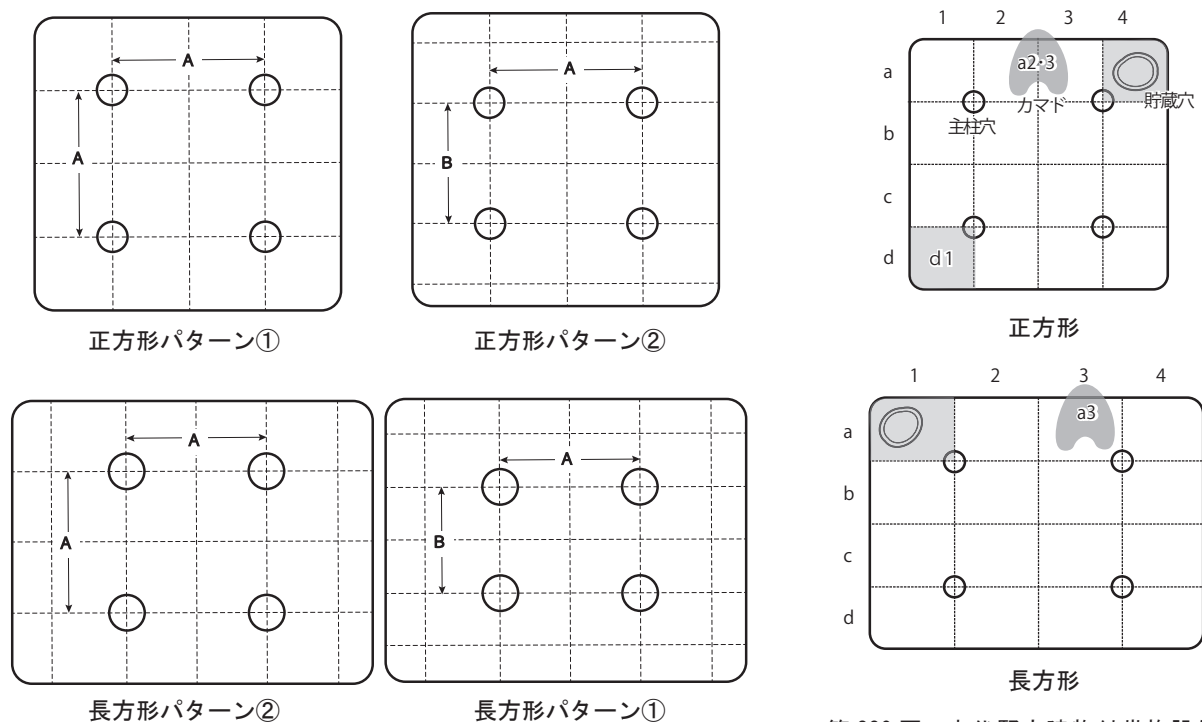
*早期・竪穴建物・東環(1)は、新名神1と同一遺構
*東環・新名神で、遺構名称付与の観点に、若干違いがある可能性も考えられる。

第 20 表 弥生時代場所別遺構数一覧表

時期	遺構名	事業名	場所		計
			東部	西部	
中期	竪穴建物	新名神	2	2	4
	掘立柱建物	新名神	0	1	1
	土坑	新名神	4	2	6
		東環	2	0	2
	P i t	東環	1	1	2
溝	新名神	1	0	1	
後期	竪穴建物	新名神	0	11	11
		東環	0	4	4
	土坑	東環	0	4	4

第 21 表 古代竪穴建物カマド位置一覧表

平面形	パターン	カマドの位置					計
		a 2	a 2・3	a 3	a 4	不明	
正方形	パターン①	2	6	3	0	1	12
	パターン②	2	6	2	0	0	10
	不明	0	2	0	0	3	5
	小計	4	14	5	0	4	27
長方形	パターン①	3	17	4	1	2	27
	パターン②	0	0	0	0	1	1
	不明	0	4	3	0	3	10
	小計	3	21	7	1	6	38
不明	不明	0	0	0	0	11	11
計		7	35	12	1	21	76



第 279 図 古代竪穴建物平面形パターン模式図

第 280 図 古代竪穴建物付帯施設位置略記号凡例

第 22 表 古代場所別遺構数一覧表

遺構名	性格	群								計
		①群		②群		③群		④群		
		新名神 中野山	東環 中野山	新名神 中野山	東環 中野山	新名神 中野山	東環 中野山	新名神 北山A	四日市市 北山A	
SH (竪穴建物)	正方形	13	0	8	7	6	4	19	7	64
		13		15		10		26		
	長方形	20	3	10	5	8	1	16	0	63
		23		15		9		16		
	不明	3	0	1	3	7	1	8	0	23
3		4		8		8				
計		39		34		27		50		150
SB (掘立柱建物)	側柱建物 (桁行中央柱間広い)	15 (4)	0 (0)	31 (14)	21 (7)	20 (3)	2 (1)	16 (4)	7 (0)	112 (30)
		15 (4)		52 (21)		22 (4)		23 (4)		
	総柱建物	8	5	14	10	9	0	2	0	48
		13		24		9		2		
計		28		76		31		25		160
SK (土坑)	大型土坑	11	2	28	19	32	7	38	2	139
		13		47		39		40		
	以外土坑	7	5	15	16	15	7	41	8	114
		12		31		22		49		
	計 (ピット土坑)	18 (7)	7 (0)	43 (21)	35 (12)	47 (13)	14 (1)	79 (5)	10 (2)	253 (61)
25 (7)		78 (33)		61 (14)		89 (7)				

第 23 表 朱書土器出土遺跡一覧表 (1)

遺跡名	所在地	性格	出土遺構	種類	器種	場所・内容	時期	参考文献	備考
1 東笠根1号墳	島根県 隠岐島後の五箇村北方	古墳	円墳 横穴式石室	須恵器	杯蓋1 杯身1	天井部「+」 外面底部中央「+」	Ⅱ形式4段階	①・②・⑤	
2 筆ノ尾横穴群	島根県 松江市東長江町筆ノ尾	横穴墓	第4号穴 玄室内	須恵器	杯蓋1 (報54) 杯身2 (報43・44)	天井部? 「赤色顔料」付着 底部外面? 報43「×」 報44「赤色顔料」	6世紀後半 ～7世紀中頃 (複数回追葬)	③	
3 袋原横穴墓群	島根県 松江市平成町	横穴墓	3号横穴墓 玄室内	須恵器	杯蓋1 (報1) 杯身1 (報4)	天井部「+」 底部外面 顔料付着	6世紀後半	④	杯蓋・杯身セット 人骨の頭蓋骨の下から出土
4 名和飛田遺跡	鳥取県 西伯郡名和町	集落跡	竪穴住居2 竪穴住居3	須恵器	杯身1 (報112) 杯蓋2 (報123・144) 杯身1 (報156)	底部外面 記号 天井部 記号 底部外面 記号	6世紀末	⑤	
5 前ノ谷古墳	兵庫県 三田市下青野	古墳	横穴式石室	須恵器	杯蓋1	天井部「×」記号	TK 209	⑤・⑥	
6 墓山古墳	兵庫県 三田市横山町	古墳	方墳? 木棺	須恵器	杯蓋3 (報3・7・11) 杯身4 (報5・13・14・15)	報3・7 天井部に朱 報11 天井部「×」印 報5・14 底部外面に朱 報13・15 底部外面「×」印	6世紀前半	⑤・⑧	杯蓋・杯身セット
7 丁・柳ヶ瀬遺跡	兵庫県 姫路市勝原区	集落跡		須恵器	不明		8C前	⑤	
8 箱塚古墳群 4号墳	兵庫県 篠山市西紀町	古墳		須恵器	不明		6C中	⑤	
9 小山4号墳	兵庫県 養父市八鹿町	古墳		須恵器	不明		6C前	⑤	
10 讃良郡糸里遺跡	大阪府 寝屋川市出雲町	集落跡	自然流路	須恵器	杯蓋1	天井部中央「+」記号	Ⅰ形式3段階	⑤・⑦・⑨	
11 志紀遺跡	大阪府 八尾市志紀町	集落跡	水田 畦畔上	須恵器	杯蓋3 杯身1	外面中央 三角形に朱を3点付ける	Ⅱ形式4段階	⑤・⑦・⑩	
12 船橋遺跡	大阪府 柏原市古町・大正	集落跡	表塚	須恵器	杯身1	底部外面	Ⅱ形式3段階	⑤・⑦・⑪	
13 平野・大泉古墳群 (90-3次調査)	大阪府 柏原市平野・大泉	古墳	第15支群10号墳 無袖横穴式石室玄室	須恵器	杯蓋1	天井部 口縁外面端部2か所 朱の印	Ⅱ形式1段階	⑤・⑦・⑫	
			第15支群11号墳 横穴式石室 周溝内底部		蓋1	体部外面 いくつかの曲線と直線で記号	?		
			第27支群2号墳 片袖式横穴式石室 玄室		杯蓋1	天井部中央 大きな点で記号	Ⅱ形式 2段階 or 3段階		
14 大泉遺跡 (84-1次調査区) (85-2次調査区)	大阪府 柏原市平野・大泉	集落跡	溝・包含層	須恵器	杯蓋11 杯身10 杯蓋3 杯身1	外面中央部多い 「・」「+」「-」 小さな点3つ連なる 1点「-」 それ以外不明	Ⅰ形式4段階 ～Ⅱ形式5段階	⑤・⑦・ ⑬・⑭	出土点数多い 日常的な利用目的
			溝			?			
15 大泉南遺跡 (84-3次調査)	大阪府 柏原市大泉・太平寺	集落跡	溝	須恵器	杯身1	底部中央部と端部の間 円形の一重丸 記号	Ⅱ形式5段階	⑤・⑦・⑬	他、杯体部の破片「+」記号あり 銀冶関連の遺物の関わり
16 太平寺遺跡	大阪府 柏原市太平寺	集落跡	溝	須恵器	杯身2	平坦な底部外面 記号不明	Ⅲ形式 1段階 or 2段階	⑤・⑦・⑮	

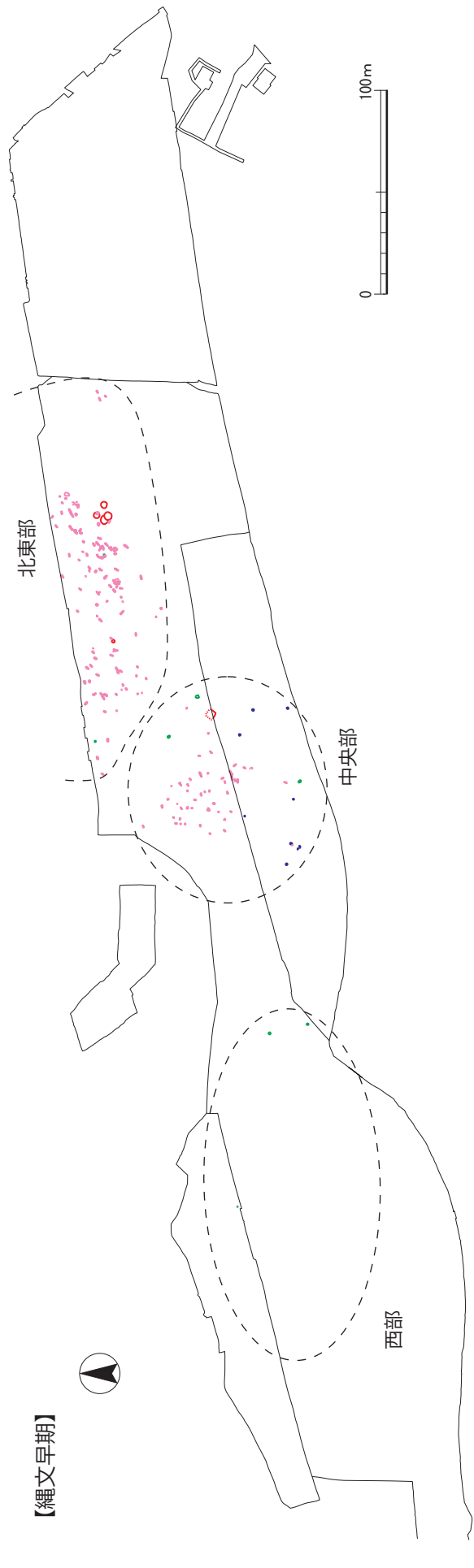
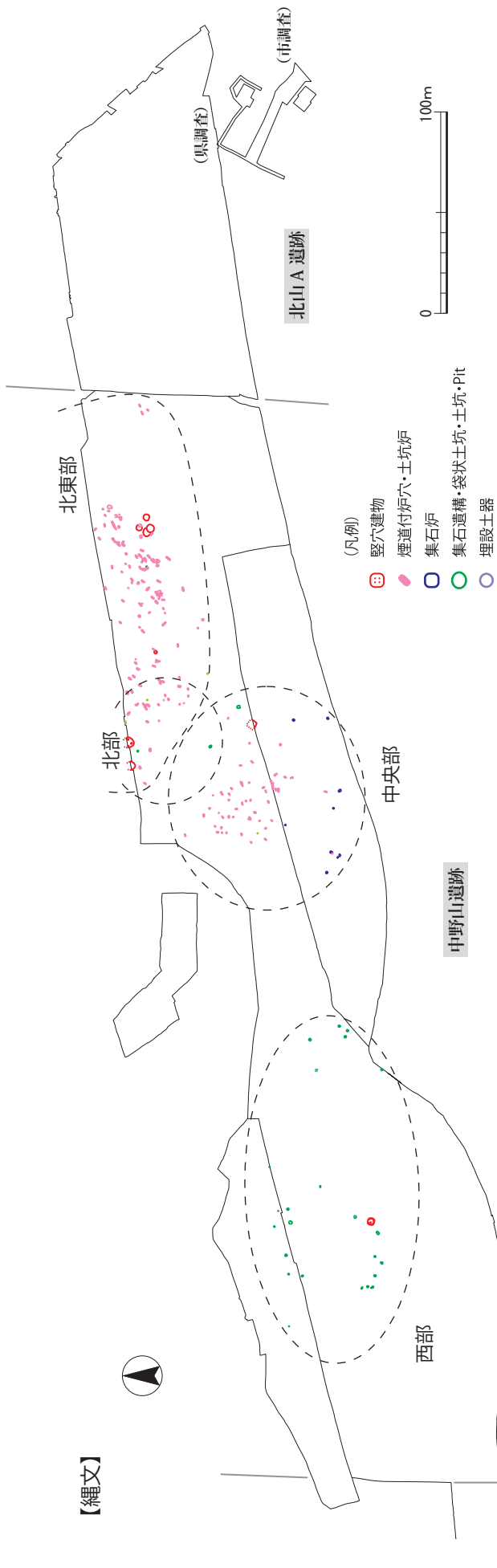
*一覧表の作成は、三木雅子「名和飛田遺跡出土の彩色記号を持つ須恵器について」『名和飛田遺跡』財団法人鳥取県教育文化財団 国土交通省 倉吉河川国道事務所 (2005)、及び北野 重「朱記号を持つ須恵器」『韓式系土器研究Ⅴ』韓式系土器研究会 1994を参考にして、加筆修正を行った。

第23表 朱書土器出土遺跡一覧表(2)

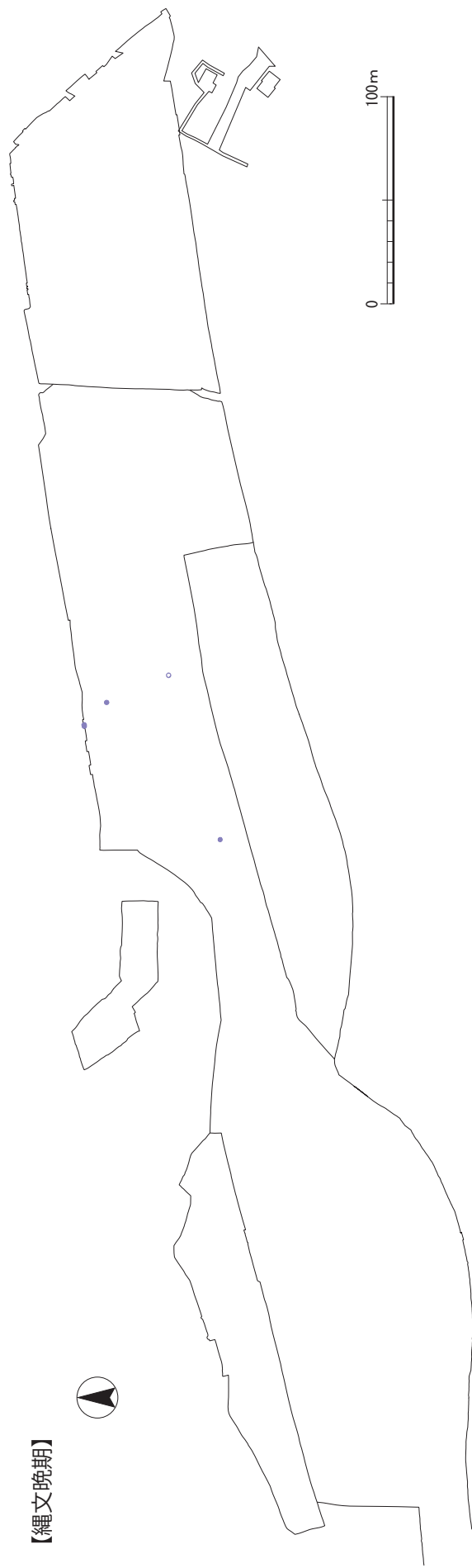
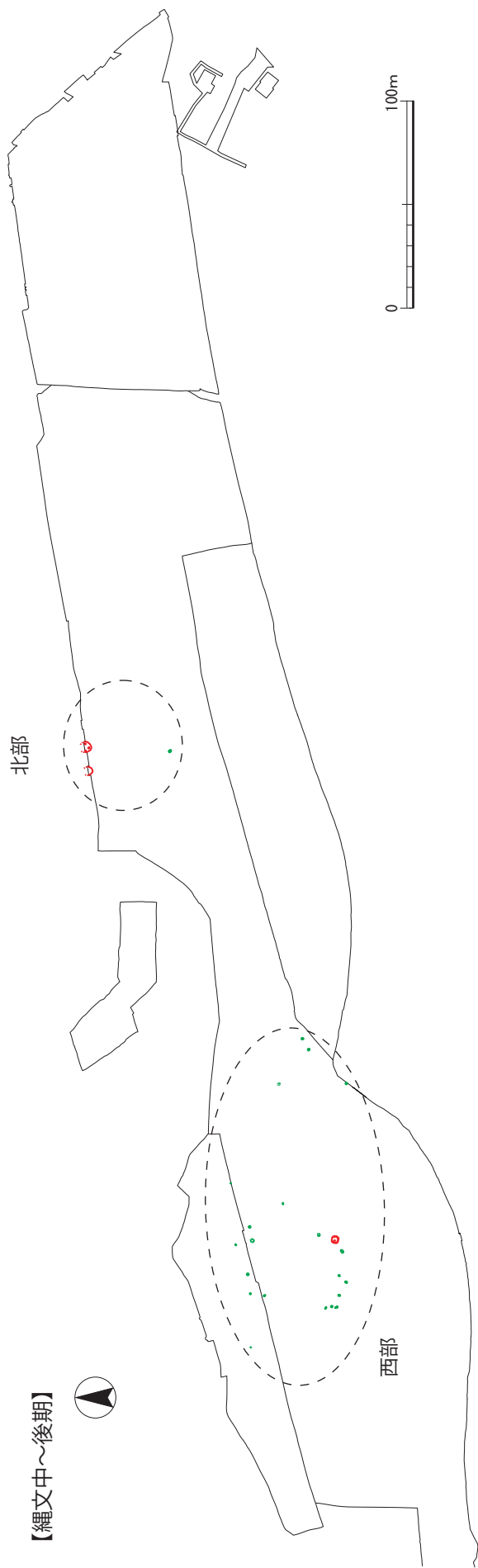
遺跡名	所在地	性格	出土遺構	種類	器種	場所・内容	時期	参考文献	備考	
17 高井田遺跡 (89-3次調査)	大阪府 柏原市安堂町・高井田	集落跡	谷	須恵器	杯身1	外面底部 やや湾曲した「-」の長い線	Ⅱ形式6段階	⑤・⑦・⑮		
18 高井田横穴 (90-2次調査)	大阪府 柏原市高井田	横穴	第4支群 44号墳 埋土上層	須恵器	杯蓋1 杯身1	天井部「T」記号 底部外面「T」記号	Ⅱ形式3段階	⑤・⑦・⑰		
19 入谷古墳群	京都府 与謝郡加悦町	古墳	西A-1号墳 両袖式竪穴系横口式石室 木棺	須恵器	杯蓋1 杯身1	外面「-」記号	?	①・⑤・⑦	朱を入れた壺も出土	
20 寺口忍海古墳群	奈良県 葛城市新庄町	古墳	H支群 29号墳	須恵器	杯蓋2 杯身2	「+」「二」 それぞれ同一記号がセット関係を成す	Ⅱ形式 5段階 or 6段階	⑤・⑱	東方所在の線治関係遺物出土 「脇田遺跡」との関連性	
21 大茂亥遺跡	滋賀県 長浜市大茂亥町	集落跡		須恵器			6C末	⑤		
22 小羽山八号墳	福井県 丹生郡清水町	古墳		須恵器			6C前	⑤		
23 中野山遺跡	三重県 四日市市北山町	集落跡	SH 624	須恵器	杯蓋1 (報 209)	天井部「×」or「+」	6世紀前葉~中葉 (MT15~TK10)	⑲	東環 (第6次) 焼失家屋 平面形長方形	
			SH 1624	須恵器	杯身1 (報 707)	底部外面「×」?				新名神 (第12次) へら記号あり
			SK 1601	須恵器	杯蓋2 (報 1426・報 1427) 杯身4 (報 1429・報 1430・報 1433・報 1434)	杯蓋 天井部 杯身 底部外面「○」と「×」?				本報告書 新名神 (第12次)
24 筆ヶ崎古墳群	三重県 四日市市小牧町	古墳	4号墳 盜掘坑	須恵器	杯蓋 (報 78)	天井部 赤線	7世紀第3 四半期	⑳		
25 小屋城古墳群	三重県 津市安濃町	古墳	1号墳 横穴式石室 石室内	須恵器	杯蓋5 (報4・5・6・7・9)	杯蓋2 天井部「+」 杯蓋3 天井部「:」	Ⅱ-5 or Ⅱ-6 TK 209	㉑・㉒		
					杯身2 (報13・14)	杯身2 底部外面「+」				
26 ガガフタ古墳群	三重県 津市白山町	古墳	2号墳 横穴式石室	須恵器	杯蓋1 (報 72) 杯身1 (報 93)	杯蓋1 天井部「+」 杯身1 底部外面「+」	Ⅱ-4 TK 43 6世紀後半代	㉒		
27 堀田遺跡	三重県 松阪市堀野宮古町	集落跡	SD168	須恵器	杯身1 (報 212)	底部外面「+」	古墳時代後期	㉓	溝の祭祀の関わり	
28 鴻ノ木遺跡	三重県 松阪市射和町	集落跡	SK30	土師器	杯1 (報11)	底部内面「×」	平安時代後期	㉔		
29 高ノ御前遺跡	三重県 伊勢市有滝町	集落跡	包含層	須恵器	杯身1 (報996)	底部外面「-」	TK 209	㉕		
30 梶子北遺跡	静岡県 浜松市西伊場町	集落跡	不明	須恵器	杯B1 (報146)	底部外面 「+」or「大」or「木」		㉖	郡衙関連	
31 富里遺跡	静岡県 袋井市宮里・磐田市豊 浜中野	集落跡	包含層	須恵器	杯身4 (報 169・170・171・172)	169: 底部内面細い線組合せた記号 170・171: 底部外面「+」172: 底部外面「○」	8C (169: 7世紀代)	㉗	171: へら記号あり	
32 御子ヶ谷遺跡	静岡県 藤枝市瀬古	官衙	不明	須恵器	杯B1 (報204)	底部外面「+」	古墳~古代	㉘	志太郡衙跡	

【参考文献】

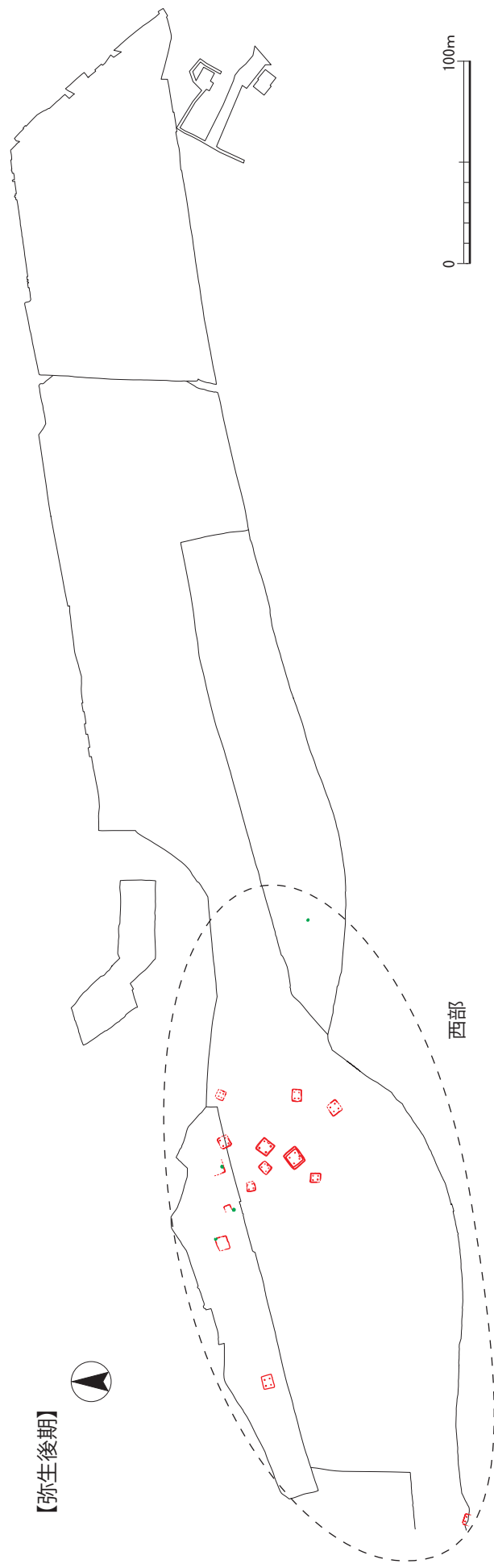
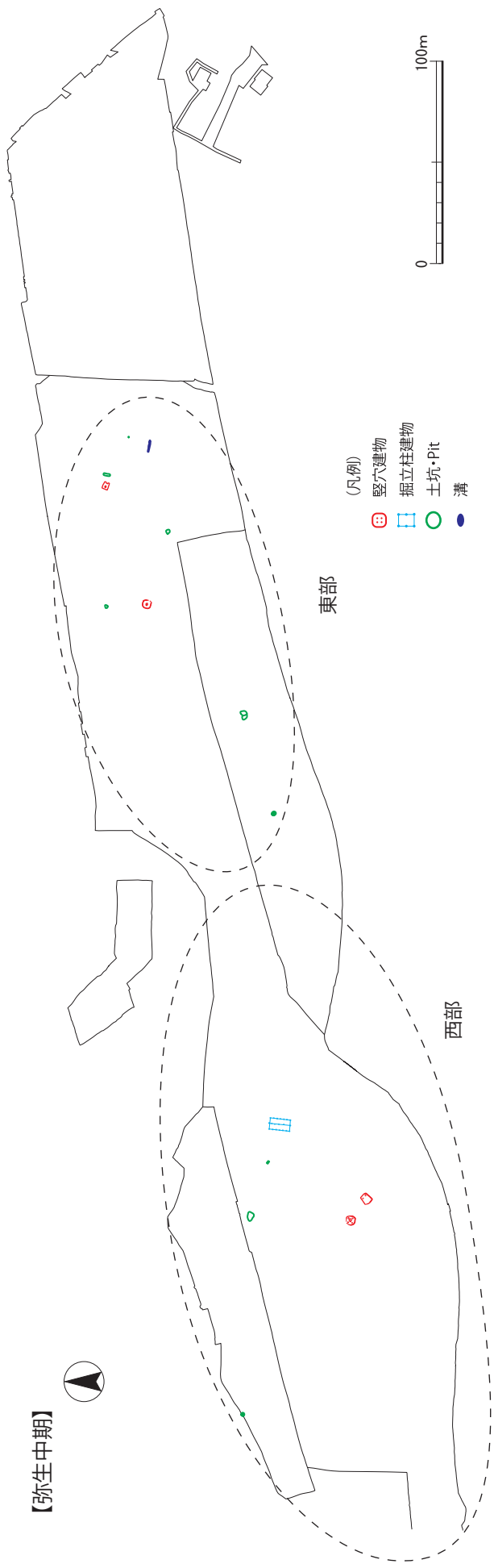
- ① 谷本 進 「赤色顔料・漆記号を施した須恵器と鎮魂儀礼」『但馬考古学』 第5集 1988
- ② 勝部 昭 「十印のある土器」『古代学研究』 94 -特集 万葉集と考古学- 古代学研究会 1980
- ③ 松江市文化財調査報告書第57集 『筆ノ尾横穴群発掘調査報告書』 松江市教育委員会 (財)松江市教育文化振興事業団 1995
- ④ 松江市文化財調査報告書第76集 『第2卸商業団地造成工事に伴う発見遺跡群発掘調査報告書』 松江市教育委員会 財団法人松江市教育文化振興事業団 1998
- ⑤ 鳥取県教育文化財調査報告書104 『一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 鳥取県西伯郡名和町 名和飛田遺跡』 財団法人 鳥取県教育文化財団 国土交通省 倉吉河川国道事務所 2005
- ⑥ 兵庫県文化財調査報告第50冊 『青野ダム建設に伴う発掘調査報告書(1)』 兵庫県教育委員会 1987
- ⑦ 北野 重 「朱記号を持つ須恵器」『韓式系土器研究V』 韓式系土器研究会 1994
- ⑧ 兵庫県文化財調査報告書 第44冊 『墓山古墳 -国道176号線拡幅工事に伴う発掘調査-』 兵庫県教育委員会 1987
- ⑨ 『讃良郡条里遺跡発掘調査概要・Ⅱ』 大阪府教育委員会 1991
- ⑩ 『志紀遺跡発掘調査概要・Ⅱ』 大阪府教育委員会 1992
- ⑪ 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』 柏原市教育委員会 1984
- ⑫ 『平尾山古墳群平野・大泉支群』 1992-Ⅲ 柏原市教育委員会 1992
- ⑬ 柏原市文化財概報 1984-Ⅳ 『大泉・大泉南遺跡 -下水道管渠埋設工事に伴う-』 柏原市教育委員会 1985
- ⑭ 柏原市文化財概報 1988-Ⅱ 『大泉遺跡 -堅下小学校屋内運動場に伴う-』 柏原市教育委員会 1988
- ⑮ 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』 柏原市教育委員会 1991
- ⑯ 『高井田遺跡Ⅲ』 柏原市教育委員会 1989
- ⑰ 『高井田横穴Ⅲ』 1991-Ⅱ 柏原市教育委員会 1991
- ⑱ 『寺口忍海古墳群』 奈良県橿原考古学研究所・新庄町教育委員会 1988
- ⑲ 三重県埋蔵文化財調査報告 186-8 『東海環状自動車道建設事業に伴う 中野山遺跡 (第2・3・6・7次) 発掘調査報告 -四日市市北山町所在-』 三重県埋蔵文化財センター 2016
- ⑳ 三重県埋蔵文化財調査報告書 323-7 『筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡 (第2・3・6次) 発掘調査報告』 2021
- ㉑ 三重県埋蔵文化財報告 120 『一般県道穴倉南神山津線道路改良事業に伴う 小屋城古墳群 -安芸郡安濃町南神山-』 三重県埋蔵文化財センター 1994
- ㉒ 小玉道明ほか 『三重県一志郡白山町ガガフタ古墳群発掘調査報告』『三重県埋蔵文化財センター』 研究紀要第5号 三重県埋蔵文化財センター 1996
- ㉓ 三重県埋蔵文化財調査報告 261 『堀田 -第6次調査-』 三重県埋蔵文化財センター 2005
- ㉔ 三重県埋蔵文化財調査報告 123-4上 『一般国道42号線松阪・多気バイパス建設事業地内埋蔵文化財発掘調査報告 Ⅳ 鴻ノ木遺跡』 三重県埋蔵文化財センター 1998
- ㉕ 三重県埋蔵文化財報告 253 『高ノ御前遺跡 (第2次) 発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財センター 2004
- ㉖ 『梶子北遺跡 遺物編 (図版)』 浜松市博物館 1998
- ㉗ 静岡県埋蔵文化財センター調査報告第57集 『富里遺跡 袋井市・磐田市 平成24年度~平成29年度二級河川太田川広域河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』 静岡県埋蔵文化財センター 2018
- ㉘ 藤枝市埋蔵文化財調査研究所 『日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発掘調査報告書3 志太郡衙跡 (御子ヶ谷遺跡・秋合遺跡)』 藤枝市教育委員会 1981



第 281 図 時代別遺構分布図 1 (1 : 3,000)

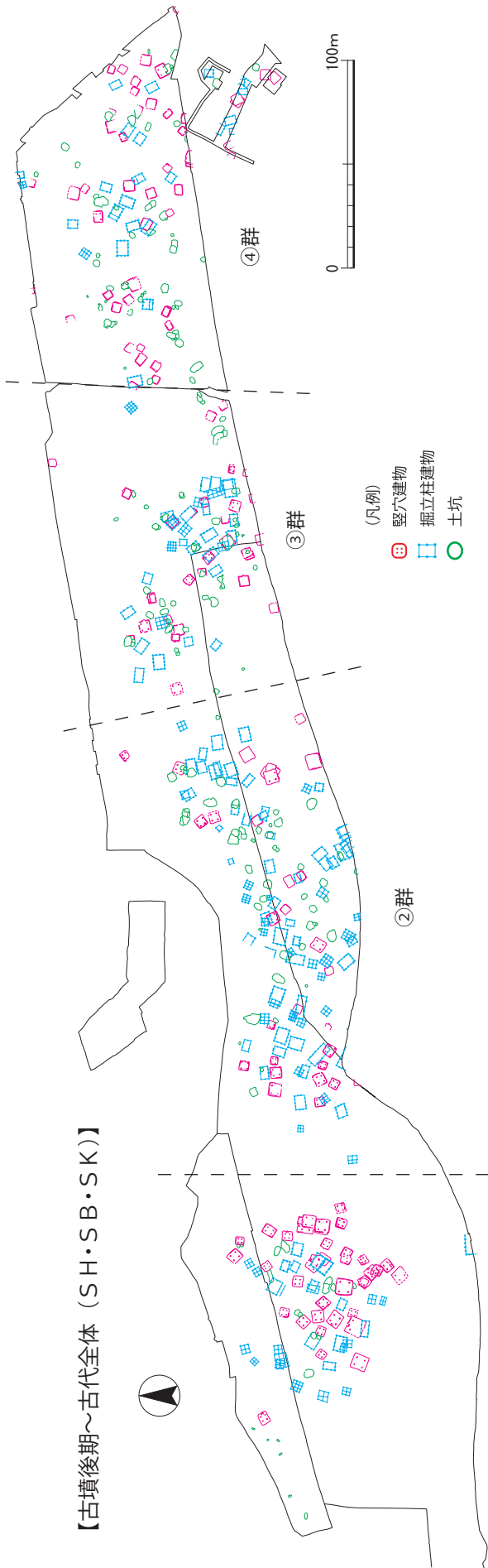


第 282 図 時代別遺構分布図 2 (1 : 3,000)

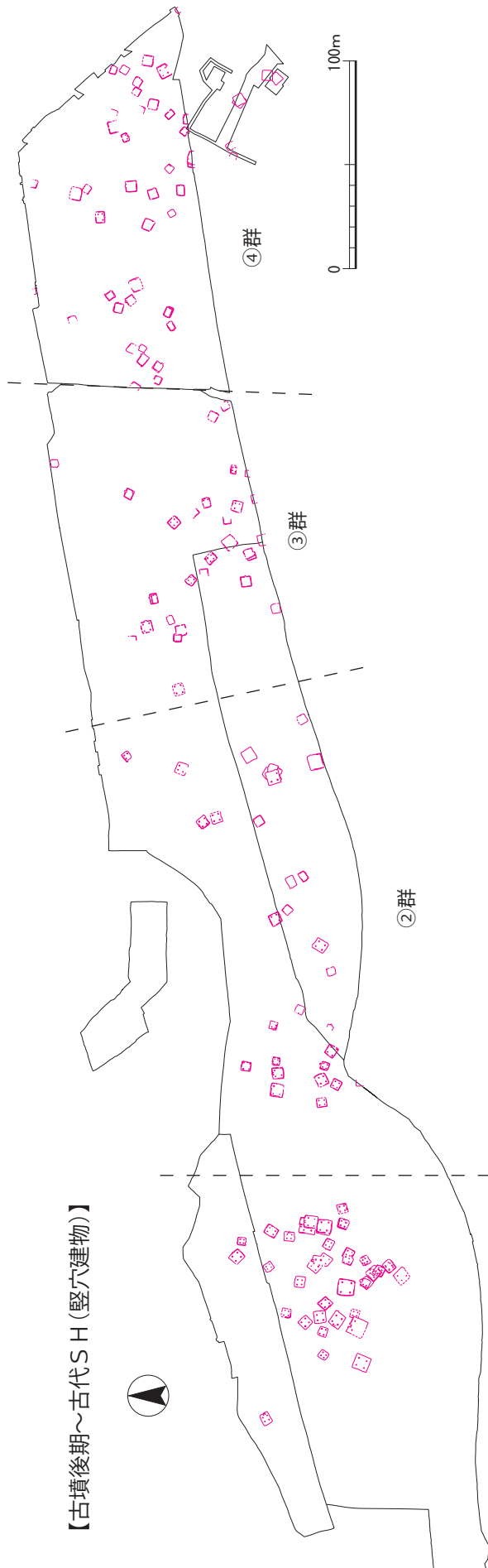


第283図 時代別遺構分布図3 (1 : 3,000)

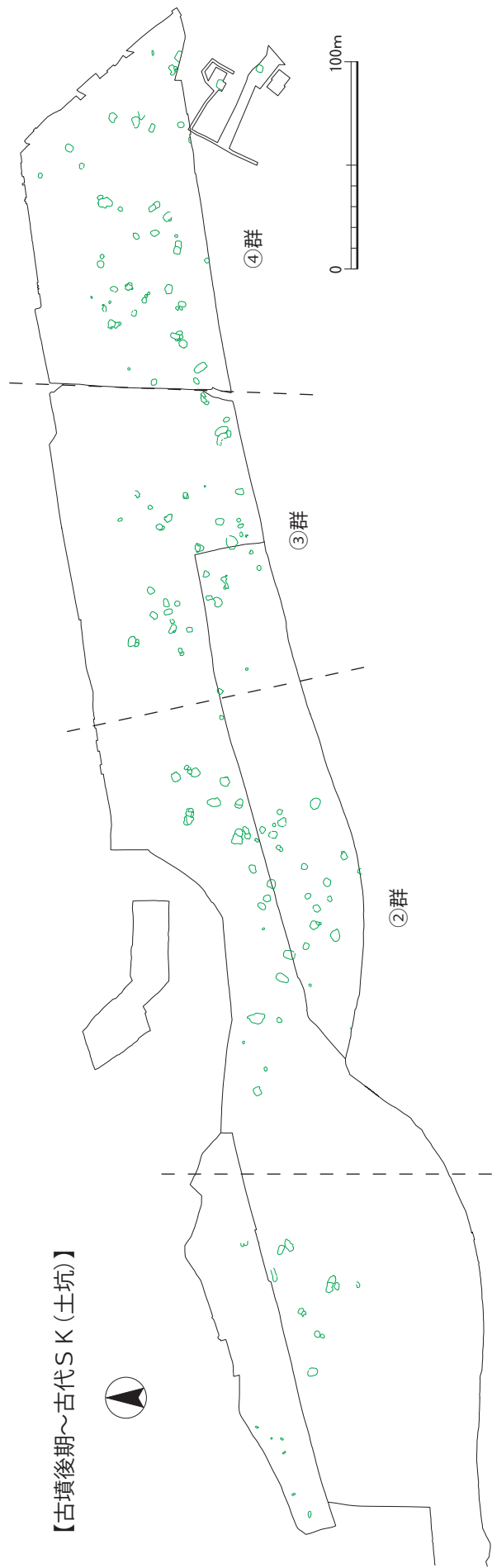
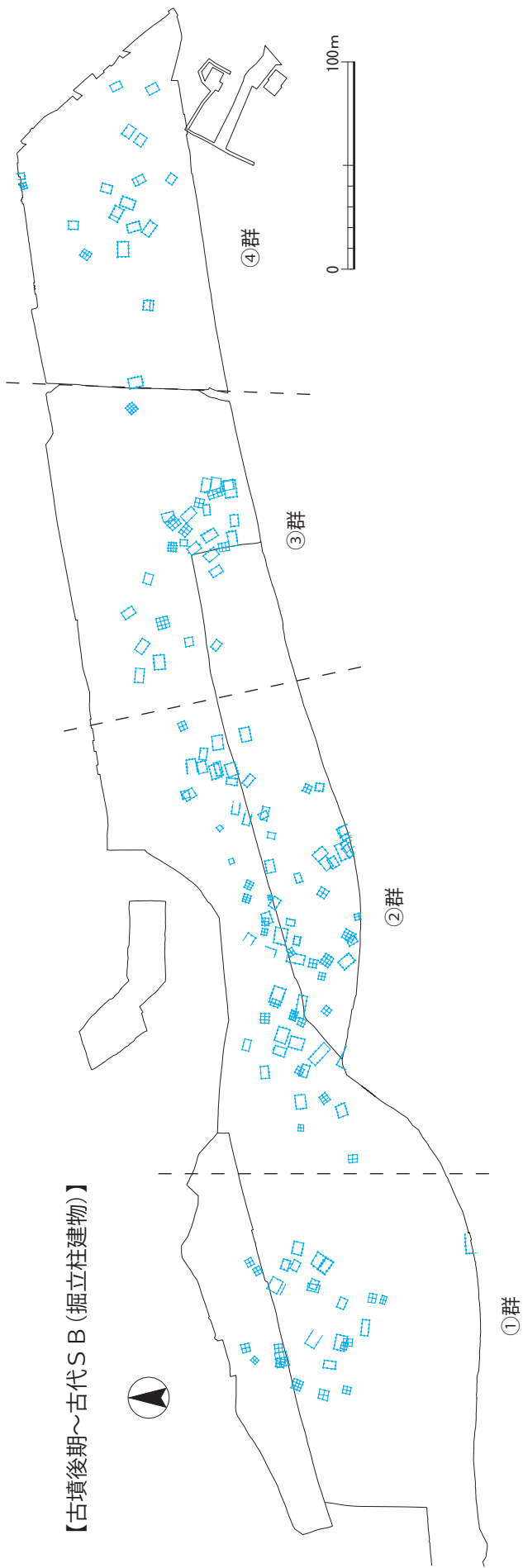
【古墳後期～古代全体 (SH・SB・SK)】



【古墳後期～古代SH (竪穴建物)】

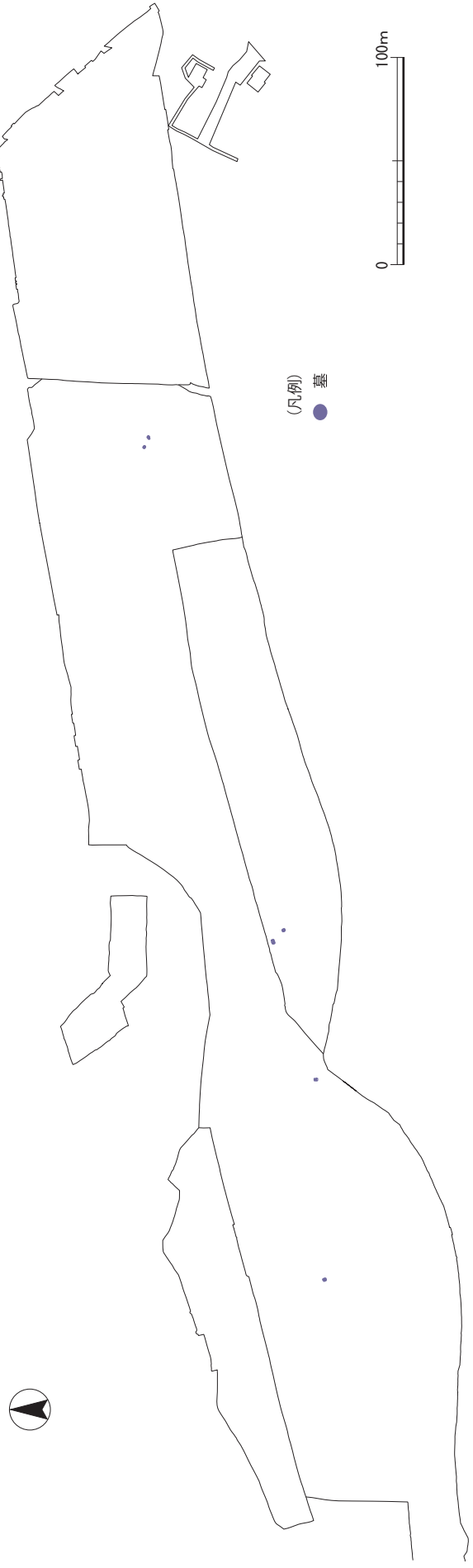


第284図 時代別遺構分布図4 (1 : 3,000)
①群



第 285 図 時代別遺構分布図 5 (1 : 3, 000)

【中世】



第 286 図 時代別遺構分布図 6 (1 : 3, 000)

2 古墳時代後期から古代にかけての中野山遺跡とその変遷

—近隣遺跡との関係を視座として—

弥生時代の集落が途絶えたあと、中野山遺跡で人間の生活痕跡が認められるようになるのは、古墳時代後期からである。飛鳥時代を中心として概ね古墳時代後期から奈良時代初頭にかけての時期と、平安時代前期頃に集落が営まれており、竪穴建物や掘立柱建物が数多く見つかっている。この集落の存続期間は、谷を挟んで遺跡のすぐ北側に位置する筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡¹⁾の存続時期と大きく重複しており、両者は出土遺物の面でも、在地窯系の須恵器を主体としつつ猿投窯系の須恵器が混在することで共通する。

陶邑窯とも猿投窯とも異なる在地窯系須恵器の地域色については、筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の報告書²⁾作成作業をとおして具体的に明らかにしたところである。そこで、同書の「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の変遷」(以下、前稿)の中で示した在地窯系須恵器編年を援用しつつ、ここでは中野山遺跡についての理解を深めていくこととしたい。ただし、中野山遺跡の集落形成は、筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡よりも古く遡るため、先行する段階を追加設定し、時期区分を行う。

(1) 時期区分と土器様相

当該期の須恵器杯H³⁾については、これまでの研究を通して、時代の推移とともに口径が縮小化することが全国的な傾向として指摘されており、北勢地域の窯の製品もその例に漏れないことが既に確認されている⁴⁾。前稿でも、北勢地域における当該時期の比較的良好な資料について、各土器群の中に含まれる須恵器杯H(蓋および身)の最大径⁵⁾(法量)の分布を示すヒストグラムを作成し、大法量から小法量のものへと順番に配列することを試みた。その結果、杯Hの縮小化が進めば進むほど、後出の器形である無台杯(杯G)や杯Bと共伴する確率が高まることが確認でき、この配列に時期的な変遷を読み取ることの妥当性が裏付けられた。

そのヒストグラムに、中野山遺跡出土の比較的良好な資料を付け加えたものが第287図である。追加土器群の選択に際しては、前稿と同じく、概ね一括

資料とみて問題がないことと、まとまった数の在地窯系杯Hを含んでいることを条件とした。ただし、前稿では、北勢地域の岡山6号窯⁶⁾や西ヶ谷1・2号窯⁷⁾に加え、工人集団の系統が同じと考えられる美濃須衛窯⁸⁾の製品を指して在地窯系須恵器と呼んできたが、今回中野山1期として位置づけた土器群の須恵器には、中勢地域のヲノ坪窯⁹⁾・内多窯¹⁰⁾出土品と共通する特徴を有するものが多く含まれており、生産地を北勢地域に限定はできない。そこで、北勢地域の窯と中勢地域の窯を同一の系統に属するものと見なしうるかという問題については今後の課題とし、ここではそれら全体を中北勢在地窯系須恵器と大括りにしておきたい。

須恵器杯Hの法量変化は、ばらつきをもちつつ大変漸移的に進行するため、時期区分はどうしても便宜的なものとならざるを得ないが、ここでは分布域の大きな変化を重視し、以下の5段階に区分する。すなわち、中野山遺跡で弥生時代の集落が途絶えてから、再び遺構・遺物が確認されるようになる最初期を、「中野山1期」とし、以下順次段階名を付与する(第288・289図)。

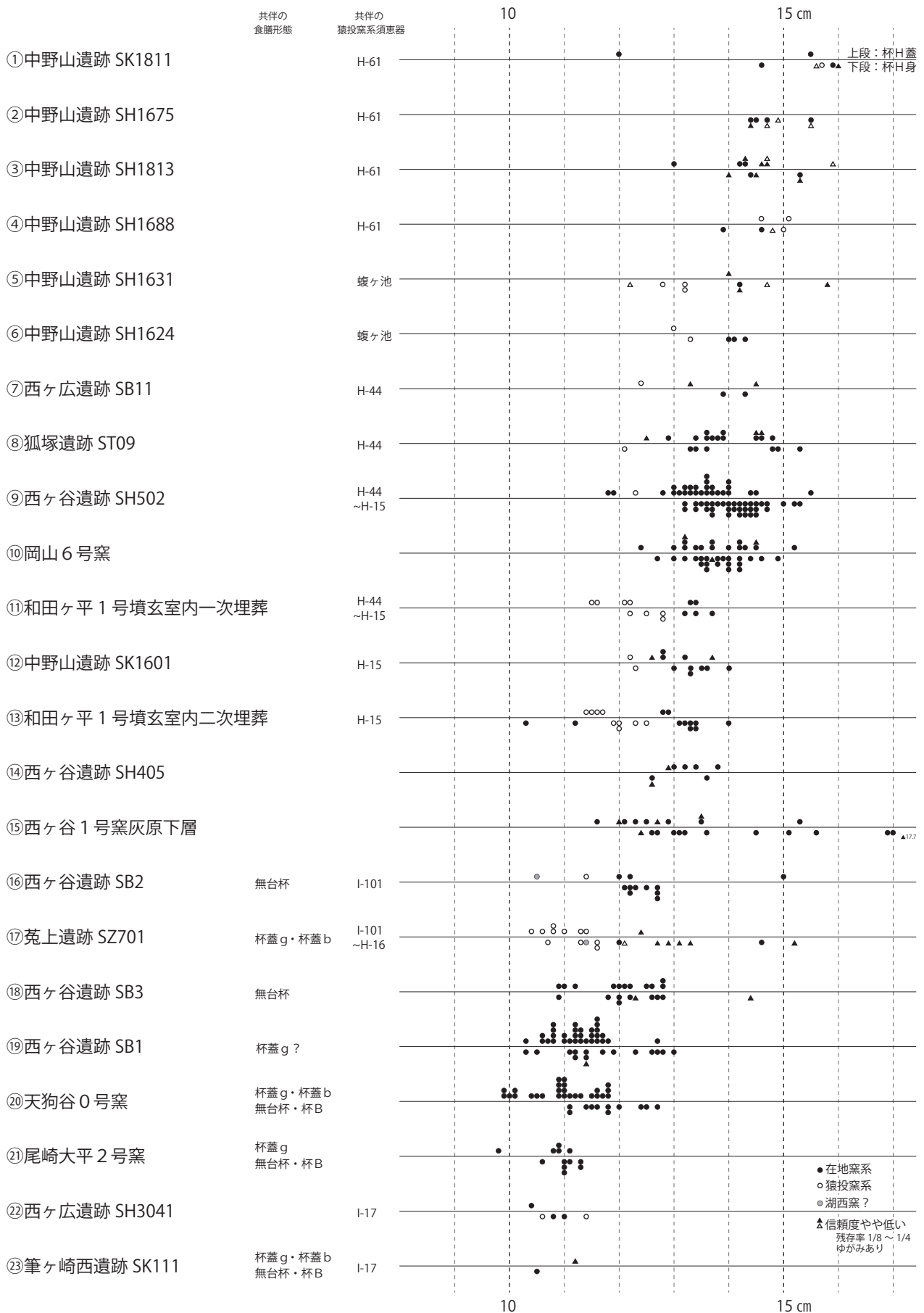
【中野山1期】

古墳時代後期になって、中野山遺跡において再び遺構・遺物が確認され始める時期である。在地窯系・猿投窯系とも須恵器杯Hは大型化が著しく、蓋・身とも最大径が14～16cmに達する。杯Hに施されたロクロケズリ調整の範囲は概して広く、とりわけ在地窯系の須恵器にその傾向が顕著である。

この時期の比較的良好な土器群としては、中野山遺跡S K 1811・S H 1675・S H 1688・S H 1813出土品が挙げられ、共伴する猿投窯系須恵器はH-61号窯¹¹⁾出土品との類似性が高い。

在地窯系須恵器では、蓋・身とも杯Hの口縁端部が外側へ強く折れる独特の形状を示す一群(1498・1153・960)の存在が特徴的で、これらは津市のヲノ坪窯や内多窯の出土品との間に高い共通性を有する。また、ヲノ坪窯や内多窯の出土品との類似性はこれらの一群のみならず、口縁部が直立気味に高く立ち上がる杯H身(913)などにも認められる。

ただし、両窯の出土品と比較すると、中野山1期の須恵器杯Hは、蓋の稜線の挽き出しが甘く、杯身



第 287 図 須恵器杯Hの法量変化

の口縁部立ち上がりも低く内傾気味になっているなど、全体にわたって後出的な要素が認められる。

この段階の暦年代については、推定根拠が著しく乏しいため、高い精度を担保することが難しいが、後続する中野山2期との関係から、6世紀半ばから後半を中心とする年代を想定して、大きな間違いはないと思われる。

【中野山2期】

在地窯系須恵器杯Hの小型化が始まり、最大径の分布域が基本的に蓋・身とも15cm未満になるとともに、ロクロケズリ調整の範囲も狭くなる。蓋の稜線は基本的に消失し¹²⁾、身の口縁部の立ち上がりが急激に矮小化する。

この時期の比較的良好な土器群としては、中野山遺跡S H 1624・S H 1631出土品と、前稿で筆ヶ崎1期に位置づけた狐塚遺跡S T 09¹³⁾・西ヶ広遺跡S B 11¹⁴⁾・西ヶ谷遺跡S H 502¹⁵⁾出土品が挙げられ、窯跡では同じく筆ヶ崎1期に位置づけた岡山6号窯出土品がある。ただし、筆ヶ崎1期とした4土器群の在地窯系須恵器杯Hは、蓋・身とも約半数が最大径で14cmを割り込むほど小型化しており、14cm

台に集中が認められる中野山遺跡S H 1624・S H 1631出土品よりも後出的で、中野山2期の中では新相に位置づけられる。

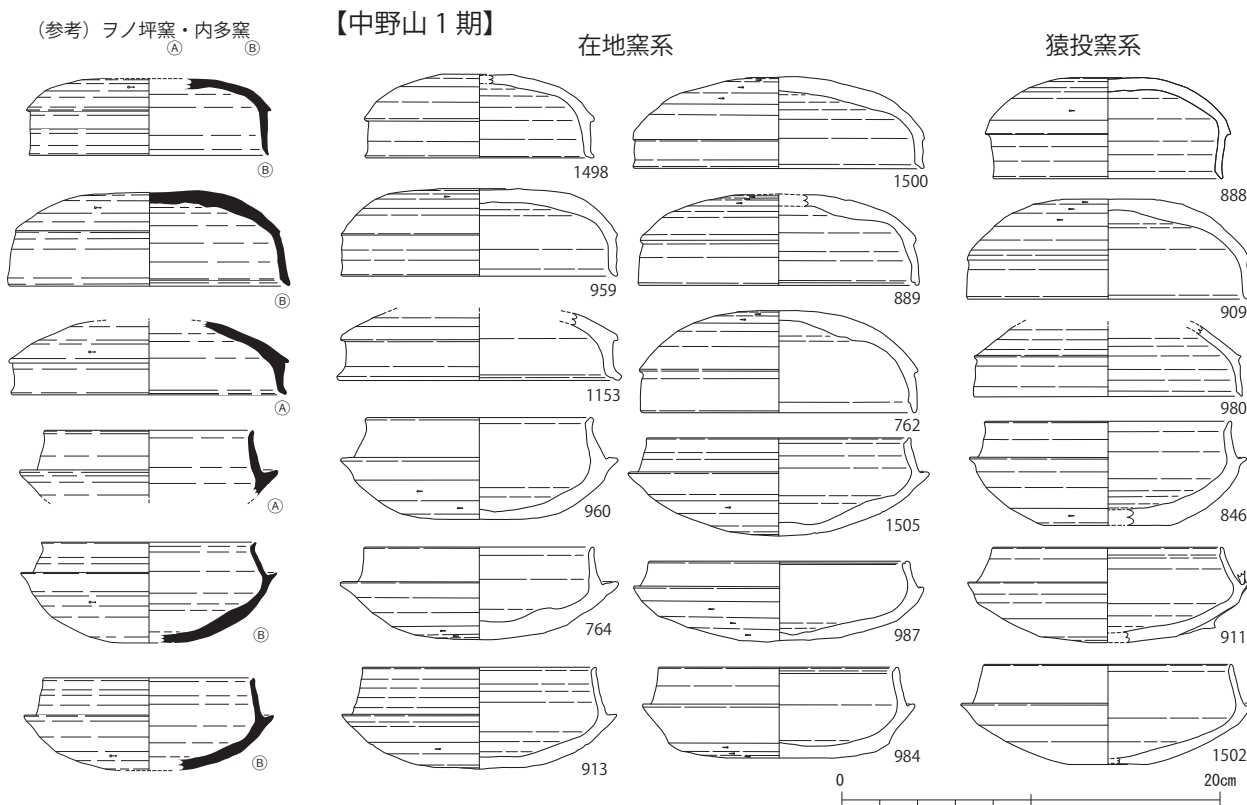
また、古相資料と新相資料では猿投窯系須恵器にも若干の違いが認められ、前者には喰ヶ池古窯¹⁶⁾出土品、後者には主としてH-44号窯¹⁷⁾出土品の類品が共伴する。

決定的な根拠資料が無いため、この段階についても精度の高い暦年代の推定は難しいが、前稿でも推定したように筆ヶ崎1期が645年をやや遡る7世紀前半に位置づけられることから、古相資料の年代幅を加味し、6世紀末に遡る可能性を考慮しつつも、7世紀第1四半期を中心とする時期を想定しておきたい。

【中野山3期】

在地窯系須恵器杯Hの小型化が進行し、蓋・身とも最大径が12cm台後半～13cm台に集中する。また、ごく僅かながら杯蓋gや無台杯(杯G)が共伴することもある。

この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎2期に位置づけた和田ヶ平1号墳玄室内一次



第288図 中野山1期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器(1:4)

北勢在地窯系

猿投窯系

杯H蓋

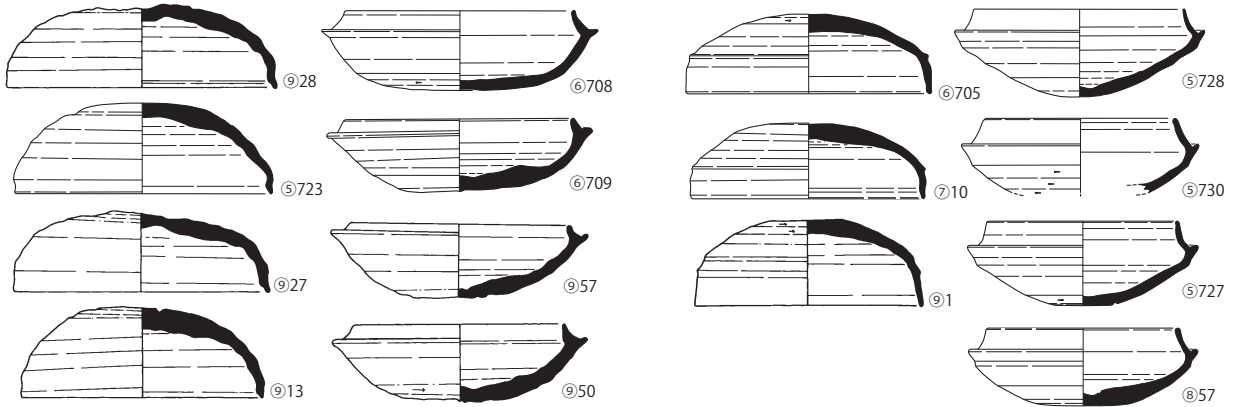
杯H身

杯H蓋

杯H身

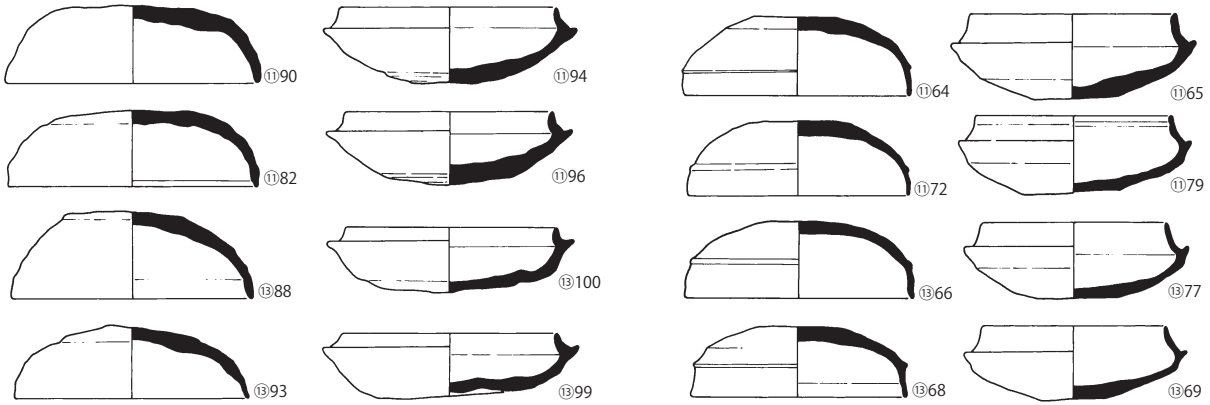
【中野山2期】

⑤中野山遺跡 SH1631 ⑥中野山遺跡 SH1624 ⑦西ヶ広遺跡 SB11 ⑧狐塚遺跡 ST09 ⑨西ヶ谷遺跡 SH502



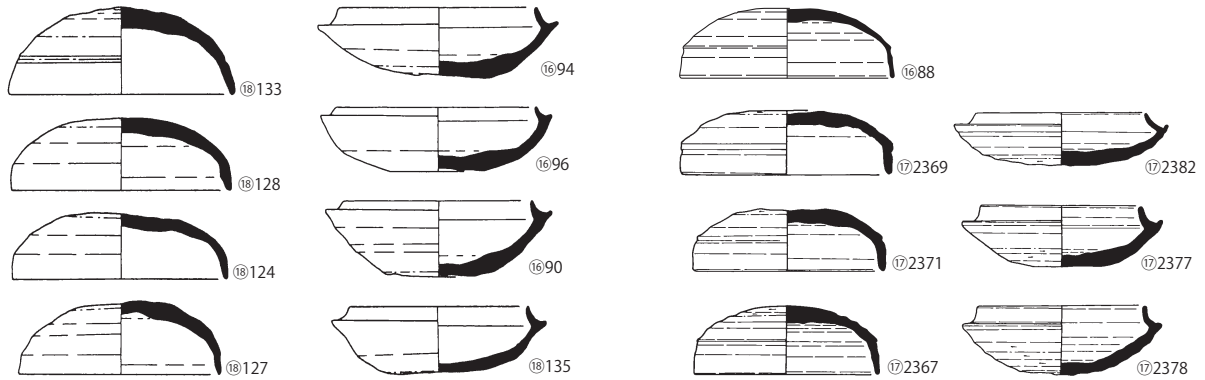
【中野山3期】

⑪和田ヶ平1号墳玄室内一次埋葬 ⑬和田ヶ平1号墳玄室内二次埋葬



【中野山4期】

⑯西ヶ谷遺跡 SB2 ⑰菟上遺跡 SZ701 ⑱西ヶ谷遺跡 SB3



【中野山5期】

⑳西ヶ広遺跡 SH3041 ㉓筆ヶ崎西遺跡 SK111 ㉔筆ヶ崎西遺跡 SH2



無台杯

杯B

無台杯

杯B



第289図 中野山2～5期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器 (1:4)

埋葬副葬品および二次埋葬副葬品¹⁸⁾、西ヶ谷遺跡 S H 405¹⁹⁾ 出土品に加え、中野山遺跡 S K 1601 出土品が挙げられる。窯跡では、西ヶ谷 1 号窯の製品が次の 4 期との過渡的様相を示している。

共伴する猿投窯系須恵器が、H - 15 号窯²⁰⁾ 出土品や乙巳の変との関わりが指摘される甘檜丘東麓遺跡 S X 037²¹⁾ 出土品に近似していることから、この段階の暦年代については 645 年を含む 7 世紀第 2 四半期頃と推定できる。

【中野山 4 期】

在地窯系須恵器杯 H は更に小型化し、最大径が 12 cm 前後に集中するとともに、少量ではあるが、無台杯(杯 G)に加え杯 B の共伴が認められるようになる。

この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 3 期に位置づけた西ヶ谷遺跡 S B 2・S B 3²²⁾ 出土品、菟上遺跡 S Z 701²³⁾ 出土品が挙げられ、猿投窯系須恵器ばかりの事例ではあるが、中野山遺跡では S K 1543 出土品もこの段階に位置づけることができる。

共伴する猿投窯系須恵器は、I - 101 号窯²⁴⁾ や H - 16 号窯²⁵⁾ 出土品に類似しており、決定的な年代根拠を提示できないが、前後の中野山 3 期および 5 期の年代観から、この段階の暦年代については概ね 7 世紀第 3 四半期と推定が可能である。

【中野山 5 期】

在地窯系須恵器杯 H は最大径で 10 cm 台～ 11 cm 前後と小型化が著しく、高い頻度で無台杯(杯 A)・杯 B が共伴する。土器群の中に占める杯 H の比重が急激に低下するため、杯 H を欠く事例も多いと考えられる。

この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 4 期に位置づけた西ヶ谷遺跡 S H 3041²⁶⁾、筆ヶ崎西遺跡 S K 111・S K 3²⁷⁾ 出土品を挙げることができ、窯跡では西ヶ谷 2 号窯のほか、工人集団が北勢在地窯と共通すると考えられる美濃須衛窯の天狗谷 0 号窯²⁸⁾ や尾崎大平 1・2 号窯²⁹⁾ をこの時期に位置づけることができる。

共伴する猿投窯系須恵器は、I - 17 号窯³⁰⁾ や C - 2 号窯³¹⁾ 出土品との類似性が高く、猿投窯系須恵器の類品の飛鳥・藤原地域への搬入事例³²⁾ から、この段階には概ね 7 世紀第 4 四半期～ 8 世紀初頭と

いう暦年代観が与えられよう。

【中野山 6 期】

5 期の後、一旦、遺物が全くと言ってよいほど無くなる時期を経て、再び中野山遺跡で遺構・遺物が確認されるようになる時期を 6 期とした。須恵器は、岡山 1・2 号窯出土品³³⁾ に類似するものが多く、一部の遺構では灰釉陶器を伴っている。

この時期の良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 5 期に位置づけた中野山遺跡 S K 1442 出土品、筆ヶ崎西遺跡 S H 81・82³⁴⁾ 出土品を挙げることができ、前稿と同様に灰釉陶器の存在を考慮し、暦年代については概ね 8 世紀末～ 9 世紀前半と推定しておく。

(2) 周辺遺跡を含む中野山遺跡の変遷

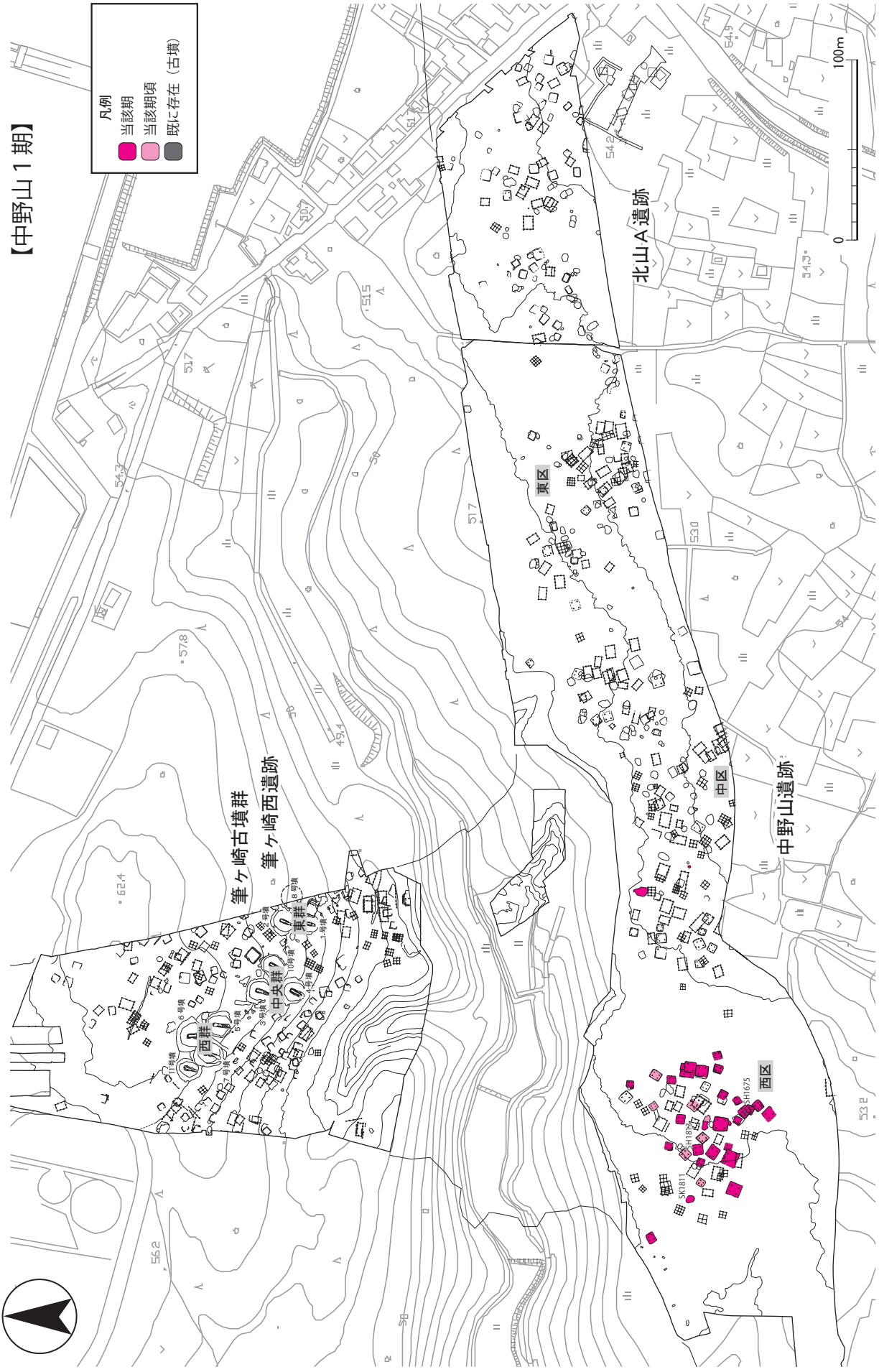
前述のように、中野山遺跡と筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の存続時期は大きく重複しており、谷を挟んで向い合わせの関係にあることから、両者の間には何らかの有機的な関連性があったのではないかと思われる。また、中野山遺跡の東側に隣接する北山 A 遺跡は、遺跡名が異なるだけで、遺構の広がりに関連があることは調査段階から認識されており、既刊報告書でもこれらの遺跡を総合的に捉えて考えていくことの重要性が謳われている³⁵⁾。

そこで、一連の発掘調査の報告書としては最後の刊行となる本書では、遺物によって時期比定ができる遺構に限られるが、これらの遺跡を総合的に分析することを通して、この地域の古代を中心とする時期の歴史を明らかにしたい。なお、各遺構・遺物の年代観については、既刊報告書³⁶⁾ の記載とは異なる場合もあるが、ここでは共通の年代尺度として上述の中野山遺跡の時期区分を使用する(第 296 図)。また、場所を示すに際しては、遺跡名の「遺跡」を省略し、中野山遺跡については遺構の分布が大きく 3 カ所に纏まる傾向があることから、西から順に西区(概ね y=53,300 以西)・中区・東区(概ね y=53,500 以東)と区分した。筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡については両者を合わせて筆ヶ崎とし、古墳群については前稿での区分を踏襲して、西群・中央群・東群と表記することとした。

【中野山 1 期】(第 290 図)

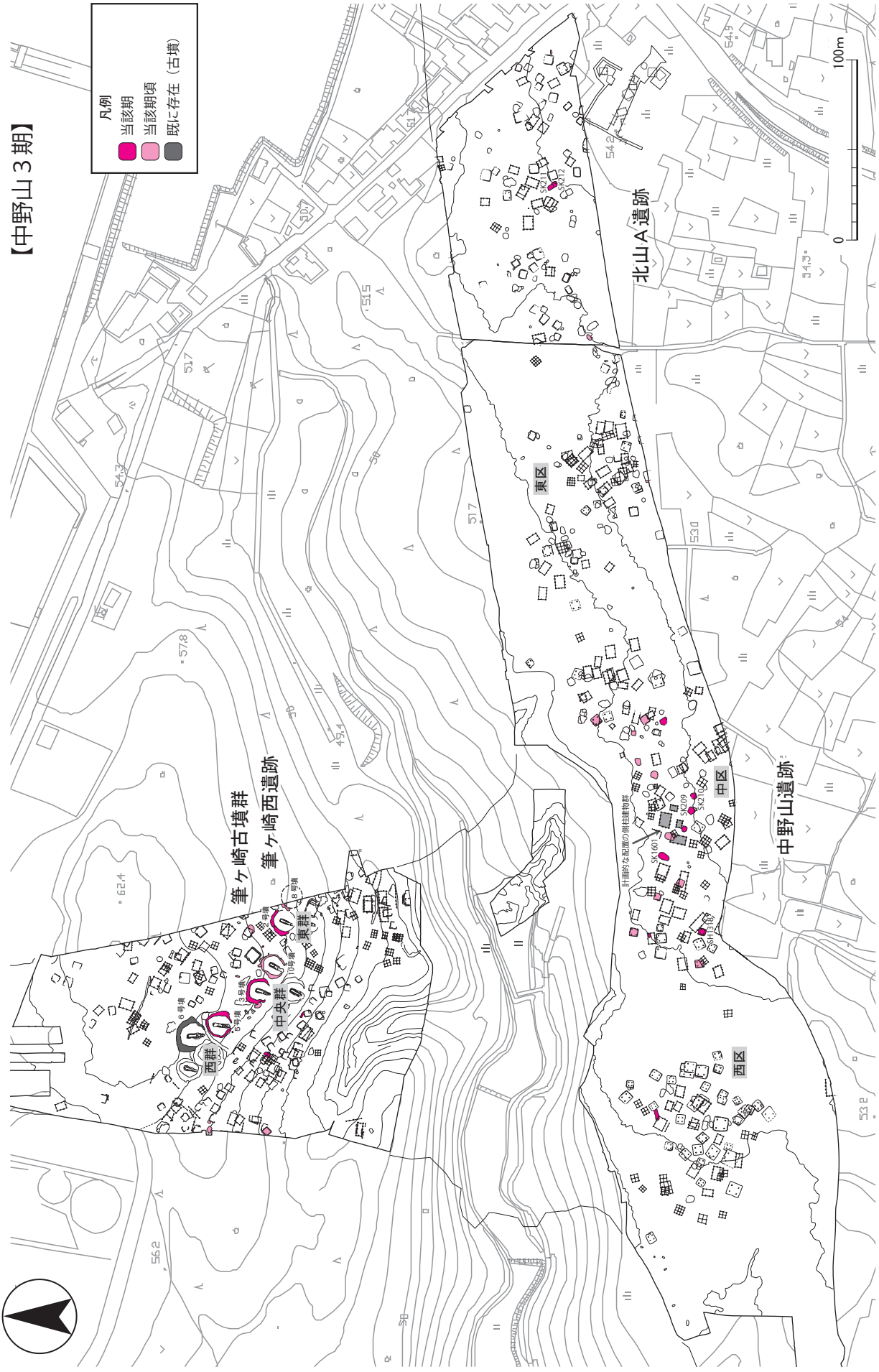
中野山西区に集落が形成された時期である。平面的な重複関係が少なからず認められるので、建て替

【中野山1期】



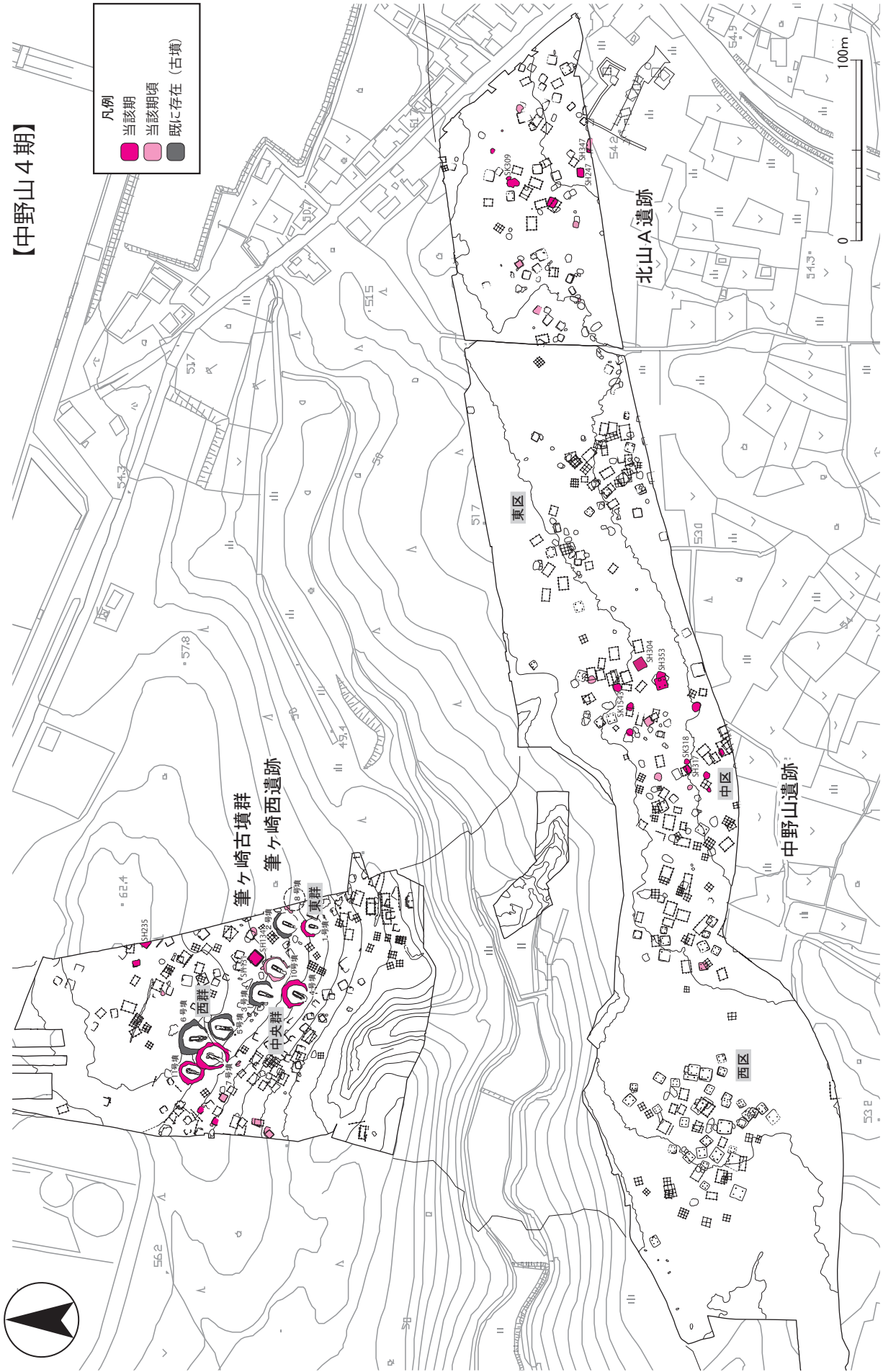
第290図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷1 (1:3,000)

【中野山3期】



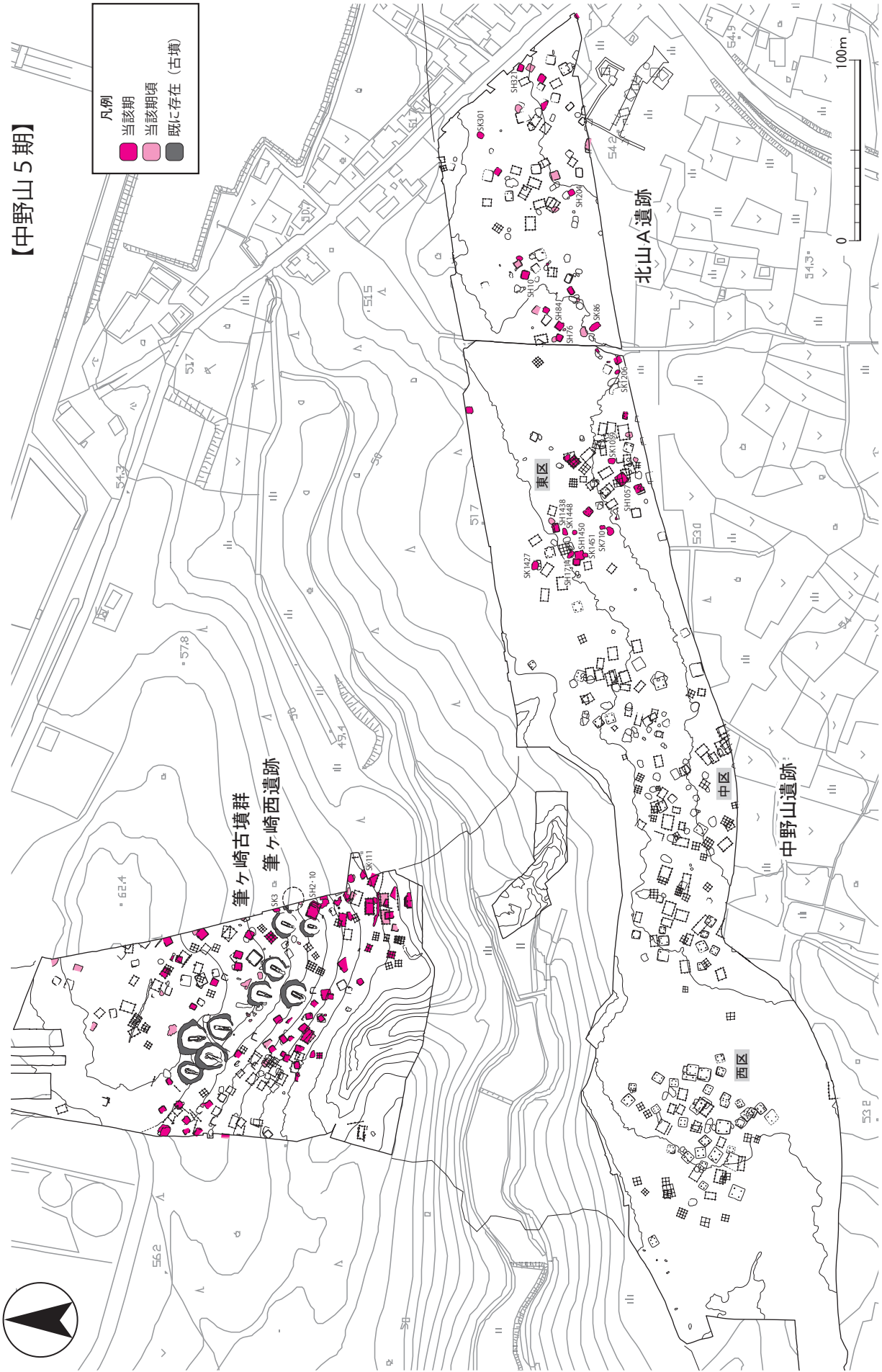
第 292 図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷3 (1 : 3,000)

【中野山 4期】



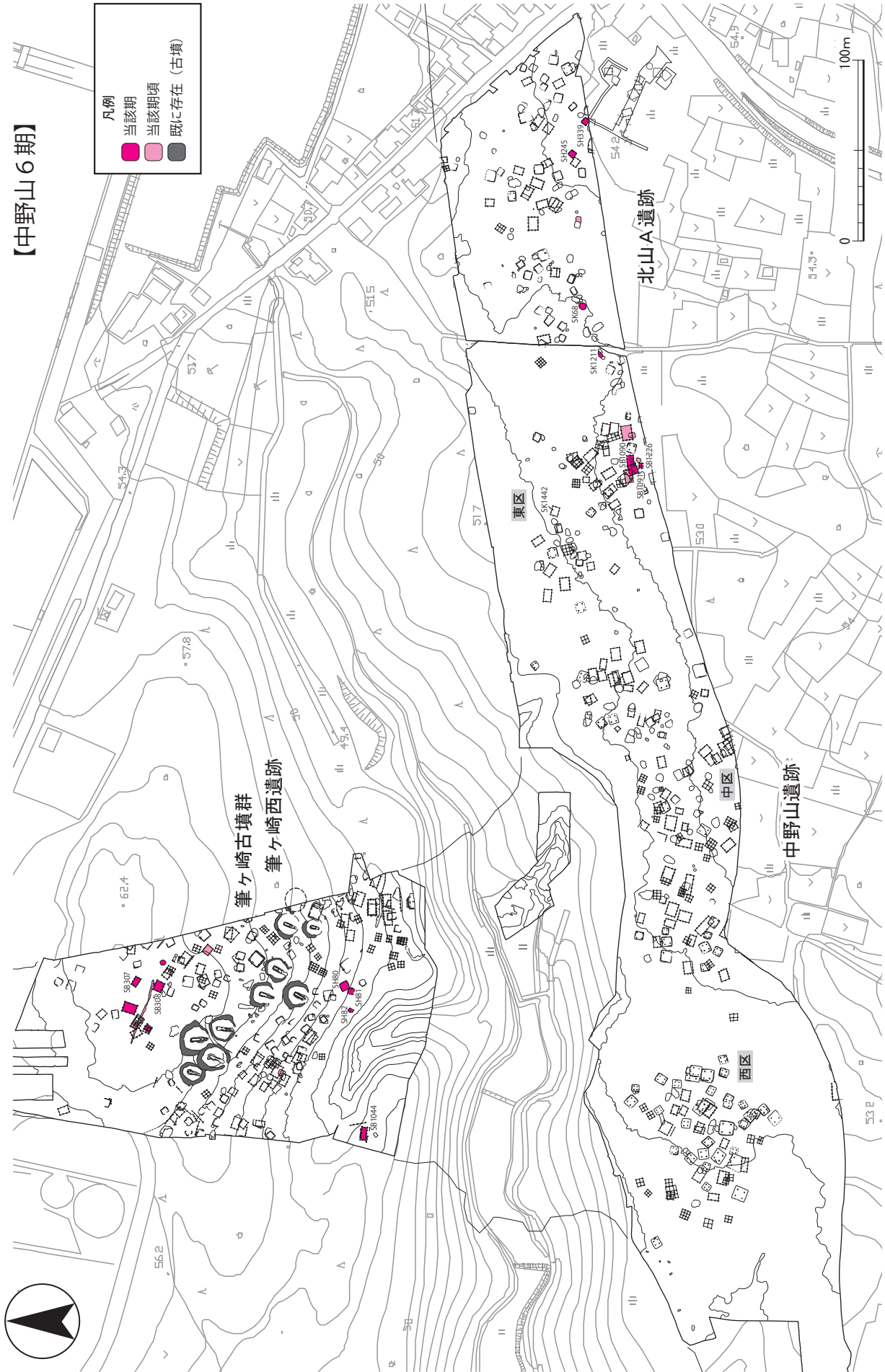
第 293 図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 4 (1 : 3,000)

【中野山5期】



第294図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷5 (1 : 3,000)

【中野山6期】



第295図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷6 (1:3,000)

えられていることを考慮する必要があるものの、堅穴建物が高い密度で集中する。出土遺物からこの時期に限定できる掘立柱建物はなく、西区出土遺物の大半が1期のものであることから、少なからざる西区の掘立柱建物が1期に属するものと思われる。とりわけ、総柱建物が基本的に堅穴建物と重複関係にないことは、その可能性の高さを示している。したがって、西区で中野山1期に営まれていたのは、主として堅穴建物と総柱建物から成る集落であったと考えることができよう³⁷⁾。

この時期の須恵器は、猿投窯系のものを一定量含むつつも、津市のヲノ坪窯や内多窯の製品と共通する特徴を有するものが少なくなく、中勢地域との関係の深さが窺われる。また、土師器には口縁断面が「く」の字状を呈し、粗雑な胎土で厚手の甕・鍋が多く、いわゆる伊勢型甕が主流となる中野山2期以降の土器様相とは、顕著な違いを見せている。

【中野山2期】(第291図)

中野山西区の集落が急速に衰退し、ほぼ途絶状態になる一方、新たに中区に集落が形成され始め、やや遅れて筆ヶ崎に初めて古墳(6号墳)が造営される。

中野山2期の堅穴建物は、中区でも西寄りに集中する傾向があり、柱痕跡から出土した蓋杯の完形品(1131・1132)によって、2期(新相)の廃絶とみられる総柱建物S B 1314も、同じく中区の西寄りに位置している。

筆ヶ崎6号墳は、中野山の集落から小さな谷を挟んで北側に位置する丘陵上の、南向き緩斜面落ち際に築かれている。中野山の集落からの直線距離は約250 mあり、7 mほど高所にあたる。横穴式石室を主体部とする円墳で、石室は中野山中区の西寄り、つまり同時期の集落中心部に向かって開口している。立地のみならず、石室の方向性、さらにはこの後の古墳造営と集落の展開が連動しているように見えることを踏まえるならば、筆ヶ崎古墳群の造営母体は中野山中区の集落の居住者と推定して間違いないだろう。6号墳の石室床面から渡来系遺物とされる青銅製釵子が出土したことは、筆ヶ崎古墳群造営の母体となった中野山中区の居住者の出自を考える上で注目に値する。

ところで、中野山1期から2期にかけては、集落の

立地が変化するだけでなく、土器様相の上でも大きな変化が認められる。中野山2期には、北勢在地窯系の須恵器が安定的に供給されるようになったようで、中勢地域産にとって代わり須恵器の中心的存在となっている。また、土師器甕もいわゆる伊勢型甕が主流となるなど、1期とは大きく様相を異にする。

【中野山3期】(第292図)

中野山中区の集落がやや東側へ展開し、中区全体に遺構が分布するようになるとともに、筆ヶ崎では2・3・5号墳、やや遅れて10号墳が造営される。

中野山では、2期と比べて堅穴建物の数がやや減少する一方、中区の中央付近を中心に土坑が数多く認められるようになる。中区では、堅穴建物や土坑の他に掘立柱建物が多数検出されており、中には方位を揃えて計画的に配置されたとみられる側柱建物群(S B 220・224・226など)もある。これらの掘立柱建物の時期を限定することは甚だ難しいが、中区からの出土遺物は多くが2～4期に属するものであるから、基本的には多くが当該時期に属するものと考えてよいだろう。なかでも、側柱建物は堅穴建物よりも多く見つかっており、住居形態の主流になりつつあったと考えられる。

筆ヶ崎では、2期に最初の6号墳が出現した西群より東側の中央群と東群にも、それぞれの高所に初めて古墳が築かれ(2号墳・3号墳)、西群では6号墳よりも東側のやや下がった位置に5号墳が築かれる。その後、中央群では10号墳が3号墳よりも東側のやや下がった位置に築かれる。

このように、中野山の集落と筆ヶ崎の古墳には、ともに東へ展開する動きが認められ、両者の動きは連動しているように見受けられる。

なお、注目される遺物としては、S K 1601から出土した赤彩のある在地窯系須恵器杯H(1427・1434など)があり、鞆羽口や鉄素材と思われる板状製品が相伴している。

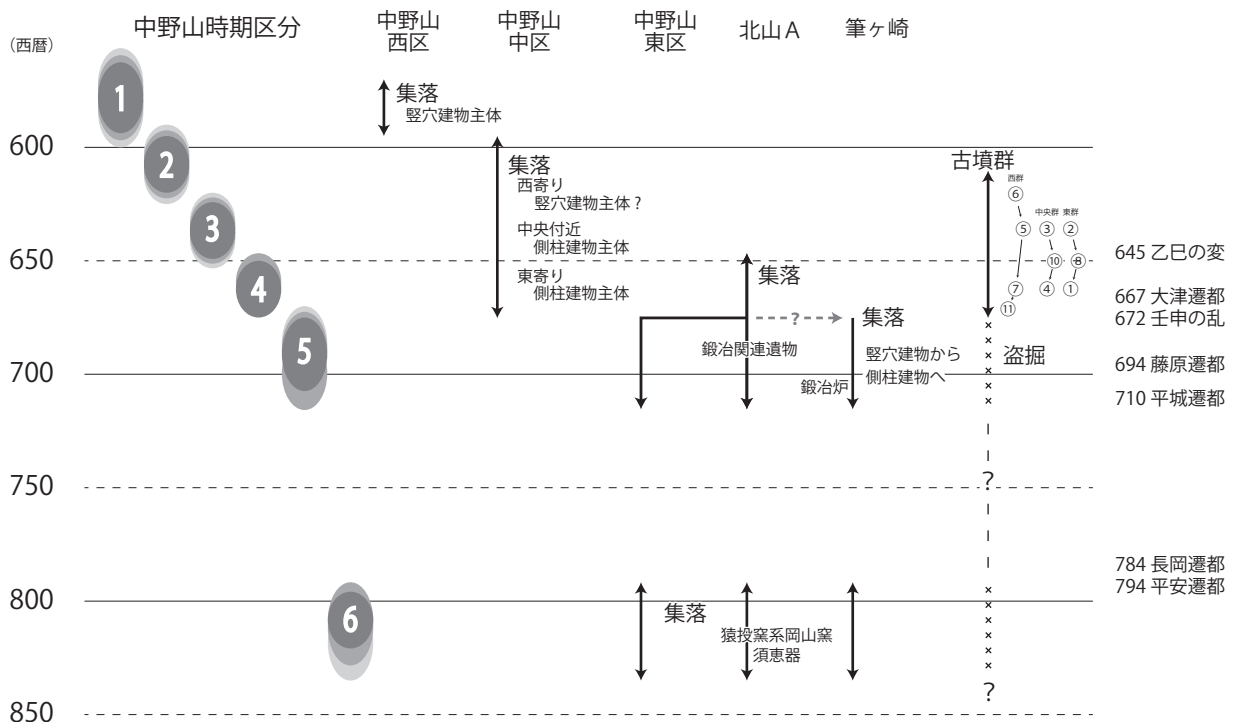
【中野山4期】(第293図)

中野山中区の集落が更に東へ展開し、筆ヶ崎には1号墳・4号墳・7号墳・11号墳が築かれる。また、北山Aに新たな集落が形成される。

中野山中区の集落では、堅穴建物と土坑が中区東半に集中する。3期よりも堅穴建物が少なくなり、

中野山 時期区分	中野山遺跡			北山A 遺跡	筆ヶ崎西 遺跡	筆ヶ崎古墳群			在地窯系 須恵器	猿投窯系 須恵器
	西区	中区	東区			西群	中央群	東群		
1期	SH 多数 SH1675 SH1813 SK1811	SK216 SK1610								H-61号窯
2期		SH1631 SH1624 SH1320 SB1314	SK1165 SH713	SH19・25・238 SK54	SH213		6号墳		岡山6号窯	H-44号窯
3期	SK1668	SH1318 SK1601 SK1633	SK209 SK210 SK222 SK336	SK211・212	SH66? SK1071?		5号墳	3号墳 2号墳		H-15号窯
4期		SH304 SH317 SH353 SK318 SK1543		(SH221) SH247 SH347 SK309	SH131 SH134 SH235		7号墳 11号墳	4号墳 1号墳	西ヶ谷1号窯	I-101号窯 H-16号窯
5期			SH1057 SK1059 SH1438 SK1206 SH1450 SK1427 SH1714 SK1448 SK710 SK1451	SH10 SK86 SH76 SK301 SH84 SH204 SH321	SH2・10 SH 多数 SB 多数 SK3・111				(西ヶ谷2号窯)	I-17号窯 C-2号窯
空白期										
6期			SB1090 SK1442 SB1091 SK1211 SB1226	SH245 SH339 SK68	SH80～82 SB307 SB308 SB1044					岡山1号窯 岡山2号窯 NN265号窯

第 296 図 主な遺構の時期区分



第 297 図 遺跡の動向と暦年代観

土坑の数は増えているように見受けられるため、集落の中における側柱建物の比重は3期よりも更に高くなっているようである。

筆ヶ崎では、各群で既にある古墳よりも低い位置に、1号墳・4号墳・7号墳・11号墳が築かれる。築造位置は、先行する古墳よりも東側ではないが、西群・中央群の東側には隣接群との間に十分な間隙がないため、斜面下方への築造となつたのであろう。

このように、中野山中区の集落と筆ヶ崎古墳群の動向については、先行する2・3期からの連続性が高く認められるが、2期から続いた中野山中区の集落と筆ヶ崎古墳群はこの4期を境に途絶えてしまい、次の5期には続かない。

これに対して、新たな動向として注目されるのは、北山Aに集落が形成されることである。北山Aの集落は、中野山中区の集落から東へ300mほど離れて位置していることに加え、側柱建物の比重がかなり高い中野山中区とは異なり、後述するように、この地域で一般的な竪穴建物主体の集落とみられる点で異質である。したがって、北山Aの集落の成立は、中野山中区居住者層の移住というよりも、別個の居住者層の進出と見なすべきではないかと思われる。

【中野山5期】(第294図)

北山Aの集落の居住域が拡大し、西側の中野山東区にまで竪穴建物や掘立柱建物・土坑が分布するようになる。一方、筆ヶ崎では新たな集落が形成されるとともに、早くも古墳の盗掘が始まる。

中野山東区で検出された5期の遺構の中には、SH 1450やSK 1059・1427など5期でも古相を示すものが含まれているので、北山Aから東側へ集落が広がった時期は7世紀第4四半期でも早い段階とみられる。また、中野山東区からの出土遺物は、6期の掘立柱建物集中域からの出土品を除くと、その大半が概ね5期に属するものであるため、時期を細かく限定できない古代の遺構も基本的には多くが5期に属するものと考えてよいだろう。竪穴建物と側柱建物の比率を見てみると、竪穴建物がやや多いものの数は伯仲しており、北山Aと同じ比率を適応するならば、4期にはほとんど竪穴建物で構成されていた集落が5期に側柱建物を多数擁する集落へと変化したことになる。

筆ヶ崎では、古墳の周囲に集落が展開し³⁸⁾、2号墳の裾を壊して鍛冶炉を付設した工房施設が造られる。住居形態はこの5期の間に竪穴建物から側柱建物へと主体が変化することが判っており³⁹⁾、方位を意識した立派な掘立柱建物群も建てられた。

当該期の動向で注目されるのは、筆ヶ崎から出土した鍛冶関連遺物である。鉄滓や鞆羽口は北山Aや先行する中野山中区からの出土品にも散見するが、筆ヶ崎からは、鞆羽口・鑿・砥石に加え、大量の鉄滓が出土した。筆ヶ崎の北東約200mの「鍛冶を専業とした村落」⁴⁰⁾とされる西山遺跡も集落としての最盛期はこの5期で、朝明丘陵の広い範囲で鍛冶が行われていた時期である。

【空白期】その後、筆ヶ崎と北山A～中野山東区の集落はどちらも一旦途絶えたようで、8世紀半ば頃の遺物は全くと言ってよいほど無くなる。

【中野山6期】(第295図)

数十年にわたる空白期を経て、筆ヶ崎の丘陵頂部平坦面と中野山東区に、側柱建物を主体とする集落が改めて形成される⁴¹⁾。

筆ヶ崎には小規模の竪穴建物が3棟(SH 80～82)ほどあるが、支柱穴やカマド、壁周溝を欠いており、他の掘立柱建物とは離れて谷の落ち際に立地していることから、住居ではなく工房のような建物であったのだろう。北山Aで確認された竪穴建物2棟(SH 245・339)も一辺が3.5mほどと小型で、中野山東区の掘立柱建物群とは離れており、同様の性格と考えられる。

遺物では、この時期の大きな特徴として、須恵器で四日市市の岡山1・2号窯の製品と形質的に類似するものが目立つことを指摘できる。既に別の機会に論じたところであるが⁴²⁾、岡山1・2号窯における須恵器生産は、北勢在地窯系の工人集団ではなく、この地へ出向いてきた猿投窯系の工人集団によるものと考えられる。猿投窯系の須恵器生産が行なわれた背景を、中野山東区・北山A・筆ヶ崎の集落における需要だけで説明することが適切であるとは思われないが、岡山1・2号窯の操業期間とこれらの集落の盛衰がほぼ一致しているように見えることは注目に値しよう。あるいは、これら3遺跡を含む当該地域における開発がこの時期に顕著に進んだことを

示しているのではないかとも思われるが、この点について詳しく論ずるためには、近隣地域との更なる比較検討を要する。

なお、この時期を境に再び集落は衰退し、中世に少数の土壙墓が造られたことを除いて、近代にいたるまで人間の生活痕跡は極めて希薄となる。

(3) 遺跡の動向にみる地域史

さて、新名神高速道路と東海環状自動車道をつなぐ新四日市ジャンクション付近の広大な面積を一気に調査したため、中野山遺跡を含む複数遺跡の関係を横断的に検討できる環境が整ってきた。最後に小稿での検討を通して明らかになってきた事項をまとめておきたい。

まず、中野山中区と筆ヶ崎古墳群の関係は、その位置関係だけでなく、展開や消長が合致することからも、居住域と墓域であることが明瞭になった。墓制として横穴式石室の古墳を採用し、渡来系とされる釵子を副葬するような集団であり、須恵器の生産地や土師器煮炊具の様相の違いも考慮するならば、中野山中区の集落は、西区の集落の移動によってではなく、新たに入植した居住者（渡来系？）によって形成されたと考えたほうが自然であろう。現段階では、こうした社会的変動を生じさせた要因を明らかにしえないが、地域の歴史を考える上で興味深い問題である。

第二には、古代集落が竪穴建物主体から側柱建物主体へと変化する時期が、集落によって異なることを具体的に明らかにできた点である。中野山5期（7世紀第4四半期頃）の間に、筆ヶ崎や北山A～中野山東区の集落で起こった転換が、中野山中区の集落では、それよりも早い中野山3期（7世紀第2四半期頃）の段階で随分進行している。考えてみれば当然のことだが、同じ地域であっても、居住者の出自や社会的階層、他地域との関係性や性格などによって、集落の形態が変化する時期は異なるということを示しているのだろう。

第三には、古代の日本において大きな画期となった壬申の乱を前後する時期に、複数の遺跡の景観が、ほぼ時を同じくして大きく転換していることである。筆ヶ崎では古墳から集落へと激変し、中野山・北山Aでは新旧の集落の盛衰が認められた。古墳群

を造営してきた集落の衰亡とともに、新興勢力の集落が旧勢力の墓を破壊・盗掘しつつ急速に拡大し、繁栄するという地域勢力の交代劇ともとれる現象である。壬申の乱の一舞台でもあったこの北勢地域においては、特に注目すべき社会的動向と言えよう。

(水橋)

【註】

- 1) 三重県埋蔵文化財センター 2019『筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡（第4・5・7次）発掘調査報告』。同 2021『筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡（第2・3・6次）発掘調査報告』
- 2) 前掲註1 文献（三重県埋蔵文化財センター 2021）
- 3) 呼称については、基本的に奈良文化財研究所の用例（奈良国立文化財研究所 1976『平城宮発掘調査報告Ⅶ』など）に準拠したが、一部は実態に即して変更した。具体的には、杯G身と杯Aを合わせて「無台杯」、鈕のつく杯蓋のうち、かえりのあるものを「杯蓋g」、かえりの無いものを「杯蓋b」とした。
- 4) 春日井恒 1992「北勢地域における須恵器蓋坏の法量変化について」『青木川古墳群』四日市市教育委員会。葛山拓也 1997「北勢中部」『古代の土器5-1 7世紀の土器（近畿東部・東海編）』古代の土器研究会
- 5) 杯蓋は口縁部外端、杯身は受け部外端を計測した。極力、実物を閲覧し、残存度1/4以上で歪みの少ないものに限定して計測し、データの信頼度を高めたが、⑭・⑮～⑰については報告書掲載の実測図から読み取った。
- 6) 四日市市教育委員会 1971『岡山古窯址群発掘調査報告』（四日市市埋蔵文化財調査報告5）
- 7) 四日市市遺跡調査会 1992『西ヶ谷古窯跡群』
- 8) 尾野善裕・水橋公恵 2004「古代の窯業技術伝播 - 美濃国・美濃須衛窯の場合 -」『かにかくに』八賀晋先生古稀記念論文集刊行会
- 9) 三重県埋蔵文化財センター 1997『ヲノ坪窯跡発掘調査報告』
- 10) 津市埋蔵文化財センター 2000『埋文センターニュース』第12号
- 11) 斎藤孝正 1986「東山61号窯出土の須恵器」『名古屋大学総合研究資料館報告』第2号 名古屋大学総合研究資料館。名古屋大学大学院文学研究科考古学研究室 2010『東山61号窯発掘調査報告書』
- 12) 中勢産と目される須恵器に、中野山2・3期になっても残る例（SK 1601 出土品 1424 など）が若干ある。
- 13) 1996年度に鈴鹿市考古博物館の進入路建設に関連して調査された竪穴住居。須恵器杯H・高杯・甗・壺・甕、土師器椀・甕などが出土した。（平成28年9月24日に鈴鹿市考古博物館で開催された「海の古墳を考えるⅥ 第3回検討会 岸岡山古窯と脚付短頸壺の展開・再検討」の藤原秀樹氏提供資料）

- 14) 日本道路公団名古屋支社・三重県教育委員会 1970『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』三重県文化財連盟
- 15) 四日市市教育委員会 2005『西ヶ谷遺跡5』
- 16) 尾野善裕 1993「猿投窯6世紀の空白をめぐって」『考古学フォーラム』3
- 17) 名古屋市教育委員会 1979『光真寺古窯跡発掘調査報告書』
- 18) 四日市市教育委員会 1973『四日市の後期古墳』。前掲註4文献(葛山拓也1997)。なお、石室内の出土位置から二次埋葬副葬品とされた杯H身のうち、北勢在地窯系須恵器であるにもかかわらず、著しく小さい2点(102・103)は、形態的にみても新しい様相を呈しているため、三次埋葬の可能性を想起させる。
- 19) 四日市市教育委員会 2002『西ヶ谷遺跡4』
- 20) 尾野善裕 1997「尾張・西三河(窯跡)猿投・尾北・その他」『古代の土器5-1 7世紀の土器(近畿東部・東海編)』古代の土器研究会
- 21) 奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部 1995「甘樫丘東麓の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』25
- 22) 四日市市遺跡調査会 1996『西ヶ谷遺跡』
- 23) 三重県埋蔵文化財センター 2005『菟上遺跡発掘調査報告』
- 24) 前掲註20文献(尾野1997)
- 25) 前掲註20文献(尾野1997)
- 26) 三重県埋蔵文化財センター 2006『西ヶ谷遺跡(第3・4次)発掘調査報告』
- 27) 前掲註1文献(三重県埋蔵文化財センター2021)
- 28) 各務原市埋蔵文化財調査センター 1998『須衛天狗谷古窯跡群・天狗谷窯址群発掘調査報告書』各務原市教育委員会
- 29) 大江傘 1983「尾崎大平古窯跡群」『各務原市史 考古・民俗編考古(本文) 各務原市』
- 30) 愛知県教育委員会 1980『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告(I)』
- 31) 愛知県教育委員会 1983『愛知県古窯跡群分布調査報告(Ⅲ)(尾北地区・三河地区) 付・猿投窯の編年について』。城ヶ谷和広 2015「高蔵寺第2号窯」『愛知県史』別編窯業1 古代猿投系 愛知県
- 32) 尾野善裕・森川実・大澤正吾 2016「飛鳥地域出土の尾張産須恵器」『奈良文化財研究所紀要2016』。奈良文化財研究所・歴史土器研究会 2019『飛鳥時代の土器編年再考』
- 33) 四日市市教育委員会 1966『東日野弥生住居址群 岡山古窯址第1号窯』。前掲註6文献(四日市市教育委員会1971)
- 34) 前掲註1文献(三重県埋蔵文化財センター2021)
- 35) 三重県埋蔵文化財センター 2017『北山A遺跡(第2・3・5・6次)発掘調査報告』。なお、大部分が概報段階の情報ではあるが、既に中野山遺跡・北山A遺跡・筆ヶ崎西遺跡を一体的に捉える試みがある。(川部浩司・渡辺和仁 2017「伊勢・伊賀地域の古墳～飛鳥時代集落」『古墳時代から飛鳥時代へ—集落遺跡の分析からみた社会変化—』古代学研究会)
- 36) 三重県埋蔵文化財センター 2016『中野山遺跡(2・3・6・7次)発掘調査報告』。前掲註1文献(同2019・2021)。前掲註35文献(同2017)。
- 37) 竪穴建物SH 1814・SH 1834・SK 1673などには、明らかに新しい遺物の混入が認められる。これらの遺物は2～4期に該当することから、時期不明の遺構のうち、この時期に該当するものがあると推測され、なかでも側柱建物にその可能性がより高いと考えている。
- 38) 第3次調査では、古墳群下方に位置する中野山5期の遺構に古墳由来遺物の混入事例が少なからず認められ、遺構の所属時期を明らかにするためには詳細な検討を必要とした。第4・5・7次調査でも、古墳群と同時期の遺物が出土する遺構が西群下方にのみ集中し、遺構の重複による新旧関係と出土遺物の時期が逆転する事例(SH 1022・SK 1136、SH 1078・SH 1080)が散見される。報告書掲載遺物の実見のみで確実なことは言えないが、隣接の第3次調査と類似した状況であるため、その多くが中野山5期に属するものと推測される。
- 39) 前掲註1文献(三重県埋蔵文化財センター2021)
- 40) 東員町教育委員会 1976『西山遺跡・新野遺跡』
- 41) 掘立柱建物の時期比定は非常に困難だが、中野山6期の遺物を柱穴に含む掘立柱建物については、当該期の遺構と見なすことにした。何故なら、当該期の前には100年ほど空白期があるため、前代の掘立柱建物の柱痕跡埋土に、6期の遺物が入り込むとは考えにくいからである。また、当該期以降、中野山では中世墓以外の遺構がほとんどなく、集落を形成したとみなすだけの遺物もまた見つかっていないため、6期の遺物が柱穴埋土に混入した後世の掘立柱建物とも考え難いからである。
- 42) 水橋公恵「古代須恵器工人の系譜—伊勢国・岡山古窯址群の場合—」『考古論集』川越哲志先生退官記念論文集 川越哲志先生退官記念事業会

【図版出典】

第287図：前掲註5のとおり

第288図：ヲノ坪窯・内多窯出土品は筆者実測

第289図：前稿第184図を一部改変

3 中野山遺跡とその周辺遺跡における冶金活動

中野山遺跡が立地する朝日丘陵上には、密度に差はあるものの、冶金関連遺物が出土する遺跡が分布する。初期の発掘事例は昭和45年から46年にかけて行われた、東員町の西山遺跡、新野遺跡で報告されている^{1) 2)}。新野遺跡では鉄滓が融着する鞆羽口や椀形鍛冶滓や鉄滓片、また原料とされた可能性のある鉄片が出土する。西山遺跡でも鞆羽口片や鉄滓片、椀形鍛冶滓のほか、溶解容器の小片が土坑や竪穴建物から見つかる。いずれも鍛冶関連の生産活動が予察されるが、滓の鉄成分分析が行われておらず、より具体的な冶金活動の情報を得られていない。次の発掘事例は東海環状道路建設に伴う広山A遺跡・広山B遺跡で、平成12年から19年にかけて実施された³⁾。また県道建設に伴う小牧北遺跡の発掘調査が平成13年に行われた⁴⁾。これらの同丘陵の北面および西面縁辺部において、少量であるが滓や割鑿かと考えられる鉄製品の出土が見られ、小規模の鍛錬鍛冶を行っていた様子が見える。そして、今回報告する中野山遺跡をはじめ、丘陵を東西に横断して建設される新名神高速道路の建設に伴う調査によって、北山A遺跡、筆ヶ崎西遺跡、さらに新名神高速道路とのジャンクションが建設される東海環状自動車道の事業地となる中野山遺跡から筆ヶ崎西遺跡にかけて、鍛冶炉および鉄滓等を伴う冶金関連遺物の出土があった。特に筆ヶ崎西遺跡では、竪穴建物床面で地炉とした鍛冶炉が検出され、顕著な冶金活動を確認することができた。こうした周辺状況の中、北山A遺跡、筆ヶ崎西遺跡、中野山遺跡から出土した滓、計47点の鉄成分分析が調査時ごとに行われ、冶金の実態解明を試みている。

鉄成分分析の成果で明らかとなった異素材を扱う特性のほか、共通していたのは、鉄素材を地金として再溶解し、鍛錬鍛冶を行っていた点である。これは県下の古代以降の分析事例で多く報告されている事象で、古墳時代後期から当地では行っていたことが明らかとなった。

従前の報告では、鞆羽口や鉄滓といった遺物ならびにそれらを出土した遺構のみに着目し、製鉄・鍛

冶活動の推察を行うにとどまってきた。今回の調査および遺物の検討を踏まえた集落の動向と冶金関連遺物・遺構の分布を重ね合わせてみた結果、また鉄成分分析の結果も見ながら、本丘陵上における冶金活動の推移について看取できた事項をあげてみたい。

中野山1期（第296図、以下同）とした集落内においては、砥石のみの分布で、冶金そのものにかかる活動痕跡が見当たらない。調査区域外において火床等の鍛冶作業空間があったのであろうか。当該期の集落北側は谷地のため、冶金を行っていたならば、主体的空間は丘陵南面の平端部が想定されようか。

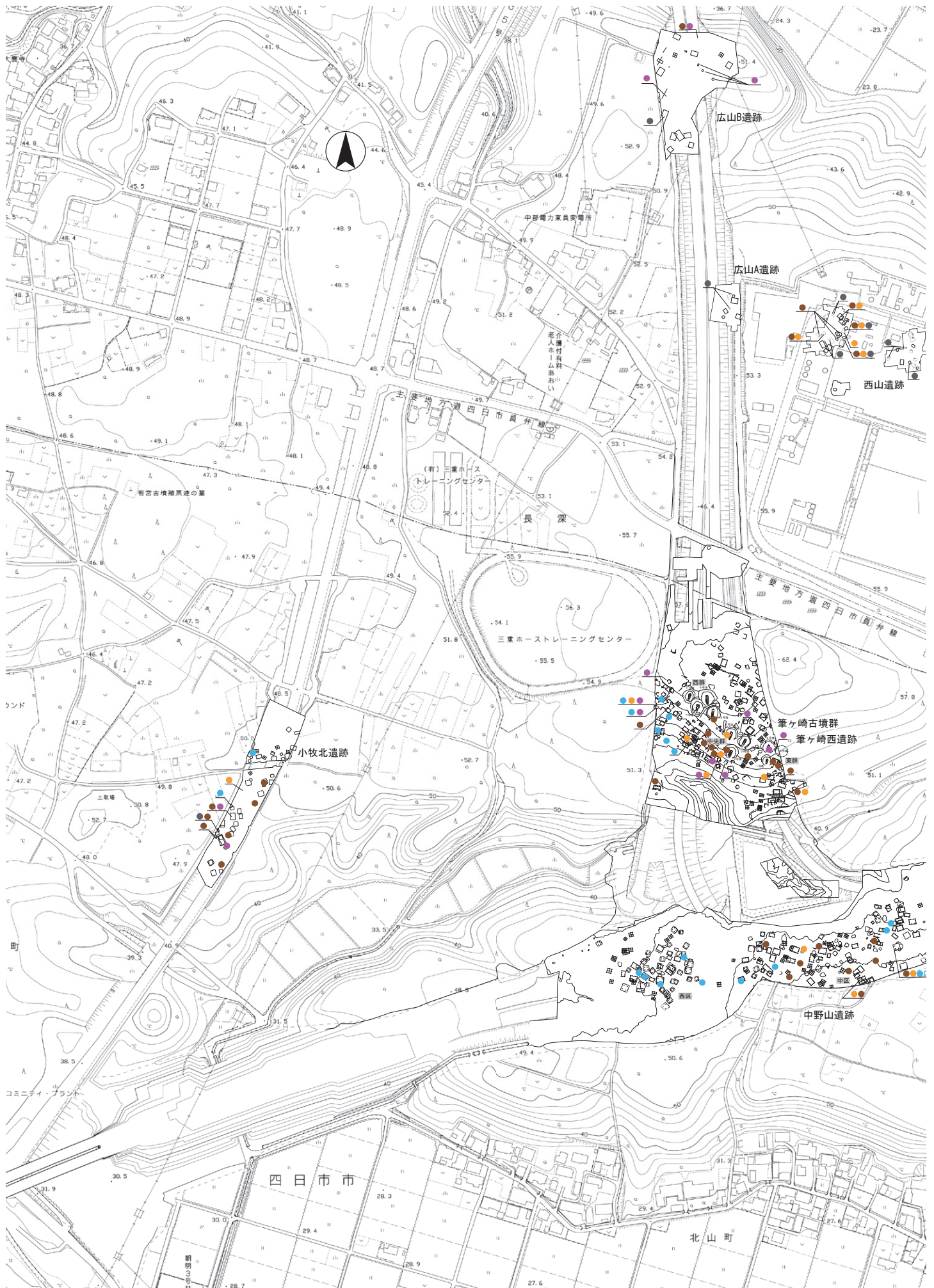
中野山2期における冶金活動は、中区へ移動してきているようだが、遺構出土の遺物が乏しくはっきりとしない。

中野山3期から特に4期にかけての冶金活動は、中区の南辺部で顕著となる。鉄滓だけでなく鞆羽口や砥石、地金の出土など、竪穴建物での鍛冶と土坑への廃棄がうかがえる。この時期の鉄滓からは、金属鉄粒と同時に青銅粒を含むことが報告されており⁵⁾、青銅製品と鉄の異素材を併用して加工する、あるいは溶解炉等の共用で冶金活動を行っていたものと思われる。この異素材を扱う体制は次の5期にかけて、筆ヶ崎西遺跡の古墳を挟んだ西裾・東裾で見ついている⁶⁾。分析結果から、鉄・砒素を含む品位の低い国内産銅素材を同一炉内で溶融した可能性が考えられている⁷⁾。筆ヶ崎西遺跡側の生産滓の方が、含鉄滓・鉄塊系遺物が多いことと、始発原料に塊状鉄鉱石が想定される鉄滓が出土していることも併せて注目しておきたい⁸⁾。

中野山5期では、活動の場を東区以東に移行し、地金とした鉄素材と冶金関連遺物が共存する遺構が見られる。東区では、4期に見られた異素材併用・共用の痕跡は見当たらないが、筆ヶ崎西遺跡方面の古墳裾部で引き続き展開されている。

中野山6期では、東区南辺・東南隅にわずかに遺物の出土があるが、5期ほどの分布はない。

以上のような動向が推察される場所であるが、出土鉄滓の出土量に対する分析の実施数が十分とはいえない調査・遺跡もあり、冶金活動のすべてを解明できてはいない。そこで、生産滓から分かる操業内容に加えて、広山B遺跡、西山遺跡、新野遺跡で



第 298 図 冶金関連遺物の分布 (1 : 5,000)



検出された、炭化材を伴う焼土坑の分布状況にも注目したい。操業規模の大小にかかわらず、冶金を伴う生産活動に燃料となる炭は不可欠で、従前の調査で検出された炭化材を伴う焼土坑は、炭生産の伏焼土坑の可能性を考えておきたい⁹⁾。製鉄規模の燃料ならば、炭窯により生産するものと思われるが、小鍛冶では、鍛錬鍛冶の作業場付近で使用量分の消し炭を、こうした焼土坑で生産していた可能性が考えられる。後世の攪乱もあり、十分な残存状況ではない検出事例もある。付近の建物の厨房や土壙墓的な性格、また焼失建物を想定されるケースもあるが、周辺遺構および共伴遺物の状況によっては、小鍛冶燃料生産の遺構も、想定する性格の一つに考えるべきであろう。

こうした遺構へも目を向けることで、小鍛冶創業の空間が、より広範囲に実態が把握できるようになる。中野山3期以降の小鍛冶の操業が、場所を移しながら本丘陵上で存続していたことは、今も事業地外の部分に残るクヌギやコナラの森林資源と、約200年にわたり利用と再生のバランスを取りながら冶金活動をし、集落を営んできたと言いうことができようか。

現時点では、古代後期以降の冶金活動がうかがえる発掘調査地点はないため、9世紀半ば以降に冶金の痕跡は希薄となり、中世以降、ごく限られた遺構で散見するのみとなる。本丘陵上の動向をふまえ、近接する久留倍遺跡や西ヶ広遺跡などの操業内容の比較検討などを課題としつつ、「大金（鐘）」の地名が残った当地の歴史の解明に向けて注視していきたい。

(大川)

【註】

- 1) 東員町教育委員会 1976『西山遺跡・新野遺跡』
- 2) 三重県教育委員会 1972『新野遺跡発掘調査報告 - C地区 -』
- 3) 三重県埋蔵文化財センター 2009『広山A遺跡・広山B遺跡』
- 4) 三重県埋蔵文化財センター 2007『小牧北遺跡発掘調査報告』
- 5) 三重県埋蔵文化財センター 2016『中野山遺跡(第2・3・6・7次)発掘調査報告』
- 6) 三重県埋蔵文化財センター 2021『筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡(第2・3・6次)発掘調査報告』
- 7) 6) 掲載「出土滓の分析調査」
- 8) 三重県埋蔵文化財センター 2019『筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡(第4・5・7次)発掘調査報告』
- 9) 福島県教育委員会 1995『真金吹く陸奥の行方』

【参考文献】

国土交通省中国地方整備局松江国道事務所・島根県教育庁文化財調査センター 2007『たたら街道』 - 中国横断自動車道(尾道松江線)事業地内埋蔵文化財発掘調査概報 -

第24表 遺構一覧表(1)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2.0 暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SK 324	11次	L	06・7	10, 189, 244	土坑	3・4期	4.0	3.8	0.15	須恵器杯蓋、土師器片	大型土坑 東環第3次で南半検出
SH 394	12次	J	L22他	8, 88, 225	竪穴建物	弥生後期	6.0	5.4	0.1	弥生土器壺・高杯	
SH 701	10次	M	F18他	11, 103, 227	竪穴建物	5期	4.2	3.9	0.13	須恵器高杯・鉢?・壺、土師器甕	東環第7次で南半調査
1001	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SZ 1002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1003	4次	F	T21・22	11, 16	煙道付炉穴	縄文早期	1.6	0.6	0.33	遺物なし	
SF 1004	4次	F	U21・22	11, 16	煙道付炉穴	縄文早期	2.3	0.7	0.25	遺物なし	
SF 1005	4次	F	U20	11, 17, 202	煙道付炉穴	縄文早期	0.8≦	0.5	0.18	縄文土器片、礫器	8630-8422 cal BC
SF 1006	4次	F	T21	11, 17, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.5	0.23	縄文土器片	
SF 1007	4次	F	U20他	11, 18	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.8	0.29	縄文土器片	
SF 1008	4次	F	U21他	11, 18, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.5	0.27	縄文土器片、磨石・剥片	
SH 1009	4次	F	U25他	12, 13, 201	竪穴建物	縄文早期	2.7	2.6	0.24	縄文土器多数、石皿・剥片・磨石・楔形石器・UF	
SF 1010	4次	F	V20	11, 64, 207	集石炉	縄文早期	0.8	0.7	0.27	石皿	集石炉B類 SK1010からSF1010に変更
SH 1011	4次	G	W3他	12, 92, 227	竪穴建物	古代	4.6	3.9	0.18	土師器甕、土壁、砥石	SK1032→SH1011 壁柱穴多数、焼失家屋?
SH 1012	4次	F	U24他	12, 14, 201	竪穴建物	縄文早期	3.8	3.7	0.11	縄文土器数点	
SH 1013	4次	G	U1他	12, 13, 201	竪穴建物	縄文早期	3.0	2.9	0.15	縄文土器多数、磨石	
SF 1014	4次	F	U21	11, 19	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.5	0.24	遺物なし	
SF 1015	4次	F	V21・22	11, 19, 202	煙道付炉穴	縄文早期	2.1	0.5	0.4	縄文土器数点、石皿	8489-8301 cal BC
SF 1016	4次	F	V21	11, 20, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.2≦	0.7	0.37	縄文土器多数、剥片	8658-8538 cal BC
SK 1017	4次	G	V1	12, 174	土坑	古代	2.3	1.3	0.28	土師器甕片	大型土坑
SF 1018	4次	F	U22	11, 20, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.5	0.37	縄文土器片	8738-8548 cal BC
SF 1019	4次	F	T22	11, 21, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.8	0.7	0.08	縄文土器数点、磨石	
SD 1020	4次	F	T23他	12	溝	時期不明	2.0	0.5	—	遺物なし	
SD 1021	4次	F	U23	12, 209	溝	時期不明	1.5	0.7	—	縄文土器片	
SF 1022	4次	F	V21	11, 20, 64, 207	集石炉	縄文早期	1.1	0.8	0.45	縄文土器数点、石皿・磨石・礫器	集石炉A類 8311-8238 cal BC
SF 1023	4次	F	U25	12, 13, 65, 207	集石炉	縄文早期	1.1	1.0	0.7	縄文土器数点、RF・石皿・磨製石斧・打製石斧・礫器	集石炉A類, SK→SFに変更 8228-7942 cal BC
SF 1024	4次	F	W21	11, 22, 202	煙道付炉穴	縄文早期	2.0	1.0	0.44	縄文土器数点、楔形石器・磨石・礫器	SK→SFに変更
SH 1025	4次	F	V25	12, 14, 201	竪穴建物	縄文早期	3.7	3.7	0.17	縄文土器数点、磨石・石皿・剥片・砥石・礫器	
SH 1026	4次	G	V3・4	12, 81, 224	竪穴建物	弥生中期	3.5	2.8	0.12	弥生土器多数、柱状片刃石斧・石皿	
SK 1027	4次	G	V5他	12, 90, 226	土坑	弥生中期	3.4	1.05	0.37	弥生土器壺・甕、打製石斧	
SK 1028	4次	F	U25	12, 209	土坑	縄文	1.3	0.65	0.15	縄文土器片	
SF 1029	4次	F	W20	11, 23, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.8	0.41	縄文土器数点、礫器	
SF 1030	4次	F	V24	12, 23, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.6	0.5	縄文土器数点、磨石・礫器・石皿・砥石・UF	8659-8537 cal BC
SK 1031	4次	G	X1	12, 197, 255	土坑	時期不明	3.7	2.6	0.18	石鏡	
SK 1032	4次	G	X4	12, 174	土坑	古代?	2.9	2.1≦	0.1	土師器片	SK1032→SH1011 大型土坑
SK 1033	4次	F	Y21	11, 197	土坑	時期不明	1.0	0.8	0.21	遺物なし	
SD 1034	4次	G	Y6・7	12	溝	古代?	4.6	0.3	—	土師器数点	
SK 1035	4次	F	U24	12, 197	土坑	時期不明	1.4	0.85	0.39	遺物なし	
SK 1036	4次	G	Y2他	12, 174	土坑	古代?	2.3	1.95	0.33	土師器細片多数	大型土坑
SK 1037	4次	M	B25他	12, 174, 244	土坑	古代	4.1	2.8	0.42	須恵器甕、土師器甕	大型土坑
SK 1038	4次	G	Y9	12, 90, 226	土坑	弥生中期	0.4	0.4	0.13	弥生土器壺	土器棺の可能性
SX 1039	4次	N	C9	12, 196	墓	中世	0.85	0.65	0.12	土師器片	
SX 1040	4次	N	C10	12, 196	墓	中世	0.75	0.5	0.11	遺物なし	
SK 1041	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SD 1042	4次	N	B8他	12, 91, 226	溝	弥生中期	6.0	0.6	0.2	弥生土器壺	
SK 1043	4次	N	C1他	12, 175, 244	土坑	5期古相	4.0	2.9	0.6	須恵器杯身・高杯・甕、土師器甕・把手	大型土坑
SH 1044	4次	M	D25他	12, 92, 227	竪穴建物	5期	5.1	5.1	0.1	須恵器短頸壺・甕、土師器甕	SH1044→SB1070
SB 1045	4次	M	C22他	11, 12, 130, 255	総柱建物	古代	4.2	3.8 3.6	—	土師器数点、縄文土器片	

第24表 遺構一覧表(2)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SK 1046	4次	N	C2	12	土坑	弥生	2.2≦	1.65	0.29	弥生土器片	
SK 1047	4次	M	D25	12,175	土坑	古代	1.85	1.5	0.15	須恵器片、土師器片	
SK 1048	4次	N	C7	12	土坑	弥生	1.4	0.7	0.87	弥生土器片、剥片	
SK 1049	4次	N	D7	12	土坑	古代	1.15	0.7	0.44	須恵器杯蓋	
SK 1050	4次	M	E23	12,90,226	土坑	弥生中期	1.8	1.8	0.38	磨製石斧	
SK 1051	4次	N	E3・4	12,175,244	土坑	古代	3.0	2.4	0.41	須恵器杯、土師器甕	大型土坑
SK 1052	4次	M	F22他	11,12,175,244	土坑	古代	4.1	3.5	0.45	須恵器甕・杯、土師器甕、鉄滓片	SK1052→SB1067 大型土坑
SK 1053	4次	M	F25他	12,176,244	土坑	古代	2.8	2.0	0.38	須恵器高杯、鉄滓片	大型土坑
SH 1054	4次	N	F1他	12,93	竪穴建物	古代	3.1≦	1.8≦	0.1	遺物なし	
SK 1055	4次	N	G4・5	12	土坑	古代?	1.3	0.7	0.18	土師器甕	
SK 1056	4次	N	G5	12,244	土坑	古代	0.75	0.7	0.28	土師器甕	
SH 1057	4次	M	J23他	11,12,93,227	竪穴建物	5期	6.1	6.1	0.47	須恵器杯蓋・甕、輪羽口	東環SH743と同じ SK1061と重複
SH 1058	4次	M	J25他	12,93,227	竪穴建物	古代	3.75≦	2.8≦	0.23	土師器甕	
SK 1059	4次	M	I25他	12,176,244	土坑	5期古相	4.1	3.1	0.43	須恵器杯蓋・杯身、土師器甕、製塩土器	大型土坑
SK 1060	4次	N	J1	12,176,244	土坑	古代	1.5	1.0	0.25	土師器甕	
SK 1061	4次	M	K23他	12,176,227	土坑	古代	6.4	5.4	0.3	須恵器杯身・甕、土師器甕	SH1057と重複 大型土坑
SF 1062	4次	F	U20	11,17,202	煙道付炉穴	縄文早期	1.35	0.5	0.14	縄文土器片	SF1065西→SF1062に変更 8555-8322ca1BC, 8485-8301ca1BC
SH 1063	4次	N	H2他	12,94,227	竪穴建物	古代	4.7	3.7	0.29	土師器甕	SH1063→SB1068・SB1084 2つの竪穴建物重複?
SK 1064	4次	N	G4	12	土坑	古代?	1.15	1.05≦	0.16	土師器片	
SB 1065	4次	M	G23他	12,130,242	側柱建物	古代	6.9	4.35	—	土師器甕	
SB 1066	4次	M	D24他	12,131	総柱建物	古代	5.25	3.9	—	土師器数点	
SB 1067	4次	M	E22他	11,12,131,242	側柱建物	古代	5.7	3.9	—	須恵器片、土師器甕	棟持柱若干外側へ
SB 1068	4次	N	H1他	12,132	側柱建物	古代	4.8	3.0	—	土師器片	
SB 1069	4次	N	E1他	12,132	側柱建物	古代	7.2	4.35	—	須恵器片、土師器数点	
SB 1070	4次	M・N	C25他	12,133	総柱建物	古代	5.7 5.4	5.4 4.95	—	土師器多数	SH1044と重複
SB 1071	4次	N	G4他	12,133	側柱建物	古代	6.6	4.2	—	遺物なし	
SB 1072	4次	N	J3他	12,134,242	側柱建物	6期	7.8	5.4	—	須恵器杯、土師器数点	SB1222を統合 SK1221→SB1072
SF 1073	4次	F	U24	12,24	煙道付炉穴	縄文早期	0.6≦	0.6≦	?	遺物なし	
SF 1074	4次	F	X21	11,24,202	煙道付炉穴	縄文早期	1.6≦	0.6	0.54	縄文土器数点	
SK 1075	4次	M	A21・22	11,209	土坑	縄文	1.4	0.9≦	0.16	縄文土器片	
SK 1076	4次	F	S24	12	土坑	縄文	1.4	0.8	0.13	縄文土器片	
SF 1077	4次	F	X21	11,24	煙道付炉穴	縄文早期	0.9≦	0.7	0.34	遺物なし	
SK 1078	4次	F	V20	11,209	土坑	縄文	0.5	0.4	0.17	縄文土器片	
SK 1079	4次	F	V24・25	12	土坑	縄文	0.6	0.4	0.15	縄文土器片	
SF 1080	4次	F	U21	11,19	煙道付炉穴	縄文早期	?	?	?	遺物なし	
SB 1081	4次	M・N	C25他	12,134,242	側柱建物	古代	5.85	3.9	—	土師器甕	
SB 1082	4次	M	E23	11,12,135	側柱建物	古代	3.3	3.0	—	遺物なし	
SB 1083	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番	
SB 1084	4次	N	F2他	12,135	総柱建物	古代	4.2	4.2	—	土師器片	
SB 1085	4次	N	H3他	12,135	総柱建物	古代	6.6	3.6	—	遺物なし	
SB 1086	4次	N	H4他	12,136	側柱建物	古代	6.3	4.5	—	遺物なし	
SB 1087	4次	N	J4・5	12,136	側柱建物	古代	5.85	4.8	—	土師器片	
SB 1088	4次	M	I22他	11,12,137	総柱建物	古代	4.95	3.9	—	須恵器片、土師器数点	
SB 1089	4次	M	J23他	12,137,242	側柱建物	6期	6.6	4.2	—	須恵器杯、土師器数点	
SB 1090	4次	M・N	K25他	12,138,242	側柱建物	6期	5.4	3.75	—	須恵器杯蓋・甕、土師器数点	SB1228を統合 SB1090→SK1227
SB 1091	4次	M	K24・25	12,138,242	側柱建物	6期	5.55	4.95	—	須恵器甕、土師器数点	
SB 1092	4次	M	H22他	11,139	側柱建物	古代	6.15	3.9	—	須恵器片、土師器片	
SD 1101	5次	E	U12	10	溝	時期不明	8.3	1.0	—	遺物なし	

第24表 遺構一覧表(3)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SD 1102	5次	E	Y12	10	溝	時期不明	2.3	0.5	—	遺物なし	
SH 1103	5次	E	T21他	11, 73, 74, 210-216	竪穴建物	縄文中期～後期	4.1	2.15≦	0.53	縄文土器多数(中期後葉)、石鏃・石皿・楔形石器・RF・UF	
SH 1104	5次	E	T23・24	11, 73, 217	竪穴建物	縄文中期～後期	5.15	3.15≦	0.86	縄文土器多数(中期後葉)、凹石	
SF 1105	5次	E	U18	10, 11, 25	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.4	0.23	遺物なし	
SF 1106	5次	E	U20	11, 25	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.8	0.19	遺物なし	
SK 1107	5次	E	U22他	11, 72	集石遺構	縄文早期	0.7	0.6	0.18	遺物なし	
SH 1108	5次 11次	E	W22他	11, 94	竪穴建物	古代	3.9	3.9	0.4	土師器	
SX 1109	5次	F	S1	11, 80, 221	埋設土器	縄文晩期	1.2	0.65≦	0.53	縄文土器深鉢	内：1266-1114 cal BC 外：1216-1051 cal BC
SF 1110	5次	E	V23	11, 25, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.65	0.8	0.26	石皿	
SK 1111	5次	F	T1	11, 198	土坑	時期不明	0.7	0.55	0.12	遺物なし	
SF 1112	5次	F	S2	11, 26	煙道付炉穴	縄文早期	1.7	0.7	0.36	遺物なし	
SF 1113	5次	F	V1	11, 26	煙道付炉穴	縄文早期	1.25	0.65	0.1	遺物なし	
SF 1114	5次	F	V3	11, 26	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.65	0.4	遺物なし	
SF 1115	5次	F	U3	11, 26	煙道付炉穴	縄文早期	2.25	0.75	0.2	遺物なし	
SF 1116	5次	F	U3	11, 27, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.5	0.29	縄文土器片、石皿	
SK 1117	5次	F	U3	11, 198	土坑	時期不明	0.9	0.6	0.07	遺物なし	
SX 1118	5次	F	V4	11, 80, 221	埋設土器	縄文晩期	0.35	0.3	0.12	縄文土器深鉢	
SK 1119	5次	F	S3	11, 198	土坑	時期不明	1.8	0.7	0.15	遺物なし	
SF 1120	5次	F	S5	11, 27	煙道付炉穴	縄文早期	1.55	0.95	0.4	遺物なし	
SF 1121	5次	F	T5	11, 27	煙道付炉穴	縄文早期	1.25	0.7	0.11	遺物なし	
SF 1122	5次	F	U8	11, 28	煙道付炉穴	縄文早期	1.55	0.8	0.26	遺物なし	
SF 1123	5次	F	T6他	11, 28	煙道付炉穴	縄文早期	1.65	0.6	0.23	遺物なし	
SK 1124	5次	F	V4他	11, 199	土坑	時期不明	0.75	0.6	0.17	遺物なし	
SF 1125	5次	F	V3	11, 28	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.7	0.28	遺物なし	
SF 1126	5次	F	U6	11, 29	煙道付炉穴	縄文早期	1.7	0.7	0.2	遺物なし	
SK 1127	5次	F	T8	11, 198	土坑	時期不明	1.1	0.45	0.11	遺物なし	
SK 1128	5次	F	T8	11, 199	土坑	時期不明	1.5	0.8	0.15	遺物なし	
SF 1129	5次	F	T8	11, 29	煙道付炉穴	縄文早期	1.45	0.65	0.3	遺物なし	
SK 1130	5次	F	V4	11	土坑	時期不明	1.45	1.2	0.19	遺物なし	
SF 1131	5次	F	R13	11, 29	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.5	0.2	遺物なし	
SK 1132	5次	F	S1	11	土坑	時期不明	1.1	0.45	0.32	遺物なし	
SF 1133	5次	F	T3	11, 30, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.0	0.55	0.21	縄文土器片	
SF 1134	5次	F	T3他	11, 30	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.5	0.09	遺物なし	
SF 1135	5次	F	T7	11, 30, 202	煙道付炉穴	縄文早期	1.55	0.45	0.35	縄文土器片	
SF 1136	5次	F	T9	11, 30	煙道付炉穴	縄文早期	0.6	0.35	0.05	遺物なし	
SK 1161	5次	K	Q23・24	10, 176, 244	土坑	3期	5.6	4.0	0.25	須恵器高杯・甕、土師器甕	大型土坑
SK 1162	5次	K	Q24	10, 177, 244	土坑	古代	1.25	1.15	0.1	須恵器甕、土師器甕	
SK 1163	5次	K	Q23	10	土坑	時期不明	1.0	0.9	0.13	遺物なし	
SH 1164	5次	L	P2他	10, 94, 227	竪穴建物	古代	5.4	5.4	0.2	須恵器高杯、土師器甕	東葉SH227と同じ SH1164→SB1193→SB1190
SK 1165	5次	L	05他	10, 177, 245	土坑	2期	3.65	3.15	0.1	須恵器杯蓋・杯身・甕、土師器甕・把手	大型土坑
SD 1166	5次	L	05他	10	溝	古代?	1.3	0.2	0.1	須恵器甕、土師器甕	SB1192西柱筋に沿う溝
SK 1167	5次	L	N4	10, 177, 245	土坑	古代?	4.0	2.85	0.12	土師器片	大型土坑
SK 1168	5次	L	N1	10, 177	土坑	古代?	1.1	0.9	0.08	須恵器高杯・甕、土師器甕	
SK 1169	5次	K	Q24	10, 178	土坑	古代?	1.05	0.75	0.28	須恵器甕・杯身、土師器把手	
SK 1170	5次	L	O4	10	土坑	時期不明	1.6	0.7	0.44	遺物なし	
SK 1171	5次	L	M3	10	土坑	時期不明	1.2	0.55	0.24	遺物なし	
SK 1172	5次	L	M4	10	土坑	時期不明	0.8	0.6	0.16	遺物なし	
SD 1173	5次	L	K5	10	溝	近世～現代	10.0	1.0	—	磁器碗・皿	

第24表 遺構一覧表(4)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2ヵ所年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)		
SK 1174	5次	L	L3	10,199	土坑	時期不明	1.5	0.55	0.36	遺物なし	
SK 1175	5次	L	K5	10	土坑	時期不明	3.4	1.1	0.63	遺物なし	
SK 1176	5次	L	N3	10,200	土坑	時期不明	2.2	1.1	0.63	遺物なし	
SK 1177	5次	L	J4	10,199	土坑	時期不明	1.1	0.7	0.21	遺物なし	
SK 1178	5次	L	N1	10,178,245	土坑	古代	0.9	0.75	0.23	須恵器甕	
SK 1179	5次	K	N25	10	土坑	時期不明	0.7	0.5	0.17	遺物なし	
SK 1180	5次	K	N25	10	土坑	時期不明	0.95	0.5	0.15	遺物なし	
SK 1181	5次	L	M2	10	土坑	時期不明	0.95	0.5	0.14	遺物なし	
SK 1182	5次	L	J4	10,200	土坑	時期不明	1.2	0.7	0.25	遺物なし	
SK 1183	5次	L	J5	10	土坑	時期不明	1.1	0.7	0.17	遺物なし	
SK 1184	5次	L	K2	10	土坑	時期不明	1.1	0.5	0.32	遺物なし	
SK 1185	5次	L	N1	10,200	土坑	時期不明	1.0	0.6	0.2	遺物なし	
SK 1186	5次	K	R21	9,10	土坑	時期不明	1.1≦	0.5	0.18	遺物なし	
SB 1187	5次	L	L5他	10,139	総柱建物	古代	3.6	3.3	—	土師器片	
SB 1188	5次	L	N1他	10,140	総柱建物	古代	3.0	2.7	—	須恵器片、土師器数点	
SB 1189	5次	K・L	P25他	10,140	側柱建物	古代	7.8	5.7	—	土師器片、鉄滓片	東環SB224と同じ
SB 1190	5次	L	O2他	10,141	側柱建物	古代	5.4	4.2	—	土師器数点	
SB 1191	5次	L	O4他	10,141	側柱建物	古代	5.4	3.6	—	遺物なし	東環SB314と同じ
SB 1192	5次	L	O5他	10,142	総柱建物	古代	2.1	1.8	—	遺物なし	
SB 1193	5次	L	O2・3	10,142	総柱建物	古代	3.6	3.3	—	須恵器片、土師器数点	
SB 1194	5次	K	M25他	10,142	側柱建物	古代	6.3≦	4.2	—	土師器片	
SA 1195	5次	K	P23他	10,143	柱列	2期～	5.4	2.1	—	須恵器数点、土師器片	
SB 1196	5次	K	R22他	10,143	側柱建物	古代	8.4	4.5	—	遺物なし	東環SB220と同じ
SB 1201	8次	G	W14他	12,143	総柱建物	古代	4.2	4.2	—	土師器片	礎で替え?
SK 1202	8次	G	W16	12,178	土坑	古代?	0.7	0.6	0.15	土師器甕	
SF 1203	8次	G	U14	12,31,202	煙道付炉穴	縄文早期	1.7	0.4	0.3	礫器	
SF 1204	8次	G	U15	12,31	煙道付炉穴	縄文早期	1.35	0.45	0.22	遺物なし	8747-8561 cal BC
SF 1205	8次	G	V15	12,31	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.4	0.09	遺物なし	
SK 1206	8次	N	J13他	12,178,245	土坑	5期	3.1	2.1	0.54	須恵器杯・無台杯・杯蓋・土師器甕・輪羽口・土管 鉄滓・長頸鉄線、石皿・砥石・磨石	大型土坑
SK 1207	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番	
SK 1208	8次	N	I14他	12,180,245	土坑	5期	1.8	0.75	0.2	須恵器無台杯・高杯、土師器甕・杯	
SH 1209	8次	N	J14他	12,95,227	竪穴建物	5期	2.9≦	1.7≦	0.02	須恵器無台杯	
SK 1210	8次	N	G15他	12,179,245	土坑	古代?	2.3	1.55	0.43	土師器甕、石皿	SF1212→SK1211→SK1210 大型土坑
SK 1211	8次	N	G15他	12,179,246	土坑	6期	4.0≦	3.55	0.43	須恵器杯身・杯・長頸壺・無台杯・平瓶・甕 土師器甕・皿・把手、砥石	SF1212→SK1211→SK1210 大型土坑
SF 1212	8次	N	G16	12,179,246	土器焼成坑	5期	2.8≦	1.7	0.28	須恵器無台杯、土師器甕	SF1212→SK1211→SK1210 673-774 cal AD
SH 1213	8次	N	H13他	12,95,227	竪穴建物	古代	4.5	3.8≦	0.08	須恵器甕、土師器甕	
SK 1214	8次	N	J11	12,180	土坑	古代?	3.3	2.0	0.45	須恵器甕、土師器甕	大型土坑
SK 1215	8次	N	I10他	12,180	土坑	古代?	7.2	2.7≦	0.26	土師器甕	SK1215→SB1072 大型土坑
SK 1216	8次	N	I11他	12,180,246	土坑	古代	6.9	3.45	0.35	須恵器杯・無台杯、土師器甕	大型土坑
SK 1217	8次	N	H10他	12	土坑	古代?	1.3	1.1	0.22	土師器片	
SH 1218	8次	N	L6他	12,95	竪穴建物	5期?	3.0	1.5≦	0.09	須恵器杯身、土師器甕	
SH 1219	8次	N	M2・3	12,95	竪穴建物	古代	4.8	0.85≦	0.18	須恵器杯蓋、土師器甕	
SH 1220	8次	N	K6・7	12,95,227	竪穴建物	5期	3.9	3.3	0.18	須恵器甕・無台杯、土師器甕	
SK 1221	8次	N	L4他	12,180,247	土坑	5・6期	3.9	2.7	0.14	須恵器杯、不明土製品、弥生土器甕	SK1221→SB1072 大型土坑
SB 1222	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番 SB1072～統合	
SH 1223	8次	N	K2他	12,96,227	竪穴建物	古代	5.3	5.1	0.1	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕・甕、弥生土器甕、土鐘 台石	貯蔵穴1は6期の土坑
SK 1224	8次	N	L1他	12,181,247	土坑	5・6期	3.0	2.25	0.16	須恵器杯	大型土坑
SK 1225	8次	N	K1他	12,181,247	土坑	古代?	1.75	1.7	0.17	土師器甕	

第24表 遺構一覧表(5)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SB 1226	8次	M	L24他	12, 144, 242	総柱建物	6期	2.7	1.5≦	—	須恵器杯・杯蓋・甕、土師器数点	
SK 1227	8次	M	L25他	12, 181	土坑	古代?	2.8	1.75	0.33	遺物なし	SB1090→SK1227 大型土坑
SB 1228	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番 SB1090→統合
SK 1229	8次	M	L24	12, 181, 247	土坑	古代	1.1	0.8≦	0.18	須恵器杯・甕、土師器甕、袋状鉄斧	
SK 1230	8次	M	K24他	12, 181, 247	土坑	6期	2.15	1.4	0.38	須恵器杯蓋・杯・椀、土師器甕・杯、鉄鏝	大型土坑
SK 1231	8次	M	L23・24	12, 181, 247	土坑	古代?	0.8	0.6	0.1	土師器甕	カマド?
SB 1232	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SH 1233	8次	M	N23・24	12, 96	竪穴建物	古代	6.2	2.2≦	0.2	土師器片	東環SH737と同じ
SD 1301	9次	P	J2他	6	溝	時期不明	23.3≦	3.9	0.04	遺物なし	
SK 1302	9次	P	K22	7	土坑	時期不明	1.1	1.1	0.23	遺物なし	
SK 1303	9次	P	K22	7	土坑	時期不明	1.1	0.7	0.14	遺物なし	
SD 1304	9次	P	M16他	6, 7	溝	時期不明	31.1≦	0.8	0.38	遺物なし	
SH 1305	9次	P	P1・2	6, 82, 224	竪穴建物	弥生後期	5.4	2.1≦	0.04	弥生土器蓋・高杯	
SD 1306	9次	P	L15他	6, 7	溝	時期不明	27.3≦	0.7	0.22	遺物なし	
SD 1307	9次	P	M16他	6	溝	時期不明	17.7≦	1.0	0.46	遺物なし	
SD 1308	9次	P	L2	6	溝	時期不明	19.2≦	1.0	0.2	遺物なし	
SB 1309	9次	Q	N12他	7, 8, 144	側柱建物	古代	9.3	3.0≦	—	遺物なし	
SF 1310	9次	K	U13他	9, 71	土坑炉	縄文早期	1.0	0.95	0.3	砥石	
SK 1311	9次	K	T13	9, 76, 219	袋状土坑	縄文中期～後期	1.05	0.95	0.41	磨石	
SK 1312	9次	K	U12	9, 76, 219	袋状土坑	縄文中期～後期	1.1	0.95	0.4	縄文土器多数、切目石鏝	
SH 1313	9次	K	V12・13	9, 97	竪穴建物	古代	5.4	5.1	0.15	須恵器杯蓋、土師器甕、剥片・磨石	東環SH201と同じ SH1313→SB1317
SB 1314	9次	K	T15	9, 144, 242	総柱建物	2期	3.3	3.3	—	須恵器杯蓋・杯身	SB1611を統合 SB1314→SB1612
SK 1315	9次	K	U14	9, 247	土坑	古代?	2.3	0.8≦	0.14	土師器片	大型土坑
SK 1316	9次	K	V12	9	土坑	時期不明	1.1≦	(0.4)	0.43	遺物なし	
SB 1317	9次	K	T11他	9, 145	側柱建物	古代	11.1	4.5	—	土師器数点	SH1319→SH1318→SB1317 SH1313→SB1317
SH 1318	9次	K	V10他	8, 9, 98, 228	竪穴建物	3期	3.9	3.6	0.14	須恵器杯蓋、土師器長柄甕	SH1319→SH1318→SB1317
SH 1319	9次	K	U10・11	8, 9, 98	竪穴建物	古代	4.2	2.6	0.07	遺物なし	SH1319→SH1318→SB1317
SH 1320	9次	K	U8	8, 9, 99, 228	竪穴建物	2期	5.4	5.4	0.1	須恵器杯身・提瓶、土師器甕	建て替え
SH 1321	9次	K	W8他	8, 9, 99, 228	竪穴建物	2期	4.5	4.2	0.04	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕	
SH 1322	9次 12次	K	U5他	8, 9, 100, 228	竪穴建物	3・4期	4.8	4.5	0.17	須恵器杯蓋、土師器把手、砥石	SH1322→SB1324
SK 1323	9次	K	V7他	8, 9, 182	土坑	古代?	2.6	0.6	0.14	土師器甕	大型土坑
SB 1324	9次	K	U6他	8, 9, 145	総柱建物	古代	4.05	3.9	—	土師器片	SH1322→SB1324
SK 1325	9次	K	U6	8, 9, 100	カマド	古代?	0.85	0.5≦	0.18	土師器甕	SH1322のカマド
SB 1326	9次	K	X10・11	8, 9, 146	側柱建物	古代	6.3≦	3.0≦	—	遺物なし	東環SB204と同じ 建て替え?
SH 1327	9次	R	A8	8, 9, 101	竪穴建物	古代	2.4≦	1.9≦	0.2	遺物なし	SK1336(縄文)→SH1327
SB 1328	9次	K	X4他	8, 9, 146	側柱建物	古代	5.7 5.55	4.5	—	遺物なし	
SK 1329	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SX 1330	9次	K	W8	8, 9, 196	墓	中世	1.2	0.65	0.1	土師器片、UF	
SH 1331	9次 12次	Q	D16他	7, 8, 81, 224	竪穴建物	弥生中期	5.05	4.4	0.19	弥生土器蓋・甕	
SB 1332	9次	J	Y23他	8, 147	総柱建物	古代	4.2	3.6 3.3	—	遺物なし	
SH 1333	9次	K	Y1他	8, 9, 82, 224	竪穴建物	弥生後期	6.0	6.0	0.03	弥生土器蓋・甕	建て替え?
SK 1334	9次	R	B2	8, 9, 200	土坑	時期不明	0.7	0.6	0.1	遺物なし	
SK 1335	9次	R	B2	8, 9	土坑	時期不明	1.2	1.2	0.18	遺物なし	
SK 1336	9次	R	A8	8, 9, 76, 219	袋状土坑	縄文中期～後期	0.95	0.95	0.22	縄文土器片	SH1327下層で検出
SK 1337	9次	K	U9	8, 9	土坑	時期不明	—	—	—	遺物なし	
SF 1401	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1402	10次	F	U12	11, 32, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.7	0.65	0.26	縄文土器数点、磨石	3028-2910 cal BC
SF 1403	10次	F	U13	11, 33	煙道付炉穴	縄文早期	0.65≦	0.45	0.19	遺物なし	

第24表 遺構一覧表(6)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ 暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SF 1404	10次	F	U14	11, 65, 208	集石炉	縄文早期	1.15	1.0	0.52	縄文土器数点、礫器	集石炉A類 8564-8328 cal BC
SF 1405	10次	F	U15・16	11, 32	煙道付炉穴	縄文早期	2.0	0.5	0.21	遺物なし	
SF 1406	10次	F	U16	11, 33	煙道付炉穴	縄文早期	0.7	0.4	0.15	遺物なし	
SF 1407	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1408	10次	F	V14・15	11, 33, 203	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.5	0.18	磨石	
SF 1409	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1410	10次	F	V16・17	11, 34, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.6	0.6	0.38	縄文土器片	8796-8617 cal BC
SF 1411	10次	F	V17・18	11, 33	煙道付炉穴	縄文早期	2.1	0.9	0.45	縄文土器数点	
SF 1412	10次	F	U18・19	11, 34, 203	煙道付炉穴	縄文早期	0.85≦	0.45	0.22	縄文土器数点、石皿	8741-8554 cal BC
SF 1413	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1414	10次	F	U18	11, 66	集石炉	縄文早期	1.2	0.8	0.22	遺物なし	集石炉A類
SF 1415	10次	F	U18	11, 34, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.5	0.31	縄文土器数点、石皿	8651-8537 cal BC
SF 1416	10次	F	W18・19	11, 35	煙道付炉穴	縄文早期	1.2≦	0.55	0.13	遺物なし	
SH 1417	10次	F	X11	11, 101	竪穴建物	古代	3.4≦	2.4≦	0.03	土師器甕	SH1417→SK1429→SK1428 →SK1427
SK 1418	10次	F	V14他	11, 90, 226	土坑	弥生中期	0.6	0.6	0.13	弥生土器壺・甕	
SF 1419	10次	F	W16	11, 36, 203	煙道付炉穴	縄文早期	1.8	0.65	0.4	縄文土器数点、石皿	8748-8601 cal BC
SF 1420	10次	F	W16	11, 36	煙道付炉穴	縄文早期	1.35	0.45	0.19	遺物なし	
SF 1421	10次	F	W17	11, 37, 38, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.1≦	0.55	0.37	縄文土器数点、石皿	
SF 1422	10次	F	W17	11, 37, 38	煙道付炉穴	縄文早期	1.1≦	0.65	0.16	縄文土器片	8632-8425 cal BC
SF 1423	10次	F	W17	11, 37, 38	煙道付炉穴	縄文早期	1.65	0.55	0.34	遺物なし	
SF 1424	10次	F	W17	11, 37, 38	煙道付炉穴	縄文早期	0.9≦	0.6	0.22	遺物なし	
SF 1425	10次	F	W18・19	11, 35, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.35	0.5	0.29	縄文土器多数、礫器	
SB 1426	10次	F	W14他	11, 147	側柱建物	古代	6.0	3.9	—	土師器数点	
SK 1427	10次	F	W11他	11, 182, 247	土坑	5期古相	5.4	3.8	0.4	須恵器杯身、土師器甕、土鍾	SH1417→SK1429→SK1428 →SK1427 大型土坑
SK 1428	10次	F	X11	11, 182, 247	土坑	古代	2.4	1.8≦	0.36	土師器甕	SH1417→SK1429→SK1428 →SK1427 大型土坑
SK 1429	10次	F	X11	11, 182, 247	土坑	古代	1.6≦	1.45	0.22	須恵器横瓶・フラスコ瓶、土師器甕	SH1417→SK1429→SK1428 →SK1427
SF 1430	10次	F	X13	11, 39, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.8	0.55	0.17	縄文土器片、礫器・石皿	
SF 1431	10次	F	X15	11, 40	煙道付炉穴	縄文早期	1.15≦	0.6	0.06	遺物なし	
SF 1432	10次	F	X15	11, 40	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.45	0.08	遺物なし	
SF 1433	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1434	10次	F	X16	11, 40	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.5	0.27	縄文土器片	
SF 1435	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SH 1436	10次	F	Y13他	11, 101, 228	竪穴建物	古代	5.4	5.4	0	土師器甕、製塩土器	SH1436→東土坑
SK 1437	10次	M	A14	11, 183	土坑	古代	3.8	2.8	0.31	須恵器甕、土師器甕	大型土坑
SH 1438	10次	M	A16他	11, 102, 228	竪穴建物	5期	4.9	3.7	0.08	須恵器杯身・杯蓋・高杯、土師器甕、製塩土器、籬羽口	礎で替え(拡張) SH1438→中央土坑
SK 1439	10次	M	A17他	11, 183, 247	土坑	5期?	3.6	3.4	0.3	須恵器高杯・杯蓋・杯身、土師器甕・杯	大型土坑
SB 1440	10次	F	Y18他	11, 148, 242	側柱建物	古代	4.95	3.9	—	須恵器短頭壺	
SF 1441	10次	M	A17・18	11, 41, 204	煙道付炉穴	縄文早期	2.0	0.7	0.31	縄文土器片、磨石	SF1456→SF1411 8641-8533 cal BC
SK 1442	10次	F	Y19	11, 182, 248	土坑	6期	0.6	0.45	0.14	須恵器杯蓋・杯身・水瓶・高盤(皿) 土師器甕、製塩土器	
SB 1443	10次	M	B12他	11, 148	総柱建物	古代	5.7	5.55	—	須恵器数点、土師器数点	礎で替え?
SH 1444	10次	M	B14他	11, 83, 224	竪穴建物	弥生中期	4.2	4.1	0.1	弥生土器壺・甕	
SK 1445	10次	M	C12他	11, 183, 248	土坑	5期古相	4.7	3.0	0.38	須恵器無台杯・蓋、土師器甕、砥石(礫石)	大型土坑
SH 1446	10次	M	C14他	11, 103	竪穴建物	古代	4.1	3.1	0.04	土師器甕	SH1446・SK1453重複
SK 1447	10次	M	C15他	11, 183	土坑	古代?	4.0	2.5	0.2	須恵器杯蓋、土師器甕	大型土坑
SK 1448	10次	M	C16他	11, 184, 248	土坑	5期	4.2	2.6	0.26	須恵器甕・蓋・杯蓋・無台杯、土師器甕	大型土坑
SK 1449	10次	M	D15・16	11, 184, 248	土坑	5期	2.5	2.4	0.3	須恵器杯蓋、土師器甕	大型土坑
SH 1450	10次	M	D12他	11, 102, 229	竪穴建物	5期古相	5.2	5.1	0.09	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕	SH1450→SH1714・SK1451
SK 1451	10次	M	E12他	11, 184, 248	土坑	5期	2.8	2.3	0.26	須恵器杯蓋・無台杯・杯、土師器杯	大型土坑 SH1450→SK1451

第24表 遺構一覧表(7)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SF 1452	10次	M	C13	11, 41	煙道付炉穴	縄文早期	0.8≦	0.55≦	0.05	遺物なし	被熱痕跡のみ
SK 1453	10次	M	C13・14	11, 184	土坑	古代?	2.1	1.7	0.28	土師器片	大型土坑 SH1446・SK1453重複
SF 1454	10次	M	D14	11, 66, 208	集石炉	縄文早期	0.9	0.75	0.35	石皿	集石炉B類 8739-8558 cal BC
SF 1455	10次	F	X13	11, 39	煙道付炉穴	縄文早期	1.5≦	0.65	0.4	遺物なし	
SF 1456	10次	M	A17・18	11, 41	煙道付炉穴	縄文早期	1.31≦	0.7	0.15	遺物なし	
SF 1457	10次	F	W17	11, 37, 38, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.45≦	0.55	0.28	縄文土器片、石核	
SF 1458	10次	F	W17	11, 37, 38, 204	煙道付炉穴	縄文早期	0.4≦	0.4	0.18	縄文土器数点、磨石	
SF 1459	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1461	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1462	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1463	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1464	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1465	10次	F	S16	11, 41	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.5	0.17	遺物なし	
SF 1466	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1467	10次	F	S18	11, 41	煙道付炉穴	縄文早期	0.55	0.25	0.14	遺物なし	
SF 1468	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SF 1469	10次	F	T18	11, 41	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.25≦	0.15	遺物なし	
SF 1470	10次	F	T19	11, 42	煙道付炉穴	縄文早期	1.6≦	0.5	0.25	遺物なし	
SF 1471	10次	F	Q18	11, 42, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.75	0.7	0.19	縄文土器片	
SF 1472	10次	F	S20	11, 42	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.4	0.08	縄文土器片	
SF 1473	10次	F	Q20	11, 43	煙道付炉穴	縄文早期	1.6	0.55	0.21	遺物なし	
SF 1474	10次	F	S20	11, 43, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.5	0.18	縄文土器数点	
SF 1475	10次	F	S21	11, 42	煙道付炉穴	縄文早期	0.75≦	0.3≦	0.18	遺物なし	
SF 1476	10次	F	R23	12, 44	煙道付炉穴	縄文早期	1.25≦	0.6≦	0.19	縄文土器片	
SF 1477	10次	F	S23	12, 45	煙道付炉穴	縄文早期	0.4≦	0.35≦	0.29	遺物なし	
SF 1478	10次	F	R23	12, 46	煙道付炉穴	縄文早期	1.3≦	0.55	0.32	遺物なし	
SF 1479	10次	F	S22	11, 66, 207	集石炉	縄文早期	1.1	0.7	0.38	縄文土器数点、UF・剥片	集石炉A類
SF 1480	10次	F	S23	12, 45, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.5≦	0.8	0.35	縄文土器数点、磨石・石皿	
SF 1481	10次	F	S23	12, 45, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.45≦	0.6	0.17	縄文土器数点、礫器	
SF 1482	10次	F	R23	12, 44	煙道付炉穴	縄文早期	1.85	0.6	0.29	縄文土器片	
SF 1483	10次	F	R23	12, 44	煙道付炉穴	縄文早期	0.75≦	0.55	0.18	遺物なし	
SF 1484	10次	F	Q24	12, 46, 204	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.7	0.34	縄文土器数点	
SF 1485	10次	F	P24	12, 47	煙道付炉穴	縄文早期	1.35	0.5	0.13	遺物なし	
SF 1486	10次	F	Q25	12, 47	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.5	0.23	縄文土器片	
SF 1487	10次	F	P25	12, 47	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.55	0.18	縄文土器片	
SF 1488	10次	F	R25	12, 48, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.55	0.23	磨石	
SF 1489	10次	F	R25他	12, 48, 205	煙道付炉穴	縄文早期	2.1≦	0.7	0.35	縄文土器数点、石皿・磨石	8748-8601 cal BC
SF 1490	10次	F	R25	12, 66, 208	集石炉	縄文早期	1.2≦	0.8≦	0.37	縄文土器数点、礫器	集石炉A類 8473-8295 cal BC
SF 1491	10次	G	Q1	12, 48	煙道付炉穴	縄文早期	1.15≦	0.6	0.23	遺物なし	
SF 1492	10次	G	R2	12, 68, 208	集石炉	縄文早期	1.0≦	0.6≦	0.29	礫器	集石炉A類
SF 1493	10次	G	Q2	12, 71, 209	土坑炉	縄文早期	0.9≦	0.5≦	0.32	縄文土器片	
SF 1494	10次	G	Q2・3	12, 49	煙道付炉穴	縄文早期	0.5≦	0.35≦	0.11	遺物なし	
SF 1495	10次	G	P2	12, 47	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.55	0.08	遺物なし	
SH 1496	10次	G	N7他	12, 103, 229	竪穴建物	5期古相	3.7	3.6	0.14	須恵器杯蓋、土師器甕、製塩土器	
SF 1497	10次	G	R1	12, 49	煙道付炉穴	縄文早期	0.55	0.4	0.08	遺物なし	
SF 1498	10次	G	R1	12, 71	土坑炉	縄文早期	0.8	0.5≦	0.25	遺物なし	8465-8292 cal BC
SF 1499	10次	F	W17	11, 37, 38	煙道付炉穴	縄文早期	1.5≦	0.55	0.35	縄文土器片	8619-8415 cal BC

第24表 遺構一覧表(8)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SF 1500	10次	G	P2	12, 49	煙道付炉穴	縄文早期	1.9	0.6≦	0.23	遺物なし	
SF 1501	11次	F	W6	11, 50, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.05	0.55	0.15	縄文土器数点、石皿	SF1717上層 SF1719より新
SH 1502	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	SH1714へ統一 欠番
SK 1503	11次	L	M8・9	10, 184, 248	土坑	2・3期	4.3	3.0	0.1	須恵器杯身・短頸壺、土師器片	大型土坑
SB 1504	11次	L	M6他	10, 149	総柱建物	古代	3.8	3.2	—	遺物なし	
SK 1505	11次	L	K9他	10, 184	土坑	時期不明	1.7	0.75	0.4	遺物なし	
SF 1506	11次	L	D15他	10, 67	集石炉	縄文早期	0.9	0.7	0.35	遺物なし	集石炉B類 8556-8324 cal BC
SF 1507	11次	L	D14他	10, 50	煙道付炉穴	縄文早期	1.4	0.65	0.2	遺物なし	
SF 1508	11次	L	A12	10, 50, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.4	0.2	縄文土器片	8748-8606 cal BC
SK 1509	11次	L	E15他	10, 185	土坑	古代?	4.2	3.85	0.35	土師器片	大型土坑
SK 1510	11次	L	E14他	10, 185, 248	土坑	古代	5.4	4.45	0.3	須恵器杯蓋、土師器甕	大型土坑
SF 1511	11次	L	E12他	10, 51	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.55	0.05	遺物なし	
SF 1512	11次	L	F14	10, 51	煙道付炉穴	縄文早期	1.25	0.45	0.1	遺物なし	
SF 1513	11次	L	F13	10, 51, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.0	0.5	0.1	縄文土器数点	8827-8698 cal BC
SF 1514	11次	L	K14	10, 67	集石炉	縄文早期	0.55	0.55	0.25	遺物なし	集石炉B類
SH 1515	11次	L	G14他	10, 104, 229	竪穴建物	2・3期	4.8	4.8	0.03	須恵器杯蓋・杯身、土師器数点	
SH 1516	11次	L	I15他	10, 104, 229	竪穴建物	古代	4.7≦	5.1	0.1	土師器甕	
SX 1517	11次	L	J12	10, 80, 222	埋設土器	縄文晩期	0.4	0.3	0.05	縄文土器深鉢	
SF 1518	11次	L	H12	10, 51	煙道付炉穴	縄文早期	1.1	0.6	0.15	遺物なし	
SF 1519	11次	M	G1・2	11, 52	煙道付炉穴	縄文早期	0.8	0.4	0.1	遺物なし	
SK 1520	11次	L	K13他	10, 185, 248	土坑	4期	4.0	3.7	0.2	須恵器杯身・甕、土師器甕	大型土坑
SF 1521	11次	L	H15	10, 52	煙道付炉穴	縄文早期	1.1	0.5	0.2	遺物なし	
SB 1522	11次	L	I13他	10, 149	側柱建物	古代	2.4	2.25	—	遺物なし	
SB 1523	11次	L	J10他	10, 150	側柱建物	古代	2.4	2.25	—	須恵器片、土師器数点	
SK 1524	11次	L	L13他	10, 186, 248	土坑	2・3期	2.7≦	2.6	0.2	須恵器高杯、土師器把手	大型土坑
SF 1525	11次	L	L14	10, 52	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.35	0.2	遺物なし	
SK 1526	11次	L	K12	10, 185, 248	土坑	古代	5.3	4.95	0.35	須恵器片、土師器甕	大型土坑
SF 1527	11次	L	E13	10, 52	煙道付炉穴	縄文早期	0.8	0.5	0.15	遺物なし	
SF 1528	11次	L	F12	10, 52	煙道付炉穴	縄文早期	0.6	0.5	0.05	遺物なし	被熱痕のみ
SF 1529	11次	L	F12他	10, 52	煙道付炉穴	縄文早期	0.75	0.6	0.01	遺物なし	被熱痕のみ
SF 1530	11次	L	G14	10, 53	煙道付炉穴	縄文早期	0.65	0.4	0.04	遺物なし	
SK 1531	11次	L	M12他	10, 186, 248	土坑	古代	2.05	1.3	0.1	須恵器片、土師器把手	大型土坑
SF 1532	11次	L	I16他	10, 53	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.5	0.1	遺物なし	
SF 1533	11次	L	H16他	10, 53	煙道付炉穴	縄文早期	1.1≦	0.45	0.25	遺物なし	8715-8553 cal BC
SF 1534	11次	L	J11	10, 53	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.6	0.15	遺物なし	
SF 1535	11次	L	K11・12	10, 54	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.45	0.2	遺物なし	
SF 1536	11次	L	J15	10, 54	煙道付炉穴	縄文早期	1.0	0.6	0.2	遺物なし	
SF 1537	11次	L	K17・18	10, 54	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.45	0.25	遺物なし	8752-8610 cal BC
SK 1538	11次	L	K16他	10, 186, 249	土坑	4期	4.7	3.5	0.4	須恵器高杯・杯身、土師器甕・把手、石皿、弥生土器甕	大型土坑
SB 1539	11次	L	L14他	10, 150, 242	側柱建物	古代	4.6	3.3	—	土師器長胴甕	
SB 1540	11次	L	K15他	10, 150	側柱建物	古代	4.5	3.6	—	土師器数点	
SF 1541	11次	L	I14	10, 54, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.25	0.4	0.25	縄文土器数点	8745-8605 cal BC
SK 1542	11次	L	L13他	10, 186, 249	土坑	古代	4.0≦	2.4	0.4	須恵器甕、弥生土器甕	大型土坑
SK 1543	11次	L	J19他	10, 11, 186, 249	土坑	4期	4.5	4.45	0.3	須恵器杯身・杯蓋・甕・高杯・瓶・フラスコ瓶 土師器甕・把手、砥石	大型土坑
SF 1544	11次	L	G16	10, 68, 208	集石炉	縄文早期	0.6	0.6	0.25	石皿	集石炉B類 8756-8610 cal BC
SK 1545	11次	L	H17他	10, 187, 250	土坑	古代	6.45	4.1≦	0.1	須恵器横瓶、土師器片	大型土坑
SF 1546	11次	L	H18	10, 11, 55, 68, 209	集石炉	縄文早期	0.9	0.7	0.3	石皿	集石炉B類 8750-8607 cal BC
SF 1547	11次	L	H19	10, 11, 55, 205	煙道付炉穴	縄文早期	0.5≦	0.4	0.2	縄文土器数点	13519-13195 cal BC

第24表 遺構一覧表(9)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ 暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)		
SF 1548	11次	L	G17	10, 55	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.45	0.15	縄文土器数点	8779-8619 cal BC
SF 1549	11次	L	E17	10, 55, 205	煙道付炉穴	縄文早期	0.35	0.25	0.1	縄文土器数点	
SF 1550	11次	L	F17	10, 56	煙道付炉穴	縄文早期	1.6	0.45	0.45	遺物なし	
SB 1551	11次	L	E17他	10, 151	側柱建物	古代	3.6	3.6	—	遺物なし	
SF 1552	11次	L	G18	10, 55	煙道付炉穴	縄文早期	0.35	0.3	0.1	遺物なし	
SF 1553	11次	L	G18	10, 55	煙道付炉穴	縄文早期	0.35	0.2	0.1	遺物なし	
SF 1554	11次	L	K13	10, 56	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.4	0.05	遺物なし	
SF 1555	11次	L	K13	10, 56	煙道付炉穴	縄文早期	0.65	0.35≦	0.05	遺物なし	
SF 1556	11次	L	I18・19	10, 11, 56	煙道付炉穴	縄文早期	0.65	0.45	0.1	遺物なし	
SB 1557	11次	L	J19他	10, 152, 242	側柱建物	古代	5.1	3.3	—	須恵器杯蓋、土師器数点	
SB 1558	11次	L	E17他	10, 151	側柱建物	古代	5.4	4.2	—	土師器片、鉄滓	
SF 1559	11次	L	K18	10, 57	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.55	0.25	遺物なし	
SK 1560	11次	L	H17	10, 187	土坑	時期不明	1.35	0.9	0.15	遺物なし	
SF 1561	11次	L	F15	10, 55	煙道付炉穴	縄文早期	0.5	0.3	0.03	遺物なし	被熱痕跡のみ
SH 1562	11次	L	D21他	10, 11, 105, 229	竪穴建物	古代	5.55	5.1	0.1	須恵器高杯・甕、土師器甕・甕、甍石・砥石	
SK 1563	11次	L	D20他	10, 11, 187, 250	土坑	古代	4.6	4.4	0.3	須恵器甕、土師器片	大型土坑
SF 1564	11次	L	J21	10, 11, 57, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.45	0.35	0.25	磨石	8779-8619 cal BC
SK 1565	11次	L	D23他	11, 78, 219	土坑	縄文中期～後期	1.35	0.95	0.15	縄文土器数点	
SK 1566	11次	L	D20他	10, 11, 187	土坑	時期不明	1.4	1.0	0.45	遺物なし	
SK 1567	11次	L	E21	10, 11, 188	土坑	古代?	2.4	1.6	0.35	土師器甕	大型土坑
SK 1568	11次	L	E20他	10, 11, 188	土坑	古代?	2.5	2.15	0.4	土師器片	大型土坑
SK 1569	11次	L	F20他	10, 11, 188, 250	土坑	4期	4.7	4.3	0.4	須恵器杯・高杯、土師器甕	大型土坑
SF 1570	11次	L	I23	11, 69, 209	集石炉	縄文早期	0.65	0.55	0.15	石皿	集石炉B類 8714-8547 cal BC
SB 1571	11次	L	G20他	10, 11, 152, 242	側柱建物	古代	5.4	4.2	—	土師器甕	
SK 1572	11次	L	E21	10, 11, 182	土坑	古代?	1.8	1.3	0.35	須恵器片	
SK 1573	11次	L	D21他	11, 105, 229	貯蔵穴	古代?	0.75	0.55	0.15	土師器甕、砥石	S H1562の貯蔵穴 北半・L-D21p2
SB 1574	11次	L	E20他	10, 11, 153, 242	側柱建物	古代	6.6	4.5	—	須恵器片、土師器甕	
SB 1575	11次	L	G22他	10, 11, 153, 242	側柱建物	古代	5.4	3.3	—	須恵器杯身、土師器甕	
SB 1576	11次	L	J20他	10, 154	側柱建物	古代	6.0	5.1	—	遺物なし	東環SB308と同じ
SB 1577	11次	L	H25他	11, 154, 242	側柱建物	古代	6.6	5.1	—	須恵器甕、土師器片	
SB 1578	11次	L	E25他	11, 155	総柱建物	古代	3.9	3.6	—	遺物なし	
SF 1579	11次	F	W3	11, 57	煙道付炉穴	縄文早期	0.95≦	0.5	0.35	遺物なし	
SF 1580	11次	F	X3	11, 57	煙道付炉穴	縄文早期	0.3	0.3	0.03	遺物なし	被熱痕跡のみ
SF 1581	11次	F	X4	11, 58, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.65	0.5	縄文土器片	
SF 1582	11次	F	X4	11, 58	煙道付炉穴	縄文早期	0.95	0.55	0.3	遺物なし	
SF 1583	11次	F	W1	11, 58, 206	煙道付炉穴	縄文早期	0.6	0.4	0.02	石皿	
SF 1584	11次	M	A5	11, 69	集石炉	縄文早期	0.8	0.75	0.32	遺物なし	集石炉B類 8479-8300 cal BC
SF 1585	11次	M	B4	11, 70	集石炉	縄文早期	0.75	0.55	0.2	遺物なし	集石炉B類 8760-8605 cal BC
SF 1586	11次	F	A3	11, 58	煙道付炉穴	縄文早期	0.7	0.5	0.1	遺物なし	
SF 1587	11次	M	B5	11, 58	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.5	0.05	遺物なし	
SK 1588	11次	F	W3・4	11, 200	土坑	時期不明	1.1	0.9	0.15	遺物なし	
SK 1589	11次	L	A24	11, 188	土坑	時期不明	1.05	0.9	0.25	遺物なし	
SX 1590	11次	M	D7	11, 80, 222	埋設土器	縄文晩期	0.55	0.4	0.1	縄文土器深鉢	
SK 1591	11次	M	I2	11, 188	土坑	古代?	2.0	1.8	0.3	須恵器片、土師器片	大型土坑
SF 1592	11次	F	W6	11, 59	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.6	0.3	遺物なし	
SF 1593	11次	F	W6	11, 50	煙道付炉穴	縄文早期	0.8≦	0.45	0.2	遺物なし	SF1719より古
SF 1594	11次	F	X6	11, 59, 205	煙道付炉穴	縄文早期	1.85	0.4	0.4	縄文土器片	煙道残存 8635-8535 cal BC
SF 1595	11次	M	A5・6	11, 59	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.5	0.1	遺物なし	

第24表 遺構一覧表(10)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2ページ年代表と表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SF 1596	11次	F	W9	11, 60	煙道付炉穴	縄文早期	0.9	0.5	0.2	遺物なし	
SF 1597	11次	F	V10他	11, 60	煙道付炉穴	縄文早期	1.05	0.8	0.2	遺物なし	
SH 1598	11次	M	D5他	11, 105, 229	竪穴建物	古代	(6.9)	(6.0)	0	土師器甕	
SK 1599	11次	M	B5他	11	カマド?	時期不明	0.45	0.3	—	遺物なし	
SK 1601	12次	K	P20他	9, 10, 190, 250, 251	土坑	3期	6.4	3.65	0.25	須恵器杯身・杯蓋・高杯・甕・壺 土師器甕・瓶・台付碗・把手・輪羽口、不明鉄製品	大型土坑
SK 1602	12次	K	M23他	10	土坑	古墳後期 ～古代?	4.1	3.35	0.1	土師器片	大型土坑
SK 1603	12次	K	Q22他	10	土坑	時期不明	0.95	0.85	0.3	遺物なし	
SB 1604	12次	K	O18他	9, 158	側柱建物	古代	8.25	5.55	—	土師器数点	SB1619と重複、 新旧関係不明
SH 1606	12次	K	S17他	9, 106, 229	竪穴建物	3期?	4.1	4.0	0.1	須恵器杯蓋、土師器甕	SH1606→SB1612・SB1636
SH 1607	12次	K	P15他	9, 107, 229	竪穴建物	2・3期	3.6	3.6	0.15	須恵器杯身・杯蓋・平瓶・高杯、土師器甕	SH1607→SK1609
SK 1608	12次	K	S14他	9, 189	土坑	古墳後期 ～古代?	0.8	0.8	0.1	土師器片	
SK 1609	12次	K	P15・16	9, 190, 251	土坑	古墳後期 ～古代?	2.5	2.35	0.25	須恵器杯	SH1607→SK1609 大型土坑
SK 1610	12次	K	N16他	9, 190, 251	土坑	1期	8.45	5.4	0.2	須恵器杯身、土師器把手	SK1610→SB1632 大型土坑
SB 1611	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番 第9次 SB1314に統合
SB 1612	12次	K	S16他	9, 158	側柱建物	古代	10.8	4.2	—	土師器数点	東環SB753と同じ SH1606・SB1314→SB1612
SB 1613	12次	K	P13	9, 159, 242	側柱建物	古代	7.05	5.55	—	須恵器杯身、土師器数点	
SB 1614	12次	K	R12	9, 159, 242	側柱建物	古代	6.6	5.55	—	須恵器数点、土師器把手	
SK 1615	12次	K	L13	9, 190, 251	土坑	2期	1.35	0.95	0.15	須恵器杯蓋・壺、土師器甕	
SK 1616	12次	K	J11他	9, 190	土坑	時期不明	0.9	0.8	0.1	遺物なし	
SH 1617	12次	K	L10他	8, 9, 107, 229	竪穴建物	2・3期	4.5	4.5	0.1	須恵器椀瓶・高杯・横瓶・壺・杯身・杯蓋、土師器甕	中央床面硬化
SB 1618	12次	K	L12	9, 160	側柱建物	古代	5.25	3.3	—	須恵器片	
SB 1619	12次	K	P17他	9, 160	総柱建物	古代	3.75	3.3	—	遺物なし	SB1604と重複、 新旧関係不明
SB 1620	12次	K	S9他	8, 9, 161	総柱建物	古代	3.45	3.45	—	遺物なし	SB1621と重複、 新旧関係不明
SB 1621	12次	K	S9他	8, 9, 161	側柱建物	古代	6.0	3.6	—	遺物なし	SB1620と重複、 新旧関係不明
SK 1622	12次	K	T5・6	8, 9, 191	土坑	古墳後期 ～古代?	1.0	0.75	0.2	須恵器杯片、土師器片	
SK 1623	12次	K	R8	8, 9, 76	袋状土坑	縄文中期～後期	0.95	0.9	0.3	遺物なし	
SH 1624	12次	K	P11他	9, 108, 230	竪穴建物	2期	3.9	3.6	0.25	須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺瓶類、土師器甕・把手	中央床面硬化
1625	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SB 1626	12次	K	S5他	8, 9, 162	側柱建物	古代	6.6	4.95	—	遺物なし	
SB 1627	12次	K	P11他	9, 162	側柱建物	古代	5.7	3.9	—	土師器数点	
SH 1628	12次	K	P7他	8, 9, 108, 230	竪穴建物	古代	6.3	6.0	0.2	須恵器甕・杯、土師器片、弥生土器甕	
SF 1629	12次	K	Q12	9, 70	集石炉	縄文早期	1.2	1.05	0.3	遺物なし	集石炉A類 S475-S294ca1BC, S487-S300ca1BC
SK 1630	12次	Q	A18	8, 191, 251	土坑	古墳後期 ～古代?	1.0	0.95	0.45	土師器片・砥石	
SH 1631	12次	K	P9他	8, 9, 109, 230	竪穴建物	2期	5.7	5.4	0.2	須恵器高杯・杯身・杯蓋・甕、土師器甕・把手・瓶	
SB 1632	12次	K	N15他	9, 163	総柱建物	古代	4.65	4.05	—	遺物なし	
SK 1633	12次	K	O9・10	8, 9, 191, 251	土坑	3期	2.1	1.45	0.15	須恵器杯身、土師器甕	大型土坑
SK 1634	12次	K	N7他	8, 9, 191	土坑	古墳後期 ～古代?	3.9	3.3	0.25	須恵器片、土師器片	大型土坑
SH 1635	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SB 1636	12次	K	R16他	9, 163	総柱建物	古代	4.2	3.0	—	須恵器片、土師器片	
SB 1637	12次	K	O9・10	8, 9, 164	側柱建物	古代	6.0	3.9	—	土師器片	
SB 1638	12次	K	S2他	8, 9, 164	総柱建物	古代	3.0	2.7	—	遺物なし	
SH 1639	12次	K	T3他	8, 9, 83, 224	竪穴建物	弥生後期	6.0	4.7	0.15	弥生土器壺・高杯	
SK 1640	12次	K	S4	8, 9	土坑	縄文	0.95	0.75	0.25	遺物なし	
SH 1641	12次	K	K3・4	8, 9, 84, 224	竪穴建物	弥生後期	4.6	2.4	0.1	弥生土器高杯	
SB 1642	12次	J	L20他	8, 165	側柱建物	古墳後期 ～古代?	6.6	4.8	—	土師器片	
SB 1643	12次	J	Q24他	8, 89	総柱建物	弥生中期末～後期	9.9	5.55	0.3	遺物なし	近接棟持柱建物
SH 1644	12次	J	P22他	8, 85, 224	竪穴建物	弥生後期	7.0	7.0	0.3	弥生土器壺・甕・高杯、砥石	馬蹄状の貯蔵穴
SH 1645	12次	J	P19他	8, 84, 225	竪穴建物	弥生後期	5.55	4.75	0.2	弥生土器壺・甕・高杯、石織	床面硬化

第24表 遺構一覧表 (11)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ 暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SH 1646	12次	J	T21他	8, 86, 224	竪穴建物	弥生後期	9.1	8.0	0.25	弥生土器壺・小壺・甕・高杯・磨製石斧	建て替え
SH 1647	12次	J	017他	8, 87, 225	竪穴建物	弥生後期	(4.7)	4.3	0.1	砥石	
SH 1648	12次	J	S15他	8, 110, 111, 231	竪穴建物	1期	7.8	7.8	0.15	須恵器杯身・土師器甕・甗、弥生土器高杯・甕・壺	SH1648→SH1649→SH1662
SH 1649	12次	J	T16他	8, 110, 111, 231	竪穴建物	1期	6.6	6.0	0.2	須恵器杯蓋・杯身・甕・壺、土師器把手	SH1648→SH1649→SH1662
SH 1650	12次	J	R15他	7, 8, 112, 231	竪穴建物	1期	4.8	4.2	0.3	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕・高杯、砥石・石匙	
SH 1651	12次	J	015他	8, 112, 231	竪穴建物	1期?	6.0	4.9	0.3	須恵器杯蓋・杯身・壺、土師器把手・高杯、弥生土器甕	中央床面硬化・礎土 弥生後期の竪穴の可能性あり
SH 1652	12次	J	011他	7, 113, 231	竪穴建物	1期?	4.2	3.9	0.1	須恵器杯身・土師器甕・高杯・把手	
SK 1653	12次	J	013・14	7, 90, 226	土坑	弥生中期	4.5	3.1	0.1	弥生土器厚口鉢(Ⅱ類)・壺・甕	
SK 1654	12次	J	Q20	8, 91, 226	土坑	弥生中期	1.3	0.65	0.15	弥生土器壺	
SK 1655	12次	J	T18他	8	土坑	時期不明	1.25	0.5	0.05	遺物なし	
SK 1656	12次	J	R18・19	8, 219	集石遺構	縄文中期～後期	1.0	0.9	0.3	縄文土器片、剥片	
SK 1657	12次	J	N16	8, 78, 220	土坑	縄文中期～後期	1.05	0.9	0.25	縄文土器多数、磨石	2464-2333 cal BC
SK 1658	12次	J	P13他	7, 191, 252	土坑	古墳後期 ～古代?	4.55	2.5	0.1	須恵器杯身・鉢、土師器把手・甕	大型土坑
SH 1659	12次 13次	J	S9他	7, 114, 231	竪穴建物	1期	5.1	4.8	0.15	須恵器杯蓋・杯身・甕、土師器甕	
SH 1660	12次	J	T11他	7, 115, 232	竪穴建物	1期?	5.7	5.1	0.25	須恵器杯身・杯蓋・高杯蓋、土師器甕、弥生土器壺	SH1660・SH1690→SH1689 →SB1697→SB1691
SH 1661	12次	J	V18他	8, 87, 225	竪穴建物	弥生後期	5.0	4.5	0.15	弥生土器壺・甕	焼失家屋
SH 1662	12次	J	U15他	8, 110, 232	竪穴建物	1期	7.2	6.3	0.2	須恵器甕・杯蓋・杯身、土師器甕・高杯	SH1648→SH1649→SH1662 SH1673→SH1662 貯蔵穴2は建物とは別遺構?
SH 1663	12次	J	X18	8, 113, 232	竪穴建物	1期	4.8	3.5≦	0.1	須恵器杯身、土師器甕・移動式甕	
SH 1664	12次	J	X16他	8, 116, 232	竪穴建物	1期	5.1	4.8	0.15	須恵器杯蓋・杯身・甕・壺、土師器甕、縄文土器深鉢	
SB 1665	12次	J	Q11他	7, 165	側柱建物	古墳後期 ～古代	4.8	3.6	—	須恵器片、土師器数点	
SB 1666	12次	J	R10他	7, 166	側柱建物	古墳後期 ～古代	4.8	3.6	—	土師器片	
SB 1667	12次	J	R12他	7, 166	側柱建物	古墳後期 ～古代	6.0	4.65	—	須恵器片、土師器片	
SK 1668	12次	J	P9・10	7, 192, 252	土坑	3期	6.2≦	2.1	0.2	須恵器杯蓋・提瓶・高杯、土師器把手・甕	大型土坑
SK 1669	12次	J	Q13他	7, 192, 252	土坑	古墳後期 ～古代?	6.2	3.45	0.1	須恵器杯身、土師器甕	大型土坑
SK 1670	12次	J	V15他	8, 79, 219	集石遺構	縄文中期～後期	1.15	1.0	0.25	磨石・敲石	
SK 1671	12次	J	014他	7, 77	袋状土坑	縄文中期～後期	1.6	1.4	0.45	遺物なし	
SH 1672	12次	J	V13他	7, 116, 232	竪穴建物	古墳後期?	4.8	4.2	0.15	土師器甕・把手	
SK 1673	12次 13次	J	V9他	7, 191, 232, 252	土坑	1期	3.65≦	3.25	0.05	須恵器杯身・杯蓋・壺、土師器把手	大型土坑
SH 1674	12次	J	X9他	7, 117, 232, 233, 255	竪穴建物	1期	8.1	8.1	0.05	須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺、土師器高杯・甗・甕 土錘、石製紡錘車・石鏃、縄文土器	SH1674→SX1828
SH 1675	12次	Q	B10他	7, 118, 119, 233	竪穴建物	1期	6.0	6.0	0.2	須恵器杯身・鉢・甕・高杯 土師器甕、台付碗、砥石	SH1694→SH1676→SH1675
SH 1676	12次	Q	C11他	7, 118, 119, 233	竪穴建物	1期	4.8	4.8	0.3	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕	SH1694→SH1676→SH1675
SH 1677	12次	J	T21他	8, 86	竪穴建物	弥生後期	6.8	6.7	0.1	遺物なし	建て替え
SH 1678	12次	J	U16他	8, 110	竪穴建物	古墳後期?	6.6	1.7≦	0.1	須恵器甕、土師器片	SH1678→SH1662
SH 1679	12次	J	X14他	7, 8, 75, 218	竪穴建物	縄文中期～後期	3.45	3.2	0.3	縄文土器多数	SK1693(屋内伊)
SH 1680	12次 13次	Q	A10他	7, 120, 233	竪穴建物	古墳後期?	5.2	5.2	0.15	須恵器片、土師器片	SH1680→SH1688
SH 1681	12次	J	X12他	7, 121, 233	竪穴建物	古墳後期?	4.8	3.9≦	0.2	須恵器甕、土師器甕	SH1682→SH1681
SH 1682	12次	J	X13他	7, 121, 234	竪穴建物	1期	4.8	4.8	0.2	須恵器杯身、土師器甕・鍋	SH1682→SH1681
SH 1683	12次	Q	B13他	7, 88, 225	竪穴建物	弥生中期	4.45	4.4	0.1	弥生土器壺	建て替え?
SH 1684	12次	Q	B12他	7, 119, 234, 235	竪穴建物	1期	4.2	3.9	0.2	須恵器甕・杯蓋・杯身・鉢、土師器甕・把手、不明土製品	
SH 1685	12次	Q	F10他	7, 122, 235	竪穴建物	1期	6.3	2.2≦	0.05	須恵器杯身・杯・甕、土師器甕	
SK 1686	12次	J	Y10	7, 79	集石遺構	縄文中期～後期	0.7	0.65	0.2	縄文土器片	
SK 1687	12次	Q	A10	7, 192, 252	土坑	古墳後期 ～古代?	1.45	0.75	0.1	土師器甕	
SH 1688	12次 13次	Q	B9他	7, 120, 233, 235	竪穴建物	1期	3.9	3.9	0.1	須恵器杯蓋・杯身・甕、土師器甕・把手、土錘 弥生土器甕、砥石	SH1680→SH1688
SH 1689	12次	J	T12他	7, 115, 236	竪穴建物	古墳後期?	5.4≦	3.6≦	0.1	須恵器杯蓋、土師器甕	SH1660・SH1690→SH1689 →SB1697→SB1691
SH 1690	12次	J	V12	7, 115, 236	竪穴建物	古墳後期?	5.4	5.1	0.1	須恵器杯蓋、土師器甕、砥石	SH1660・SH1690→SH1689 →SB1697→SB1691
SB 1691	12次	J	U10他	7, 167, 242	側柱建物	古墳後期～古代	6.75	4.2	—	須恵器片、土師器甕・甗、磨製石斧	SH1660・SH1690→SH1689 →SB1697→SB1691
SK 1692	12次	J	Y13	7, 78, 219	土坑	縄文中期～後期	0.9	0.7	0.15	縄文土器多数、石鏃	
SK 1693	12次	J	X14他	7, 75, 218	屋内伊	縄文中期～後期	0.65	0.55	0.28	縄文土器多数	SH1679の屋内伊

第24表 遺構一覧表 (12)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ暦年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)		
SH 1694	12次	Q	D11他	7,122,236	竪穴建物	1期	4.8	(4.8)	0.2	須恵器杯蓋・杯身・甕、土師器甕	SH1694→SH1676→SH1675
SK 1695	12次 13次	Q	A9	7,78,219	土坑	縄文中期～後期	1.2	0.75	0.15	縄文土器数点	
SH 1696	12次	Q	D11他	7,122	竪穴建物	古墳後期 ～古代?	5.4	4.8	0.1	遺物なし	
SB 1697	12次	J	U11他	7,167,242	側柱建物	古墳後期 ～古代	6.45	4.65	—	須恵器杯身、土師器甕	SH1660・SH1690→SH1689 →SB1697→SB1691
SB 1698	12次	J	T9他	7,168	側柱建物	古墳後期 ～古代	5.55	3.45	—	須恵器片、土師器片	
SK 1699	12次	K	J23他	10,193	土坑	時期不明	1.2	1.15	0.25	遺物なし	
SH 1701	11次	M	I1	11,15,201	竪穴建物	縄文早期	(5.0)	(5.0)	0.03	縄文土器片	東環SH370と同じ
SF 1702	11次	F	Y10他	11,60,205	煙道付炉穴	縄文早期	1.5	0.5	0.35	縄文土器数点	
SB 1703	11次	F	X6他	11,155,255	側柱建物	古代	6.75	4.2	—	弥生土器甕	
SB 1704	11次	M	A9他	11,156	側柱建物	古代	6.9	5.1	—	須恵器片、土師器数点	
SF 1705	11次	F	V8他	11,61	煙道付炉穴	縄文早期	1.6	0.45	0.25	遺物なし	
SF 1706	11次	F	W9	11,61,205	煙道付炉穴	縄文早期	1.3≦	0.5	0.25	磨石	
SF 1707	11次	F	W8・9	11,61	煙道付炉穴	縄文早期	0.8≦	0.35	0.25	遺物なし	
SB 1708	11次	F	X10他	11,156,242	側柱建物	古代	6.6	4.35	—	須恵器片、土師器片、土錘	
SK 1709	11次	M	E9他	11,189	土坑	古代?	1.8	1.6	0.2	土師器片	
SB 1710	11次	M	E10他	11,157	側柱建物	古代	4.2	3.9	—	土師器数点	
SK 1711	11次	M	D9他	11,189,252	土坑	古代?	2.2	2.1	0.4	須恵器片、土師器甕、縄文土器片	大型土坑
SK 1712	11次	M	D10	11,189	土坑	古代?	2.7	2.0	0.45	土師器片	大型土坑
SF 1713	11次	M	A6・7	11,62,206	煙道付炉穴	縄文早期	0.95	0.5	0.2	縄文土器数点	8712-8549 cal BC
SH 1714	11次	M	D11他	11,106,236	竪穴建物	5期	4.1	3.7	0.4	須恵器杯蓋・杯・壺・無台杯・甕、土師器甕	SH1502を統合 SH1450→SH1714
SK 1715	11次	M	E11	11,189	土坑	時期不明	1.65	1.4	0.2	遺物なし	
SF 1716	11次	L	H18	10,55	煙道付炉穴	縄文早期	1.4≦	0.6	0.35	遺物なし	
SF 1717	11次	F	W6	11,50	煙道付炉穴	縄文早期	0.85	0.35	0.2	遺物なし	SF1501・1719下層
SF 1718	11次	L	L16	10,62	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.65	0.45	遺物なし	8713-8550 cal BC
SF 1719	11次	F	W6	11,50	煙道付炉穴	縄文早期	1.0≦	0.45	0.25	遺物なし	SF1717・1593より新 SF1501より古
SF 1720	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番	
SF 1721	11次	M	A3	11,62	煙道付炉穴	縄文早期	0.4≦	0.3≦	0.24	遺物なし	
SK 1722	11次	M	H3	11,72,209	集石遺構	縄文早期	1.5	1.4	0.25	縄文土器数点、石皿・台石	
SF 1723	11次	L	I16	10,62	煙道付炉穴	縄文早期	0.75	0.55	0.2	遺物なし	
SF 1724	11次	L	I14	10,54,206	煙道付炉穴	縄文早期	1.2	0.45	0.2	縄文土器片	8488-8306 cal BC
SF 1725	11次	L	H21	10,11,63	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.4	0.3	遺物なし	
SF 1726	11次	L	G14	10,63	煙道付炉穴	縄文早期	1.15	0.45	0.1	遺物なし	
SF 1727	11次	L	G14	10,63	煙道付炉穴	縄文早期	0.8≦	0.35	0.15	遺物なし	
SF 1728	11次	F	W9	11,61,206	煙道付炉穴	縄文早期	1.3	0.4	0.25	縄文土器片、石皿	
SB 1729	11次	L	I19他	10,11,157, 242	側柱建物	古代	6.6	4.95	—	須恵器杯身、土師器片	
SB 1730	11次	L	I20他	10,11,157	側柱建物	古代	6.45	3.3	—	土師器片	
SB 1801	13次	J	O8他	7,168	側柱建物	古墳後期 ～古代	6.6	5.4	—	遺物なし	SA1842が1.65m南に存在
SK 1802	13次	J	P6他	7,193	土坑	古墳後期 ～古代?	1.8	1.5	0.1	土師器甕	
SK 1803	13次	J	P5・6	7,193	土坑	古墳後期 ～古代?	1.0	0.9	0.1	土師器片	
SK 1804	13次	J	P5	7,193	土坑	古墳後期 ～古代?	0.7	0.5	0.1	土師器高杯、縄文土器片	
SH 1805	13次	J	Q5他	7,123,236	竪穴建物	1期	2.8≦	2.1≦	0.1	須恵器杯身・杯蓋、土師器甕・壺?	
SK 1806	13次	J	R6他	7,193,252	土坑	古墳後期 ～古代?	1.5	1.4	0.1	土師器甕・把手	
SK 1807	13次	J	S5	7,193,219	土坑	古墳後期 ～古代?	2.9	2.6	0.1	土師器甕	大型土坑
SH 1808	13次	J	S4他	7,124,236	竪穴建物	1・2期	5.1	5.1	0.25	須恵器杯蓋、土師器甕・把手	SK1810→SH1808
SK 1809	13次	J	P7	7,77,219	土坑	縄文中期～後期	0.95	0.7	0.8	縄文土器片	
SK 1810	13次	J	S5他	7,193	土坑	古墳後期 ～古代?	1.7	0.6≦	0.15	土師器甕	SK1810→SH1808
SK 1811	13次	I	T23他	7,194,253	土坑	1期	4.9	3.8	0.15	須恵器甕・杯身・杯蓋・高杯蓋、土師器甕・把手・壺・甕 土錘	大型土坑
SB 1812	13次	I	R21他	7,169	総柱建物	古墳後期 ～古代	4.65	4.5	—	遺物なし	

第24表 遺構一覧表 (13)

遺構番号	次数	主なグリッド		掲載図版	性格	時代※	規模			主な遺物	備考 (年代測定実施遺構は2σ 95%年代範囲を表記)
		大地区	小地区				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SH 1813	13次	J	V5他	7, 125, 237-238	竪穴建物	1期	6.0	5.7	0.15	須恵器甕・杯身・杯蓋・甕、土師器甕・鍋・甗・把手・鉢、縄文土器・砥石	
SH 1814	13次	J	V7他	7, 126, 236, 238	竪穴建物	1・2期	5.1	5.1	0.2	須恵器杯身・甕・横瓶、土師器甕・把手・碗・甗、砥石	
SK 1815	13次	J	V8他	7, 195, 253	土坑	1期	4.9	3.3	0.15	須恵器杯蓋・杯身、土師器甕	大型土坑
SK 1816	13次	J	W8・9	7, 195, 253	土坑	古墳後期～古代?	3.45	2.4	0.15	須恵器甕・杯身、土師器甕	大型土坑
SB 1817	13次	J	X6他	7, 169	側柱建物	古墳後期～古代	4.95	3.6	—	土師器片	
SH 1818	13次	J	W4他	7, 126, 239	竪穴建物	1期	7.2	6.0	0.2	須恵器杯身・杯蓋・甕・横瓶、土師器甕・高杯・碗、砥石、弥生土器壺	
SK 1819	13次	J	U2・3	7, 195, 263	土坑	古墳後期～古代?	3.25	2.7	0.25	須恵器甕・杯身、土師器甕、剥片・切目石錘	大型土坑
SH 1820	13次	J	U3	7, 127, 240, 241	竪穴建物	1期	4.5	4.5	0.2	須恵器杯身・杯蓋・甕・高杯、土師器甕・甗、台石・砥石	検出時 SH1820→SK1819・SK1823
SH 1821	13次	I	U25他	7, 123	竪穴建物	古墳後期?	4.5	3.9	0.1	土師器甕、須恵器壺(SH1674出土品に接合)	
SB 1822	13次	J	X1他	7, 170, 242	側柱建物	古墳後期～古代	7.05	5.25	—	土師器片、土錘	
SK 1823	13次	J	U2他	7, 195, 219	土坑	古墳後期～古代?	2.0	1.95	0.1	須恵器杯身・杯蓋・甕、土師器甕	大型土坑
SB 1824	13次	J	X1他	7, 170	総柱建物	古墳後期～古代	3.0	3.0	—	遺物なし	
SB 1825	13次	I・J	V24他	7, 171, 242	側柱建物	古墳後期～古代	5.55	3.6	—	須恵器杯蓋、土師器敷点	
SB 1826	13次	I	X21他	7, 171	総柱建物	古墳後期～古代	3.6	3.3	—	須恵器短頸壺	
SK 1827	13次	J	Y7	7, 77, 219	袋状土坑	縄文中期～後期	0.95	0.9	0.3	縄文土器敷点	
SX 1828	13次	J	X9	7, 196	墓	中世	1.2	0.9	0.15	須恵器杯蓋・甕	SK1830→SH1674→SX1828
SB 1829	13次	Q	D6・7	7, 171	総柱建物	古墳後期～古代	3.8 3.6	2.4	—	土師器敷点	
SK 1830	13次	Q	A9他	7, 195, 253	土坑	1期	2.2≦	1.4	0.15	須恵器杯身・杯蓋・甕、土師器甕・甗・把手、砥石	SK1830→SH1674 大型土坑
SH 1831	13次	Q	A5他	7, 128, 241	竪穴建物	1期	0.95≦	0.85≦	0.05	須恵器杯身・甕、土師器甕・把手	SH1831→SH1832
SH 1832	13次	J	Y3他	7, 128, 241	竪穴建物	1期	8.4	7.95	0.1	須恵器杯身・杯蓋・甕、土師器甕	SH1831→SH1832
SB 1833	13次	Q	B3他	7, 172, 242	側柱建物	古墳後期～古代	7.5	3.6	—	須恵器杯蓋・杯身、土師器甕	
SH 1834	13次	P	A24他	7, 129, 241	竪穴建物	1期	7.5	7.2	0.1	須恵器杯蓋・杯身・高杯・甕、土師器甕・把手	
SB 1835	13次	Q	B7他	7, 171	総柱建物	古墳後期～古代	4.2	3.6	—	土師器片、剥片	
SK 1836	13次	I	Y24	7	土坑	時期不明	0.6	0.25	0.1	弥生土器壺	部分的に攪乱受ける
SK 1837	13次	P	A24他	7, 129, 253	土坑	1期	0.4	0.1	0.1	須恵器杯身	カマド横
SK 1838	13次	J	X6	7, 79, 220	集石遺構	縄文中期～後期	0.8	0.75	0.25	縄文土器多数、凹石	
SK 1839	13次	P	A25	7, 129	貯蔵穴	1期	0.7	0.65	0.1	須恵器杯蓋、土師器甕・把手	SH1834の貯蔵穴
SK 1840	13次	J	Y6	7, 79, 219	集石遺構	縄文中期～後期	0.75	0.4	0.1	縄文土器敷点	SK1849と重複
SK 1841	13次	J	W6	7, 78, 219	土坑	縄文中期～後期	0.5	0.45	0.35	切目石錘	
SA 1842	13次	J	Q7他	7, 168	柱列	古墳後期～古代?	5.25	—	—	遺物なし	SB1801に伴う柱列
SB 1843	13次	J	T8他	7, 168	側柱建物	古墳後期～古代	4.5	3.6	—	土師器片	
SB 1844	13次	P	U20他	6, 7, 172	総柱建物	古墳後期～古代	4.5 4.35	4.5 4.2	—	遺物なし	
SB 1845	13次	J	X1他	7, 170	総柱建物	古墳後期～古代	4.2	3.3	—	遺物なし	
SH 1846	13次	Q	A9他	7, 120	竪穴建物	古墳後期?	2.5≦	2.1≦	0.1	土師器甕	SH1688下層で確認・ 床下土坑の可能性?
SB 1847	13次	J	T1他	7, 173	側柱建物	古墳後期～古代	5.7≦	5.1	—	遺物なし	
SB 1848	13次	I	Q24他	7, 173	総柱建物	古墳後期～古代	6.9	5.85	—	土師器片	東栗第6次SB636と同じ
SK 1849	13次	J	Y6	7, 79	集石遺構	縄文中期～後期	0.65	0.6≦	0.1	遺物なし	SK1840と重複

※1～6期：在地窯系須恵器による中野山遺跡の時期区分(Ⅶ-2参照)

第 25 表 煙道付炉穴一覧表 (1)

	遺構番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	長さ/幅					
1	SF 1003	1.6	0.6	0.33	2.67	N-51°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
2	SF 1004	2.3	0.7	0.25	3.29	N-134°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
3	SF 1005	0.8 ≦	0.5	0.18	1.6 ≦	N-26°-E	北東	楕円形	不明	北東部
4	SF 1006	1.4	0.5	0.23	2.80	N-123°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
5	SF 1007	1.3	0.8	0.29	1.63	N-173°-E	南東	楕円形	小型	北東部
6	SF 1008	1.4	0.5	0.27	2.80	N-68°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
7	SF 1014	1.3	0.5	0.24	2.60	N-125°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
8	SF 1015	2.1	0.5	0.4	4.20	N-127°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
9	SF 1016	1.2 ≦	0.7	0.37	1.71 ≦	N-125°-W	南西	楕円形	不明	北東部
10	SF 1018	1.4	0.5	0.37	2.80	N-17°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
11	SF 1019	1.8	0.7	0.08	2.57	N-135°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
12	SF 1024	2.0	1.0	0.44	2.00	N-41°-E	北東	二等辺三角形	大型	北東部
13	SF 1029	1.3	0.8	0.41	1.63	N-2°-W	北西	楕円形	小型	北東部
14	SF 1030	1.5	0.6	0.5	2.50	N-126°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
15	SF 1062	1.35	0.5	0.14	2.70	N-82°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
16	SF 1073	0.6 ≦	0.6 ≦	?	1.00 ≦	不明	不明	円形	不明	北東部
17	SF 1074	1.6 ≦	0.6	0.54	2.67 ≦	N-142°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
18	SF 1077	0.9 ≦	0.7	0.34	1.29 ≦	N-137°-W	南西	楕円形	不明	北東部
19	SF 1080	不明	不明	不明	不明	N-88°-E	北東	不明	不明	北東部
20	SF 1105	1.3	0.4	0.23	3.25	N-32°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
21	SF 1106	1.5	0.8	0.19	1.88	N-119°-W	南西	楕円形	大型	北東部
22	SF 1110	1.65	0.8	0.26	2.06	N-89°-W	北西	長楕円形	大型	北東部
23	SF 1112	1.7	0.7	0.36	2.43	N-131°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
24	SF 1113	1.25	0.65	0.1	1.92	N-28°-E	北東	楕円形	小型	北東部
25	SF 1114	1.15	0.65	0.4	1.77	N-114°-W	南西	楕円形	小型	北東部
26	SF 1115	2.25	0.75	0.2	3.00	N-118°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
27	SF 1116	1.2	0.5	0.29	2.40	N-57°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
28	SF 1120	1.55	0.95	0.4	1.63	N-103°-W	南西	楕円形	大型	北東部
29	SF 1121	1.25	0.7	0.11	1.79	N-90°-E	南東	楕円形	小型	北東部
30	SF 1122	1.55	0.8	0.26	1.94	N-27°-E	北東	楕円形	大型	北東部
31	SF 1123	1.65	0.6	0.23	2.75	N-144°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
32	SF 1125	1.3	0.7	0.28	1.86	N-151°-E	南東	楕円形	小型	北東部
33	SF 1126	1.7	0.7	0.2	2.43	N-28°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
34	SF 1129	1.45	0.65	0.3	2.23	N-134°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
35	SF 1131	1.15	0.5	0.2	2.30	N-140°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
36	SF 1133	1.0	0.55	0.21	1.82	N-30°-E	北東	楕円形	小型	北東部
37	SF 1134	0.85	0.5	0.09	1.70	N-138°-E	南東	楕円形	小型	北東部
38	SF 1135	1.55	0.45	0.35	3.44	N-131°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
39	SF 1136	0.6	0.35	0.05	1.71	不明	不明	楕円形	小型	北東部
40	SF 1203	1.7	0.4	0.3	4.25	N-64°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
41	SF 1204	1.35	0.45	0.22	3.00	N-120°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
42	SF 1205	0.85	0.4	0.09	2.13	N-46°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
43	SF 1402	1.7	0.65	0.26	2.62	N-135°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
44	SF 1403	0.65 ≦	0.45	0.19	1.44 ≦	N-147°-W	南西	楕円形	不明	北東部
45	SF 1405	2.0	0.5	0.21	4.00	N-48°-E	北東	二等辺三角形	大型	北東部
46	SF 1406	0.7	0.4	0.15	1.75	N-150°-E	南東	楕円形	小型	北東部
47	SF 1408	0.9	0.5	0.18	1.80	N-36°-W	北西	楕円形	小型	北東部
48	SF 1410	1.6	0.6	0.38	2.67	N-137°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
49	SF 1411	2.1	0.9	0.45	2.33	N-136°-E	南東	二等辺三角形	大型	北東部
50	SF 1412	0.85 ≦	0.45	0.22	1.89 ≦	N-52°-E	北東	楕円形	不明	北東部
51	SF 1415	1.5	0.5	0.31	3.00	N-152°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
52	SF 1416	1.2 ≦	0.55	0.13	2.18 ≦	N-151°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
53	SF 1419	1.8	0.65	0.4	2.77	N-131°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
54	SF 1420	1.35	0.45	0.19	3.00	N-110°-E	南東	長楕円形	小型	北東部
55	SF 1421	1.1 ≦	0.55	0.37	2.00 ≦	N-131°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
56	SF 1422	1.1 ≦	0.65	0.16	1.69 ≦	N-131°-W	南西	楕円形	不明	北東部
57	SF 1423	1.65	0.55	0.34	3.00	N-140°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
58	SF 1424	0.9 ≦	0.6	0.22	1.50 ≦	N-160°-E	南東	楕円形	不明	北東部
59	SF 1425	1.35	0.5	0.29	2.70	N-30°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
60	SF 1430	1.8	0.55	0.17	3.27	N-134°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
61	SF 1431	1.15 ≦	0.6	0.06	1.92 ≦	N-50°-W	北西	楕円形	不明	北東部

第 25 表 煙道付炉穴一覧表 (2)

	遺構番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	長さ/幅					
62	SF 1432	0.85	0.45	0.08	1.89	N-136°-W	南西	楕円形	小型	北東部
63	SF 1434	1.4	0.5	0.27	2.80	N-176°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
64	SF 1441	2.0	0.7	0.31	2.86	N-104°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
65	SF 1452	0.8 ≦	0.55 ≦	0.05	1.45 ≦	N-37°-W	北西	楕円形	不明	北東部
66	SF 1455	1.5 ≦	0.65	0.4	2.31 ≦	N-134°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
67	SF 1456	1.31 ≦	0.7	0.15	1.87 ≦	N-104°-E	南東	楕円形	不明	北東部
68	SF 1457	1.45 ≦	0.55	0.28	2.64 ≦	N-125°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
69	SF 1458	0.4 ≦	0.4	0.18	1.00 ≦	N-26°-W	北西	楕円形	不明	北東部
70	SF 1465	1.4	0.5	0.17	2.80	N-42°-E	北東	二等辺三角形	小型	北東部
71	SF 1467	0.55	0.25	0.14	2.20	N-33°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
72	SF 1469	0.85	0.25 ≦	0.15	3.40 ≦	N-118°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
73	SF 1470	1.6 ≦	0.5	0.25	3.20 ≦	N-128°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
74	SF 1471	1.75	0.7	0.19	2.50	N-125°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
75	SF 1472	0.85	0.4	0.08	2.13	N-44°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
76	SF 1473	1.6	0.55	0.21	2.91	N-82°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
77	SF 1474	1.5	0.5	0.18	3.00	N-69°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
78	SF 1475	0.75 ≦	0.3 ≦	0.18	2.50 ≦	N-38°-E	北東	長楕円形	不明	北東部
79	SF 1476	1.25 ≦	0.6 ≦	0.19	2.08 ≦	N-64°-E	北東	二等辺三角形	不明	北東部
80	SF 1477	0.4 ≦	0.35 ≦	0.29	1.14 ≦	N-72°-W	北西	楕円形	不明	北東部
81	SF 1478	1.3 ≦	0.55	0.32	2.36 ≦	N-126°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
82	SF 1480	1.5 ≦	0.8	0.35	1.88 ≦	N-33°-E	北東	楕円形	大型	北東部
83	SF 1481	1.45 ≦	0.6	0.17	2.42 ≦	N-56°-W	北西	二等辺三角形	不明	北東部
84	SF 1482	1.85	0.6	0.29	3.08	N-140°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
85	SF 1483	0.75 ≦	0.55	0.18	1.36 ≦	N-119°-E	南東	楕円形	不明	北東部
86	SF 1484	1.5	0.7	0.34	2.14	N-114°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
87	SF 1485	1.35	0.5	0.13	2.70	N-125°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
88	SF 1486	1.2	0.5	0.23	2.40	N-57°-W	北西	長楕円形	小型	北東部
89	SF 1487	1.4	0.55	0.18	2.55	N-98°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
90	SF 1488	1.4	0.55	0.23	2.55	N-121°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
91	SF 1489	2.1 ≦	0.7	0.35	3.00 ≦	N-112°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
92	SF 1491	1.15 ≦	0.6	0.23	1.92 ≦	N-116°-W	南西	楕円形	不明	北東部
93	SF 1494	0.5 ≦	0.35 ≦	0.11	1.43 ≦	N-51°-W	北西	楕円形	不明	北東部
94	SF 1495	0.9	0.55	0.08	1.64	N-134°-W	南西	楕円形	小型	北東部
95	SF 1497	0.55	0.4	0.08	1.38	N-41°-E	北東	楕円形	小型	北東部
96	SF 1499	1.5 ≦	0.55	0.35	2.73 ≦	N-171°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
97	SF 1500	1.9	0.6 ≦	0.23	3.17 ≦	N-70°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
98	SF 1501	1.05	0.55	0.15	1.91	N-133°-W	南西	楕円形	小型	北東部
99	SF 1507	1.4	0.65	0.2	2.15	N-93°-W	南西	長楕円形	小型	中央部
100	SF 1508	1.15	0.4	0.2	2.88	N-77°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
101	SF 1511	1.15	0.55	0.05	2.09	N-5°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
102	SF 1512	1.25	0.45	0.1	2.78	N-55°-E	北東	二等辺三角形	小型	中央部
103	SF 1513	1.0	0.5	0.1	2.00	N-104°-E	南東	長楕円形	小型	中央部
104	SF 1518	1.1	0.6	0.15	1.83	N-86°-E	北東	楕円形	小型	中央部
105	SF 1519	0.8	0.4	0.1	2.00	N-116°-E	南東	長楕円形	小型	中央部
106	SF 1521	1.1	0.5	0.2	2.20	N-178°-W	南西	長楕円形	小型	中央部
107	SF 1525	0.9	0.35	0.2	2.57	N-43°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
108	SF 1527	0.8	0.5	0.15	1.60	N-55°-E	北東	楕円形	小型	中央部
109	SF 1528	0.6	0.5	0.05	1.20	不明	不明	楕円形	小型	中央部
110	SF 1529	0.75	0.6	0.01	1.25	不明	不明	楕円形	小型	中央部
111	SF 1530	0.65	0.4	0.04	1.63	N-14°-E	北東	楕円形	小型	中央部
112	SF 1532	0.9	0.5	0.1	1.80	N-105°-E	南東	楕円形	小型	中央部
113	SF 1533	1.1 ≦	0.45	0.25	2.44 ≦	N-62°-E	北東	長楕円形	不明	中央部
114	SF 1534	0.9	0.6	0.15	1.50	N-44°-E	北東	楕円形	小型	中央部
115	SF 1535	1.15	0.45	0.2	2.56	N-49°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
116	SF 1536	1.0	0.6	0.2	1.67	N-26°-E	北東	楕円形	小型	中央部
117	SF 1537	1.2	0.45	0.25	2.67	N-110°-W	南西	長楕円形	小型	中央部
118	SF 1541	1.25	0.4	0.25	3.13	N-49°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
119	SF 1547	0.5 ≦	0.4	0.2	1.25 ≦	N-64°-E	北東	楕円形	不明	中央部
120	SF 1548	1.2	0.45	0.15	2.67	N-53°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
121	SF 1549	0.35	0.25	0.1	1.40	N-9°-E	北東	楕円形	小型	中央部
122	SF 1550	1.6	0.45	0.45	3.56	N-62°-E	北東	長楕円形	大型	中央部

第 25 表 煙道付炉穴一覧表 (3)

	遺構番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	長さ/幅					
123	SF 1552	0.35	0.3	0.1	1.17	N-32°-W	北西	円形	小型	中央部
124	SF 1553	0.35	0.2	0.1	1.75	N-31°-W	北西	楕円形	小型	中央部
125	SF 1554	0.85	0.4	0.05	2.13	N-34°-W	北西	長楕円形	小型	中央部
126	SF 1555	0.65	0.35 ≦	0.05	1.86 ≦	N-92°-W	南西	楕円形	小型	中央部
127	SF 1556	0.65	0.45	0.1	1.44	N-29°-W	北西	楕円形	小型	中央部
128	SF 1559	1.2	0.55	0.25	2.18	N-26°-W	北西	長楕円形	小型	中央部
129	SF 1561	0.5	0.3	0.03	1.67	不明	不明	楕円形	小型	中央部
130	SF 1564	1.45	0.35	0.25	4.14	N-42°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
131	SF 1579	0.95 ≦	0.5	0.35	1.90 ≦	N-58°-E	北東	楕円形	不明	北東部
132	SF 1580	0.3	0.3	0.03	1.00	不明	不明	円形	小型	北東部
133	SF 1581	1.15	0.65	0.5	1.77	N-51°-E	北東	楕円形	小型	北東部
134	SF 1582	0.95	0.55	0.3	1.73	N-65°-E	北東	楕円形	小型	北東部
135	SF 1583	0.6	0.4	0.02	1.50	N-121°-W	南西	楕円形	小型	北東部
136	SF 1586	0.7	0.5	0.1	1.40	N-49°-W	北西	楕円形	小型	北東部
137	SF 1587	0.9	0.5	0.05	1.80	N-114°-W	南西	二等辺三角形	小型	北東部
138	SF 1592	1.15	0.6	0.3	1.92	N-51°-E	北東	楕円形	小型	北東部
139	SF 1593	0.8 ≦	0.45	0.2	1.78 ≦	N-109°-W	南西	楕円形	不明	北東部
140	SF 1594	1.85	0.4	0.4	4.63	N-50°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
141	SF 1595	0.9	0.5	0.1	1.80	N-76°-E	北東	楕円形	小型	北東部
142	SF 1596	0.9	0.5	0.2	1.80	N-78°-E	北東	楕円形	小型	北東部
143	SF 1597	1.05	0.8	0.2	1.31	N-151°-E	南東	楕円形	小型	北東部
144	SF 1702	1.5	0.5	0.35	3.00	N-86°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
145	SF 1705	1.6	0.45	0.25	3.56	N-23°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
146	SF 1706	1.3 ≦	0.5	0.25	2.60 ≦	N-32°-E	北東	長楕円形	不明	北東部
147	SF 1707	0.8 ≦	0.35	0.25	2.29 ≦	N-51°-W	北西	長楕円形	不明	北東部
148	SF 1713	0.95	0.5	0.2	1.90	N-48°-E	北東	楕円形	小型	北東部
149	SF 1716	1.4 ≦	0.6	0.35	2.33 ≦	N-116°-W	南西	長楕円形	不明	中央部
150	SF 1717	0.85	0.35	0.2	2.43	N-124°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
151	SF 1718	1.3	0.65	0.45	2.00	N-70°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
152	SF 1719	1.0 ≦	0.45	0.25	2.22 ≦	N-132°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
153	SF 1721	0.4 ≦	0.3 ≦	0.24	1.33 ≦	不明	不明	楕円形	不明	北東部
154	SF 1723	0.75	0.55	0.2	1.36	N-70°-E	北東	楕円形	小型	中央部
155	SF 1724	1.2	0.45	0.2	2.67	N-44°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
156	SF 1725	1.15	0.4	0.3	2.88	N-2°-E	北東	長楕円形	小型	中央部
157	SF 1726	1.15	0.45	0.1	2.56	N-96°-E	南東	二等辺三角形	小型	中央部
158	SF 1727	0.8 ≦	0.35	0.15	2.29 ≦	N-96°-E	南東	長楕円形	不明	中央部
159	SF 1728	1.3	0.4	0.25	3.25	N-17°-E	北東	長楕円形	小型	北東部

第 26 表 集石炉一覧表 (1)

	遺構番号	規模			分類	場所	事業
		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)			
1	SF 1010	0.8	0.7	0.27	B	北東部	新名神
2	SF 1022	1.1	0.8	0.45	A	北東部	
3	SF 1023	1.1	1.0	0.7	A	北東部	
4	SF 1404	1.15	1.0	0.52	A	北東部	
5	SF 1414	1.2	0.8	0.22	A	北東部	
6	SF 1454	0.9	0.75	0.35	B	北東部	
7	SF 1479	1.1	0.7	0.38	A	北東部	
8	SF 1490	1.2 ≦	0.8 ≦	0.37	A	北東部	
9	SF 1492	1.0 ≦	0.6 ≦	0.29	A	北東部	
10	SF 1506	0.9	0.7	0.35	B	中央部	
11	SF 1514	0.55	0.55	0.25	B	中央部	
12	SF 1544	0.6	0.6	0.25	B	中央部	
13	SF 1546	0.9	0.7	0.3	B	中央部	
14	SF 1570	0.65	0.55	0.15	B	中央部	
15	SF 1584	0.8	0.75	0.32	B	北東部	
16	SF 1585	0.75	0.55	0.2	B	北東部	
17	SF 1629	1.2	1.05	0.3	A	西部	

第 26 表 集石炉一覧表 (2)

	遺構番号		規模			分類	場所	事業
			長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)			
18	SK	341	1.5	0.9	0.25	A	中央部	東環
19	SK	343	0.7	0.6	0.25	B	中央部	
20	SK	346	0.6	0.6	0.22	B	中央部	
21	SK	348	1.2	0.9	0.38	B	中央部	
22	SK	349	1.0	0.9	0.43	B	中央部	
23	SK	351	0.9	0.9	0.25	B	中央部	
24	SK	357	1.0	0.9	0.3	B	中央部	
25	SK	364	0.9	0.6	0.11	A	中央部	
26	SK	408	0.7	0.4	0.11	A	中央部	
27	SK	411	0.8	0.8	0.37	A	中央部	
28	SK	744	1.0	0.8	0.3	B	中央部	

第 27 表 弥生時代竪穴建物一覧表

○ : あり (○) : 推定 (カマドの場合、焼土の残存) ? : 不明 — : なし

	遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	時代	規模				壁周溝	壁柱穴	屋内炉	貯蔵穴	屋内土坑	主柱穴	主柱穴 長さ (m) × (m)	備考	場所
			地区名	番号			長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (㎡)									
1	SH 1026	4次	—	—	—	弥生中期	3.5	2.8	0.12	9.80	—	—	○	—	—	—			東部
2	SH 1305	9次	—	—	—	弥生後期	5.4	2.1 ≦	0.04	11.34 ≦	○	—	—	?	?	○	2.55 × ?		西部
3	SH 1331	9次	—	—	—	弥生中期	5.05	4.4	0.19	22.22	○	○	—	○	—	○	2.4 × 1.95		西部
4	SH 1333	9次	K-Y2	B1	弥生土器壺	弥生後期	6.0	6.0	0.03	36.00	○	○	—	?	—	○	3.0 × 3.0	建て替え?	西部
5	SH 1444	10次	—	—	—	弥生中期	4.2	4.1	0.1	17.22	○	—	?	—	—	?			東部
6	SH 1639	12次	K-U3	主1	弥生土器多数	弥生後期	6.0	4.7	0.15	28.20	○	—	—	—	(○)	○	3.0 × 2.25 · 2.1		西部
7	SH 1641	12次	—	—	—	弥生後期	4.6	2.4 ≦	0.1	11.04 ≦	○	—	—	○	—	○	1.95 × 1.65 · 1.5		西部
8	SH 1644	12次	—	—	—	弥生後期	7.0	7.0	0.3	49.00	○	—	○	○	—	○	3.9 × 3.9	馬蹄状の貯蔵穴	西部
9	SH 1645	12次	J-P19	主1	弥生土器甕	弥生後期	5.55	4.75	0.2	26.36	○	—	(○)	○	—	○	3.0 · 2.8 × 2.2 · 2.1	床面硬化	西部
			J-Q19	主3	弥生土器片														
10	SH 1646	12次	J-T21	主1	弥生土器壺	弥生後期	9.1	8.0	0.25	72.80	○	—	—	○	—	○	4.65 × 4.35	建て替え	西部
11	SH 1647	12次	—	—	—	弥生後期	(4.7)	4.3	0.1	(20.21)	○	—	(○)	○	—	○	2.3 × 2.3		西部
12	SH 1661	12次	—	—	—	弥生後期	5.0	4.5	0.15	22.50	○	—	(○)	○	—	○	2.4 × 2.1	焼失家屋	西部
13	SH 1677	12次	—	—	—	弥生後期	6.8	6.7	0.1	45.56	○	—	—	○	—	○	3.6 × 3.6	建て替え	西部
14	SH 1683	12次	—	—	—	弥生中期	4.45	4.4	0.1	19.58	○	—	(○)	—	—	○	2.1 × 1.95	建て替え?	西部
15	SH 394	12次	—	—	—	弥生後期	6.0	5.4	0.1	32.40	○	—	—	(○)	—	○	3.0 × 2.7		西部

第 28 表 弥生時代掘立柱建物一覧表

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間数	棟方位	方位	場所	
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)					
1	SB 1643	12次	—	—	—	側柱	9.9	5.55	54.95	西 1.8 + 1.65 + 1.65 + 1.65 + 1.8 + 1.35 中 1.2 + 1.5 + 2.1 + 2.4 + 1.5 + 1.5 東 1.65 + 1.65 + 1.8 + 1.65 + 1.5 + 1.65	2.7 + 2.85	6 × 2	南北棟	N-6° -E	西部

第 29 表 古代竪穴建物一覧表 (1)

○ : あり (○) : 推定 (カマドの場合、焼土の残存) ? : 不明 — : なし

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	規模				壁周溝	壁柱穴	カマド	貯蔵穴	主柱穴	屋内土坑	方位	主柱穴 長さ (m) × (m)	場所	正方形 長方形	パターン	カマド 場所	貯蔵穴 場所	
		地区名	番号		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (㎡)														
1	SH 1011	4次	—	—	—	4.6	3.9	0.18	17.94	○	○	○	○	?	○	N25° E	—	㊸	長	?	a3	a4
2	SH 1044	4次	N-D1	P7	土師器片	5.1	5.1	0.1	26.01	○	○	(○)	○	○	?	N45° W	2.1 × 2.1	㊸	正	①	a2 · 3	a4
3	SH 1054	4次	—	—	—	3.1 ≦	1.8 ≦	0.1	5.58 ≦	○	?	(○)	?	?	(○)	N42° W	—	㊸	?	?	?	?
4	SH 1057	4次	—	—	—	6.1	6.1	0.47	37.21	○	?	?	?	?	?	N38° W	—	㊸	正	?	?	?
5	SH 1058	4次	—	—	—	3.75 ≦	2.8 ≦	0.23	10.5 ≦	○	?	(○)	?	?	?	N5° W	—	㊸	?	?	?	?
6	SH 1063	4次	—	—	—	4.7	3.7	0.29	17.39	○	?	(○)	○	○	○	N15° W	3.3 × 2.1	㊸	長	①	a2 · 3	a3
7	SH 1108	5次	—	—	—	3.9	3.9	0.4	15.21	○	○	?	?	○	?	N39° W	1.95 × 1.95	㊸	正	①	?	?
8	SH 1164	5次	—	—	—	5.4	5.4	0.2	29.16	○	○	○	?	○	?	N65° E	3.3 × 2.7	㊸	正	㊸	a2 · 3	?
9	SH 1209	8次	—	—	—	2.9 ≦	1.7 ≦	0.02	4.93 ≦	○	?	(○)	(○)	?	?	N58° E	—	㊸	?	?	?	?
10	SH 1213	8次	—	—	—	4.5	3.8 ≦	0.08	17.1 ≦	○	?	○	(○)	?	?	N28° E	—	㊸	長	?	a2 · 3	a4

第 29 表 古代竪穴建物一覽表 (2)

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	規模				壁周溝	壁柱穴	カマド	貯蔵穴	主柱穴	屋内坑	方位	主柱穴 長さ (m) × (m)	場所	正方形 長方形	パターン	カマド 貯蔵穴		
		地区名	番号		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (㎡)												場所		
																				?	?	
11	SH 1218	8次	—	—	3.0	1.5 ≤	0.09	4.5 ≤	?	?	?	?	?	?	N8° E	—	③	?	?	?	?	
12	SH 1219	8次	—	—	4.8	0.85 ≤	0.18	4.08 ≤	○	?	?	?	?	?	N75° E	—	③	?	?	?	?	
13	SH 1220	8次	—	—	3.9	3.3	0.18	12.87	○	?	(○)	(○)	○	?	N101° E	2.25・1.5 × 1.5・1.35	③	長	?	a2・3	?	
14	SH 1223	8次	—	—	5.3	5.1	0.1	27.03	○	?	(○)	○	○	?	N108° E	2.4 × 1.8	③	正	②	a2・3	a4	
15	SH 1233	8次	—	—	6.2	2.2 ≤	0.2	13.64 ≤	?	?	?	?	?	?	?	—	③	?	?	?	?	
16	SH 1313	9次	—	—	5.4	5.1	0.15	27.54	○	○	(○)	○	○	?	N125° E	3.0 × 2.7	②	長	①	a2・3	a4	
17	SH 1318	9次	—	—	3.9	3.6	0.14	14.04	○	?	○	○	○	?	N20° E	1.95 × 1.8	②	長	①	a2・3	d4	
18	SH 1319	9次	—	—	4.2	2.6	0.07	10.92	?	?	?	?	?	?	N110° E	—	②	長	?	?	?	
19	SH 1320	9次	—	—	5.4	5.4	0.1	29.16	○	?	(○)	?	○	?	N20° W	2.7 × 2.7	②	正	①	a2・3	?	
20	SH 1321	9次	—	—	4.5	4.2	0.04	18.9	○	?	(○)	○ 2基	○	?	N64° W	2.25 × 2.1	②	長	①	a2・3	a1・a4	
21	SH 1322	9次	—	—	4.8	4.5	0.17	21.6	○	?	○	○	○	?	N80° E	2.25 × 2.1	②	長	①	a2・3	a4	
22	SH 1327	9次	—	—	2.4 ≤	1.9 ≤	0.2	4.56 ≤	?	?	?	?	?	?	N0°	—	②	?	?	?	?	
23	SH 1417	10次	—	—	3.4 ≤	2.4 ≤	0.03	8.16 ≤	○	?	(○)	○	?	?	N5° E	—	③	?	?	?	?	
24	SH 1436	10次	—	—	5.4	5.4	0	29.16	○	?	(○)	○ 2基	○	?	N14° W	3.0 × 3.0	③	正	①	a2・3	a4・d4	
25	SH 1438	10次	—	—	4.9	3.7	0.08	18.13	○	○	○	○	?	?	N12° W	—	③	長	?	a2・3	a4・b4	
26	SH 1446	10次	—	—	4.1	3.1	0.04	12.71	○	?	(○)	(○)	?	?	N67° E	—	③	長	?	a3	a4	
27	SH 1450	10次	—	—	5.2	5.1	0.09	26.52	○	?	(○)	○ 2基	?	(○)	N11° W	—	③	正	?	a2・3	a4・d4	
28	SH 1496	10次	—	—	3.7	3.6	0.14	13.32	?	?	(○)	?	?	?	N80° E	—	③	正	?	a2・3	?	
29	SH 701	10次	M-F18 M-F19	P1 P4	土師器数点 土師器片	4.2	3.9	0.13	16.38	○	?	(○)	○ 2基	(○)	N37° E	2.1 × 1.8	③	長	①	a2	a3・a4	
30	SH 1515	11次	L-G15	P1	土師器数点	4.8	4.8	0.03	23.04	○	?	(○)	○	○	?	N53° E	3.0 × 2.4	②	正	②	a3	a4
31	SH 1516	11次	—	—	4.7 ≤	5.1	0.1	23.97 ≤	?	?	(○)	○	○	?	N74° E	3.0 × 2.7	②	正	②	a3	a4	
32	SH 1562	11次	L-D21	P5	土師器片	5.55	5.1	0.1	28.31	?	?	○	○	○	?	N23° E	2.55 × 2.25	②	長	①	a2・3	a4
33	SH 1598	11次	—	—	(6.9)	(6.0)	0	(41.4)	?	?	?	○	○	?	N14° W	3.45 × 3.0	②	長	①	?	a4	
34	SH 1714	11次	—	—	4.1	3.7	0.4	15.17	○	○	○	○	?	?	N85° W	—	③	長	?	a3	a4	
35	SH 1606	12次	—	—	4.1	4.0	0.1	16.4	○	?	(○)	○	○	?	N114° E	3.0 × 2.1	②	正	②	a2・3	a4	
36	SH 1607	12次	—	—	3.6	3.6	0.15	12.96	○	?	○	○	○	?	N109° E	1.5 × 1.5	②	正	①	a2・3	a4	
37	SH 1617	12次	—	—	4.5	4.5	0.1	20.25	○	?	(○)	○	○	(○)	N82° W	3.0 × 3.0	②	正	①	a2・3	a4	
38	SH 1624	12次	K-P10 K-P10 K-P10	主1 主2 主4	須恵器杯蓋 土師器片 土師器数点	3.9	3.6	0.25	14.04	○	?	○	?	○	?	N100° E	2.1 × 1.8	②	長	①	a4	?
39	SH 1628	12次	—	—	6.3	6.0	0.2	37.80	?	?	○	?	○	?	N97° E	3.6 × 3.3	②	長	①	a2	?	
40	SH 1631	12次	K-Q9 K-P10	P1 P1	須恵器片 土師器片	5.7	5.4	0.2	30.78	○	?	○	○ 2基	○	?	N3° W	3.0 × 2.7	②	長	①	a2・3	a4・d4
41	SH 1648	12次	J-T16	主1	土師器多数	7.8	7.8	0.15	60.84	○	?	○	○	○	?	N6° E	4.2 × 3.6	①	正	②	a2・3	a3
42	SH 1649	12次	—	—	6.6	6.0	0.2	39.6	?	?	○	○	○	?	N6° E	3.3 × 3.0	①	長	①	a2・3	a4	
43	SH 1650	12次	—	—	4.8	4.2	0.3	20.16	?	?	○ 2基	○ 2基	○	○	N5° E N95° E	2.1 × 1.95	①	長	①	a2・3	a1・a4	
44	SH 1651	12次	J-O15 J-P15	主2 主1	土師器数点 土師器数点	6.0	4.9	0.3	29.4	○	?	?	○	○	?	N31° E	3.1 × 2.1・1.9	①	長	?	?	?
45	SH 1652	12次	—	—	4.2	3.9	0.1	16.38	○	?	○	○	○	?	N56° E	2.1 × 1.8	①	長	①	a3	a4	
46	SH 1659	12次	J-S9 J-S9	主2 主1	須恵器甕 須恵器甕	5.1	4.8	0.15	24.48	?	?	○	○	○	?	N6° E	2.4 × 2.1	①	長	①	a3	a4
47	SH 1660	12次	—	—	5.7	5.1	0.25	29.07	?	?	?	?	○	?	N40° E	2.7 × 2.1	①	長	①	?	?	
48	SH 1662	12次	—	—	7.2	6.3	0.2	45.36	○	?	(○)	○ 2基	○	?	N96° E	3.9 × 3.3	①	長	①	a3	a2・a4	
49	SH 1663	12次	—	—	4.8	3.5 ≤	0.1	16.8 ≤	○	?	○	○	○	?	N15° W	2.4 × 2.4	①	正	①	a3	a4	
50	SH 1664	12次	J-X16 J-X16 J-X16	主1 主2 主3	須恵器数点 土師器片 土師器数点	5.1	4.8	0.15	24.48	○	?	○	○	○	?	N107° E	2.25 × 1.8	①	長	①	a2・3	a4
51	SH 1672	12次	—	—	4.8	4.2	0.15	20.16	○	?	○	?	○	?	N60° W	2.1 × 1.95	①	長	①	a2・3	?	
52	SH 1674	12次 13次	J-Y9 J-Y9 J-Y9	主1 主2 主2	焼土石 弥生数点 弥生数点 土師器片	8.1	8.1	0.05	65.61	○	?	(○)	○ 2基	○	?	N6° E	4.5 × 4.5	①	正	①	a2・3	b4・d3
53	SH 1675	12次	Q-C10 Q-C10 Q-C11	主1 主2 主3	土師器数点 土師器数点 土師器数点	6.0	6.0	0.2	36.00	○	○	○	○	○	?	N45° E	2.7 × 2.4	①	正	②	a2・3	a4
54	SH 1676	12次	Q-C10	主2	土師器数点	4.8	4.8	0.3	23.04	○	?	○	○	○	?	N124° E	1.8 × 1.8	①	正	①	a2	a4
55	SH 1678	12次	—	—	6.6	1.7 ≤	0.1	11.22 ≤	?	?	(○)	?	?	?	N77° W	—	①	?	?	?	?	
56	SH 1680	12次	—	—	5.2	5.2	0.15	27.04	?	?	?	?	?	?	N47° E	—	①	正	?	?	?	
57	SH 1681	12次	—	—	4.8	3.9 ≤	0.2	18.72 ≤	○	?	?	?	○	?	N20° E	2.7 × 1.95	①	長	?	?	?	

第 29 表 古代竪穴建物一覧表 (3)

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	規模				壁周溝	壁柱穴	カマド	貯蔵穴	主柱穴	屋内土坑	方位	主柱穴 長さ (m) × (m)	場所	正方形 長方形	パターン	カマド 貯蔵穴		
		地区名	番号		長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)												場所	場所	
58	SH 1682	12次	J-Y13	主1	土師器数点	4.8	4.8	0.2	23.04	?	?	○	○	○	?	N155° W	2.1 × 1.8	①	正	②	a2・3	a1
			J-Y13	主2	土師器数点																	
59	SH 1684	12次	—	—	—	4.2	3.9	0.2	16.38	○	○	○	○	○	?	N55° E	1.8 × 1.5	①	長	①	a2・3	a4
60	SH 1685	12次	—	—	—	6.3	2.2 ≦	0.05	13.86 ≦	?	?	?	○	○	?	?	3.6・3.3 × 3.3・3.0	①	正	?	?	?
61	SH 1688	12次	—	—	—	3.9	3.9	0.1	15.21	?	?	○	○	○	(○)	N113° E	1.5 × 1.5	①	正	①	a3	a4
62	SH 1689	12次	—	—	—	5.4 ≦	3.6 ≦	0.1	19.44 ≦	?	?	○	○	○	?	N12° E	2.85・2.7 × 2.1・1.8	①	長	?	a2・3	a4
63	SH 1690	12次	—	—	—	5.4	5.1	0.1	27.54	?	?	(○)	○	○	?	N30° E	3.0 × 2.4	①	長	①	a2・3	a4
64	SH 1694	12次	—	—	—	4.8	(4.8)	0.2	(23.04)	○	?	○	○	○	?	N50° E	2.4 × 2.4	①	正	①	a2	a4
65	SH 1696	12次	—	—	—	5.4	4.8	0.1	25.92	○	?	○	○	○	?	N45° E	2.4 × 2.1	①	長	①	a2・3	a4
66	SH 1805	13次	J-R6	P1	土師器片	2.8 ≦	2.1 ≦	0.1	5.88 ≦	○	?	?	○	○	?	N15° E	2.4 × 1.8	①	?	?	?	?
67	SH 1808	13次	J-T4	P1	土師器片	5.1	5.1	0.25	26.01	?	?	(○)	○	○	?	N45° W	2.55 × 2.55	①	正	①	a3	c4
68	SH 1813	13次	J-U5	P1	須恵器杯蓋片	6.0	5.7	0.15	34.2	?	○	○	○	○	?	N84° E	3.0 × 2.7	①	長	①	a3	a4
69	SH 1814	13次	J-V6	P1	土師器数点	5.1	5.1	0.2	26.01	○	○	○	○	○	?	N136° W	2.7 × 2.4	①	正	②	a2	a1
70	SH 1818	13次	J-X5	P2	土師器数点	7.2	6.0	0.2	43.2	?	?	○	○	○	?	N55° W	3.3 × 3.0	①	長	①	a2・3	d3・4
			J-W4	P2	須恵器片																	
71	SH 1820	13次	—	—	—	4.5	4.5	0.2	20.25	?	?	(○)	○	○	?	N162° W	2.55 × 1.95	①	正	②	a2	a1
72	SH 1821	13次	—	—	—	4.5	3.9	0.1	17.55	?	?	(炉?)	○	○	?	N143° W	1.8 × 1.8	①	長	②	?	?
73	SH 1831	13次	—	—	—	0.95 ≦	0.85 ≦	0.05	0.81 ≦	?	?	○	○	○	?	N166° W	1.95 × 1.38	①	長	①	a2・3	a1
74	SH 1832	13次	—	—	—	8.4	7.95	0.1	66.78	○	?	○	?	○	?	N20° E	4.5 × 4.35	①	長	①	a2	?
75	SH 1834	13次	—	—	—	7.5	7.2	0.1	54	?	○	○	○	○	?	N68° W	3.9 × 3.6	①	長	①	a2・3	d3
76	SH 1846	13次	—	—	—	2.5 ≦	2.1 ≦	0.1	5.25 ≦	?	?	?	?	?	?	—	—	①	?	?	?	?

第 30 表 古代土坑一覧表 (1)

遺構番号	次数	主なグリッド		規模				大型土坑	ビット土坑	複数重複	場所	
		大地区	小地区	長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)					
1	SK 1017	4次	G	V1	2.3	1.3	0.28	2.99	大型土坑			③
2	SK 1032	4次	G	X4	2.9	2.1 ≦	0.1	6.09 ≦	大型土坑	ビット土坑		③
3	SK 1036	4次	G	Y2 他	2.3	1.95	0.33	4.49	大型土坑			③
4	SK 1037	4次	M	B25 他	4.1	2.8	0.42	11.48	大型土坑	ビット土坑		③
5	SK 1043	4次	N	C1 他	4.0	2.9	0.6	11.60	大型土坑	ビット土坑		③
6	SK 1047	4次	M	D25	1.85	1.5	0.15	2.78				③
7	SK 1049	4次	N	D7	1.15	0.7	0.44	0.81				③
8	SK 1051	4次	N	E3・4	3.0	2.4	0.41	7.20	大型土坑			③
9	SK 1052	4次	M	F22 他	4.1	3.5	0.45	14.35	大型土坑	ビット土坑		③
10	SK 1053	4次	M	F25 他	2.8	2.0	0.38	5.60	大型土坑			③
11	SK 1055	4次	N	G4・5	1.3	0.7	0.18	0.91				③
12	SK 1056	4次	N	G5	0.75	0.7	0.28	0.53				③
13	SK 1059	4次	M	I25 他	4.1	3.1	0.43	12.71	大型土坑			③
14	SK 1060	4次	N	J1	1.5	1.0	0.25	1.50				③
15	SK 1061	4次	M	K23 他	6.4	5.4	0.3	34.56	大型土坑	ビット土坑		③
16	SK 1064	4次	N	G4	1.15	1.05 ≦	0.16	1.21 ≦				③
17	SK 1161	5次	K	Q23・24	5.6	4.0	0.25	22.40	大型土坑	ビット土坑		②
18	SK 1162	5次	K	Q24	1.25	1.15	0.1	1.44				②
19	SK 1165	5次	L	O5 他	3.65	3.15	0.1	11.50	大型土坑	ビット土坑		②
20	SK 1167	5次	L	N4	4.0	2.85	0.12	11.40	大型土坑	ビット土坑		②
21	SK 1168	5次	L	N1	1.1	0.9	0.08	0.99				②
22	SK 1169	5次	K	Q24	1.05	0.75	0.28	0.79				②
23	SK 1178	5次	L	N1	0.9	0.75	0.23	0.68				②
24	SK 1202	8次	G	W16	0.7	0.6	0.15	0.42				③
25	SK 1206	8次	N	J13 他	3.1	2.1	0.54	6.51	大型土坑	ビット土坑		③
26	SK 1208	8次	N	I14 他	1.8	0.75	0.2	1.35				③
27	SK 1210	8次	N	G15 他	2.3	1.55	0.43	3.57	大型土坑		SK1211と重複	③
28	SK 1211	8次	N	G15 他	4.0 ≦	3.55	0.43	14.2 ≦	大型土坑		SK1210と重複	③
29	SK 1214	8次	N	J11	3.3	2.0	0.45	6.60	大型土坑		SK1215・1216と重複	③
30	SK 1215	8次	N	I10 他	7.2	2.7 ≦	0.26	19.44 ≦	大型土坑		SK1214・1216と重複	③
31	SK 1216	8次	N	I11 他	6.9	3.45	0.35	23.81	大型土坑		SK1214・1215と重複	③
32	SK 1217	8次	N	H10 他	1.3	1.1	0.22	1.43				③
33	SK 1221	8次	N	L4 他	3.9	2.7	0.14	10.53	大型土坑	ビット土坑		③
34	SK 1224	8次	N	L1 他	3.0	2.25	0.16	6.75	大型土坑	ビット土坑		③
35	SK 1225	8次	N	K1 他	1.75	1.7	0.17	2.98				③
36	SK 1227	8次	M	L25 他	2.8	1.75	0.33	4.90	大型土坑			③
37	SK 1229	8次	M	L24	1.1	0.8 ≦	0.18	0.88 ≦				③
38	SK 1230	8次	M	K24 他	2.15	1.4	0.38	3.01	大型土坑			③
39	SK 1231	8次	M	L23・24	0.8	0.6	0.1	0.48				③

第30表 古代土坑一覧表(2)

	遺構番号	回数	主なグリッド		規模				大型土坑	ビット土坑	複数重複	場所
			大地区	小地区	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	面積(m ²)				
40	SK 1315	9次	K	U14	2.3	0.8 ≦	0.14	1.84 ≦	大型土坑			②
41	SK 1323	9次	K	V7 他	2.6	0.6	0.14	1.56	大型土坑			②
42	SK 1427	10次	F	W11 他	5.4	3.8	0.4	20.52	大型土坑	ビット土坑	SK1428と重複	③
43	SK 1428	10次	F	X11	2.4	1.8 ≦	0.36	4.32 ≦	大型土坑	ビット土坑	SK1427と重複	③
44	SK 1429	10次	F	X11	1.6 ≦	1.45	0.22	2.32 ≦		ビット土坑		③
45	SK 1437	10次	M	A14	3.8	2.8	0.31	10.64	大型土坑			③
46	SK 1439	10次	M	A17 他	3.6	3.4	0.3	12.24	大型土坑			③
47	SK 1445	10次	M	C12 他	4.7	3.0	0.38	14.10	大型土坑			③
48	SK 1447	10次	M	C15 他	4.0	2.5	0.2	10.00	大型土坑	ビット土坑		③
49	SK 1448	10次	M	C16 他	4.2	2.6	0.26	10.92	大型土坑			③
50	SK 1449	10次	M	D15・16	2.5	2.4	0.3	6.00	大型土坑	ビット土坑		③
51	SK 1451	10次	M	E12 他	2.8	2.3	0.26	6.44	大型土坑			③
52	SK 1453	10次	M	C13・14	2.1	1.7	0.28	3.57	大型土坑			③
53	SK 1503	11次	L	M8・9	4.3	3.0	0.1	12.90	大型土坑	ビット土坑		②
54	SK 1505	11次	L	K9 他	1.7	0.75	0.4	1.28				②
55	SK 1509	11次	L	E15 他	4.2	3.85	0.35	16.17	大型土坑	ビット土坑	SK1510と重複	②
56	SK 1510	11次	L	E14 他	5.4	4.45	0.3	24.03	大型土坑	ビット土坑	SK1509と重複	②
57	SK 1520	11次	L	K13 他	4.0	3.7	0.2	14.80	大型土坑	ビット土坑	SK1526と重複	②
58	SK 1524	11次	L	L13 他	2.7 ≦	2.6	0.2	7.02 ≦	大型土坑	ビット土坑	SK1542と重複	②
59	SK 1526	11次	L	K12	5.3	4.95	0.35	26.24	大型土坑	ビット土坑	SK1520と重複	②
60	SK 1531	11次	L	M12 他	2.05	1.3	0.1	2.67	大型土坑			②
61	SK 1538	11次	L	K16 他	4.7	3.5	0.4	16.45	大型土坑	ビット土坑		②
62	SK 1542	11次	L	L13 他	4.0 ≦	2.4	0.4	9.6 ≦	大型土坑	ビット土坑	SK1524と重複	②
63	SK 1543	11次	L	J19 他	4.5	4.45	0.3	20.03	大型土坑	ビット土坑		②
64	SK 1545	11次	L	H17 他	6.45	4.1 ≦	0.1	26.45 ≦	大型土坑	ビット土坑		②
65	SK 1560	11次	L	H17	1.35	0.9	0.15	1.22				②
66	SK 1563	11次	L	D20 他	4.6	4.4	0.3	20.24	大型土坑	ビット土坑		②
67	SK 1566	11次	L	D20 他	1.4	1.0	0.45	1.40				②
68	SK 1567	11次	L	E21	2.4	1.6	0.35	3.84	大型土坑	ビット土坑	SK1568・1569・1572と重複	②
69	SK 1568	11次	L	E20 他	2.5	2.15	0.4	5.38	大型土坑	ビット土坑	SK1567・1569・1572と重複	②
70	SK 1569	11次	L	F20 他	4.7	4.3	0.4	20.21	大型土坑	ビット土坑	SK1567・1568・1572と重複	②
71	SK 1572	11次	L	E21	1.8	1.3	0.35	2.34		ビット土坑	SK1567・1568・1569と重複	②
72	SK 1589	11次	L	A24	1.05	0.9	0.25	0.95				②
73	SK 1591	11次	M	I2	2.0	1.8	0.3	3.60	大型土坑			②
74	SK 1709	11次	M	E9 他	1.8	1.6	0.2	2.88				③
75	SK 1711	11次	M	D9 他	2.2	2.1	0.4	4.62	大型土坑		SK1712と重複	③
76	SK 1712	11次	M	D10	2.7	2.0	0.45	5.40	大型土坑		SK1711と重複	③
77	SK 1715	11次	M	E11	1.65	1.4	0.2	2.31				③
78	SK 324	11次	L	O6・7	4.0	3.8	0.15	15.20	大型土坑	ビット土坑		②
79	SK 1601	12次	K	P20 他	6.4	3.65	0.25	23.36	大型土坑	ビット土坑		②
80	SK 1602	12次	K	M23 他	4.1	3.35	0.1	13.74	大型土坑			②
81	SK 1603	12次	K	Q22 他	0.95	0.85	0.3	0.81				②
82	SK 1608	12次	K	S14 他	0.8	0.8	0.1	0.64				②
83	SK 1609	12次	K	P15・16	2.5	2.35	0.25	5.88	大型土坑			②
84	SK 1610	12次	K	N16 他	8.45	5.4	0.2	45.63	大型土坑	ビット土坑		②
85	SK 1615	12次	K	L13	1.35	0.95	0.15	1.28				②
86	SK 1616	12次	K	J11 他	0.9	0.8	0.1	0.72				②
87	SK 1622	12次	K	T5・6	1.0	0.75	0.2	0.75				②
88	SK 1630	12次	Q	A18	1.0	0.95	0.45	0.95				①
89	SK 1633	12次	K	O9・10	2.1	1.45	0.15	3.05	大型土坑			②
90	SK 1634	12次	K	N7 他	3.9	3.3	0.25	12.87	大型土坑			②
91	SK 1658	12次	J	P13 他	4.55	2.5	0.1	11.38	大型土坑	ビット土坑		①
92	SK 1668	12次	J	P9・10	6.2 ≦	2.1	0.2	13.02 ≦	大型土坑			①
93	SK 1669	12次	J	Q13 他	6.2	3.45	0.1	21.39	大型土坑	ビット土坑		①
94	SK 1673	12次 13次	J	V9 他	3.65 ≦	3.25	0.05	11.86 ≦	大型土坑	ビット土坑	SK1815と重複	①
95	SK 1687	12次	Q	A10	1.45	0.75	0.1	1.09				①
96	SK 1699	12次	K	J23 他	1.2	1.15	0.25	1.38				②
97	SK 1802	13次	J	P6 他	1.8	1.5	0.1	2.70				①
98	SK 1803	13次	J	P5・6	1.0	0.9	0.1	0.90				①
99	SK 1804	13次	J	P5	0.7	0.5	0.1	0.35				①
100	SK 1806	13次	J	R6 他	1.5	1.4	0.1	2.10				①
101	SK 1807	13次	J	S5	2.9	2.6	0.1	7.54	大型土坑	ビット土坑	SK1810と重複	①
102	SK 1810	13次	J	S5 他	1.7	0.6 ≦	0.15	1.02 ≦		ビット土坑	SK1807と重複	①
103	SK 1811	13次	I	T23 他	4.9	3.8	0.15	18.62	大型土坑	ビット土坑		①
104	SK 1815	13次	J	V8 他	4.9	3.3	0.15	16.17	大型土坑	ビット土坑	SK1673と重複	①
105	SK 1816	13次	J	W8・9	3.45	2.4	0.15	8.28	大型土坑			①
106	SK 1819	13次	J	U2・3	3.25	2.7	0.25	8.78	大型土坑		SK1823と重複	①
107	SK 1823	13次	J	U2 他	2.0	1.95	0.1	3.90	大型土坑		SK1819と重複	①
108	SK 1830	13次	Q	A9 他	2.2 ≦	1.4	0.15	3.08 ≦	大型土坑			①

第 31 表 古代掘立柱建物・柱列一覧表 (1)

(*) 桁行中央の柱間が広い掘立柱建物

遺構番号	次数	遺物出土 柱穴		出土遺物	性格	規模				柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間数	棟方位	方位	補所		
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)							
1	SB 1045	4次	M-C23 P1 M-D22 P2	土師器数点 縄文土器片	総柱	4.2	3.8	3.6	15.96	15.12	1.4等間	西1.3 + 1.1 + 1.4 東1.2等間	3 × 3	東西棟	N-2° -E	㊸	
2	SB 1065	4次	M-H23 P3 M-G23 P3 M-G24 P1 M-H24 P2 M-I24 P2 M-I24 P3	土師器片 土師器数点 土師器片 土師器甕 土師器甕 土師器甕	側柱	6.9	4.35		30.02		1.8 + 1.65 + 1.8 + 1.65	北1.5 + 1.35 + 1.5 南1.5 + 1.5 + 1.35	4 × 3	南北棟	N-31° -W	㊸	
3	SB 1066	4次	M-E24 P1 M-E25 P2	土師器数点 土師器片	総柱	5.25	3.9		20.48		1.8 + 1.8 + 1.65	2.25 + 1.65	3 × 2	南北棟	N-50° -W	㊸	
4	SB 1067	4次	M-F21 P1 M-F22 P1 M-E22 P3 M-F23 P1 M-F22 P2 M-G22 P2 M-G22 P10 M-G23 P1	土師器甕 土師器数点 須恵器片 土師器数点 土師器数点 土師器数点 土師器数点 土師器数点 須恵器片	側柱 (*)	5.7	3.9		22.23		1.65 + 2.25 + 1.8	1.95等間	3 × 2	南北棟	N-40° -W	㊸	
5	SB 1068	4次	N-H1 P3 N-G2 P3 N-G2 P4	土師器片 土師器片 土師器片	側柱	4.8	3.0		14.40		1.2等間	1.5等間	4 × 2	東西棟	N-5° -W	㊸	
6	SB 1069	4次	N-E2 P2 N-F2 P2 N-F1 P1	土師器片 須恵器片 土師器数点 須恵器片	側柱	7.2	4.35		31.32		西3.45 + 2.25 + 1.5 東1.5 + 1.95 + 1.95 + 1.8	1.95 + 2.4	4 × 2	南北棟	N-44° -W	㊸	
7	SB 1070	4次	M-C25 P1 M-D25 P1 N-D1 P2 N-D1 P3	土師器片 土師器多数 土師器片 土師器片	総柱	5.7	5.4	5.4	4.95	30.78	26.73	西1.65 + 2.1 + 1.65 東1.8 + 2.25 + 1.65	北1.8 + 1.65 + 1.5 南1.95 + 1.65 + 1.8	3 × 3	南北棟	N-42° -W	㊸
8	SB 1071	4次	—	—	側柱	6.6	4.2		27.72		1.65等間	2.1等間	4 × 2	東西棟	N-10° -E	㊸	
9	SB 1072	4次	N-J5 P3 N-L3 P12	土師器数点 土師器数点 須恵器杯身底部	側柱	7.8	5.4		42.12		1.95等間	1.8等間	4 × 3	東西棟	N-8° -W	㊸	
10	SB 1081	4次	M-C25 P4 N-D1 P8 N-D1 P1 N-D2 P2 N-C2 P2 N-C2 P3 N-B1 P1 N-B1 P2	土師器片 土師器片 土師器数点 土師器片 土師器数点 土師器甕 土師器数点 土師器数点	側柱	5.85	3.9		22.82		1.95等間	1.95等間	3 × 2	南北棟	N-14° -W	㊸	
11	SB 1082	4次	M-E23 —	—	側柱	3.3	3.0		9.90		西1.2 + 0.9 + 1.2 東1.5 + 0.9 + 0.9	1.5等間	3 × 2	南北棟	N-3° -E	㊸	
12	SB 1084	4次	N-G3 P2	土師器片	総柱	4.2	4.2		17.64		2.1等間	2.1等間	2 × 2	—	N-12° -E	㊸	
13	SB 1085	4次	—	—	総柱	6.6	3.6		23.76		2.4 + 2.1 + 2.1	1.65 + 1.95	3 × 2	南北棟	N-18° -W	㊸	
14	SB 1086	4次	—	—	側柱	6.3	4.5		28.35		南1.65 + 2.1 + 2.55	2.25等間	3 × 2	東西棟	N-8° -E	㊸	
15	SB 1087	4次	N-J5 P4	土師器片	側柱	5.85	4.8		28.08		東1.65 + 3.0 + 1.2 西1.65 + 4.2	北0.9 + 1.5 + 2.4 南1.2 + 1.95 + 1.65	3 × 3	南北棟	N-10° -W	㊸	
16	SB 1088	4次	M-I22 P4 M-I22 P1 M-I22 P2 M-I23 P1	土師器片 須恵器片 土師器数点 土師器片 土師器数点	総柱	4.95	3.9		19.31		1.65等間	1.8 + 2.1	3 × 2	南北棟	N-11° -W	㊸	
17	SB 1089	4次	M-K23 P1 M-K24 P4 M-J24 P4 M-K24 P5 M-K22 P1	土師器片 土師器数点 須恵器杯身 土師器数点 土師器数点	側柱 (*)	6.6	4.2		27.72		北2.4 + 2.4 + 1.8 南1.8 + 3.3 + 1.5	1.8 + 2.4	3 × 2	東西棟	N-10° -W	㊸	

第 31 表 古代掘立柱建物・柱列一覧表 (2)

遺構番号	次数	遺物出土 柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間数	棟方位	方位	備考			
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)							
18	SB 1090	4次	M-K25	P1	土師器数点 須惠器片	側柱	5.4	3.75	20.25	1.8等間	1.95+1.8	3×2	東西棟	N-5°-W	③		
			M-K25	P4	土師器数点												
			N-K1	P5	土師器片												
			N-K1	P3	土師器数点 須惠器杯蓋												
			M-L25	P8	土師器数点												
			N-L1	P2	須惠器蓋												
			N-L1	P3	縄文土器片												
			N-K1	P2	須惠器杯蓋												
19	SB 1091	4次	M-K24	P7	土師器片	側柱	5.55	4.95	27.47	1.8 + 1.8 + 1.95	西1.2 + 2.25 + 1.5 東1.5 + 1.8 + 1.65	3×3	東西棟	N-20°-W	③		
			M-K25	P2	土師器片 須惠器杯蓋												
			M-L25	P4	土師器数点												
			M-L25	P9	土師器数点												
20	SB 1092	4次	M-L22	P1	土師器片	側柱	6.15	3.9	23.99	1.5 + 1.5 + 1.5 + 1.65	1.95等間	4×2	南北棟	N-40°-W	③		
			M-L22	P5	須惠器片												
21	SB 1187	5次	L-M5	P1	土師器片	總柱	3.6	3.3	11.88	1.05 + 1.2 + 1.35	1.65等間	3×2	東西棟	N-19°-E	②		
22	SB 1188	5次	L-N1	P1	土師器数点	總柱	3.0	2.7	8.10	1.5等間	1.35等間	2×2	東西棟	N-11°-E	②		
			L-O1	P3	土師器片												
			L-O1	P4	土師器片												
			L-O1	P5	土師器片 須惠器片												
			L-O1	P6	土師器数点												
			L-O1	P7	土師器片												
			L-O2	P1	須惠器片												
23	SB 1189	5次	K-P25	P3	鉄滓片	側柱 (*)	7.8	5.7	44.46	1.8 + 2.1 + 2.1 + 1.8	2.1 + 1.8 + 1.8	4×3	東西棟	N-11°-E	②		
			L-P2	P1	土師器片												
24	SB 1190	5次	L-O3	P2	土師器数点	側柱	5.4	4.2	22.68	1.8等間	2.1等間	3×2	東西棟	N-20°-W	②		
25	SB 1191	5次	—	—	—	側柱 (*)	5.4	3.6	19.44	1.5 + 2.4 + 1.5	1.8等間	3×2	東西棟	N-34°-E	②		
26	SB 1192	5次	—	—	—	總柱	2.1	1.8	3.78	1.05等間	0.9等間	2×2	東西棟	N-10°-W	②		
27	SB 1193	5次	L-O2	P2	土師器片 須惠器片	總柱	3.6	3.3	11.88	1.8等間	1.65等間	2×2	東西棟	N-0°	②		
			L-O2	P3	土師器数点												
			L-O2	P4	土師器片												
			L-O3	P1	土師器片												
28	SB 1194	5次	K-M25	P1	土師器片	側柱	6.3≦	4.2	26.46≦	2.1等間	2.1等間	3≦×2	東西棟	N-33°-E	②		
29	SA 1195	5次	K-O24	P1	土師器片 須惠器数点	柱列	5.4	2.1	—	1.2+1.2+1.5+1.5	1.05等間	4×2	南北	N-19°-E	②		
			K-O24	P2	土師器片												
30	SB 1196	5次	—	—	—	側柱 (*)	8.4	4.5	37.80	1.8+2.4+2.4+1.8	2.25等間	4×2	南北棟	N-12°-E	②		
31	SB 1201	8次	G-X14	P2	土師器片	總柱	4.2	4.2	17.64	1.5+1.35+1.35	1.5+1.35+1.35	3×3	-	N-46°-E	③		
32	SB 1226	8次	M-L25	P1	土師器数点 須惠器杯身	總柱	2.7	1.5≦	4.05≦	1.2 + 1.5	1.5	2×1≦	東西棟	N-5°-E	③		
			M-L25	P2	土師器数点 須惠器杯身												
			M-L25	P3	土師器数点 須惠器杯身・杯蓋・甕												
			M-M25	P4	土師器数点												
			M-M25	P5	土師器数点 須惠器片												
			M-M25	P6	土師器数点												
33	SB 1309	9次	—	—	—	側柱	9.3	3.0≦	27.90≦	北1.8 + 1.95 + 1.95 + 1.8 + 1.8	西1.5等間	5×2≦	東西棟	N-4°-W	①		
34	SB 1314	9次	K-S15	P1	須惠器杯身 杯蓋	總柱	3.3	3.3	10.89	1.65等間	1.65等間	2×2	-	N-25°-E	②		
35	SB 1317	9次	K-U10	P1	土師器数点	側柱	11.1	4.5	49.95	北1.5 + 1.8 + 1.8 + 2.1 + 1.8 + 2.1 南1.65 + 1.65 + 1.65 + 4.05	西2.25等間	6×2	東西棟	N-43°-E	②		
36	SB 1324	9次	K-U6	P1	土師器片	總柱	4.05	3.9	15.80	1.35等間	1.95等間	3×2	南北棟	N-38°-W	②		
37	SB 1326	9次	—	—	—	側柱	6.3≦	3.0≦	18.90≦	1.65 + 1.65 + 1.5 + 1.5	1.5等間	4≦×2≦	東西棟	N-30°-E	②		
38	SB 1328	9次	—	—	—	側柱 (*)	5.7	5.55	4.5	25.7	24.98	北1.2 + 1.65 + 1.5 + 1.2 南1.35 + 1.5 + 1.5 + 1.35	西2.25等間 東1.5等間	・4×2 ・4×3	東西棟	N-16°-W	②
39	SB 1332	9次	—	—	—	總柱	4.2	3.6	3.3	15.12	13.86	2.1等間	2×2	南北棟	N-2°-W	②	
40	SB 1426	10次	F-W14	P1	土師器数点	側柱 (*)	6.0	3.9	23.40	1.95 + 2.1 + 1.95	1.95等間	3×2	南北棟	N-34°-W	③		
41	SB 1440	10次	M-A19	P3	須惠器短頸蓋	側柱	4.95	3.9	19.31	1.65等間	2.1 + 1.8	3×2	東西棟	N-17°-E	③		

第 31 表 古代掘立柱建物・柱列一覧表 (3)

遺構番号	次数	遺物出土 柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間数	棟方位	方位	備考	
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)					
42	SB 1443	10次	M-B13	P2	土師器数点 須恵器数点	総柱	5.7	5.55	31.64	1.95 + 1.8 + 1.95	1.95 + 1.8 + 1.8	3 × 3	南北棟	N-15° -W	③
			M-B13	P1	土師器数点										
			M-B14	P1	土師器片										
			M-C13	P1	土師器数点										
			M-C13	P2	土師器数点										
			M-C14	P1	土師器多数										
			M-C14	P3	土師器数点										
43	SB 1504	11次	—	—	総柱	3.8	3.2	12.16	1.1 + 1.3 + 1.4	1.6等間	3 × 2	東西棟	N-27° -W	②	
44	SB 1522	11次	—	—	側柱	2.4	2.25	5.40	1.2等間	2.25	2 × 1	東西棟	N-45° -E	②	
45	SB 1523	11次	L-K10	P1	須恵器片 土師器数点	側柱	2.4	2.25	5.40	1.2等間	2.25	2 × 1	東西棟	N-19° -W	②
46	SB 1539	11次	L-L14	P1	土師器片	側柱 (*)	4.6	3.3	15.18	北1.1 + 1.5 + 0.9 + 1.1 南1.1 + 2.4 + 1.1	3.3	4 × 1 (3 × 1)	東西棟	N-14° -E	②
			L-L15	P3	土師器片										
47	SB 1540	11次	L-K15	P2	土師器片	側柱 (*)	4.5	3.6	16.20	北1.1 + 2.1 南1.2 + 2.0 + 1.3	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-10° -E	②
			L-K15	P3	土師器片										
			L-L15	P2	土師器数点										
			L-L16	P1	土師器片										
48	SB 1551	11次	—	—	側柱	3.6	3.6	12.96	1.8等間	1.8等間	2 × 2	-	N-13° -E	②	
49	SB 1557	11次	L-J19	P1	土師器数点	側柱 (*)	5.1	3.3	16.83	1.2 + 2.7 + 1.2	1.65等間	3 × 2	南北棟	N-6° -E	②
			L-K19	P5	須恵器杯蓋										
			L-K19	P6	土師器数点										
			L-J20	P1	土師器片										
			L-K20	P1	土師器数点										
50	SB 1558	11次	L-F17	P1	土師器片	側柱 (*)	5.4	4.2	22.68	1.5 + 2.4 + 1.5	西1.8 + 2.4 東2.7 + 1.5	3 × 2	南北棟	N-33° -W	②
51	SB 1571	11次	L-G21	P1	土師器片	側柱 (*)	5.4	4.2	22.68	1.5 + 2.4 + 1.5	2.1等間	3 × 2	東西棟	N-13° -W	②
			L-H21	P3	土師器片・甕胴部										
52	SB 1574	11次	L-G21	P2	土師器片 土師器数点	側柱	6.6	4.5	29.70	1.65等間	1.5等間	4 × 3	東西棟	N-10° -W	②
			L-F22	P2	土師器多数 須恵器片										
			L-F22	P3	土師器数点										
			L-F22	P4	土師器片										
			L-G22	P5	土師器数点										
			L-E22	P2	土師器片										
53	SB 1575	11次	L-G22	P8	土師器片・数点 須恵器杯身・片	側柱 (*)	5.4	3.3	17.82	北1.2 + 2.7 + 1.5 南1.5 + 2.7 + 1.2	1.65等間	3 × 2	東西棟	N-8° -E	②
			L-G22	P7	土師器数点										
			L-G22	P6	須恵器杯身 土師器数点										
			L-H22	P5	土師器数点										
			L-G23	P6	土師器片										
			L-G23	P7	土師器片 須恵器片										
			L-H23	P5	土師器片										
54	SB 1576	11次	—	—	側柱	6.0	5.1	30.60	1.5等間	1.65 + 1.8 + 1.65	4 × 3	東西棟	N-19° -W	②	
55	SB 1577	11次	L-L23	P6	土師器片	側柱 (*)	6.6	5.1	33.66	1.8 + 3.0 + 1.8	西1.5 + 1.8 + 1.8 東1.8 + 1.8 + 1.5	3 × 3	東西棟	N-7° -W	②
			L-L23	P5	須恵器片										
			L-J23	P3	土師器片										
56	SB 1578	11次	—	—	総柱	3.9	3.6	14.04	1.95等間	1.8等間	2 × 2	東西棟	N-25° -W	②	
57	SB 1703	11次	F-Y7	P1	弥生土器片	側柱	6.75	4.2	28.35	北1.5 + 1.8 + 1.65 + 1.8 南1.5 + 1.8 + 1.8 + 1.65	西1.65 + 2.55 東2.1 + 2.1	4 × 2	東西棟	N-5° -E	③
58	SB 1704	11次	M-A9	P1	土師器数点	側柱	6.9	5.1	35.19	1.8 + 1.65 + 1.65 + 1.8	西1.8 + 1.5 + 1.8 東1.5 + 1.8 + 1.8	4 × 3	東西棟	N-4° -W	③
			M-A9	P2	土師器片										
			M-C8	P2	須恵器片										
59	SB 1708	11次	F-Y11	P1	土師器片	側柱	6.6	4.35	28.71	1.65等間	西1.35 + 3.0 東1.5 + 1.5 + 1.35	4 × 3	東西棟	N-35° -E	③
			F-Y11	P2	土師器片										
			M-A10	P1	土師器片										
			M-A11	P1	土師器片										
			M-A11	P2	土師器片 須恵器片										

第31表 古代掘立柱建物・柱列一覧表(4)

遺構番号	次数	遺物出土柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間数	棟方位	方位	場所	
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)					
60	SB 1710	11次	M-E10	P3	土師器片	側柱	4.2	3.9	16.38	2.1等間	1.95等間	2 × 2	東西棟	N-10° -W	㊸
			M-E11	P2	土師器数点										
			M-F11	P1	土師器片										
			M-F12	P1	土師器片										
61	SB 1729	11次	L-I19	P1	土師器数点 須惠器杯身	側柱	6.6	4.95	32.67	1.65等間	1.65等間	4 × 3	東西棟	N-15° -W	㊸
			L-H20	P1	土師器片										
			L-J20	P2	土師器片										
			L-H21	P2	土師器片 須惠器杯蓋										
62	SB 1730	11次	L-I20	P2	土師器片	側柱	6.45	3.3	21.29	1.65+1.65+1.65+1.5	1.65等間	4 × 2	東西棟	N-13° -W	㊸
			K-Q17	P1	土師器片										
			K-Q18	P1	土師器片										
			K-Q18	P2	土師器片										
63	SB 1604	12次	K-P19	P1	土師器数点	側柱	8.25	5.55	45.79	北1.8+1.35+1.65+1.65+1.8 南1.8+1.65+1.5+1.5+1.8	1.95+1.8+1.8	5 × 3	東西棟	N-20° -E	㊸
			K-P20	P1	土師器数点										
			K-Q17	P1	土師器片										
			K-Q18	P1	土師器片										
64	SB 1612	12次	K-S17	P1	土師器数点	側柱	10.8	4.2	45.36	2.1+2.1+2.1+2.4+2.1	2.1等間	5 × 2	東西棟	N-12° -E	㊸
			K-P13	P3	土師器数点										
			K-Q13	P1	須惠器杯身										
			K-Q13	P2	土師器数点										
65	SB 1613	12次	K-P14	P1	土師器片	側柱	7.05	5.55	39.13	北1.65+1.8+1.8+1.8 南1.8+1.8+1.8+1.65	西1.8+1.95+1.8 東1.95+1.8+1.8	4 × 3	東西棟	N-19° -W	㊸
			K-Q14	P2	土師器片										
			K-R12	P1	土師器数点 須惠器片・杯身										
			K-R12	P4	土師器数点 須惠器片										
66	SB 1614	12次	K-R12	P5	土師器数点 須惠器杯身	側柱	6.6	5.55	36.63	西1.65+1.65+1.35+1.95 東1.65+1.5+1.65+1.8	北1.65+1.8+2.1 南1.65+1.95+1.95	4 × 3	南北棟	N-15° -E	㊸
			K-S12	P2	土師器多数・把手 須惠器数点・杯蓋										
			K-S12	P3	土師器数点										
			K-S12	P4	土師器数点										
			K-R13	P1	土師器数点										
			K-S13	P1	土師器多数										
			K-S13	P3	土師器片										
			K-T13	P1	土師器数点										
K-R14	P2	土師器片 須惠器片													
67	SB 1618	12次	—	—	—	側柱 (*)	5.25	3.3	17.33	1.5+2.1+1.65	1.65等間	3 × 2	東西棟	N-15° -E	㊸
68	SB 1619	12次	—	—	—	總柱	3.75	3.3	12.38	1.8+1.95	1.65等間	2 × 2	南北棟	N-21° -E	㊸
69	SB 1620	12次	—	—	—	總柱	3.45	3.45	11.90	1.8+1.65	1.65+1.8	2 × 2	—	N-30° -E	㊸
70	SB 1621	12次	—	—	—	側柱 (*)	6.0	3.6	21.60	1.05+1.95+1.95+1.05	1.8等間	4 × 2	東西棟	N-17° -E	㊸
71	SB 1626	12次	—	—	—	側柱	6.6	4.95	32.67	1.65等間	南1.95+1.35+1.65 東1.8+1.35+1.8	4 × 3	東西棟	N-7° -E	㊸
72	SB 1627	12次	K-Q11	P1	土師器数点	側柱	5.7	3.9	22.23	西1.65+1.05+1.5+1.5 東1.35+1.5+2.85	1.8+2.1	4 × 2	南北棟	N-19° -E	㊸
73	SB 1632	12次	—	—	—	總柱	4.65	4.05	18.83	1.5+1.65+1.5	1.95+2.1	3 × 2	東西棟	N-0°	㊸
74	SB 1636	12次	K-R16	P2	土師器片 須惠器片	總柱	4.2	3.0	12.60	1.35+1.5+1.35	1.05+0.9+1.05	3 × 3	東西棟	N-21° -E	㊸
			K-R16	P3	焼土塊片										
			K-S16	P1	土師器片										
			K-S16	P2	土師器片										
75	SB 1637	12次	K-N10	P4	土師器片	側柱 (*)	6.0	3.9	23.40	北1.2+1.8+1.65+1.35 南1.2+1.65+1.8+1.35	西2.1+1.8 東1.8+2.1	4 × 2	東西棟	N-6° -W	㊸
76	SB 1638	12次	—	—	—	總柱	3.0	2.7	8.10	1.5等間	1.35等間	2 × 2	東西棟	N-3° -E	㊸
77	SB 1642	12次	J-N21	P1	土師器片	側柱	6.6	4.8	31.68	1.65等間	1.65+1.5+1.65	4 × 3	東西棟	N-3° -W	㊸
			J-N21	P2	土師器片										
78	SB 1665	12次	J-Q10	P1	土師器数点	側柱 (*)	4.8	3.6	17.28	1.2+2.4+1.2	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-20° -E	㊸
			J-Q11	P1	須惠器片										
			J-Q11	P2	土師器片										
			J-R12	P1	土師器片										
79	SB 1666	12次	J-S11	P2	土師器片	側柱	4.8	3.6	17.28	2.4等間	1.8等間	2 × 2	東西棟	N-28° -E	㊸

第 31 表 古代掘立柱建物・柱列一覽表 (5)

遺構番号	次数	遺物出土 柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間 (計測 北→南へ 西→東へ)		間敷	棟方位	方位	場所				
		地区名	番号			桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)	梁行 (m)								
80	SB 1667	12次	J-S12	P1	土師器片	側柱 (*)	6.0	4.65	27.90	1.2+1.8+1.8+1.2	1.5+1.65+1.5	4 × 3	東西棟	N-12° -E	①			
			J-R13	P1	土師器数点													
			J-R13	P2	土師器数点 須惠器片													
			J-R14	P1	土師器多数													
			J-S13	P1	須惠器片													
81	SB 1691	12次	J-U10	P2	土師器数点 須惠器片	側柱	6.75	4.2	28.35	北1.8+1.65+1.65+1.65 南1.8+1.8+1.5+1.65	西1.65+1.35+1.2 東1.5+1.5+1.2	4 × 3	東西棟	N-36° -E	①			
			J-V10	P2	土師器数点													
			J-V10	P1	土師器数点 甌 把手													
			J-W11	P3	土師器数点													
			J-V12	P4	土師器数点													
			J-V12	P5	土師器数点・甕 須惠器数点 磨製石斧													
			J-W11	P1	土師器多数 須惠器片													
			J-W12	P1	土師器数点													
82	SB 1697	12次	J-U10	P1	土師器数点	側柱	6.45	4.65	29.99	北1.8+1.5+1.35+1.8 南1.8+1.35+1.5+1.8	西1.8+1.35+1.5 東1.35+1.35+1.95	4 × 3	東西棟	N-35° -E	①			
			J-U11	P1	土師器甕 須惠器杯蓋													
			J-U12	P6	土師器数点													
			J-U12	P5	土師器多数													
			J-U12	P3	土師器片													
			J-V12	P6	土師器数点 須惠器杯身													
			J-V12	P7	土師器片													
83	SB 1698	12次 13次	J-T8	P1	須惠器片 土師器片	側柱	5.55	3.45	19.15	1.95+1.65+1.95	1.95+1.5	3 × 2	南北棟	N-13° -E	①			
			J-U9	P2	土師器片													
84	SB 1801	13次	—	—	—	側柱	6.6	5.4	35.64	北1.65+1.5+1.65+1.8 南1.8+1.5+1.65+1.65	1.8等間	4 × 3	東西棟	N-29° -E	①			
85	SB 1812	13次	—	—	—	總柱	4.65	4.5	20.93	1.65+1.5+1.5	1.5等間	3 × 3	東西棟	N-22° -E	①			
86	SB 1817	13次	J-X6	P1	土師器片	側柱 (*)	4.95	3.6	17.82	1.5+1.95+1.5	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-31° -E	①			
			J-X6	P3	土師器片													
87	SB 1822	13次	J-W3	P2	土師器片	側柱	7.05	5.25	37.01	1.8+1.8+1.8+1.65	1.8+1.65+1.8	4 × 3	東西棟	N-13° -E	①			
			J-W2	P1	土錘													
88	SB 1824	13次	—	—	—	總柱	3.0	3.0	9.00	1.5等間	1.5等間	2 × 2	-	N-15° -E	①			
89	SB 1825	13次	J-V24	P1	土師器数点 須惠器杯蓋	側柱 (*)	5.55	3.6	19.98	1.8+1.95+1.8	1.8等間	3 × 2	南北棟	N-9° -E	①			
			I-W24	P1	土師器片													
90	SB 1826	13次	I-X21	P1	須惠器片 短須惠器片	總柱	3.6	3.3	11.88	1.8等間	1.65等間	2 × 2	南北棟	N-12° -E	①			
91	SB 1829	13次	Q-D7	P1	土師器片	總柱	3.8	3.6	2.4	9.12	8.64	北1.8+2.0 南1.8等間	1.2等間	2 × 2	東西棟	N-18° -E	①	
			Q-D7	P2	土師器数点													
92	SB 1833	13次	Q-A3	P1	土師器数点	側柱	7.5	3.6	27.00	1.8+1.8+1.95+1.95	1.8等間	4 × 2	東西棟	N-7° -E	①			
			Q-A4	P1	土師器片													
			Q-A4	P2	土師器片 須惠器杯身													
			Q-B3	P1	土師器数点													
			Q-B3	P2	土師器数点													
			Q-B3	P3	土師器甕													
			Q-B4	P1	土師器数点													
			Q-B4	P2	土師器数点 須惠器杯蓋													
93	SB 1835	13次	Q-B7	P1	剥片 土師器片	總柱	4.2	3.6	15.12	2.1等間	1.8等間	2 × 2	東西棟	N-13° -E	①			
94	SA 1842	13次	—	—	—	柱列	5.25	-	-	1.5+1.95+1.8	—	3	東西	N-61° -W	①			
95	SB 1843	13次	J-U8	P1	土師器片	側柱	4.5	3.6	16.20	1.5等間	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-21° -E	①			
			J-U8	P3	土師器片													
			J-U9	P2	土師器片													
96	SB 1844	13次	—	—	—	總柱	4.5	4.35	4.5	4.2	20.25	18.27	2.4+2.1 1.65+2.7	2.25等間 2.25+1.95	2 × 2	東西棟	N-15° -E	①
97	SB 1845	13次	—	—	—	總柱	4.2	3.3	13.86	2.1等間	1.65等間	2 × 2	南北棟	N-5° -E	①			
98	SB 1847	13次	—	—	—	側柱	5.7 _≦	5.1	29.07 _≦	2.1+1.8+1.8	1.2+1.35+1.2+1.35	3 _≦ × 4	東西棟	N-31° -E	①			
99	SB 1848	13次	I-Q25	P1	土師器片	總柱	6.9	5.85	40.37	2.1+2.1+2.7	2.1+2.1+1.65	3 × 3	東西棟	N-11° -W	①			

第32表 遺物観察表(1)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1	405-01	縄文土器	深鉢	F-U25	SH1009 No. 6				内：ナデ 外：押型文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや粗 (~1.5mm白色小石等含)	良	小片	
2	403-06	縄文土器	深鉢	F-U25	SH1009 No. 6				内：ナデ 外：縄文	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm小石多含)	良	小片	
3	416-03	石製品	磨石	F-U25	SH1009 アゼ	(12.9)	6.2	2.3		—	—	—	—	重さ246.9g 砂岩、NNY-SRP29
4	416-02	石製品	石皿	F-U25	SH1009 アゼ	(11.9)	(10.3)	(6.3)		—	—	—	—	重さ(589.1g) 砂岩、NNY-SRP27
5	408-02	石製品	石皿	F-U25	SH1009 No. 3	9.6	5	5		—	—	—	—	重さ(316.4g) 砂岩、NNY-SRP7
6	416-01	石製品	楔形	F-U25	SH1009 No. 18	8	7.4	2.4		—	—	—	—	重さ171.1g 緑色岩
7	423-02	石製品	UF	F-U25	SH1009 アゼ	5.7	3.6	1.18		—	—	—	—	重さ22.2g 青チャート
8	402-07	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1012				内：不明 外：縄文	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~6mm小石多)	良	小片	
9	405-06	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1012 No. 3				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~1mm砂粒少含)	良	小片	
10	403-01	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1012				内：指圧・ナデ 外：縄文	黄褐色 2.5Y4/1	やや密 (~2mm小石含)	良	小片	無節縄文L
11	402-04	縄文土器	深鉢	G-V1	SH1013 No. 22				内：ナデ 外：ナデ	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや粗 (~2mm白色小石等含)	良	小片	
12	405-03	縄文土器	深鉢	G-U1	SH1013				内：不明 外：不明	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2.5mm白色小石等含)	良	小片	
13	405-07	縄文土器	深鉢	G-V1	SH1013 No. 23				内：ナデ 外：押型文?	灰黄褐色 10YR5/2	やや粗 (~2.5mm小石多含)	良	小片	
14	405-02	縄文土器	深鉢	G-U1	SH1013 No. 13				内：不明 外：縄文?	黄灰 2.5Y4/1	粗 (~1.5mm小石含)	良	小片	
15	406-03	縄文土器	深鉢	G-U1	SH1013 No. 18				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや密 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
16	402-08	縄文土器	深鉢	G-V1	SH1013 No. 1				内：ナデ 外：捺系文	灰黄褐色 10YR5/2	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
17	416-04	石製品	磨石	G-U1	SH1013 No. 4	10.8	6	4.2		—	—	—	—	重さ348.8g 砂岩、NNY-SRP28
18	401-11	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 15				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	密 (~3mm小石含)	良	小片	
19	402-12	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 15				内：不明 外：斜格子文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~2.5mm小石含)	良	小片	
20	405-05	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 14				内：ナデ 外：不明	灰黄褐色 10YR5/2	やや粗 (~1mm砂粒多含)	良	小片	
21	401-13	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 15				内：不明 外：ナデ・斜格子文か平行四辺形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~3mm白色小石等含)	良	小片	
22	402-11	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 26				内：不明 外：流線	橙 7.5YR6/6	やや密 (~1.5mm白色粒等含)	良	小片	補修孔?
23	401-14	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 15				内：不明 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや密 (~2mm白色小石等含)	良	小片	
24	401-12	縄文土器	深鉢	F-V25	SH1025 No. 15				内：ナデ 外：山形文	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
25	409-03	石製品	磨石	F-V25	SH1025 No. 8	13.9	9.8	6		—	—	—	—	重さ1235g 火砕岩、NNY-SRP8
26	409-02	石製品	磨石	F-V25	SH1025 No. 34	12.9	8.5	4.3		—	—	—	—	重さ723.1g 砂岩、NNY-SRP9
27	417-02	石製品	磨石	F-V25	SH1025	(10.6)	(4.4)	(4)		—	—	—	—	重さ(218.0g) 砂岩
28	413-01	石製品	石皿	F-V25	SH1025 No. 1	(9.1)	(7.4)	(4.7)		—	—	—	—	重さ(509.2) 砂岩、NNY-SRP16
29	417-01	石製品	石皿	F-V25	SH1025 アゼ	(6.8)	(11.1)	(3.7)		—	—	—	—	重さ(195.9g) 砂岩
30	418-02	石製品	剥片	F-V25	SH1025 No. 16	4.4	5	1.5		—	—	—	—	重さ33.6g ホルンフェルス
31	417-03	石製品	敲石	F-V25	SH1025 No. 9	(7.2)	(6.5)	(3.6)		—	—	—	—	重さ(207.8g) ホルンフェルス
32	419-04	石製品	礫器	F-V25	SH1025 No. 9	11.3	10.3	5.9		—	—	—	—	重さ899.5g 緑色岩
33	1106-04	縄文土器	深鉢	M-J1	SH1701(SH370) 土器No.1				内：ナデ 外：押型(ネガ楕円形)文	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~5mm砂粒多含)	良	小片	
34	405-08	縄文土器	深鉢	F-U20	SF1005				内：不明 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや粗 (~3mm小石多含)	良	小片	
35	423-01	石製品	礫器	F-U20	SF1005	12.2	7.8	4.9		—	—	—	—	重さ589.9g ホルンフェルス?
36	402-03	縄文土器	深鉢	F-T21	SF1006				内：ナデ 外：斜格子文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色小石等含)	良	小片	
37	423-03	石製品	剥片	F-U21	SF1008	4.3	2.9	1.4		—	—	—	—	重さ14.5g 赤チャート
38	415-01	石製品	磨石	F-V21	SF1008	(10.6)	5.9	3.9		—	—	—	—	重さ(347.1g) 砂岩、NNY-SRP20
39	415-02	石製品	石皿	F-V21	SF1015 No. 2	17.7	12.5	3.5		—	—	—	—	重さ10.35g 砂岩、NNY-SRP26
40	404-05	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR5/3	密 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
41	401-06	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：押型文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~3mm石含)	良	小片	穿孔有
42	402-02	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色小石等含)	良	小片	
43	404-06+ 402-09	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016 No. 1				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~2mm小石含)	良	小片	
44	402-01+ 401-05	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色小石等含)	良	小片	
45	404-01	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密 (~1.5mm白色小石含)	良	小片	
46	404-02+ 404-07	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR5/3	密 (~2mm小石含)	良	小片	
47	402-10	縄文土器	深鉢	F-V21	SH1016 No. 2				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~2mm小石含)	良	小片	
48	403-09	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
49	404-03	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016 No. 3				内：ナデ 外：山形文・平行四辺形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~3mm白色小石多含)	良	小片	
50	401-04	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016				内：ナデ 外：押型(斜格子・細格子・斜格子・山形)文	にぶい黄褐色 10YR6/3	密(砂粒少含)	良	小片	
51	401-07	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1016 No. 2				内：ナデ 外：斜格子文・山形文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや密 (~3mm小石含)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (2)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
52	419-01	石製品	剥片	F-W21	SF1016			0.7		—	—	—	—	重さ 4.3g 泥岩
53	402-06	縄文土器	深鉢	F-U22	SF1018 (3層)				内: ナデ 外: 山形文	黒褐 2.5Y3/1	やや粗 (~1mm白色粒等含)	良	小片	
54	415-03	石製品	磨石	F-T22	SF1019	(8.4)	9.1	4.8		—	—	—	—	重さ (473.5g) 砂岩, NNY-SRP19
55	414-04	石製品	磨石	F-W21	SF1024 No. 4	9.4	8.6	5.3		—	—	—	—	重さ 523.8g 砂岩, NNY-SRP23
56	409-01	石製品	楔形	F-W21	SF1024	8.4	6.1	2.5		—	—	—	—	重さ (165.5g) 安山岩
57	426-01	石製品	礫器	F-W21	SF1024 No. 5	12.1	8.4	4.6		—	—	—	—	重さ 534.8g ホルンフェルス
58	406-02	縄文土器	深鉢	F-W20	SF1029				内: 不明 外: 押型文	灰黄褐 10YR5/2	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
59	406-01	縄文土器	深鉢	F-W20	SF1029				内: 不明 外: 山形文?	にぶい黄褐 10YR6/4	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
60	421-01	石製品	礫器	F-W20	SF1029 No. 1	11.8	9.7	2.9		—	—	—	—	重さ 470.6g 緑色岩
61	401-03	縄文土器	深鉢	F-U20	SF1062				内: ナデ 外: 押型 (格子目?) 文	にぶい黄褐 10YR5/3	やや粗 (~2mm白色砂等含)	良	小片	旧称 SF1005西
62	404-04	縄文土器	深鉢	F-X21	SF1074 (1層)				内: ナデ 外: 縄文	にぶい黄 2.5Y6/4	やや密 (~2mm小石含)	良	小片	
63	539-01	石製品	石皿	E-V23	SF1110	22.4	22.7	5.5		—	—	—	—	重さ (4.57kg) 火砕 岩, NNY-SRP10-11
64	538-02	縄文土器	深鉢	F-T3	SF1133				内: ナデ 外: 流線	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗 (~2mm角小石)	良	小片	
65	538-01	縄文土器	深鉢	F-T3	SF1133				内: ナデ 外: 流線	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗 (~2mm角小石)	良	小片	
66	538-04	縄文土器	深鉢	F-T7	SF1135				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 10YR6/3	やや密 (~2mm角小石)	良	小片	
67	538-05	縄文土器	深鉢	F-T7	SF1135				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗 (砂粒含)	良	小片	
68	812-01	石製品	礫器	G-U14	SF1203	8.7	10.7	4.6		—	—	—	—	重さ 449.6g 火砕岩
69	406-04	縄文土器	深鉢	F-V24	SF1030				内: ナデ 外: 押型文	灰黄褐 10YR4/2	やや粗 (~1.5mm砂粒多含)	良	小片	
70	426-03	石製品	UF	F-V24	SF1030	4.3	3.6	1.2		—	—	—	—	重さ 14.2g 青チャート
71	412-01	石製品	石皿	F-V24	SF1030	14	13.3	4.4		—	—	—	—	重さ 1460.4g 砂岩, NNY-SRP15
72	417-04	石製品	磨石	F-V24	SF1030	(6.3)	(3.8)	(2.1)		—	—	—	—	重さ (67.9g) 砂岩, NNY-SRP30
73	412-02	石製品	磨石	F-V24	SF1030	8.8	6.7	3.2		—	—	—	—	重さ 201.3g 砂岩, NNY-SRP17
74	412-03	石製品	石皿	F-V24	SF1030	(9.1)	(8.3)	(3.4)		—	—	—	—	重さ (448.1g) 砂岩, NNY-SRP22
75	422-01	石製品	礫器	F-V24	SF1030	10	12.2	6.8		—	—	—	—	重さ 1514.8g 緑色岩
76	540-01	石製品	石皿	F-U3	SF1116 No. 1	15.5	11.2	5.1		—	—	—	—	重さ (1422.3g) 砂岩, NNY-SRP12
77	538-03	縄文土器	深鉢	F-U3	SF1116				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 10YR6/3	やや粗 (~3mm角小石多)	良	小片	
78	1001-01	縄文土器	深鉢	F-U12	SF1402 No. 3				内: ナデ 外: 押型 (正格子) 文・平行刺突文	褐灰 10YR4/1	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
79	1002-03	縄文土器	深鉢	F-U12	SF1402 No. 4				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 7.5YR5/4	粗 (~2mm砂粒含) 硬	良	小片	
80	1002-04	縄文土器	深鉢	F-U12	SF1402 No. 1				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
81	1001-02	縄文土器	深鉢	F-U12	SF1402 No. 2				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
82	1012-03	石製品	磨石	F-U12	SF1402 No. 5	13.6	7.6	4.7		—	—	—	—	重さ (757.8g) 砂岩
83	1013-01	石製品	磨石	F-V15	SF1408 No. 1	(8.4)	6.7	3.8		—	—	—	—	重さ 244.1g 砂岩
84	1001-06	縄文土器	深鉢	F-W16	SF1410 No. 1				内: ナデ 外: 山形文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
85	1001-05	縄文土器	深鉢	F-U18	SF1412 No. 2				内: ナデ 外: 山形文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
86	1001-04	縄文土器	深鉢	F-U19	SF1412 No. 1				内: ナデ 外: 縄文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
87	1017-03	石製品	石皿	F-U18	SF1412 No. 7	(13.9)	(10.9)	(4.0)		—	—	—	—	重さ (1018.4g) 砂岩
88	1017-01	石製品	石皿	F-U18	SF1412 No. 8	(7.2)	(7.0)	(3.7)		—	—	—	—	重さ (362.8g) 砂岩, 被蝕
89	1017-02	石製品	石皿	F-U18	SF1412 No. 9	(7.3)	(4.0)	(6.7)		—	—	—	—	重さ (383.1g) 砂岩, 被蝕
90	1002-01	縄文土器	深鉢	F-U18	SF1415				内: ナデ 外: 山形文	にぶい黄 7.5YR6/4	粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
91	1002-06	縄文土器	深鉢	F-U18	SF1415 No. 11				内: ナデ 外: 押型文?	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
92	1017-04	石製品	石皿	F-U18	SF1415	(6.1)	(3.0)	(3.0)		—	—	—	—	重さ (70.2g) 砂岩, 被蝕
93	1004-01	石製品	石皿	F-W16	SF1419 No. 19	20.4	15.4	5.3		—	—	—	—	重さ (2180.0g) 砂岩
94	1005-02	石製品	石皿	F-W16	SF1419 No. 21	(12.5)	(4.3)	(2.5)		—	—	—	—	重さ (173.2g) 砂岩?
95	1011-01	石製品	石皿	F-W18	SF1421 集合 No. 43	21.9	21.8	6.9		—	—	—	—	重さ (5.12kg) 砂岩
96	1002-07	縄文土器	深鉢	F-W19	SF1425 No. 9				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐 10YR6/4	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
97	1003-01	縄文土器	深鉢	F-W18	SF1425 No. 16				内: ナデ 外: 無文	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~4mm白色等砂粒含)	良	小片	
98	1005-03	石製品	礫器	F-W19	SF1425 No. 6	(10.6)	(9.7)	(6.5)		—	—	—	—	重さ (723.2g) 砂岩
99	1013-03	石製品	石皿	F-X13	SF1430 No. 2・3	24.8	16.5	7.0		—	—	—	—	重さ (4.57kg) 砂岩, 被蝕
100	1006-01	石製品	礫器	F-X13	SF1430	10	10.5	3.8		—	—	—	—	重さ (396.4g) ホルンフェルス
101	1001-07	縄文土器	深鉢	M-A17	SF1441 No. 5				内: ナデ 外: 押型 (格子目) 文	にぶい黄褐 10YR5/3	粗 (~1mm砂粒含) 硬	良	小片	
102	1012-01	石製品	磨石	M-A17	SF1441 No. 2	(11.0)	7.7	5.3		—	—	—	—	重さ (524.0g) 砂岩
103	1008-04	石製品	石核	F-W17	SF1457 No. 34	5.73	4.77	3.64		—	—	—	—	重さ 119.6g チャート

第 32 表 遺物観察表 (3)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
104	1013-02	石製品	磨石	F-W17	SF1458 No.16	(5.7)	7.5	4.0		—	—	—	—	重さ (247.9g) 火砕岩
105	1003-09	縄文土器	深鉢	F-P18	SF1471 土器1				内:ナデ 外:押型(斜格子)文	にぶい黄褐色 10YR5/3	粗 (~1mm砂粒)	良	小片	
106	1003-03	縄文土器	深鉢	F-S20	SF1474 No.2				内:不明 外:押型(斜格子)文	にぶい黄褐色 10YR7/4	粗 (~2mm砂粒)	良	小片	
107	1002-02	縄文土器	深鉢	F-S20	SF1474 No.1				内:ナデ 外:押型(山形)文	にぶい褐色 7.5YR5/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
108	1012-02	石製品	磨石	F-S23	SF1480 No.6	(4.7)	(8.0)	4.4		—	—	—	—	重さ (207.4g) 砂岩
109	1016-01	石製品	石皿	F-S23	SF1480 No.3	(7.1)	(6.5)	(5.3)		—	—	—	—	重さ (523.1g) 砂岩、被熱
110	1003-08	縄文土器	深鉢	F-S23	SF1481 No.1				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~2mm角粒)	良	小片	
111	1003-07	縄文土器	深鉢	F-S23	SF1481 No.①				内:ナデ 外:押型(山形)文	にぶい黄褐色 10YR5/3	粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
112	1006-02	石製品	機器	F-S23	SF1481 No.12	8.8	7.7	4.5		—	—	—	—	重さ (355.5g) 砂岩
113	1003-06	縄文土器	深鉢	F-R23	SF1484 No.1				内:ナデ 外:押型(格子目)文	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~1mm砂粒)	良	小片	
114	1003-02	縄文土器	深鉢	F-R23	SF1484				内:ナデ 外:押型(山形)文	にぶい黄褐色 10YR5/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
115	1016-02	石製品	磨石	F-R25	SF1488 No.1	15.4	9.7	5.4		—	—	—	—	重さ1029.2g 砂岩
116	1001-03	縄文土器	深鉢	F-R25	SF1489 No.6	24.3			内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR5/3	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	補修孔?
117	1003-05	縄文土器	深鉢	F-R25	SF1489 No.3				内:ナデ 外:押型文	褐色 10YR4/4	粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
118	1015-02	石製品	石皿	F-R25	SF1489 No.22	(10.2)	(11.4)	(3.4)		—	—	—	—	重さ (471.7g) 砂岩、被熱
119	1014-01	石製品	石皿	F-R25	SF1489 No.9	(12.2)	(13.6)	(5.8)		—	—	—	—	重さ (1620.7g) 砂岩
120	1015-01	石製品	磨石	F-R25	SF1489 No.11	17.3	8.7	4.5		—	—	—	—	重さ1054.4g 砂岩
121	1101-04	縄文土器	深鉢	F-W6	SF1501				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや密(細砂含)	良	小片	
122	1129-01	石製品	石皿	F-W6	SF1501	24.6	15.9	4.8		—	—	—	—	重さ3.25kg 砂岩
123	1101-03	縄文土器	深鉢	L-A12	SF1508				内:ナデ 外:押型文	褐色 7.5YR6/6	やや密 (~3mm長石角等含)	良	小片	
124	1107-01	縄文土器	深鉢	L-F13	SF1513				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR5/4	やや粗粒 (~1mm砂粒含)	良	小片	125と同一個体か
125	1101-09	縄文土器	深鉢	L-F13	SF1513				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~1mm砂粒)	良	小片	124と同一個体か
126	1107-02	縄文土器	深鉢	L-J14	SF1541 底面				内:ナデ 外:押型文	にぶい褐色 7.5YR5/4	粗 (~2mm砂粒多含)	良	小片	
127	1101-07	縄文土器	深鉢	L-J14	SF1541 床面				内:ナデ 外:押型文	褐色 7.5YR7/6	やや粗 (~3mm白色等砂粒)	良	小片	
128	1107-04	縄文土器	深鉢	L-J14	SF1541 底面				内:不明 外:押型文	にぶい褐色 7.5YR5/4	粗 (~1.5mm砂粒多)	良	小片	
129	1107-05	縄文土器	深鉢	L-H19	SF1547 (6層)				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
130	1107-03	縄文土器	深鉢	L-E17	SF1549				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
131	1126-04	石製品	磨石	L-J21	SF1564	(12.1)	8.3	4.0		—	—	—	—	重さ (0.50kg) 砂岩
132	1101-05	縄文土器	深鉢	F-X4	SF1581 床面				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
133	1101-02	縄文土器	深鉢	F-X6	SF1594				内:ナデ 外:押型(ネガ楕円形)文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色角粒多含)	良	小片	
134	1101-06	縄文土器	深鉢	M-A11	SF1702				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	1層のものとの接合
135	1107-06	縄文土器	深鉢	M-A11	SF1702				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
136	1126-03	石製品	磨石	F-W9	SF1706	(8.5)	(6.6)	(3.1)		—	—	—	—	重さ (0.22kg) 砂岩
137	1128-01	石製品	石皿	F-W1	SF1583	26.5	19.3	3.7		—	—	—	—	重さ2.76kg 砂岩
138	1104-04	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ②-7				内:不明 外:押型文	黒褐色 10YR2/1	やや粗 (~1.5mm砂粒)	良	小片	
139	1106-08	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ②-1				内:ナデ 外:押型文	黒褐色 10YR2/2	やや密 (~2mm砂粒含)	良	小片	
140	1106-07	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ②				内:ナデ 外:押型文	褐色 7.5YR4/3	粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
141	1104-05	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ⑦				内:不明 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
142	1106-06	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ②				内:ナデ 外:無文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗 (~2mm白色砂粒含)	良	小片	
143	1104-06	縄文土器	深鉢	M-A6	SF1713 ①				内:不明 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや粗 (~1.5mm砂粒)	良	小片	炭化物付着 底部
144	1106-02	縄文土器	深鉢	L-J14	SF1724				内:ナデ 外:条痕	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
145	1101-08	縄文土器	深鉢	F-W9	SF1728				内:ナデ 外:押型文	にぶい黄褐色 10YR5/3	やや粗(細砂粒含)	良	小片	底部
146	1131-01	石製品	石皿	F-W9	SF1728	28.7	20.0	5.8		—	—	—	—	重さ4.71kg 砂岩
147	408-01	石製品	石皿	F-V20	SF1010 石6	22.9	19.6	5.8		—	—	—	—	重さ (4.13kg) 砂岩、NNY-SRP6
148	403-05	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~1.5mm白色粒等含)	良	小片	
149	403-08	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密 (~2mm白色小石等含)	良	小片	
150	403-02	縄文土器	深鉢	F-W21	SF1022				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR7/4	粗 (~3mm白色小石等含)	良	小片	
151	401-10	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022 (1層)				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	密 (~1.5mm白色砂等含)	良	小片	
152	401-09	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや粗 (~2mm砂含)	良	小片	
153	401-08	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022 No.4 (3層)				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗 (~3mm白色小石等含)	良	小片	
154	402-05	縄文土器	深鉢	F-V21	SF1022 (1層)				内:ナデ 外:山形文	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密 (~1.5mm白色粒等含)	良	小片	
155	414-02	石製品	磨石	F-V21	SF1022	(5.3)	(9)	(3.8)		—	—	—	—	重さ (176.5g) 砂岩、NNY-SRP18

第 32 表 遺物観察表 (4)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口徑	器高	底徑						
156	414-03	石製品	磨石	F-V21	SF1022 (2層)	(6)	(9.2)	(3.5)		—	—	—	—	重さ (195.7g) 砂岩, NNY-SRP21
157	414-01	石製品	石皿	F-W21	SF1022	(7.5)	(4.5)	(3.9)		—	—	—	—	重さ (211.7g) 砂岩, NNY-SRP24
158	424-01	石製品	礫器	F-V21	SF1022	(10.1)	(8.7)	(4.5)		—	—	—	—	重さ 396.3g ホルンフェルス
159	411-01	石製品	石皿	F-V21	SF1022 No. 2 (2層)	25.5	(1.4)	4.5		—	—	—	—	重さ (2.23kg) 砂岩, NNY-SRP14
160	406-05	縄文土器	深鉢	F-U25	SF1023 No. 1				内: 不明 外: 山形文?	にぶい黄褐色 10YR5/4	粗 (~1mm 砂粒多)	良	小片	
161	406-07	縄文土器	深鉢	F-U25	SF1023 No. 3				内: ナデ 外: 無文	にぶい褐色 7.5YR5/4	やや粗 (~1mm 砂粒含)	良	小片	
162	424-02	石製品	磨製石斧	F-U25	SF1023 (3層)	9.3	4.9	2.7		—	—	—	—	未成品 重さ 179.4g, 砂岩
163	425-02	石製品	打製石斧	F-U25	SF1023	15.1	8.1	3.2		—	—	—	—	重さ 437g 砂岩
164	419-02	石製品	RF	F-U25	SF1023 上層	8.5	6.4	2.8		—	—	—	—	重さ 165.6g ホルンフェルス
165	419-03	石製品	石皿	F-U25	SF1023 上層	(5.3)	(9.9)	(6.0)		—	—	—	—	重さ 破砕 (510.4g)
166	425-01	石製品	礫器	F-U25	SF1023 (3層)	9	8.2	5.8		—	—	—	—	重さ 511.1g
167	1002-08	縄文土器	深鉢	F-S22	SF1479 No. 2				内: ナデ 外: 押型文	黒褐色 10YR3/2	粗 (~2mm 砂粒含)	良	小片	
168	1002-09	縄文土器	深鉢	F-S22	SF1479 No. 7				内: ナデ 外: 押型 (格子目) 文	褐色 7.5YR4/3	粗 (~2mm 砂粒含)	良	小片	
169	1008-03	石製品	剥片	F-S22	SF1479 石器 No. 6	3.51	4.42	0.86		—	—	—	—	重さ 9.5g 砂岩
170	1008-01	石製品	UF	F-S22	SF1479	4.29	2.8	0.55		—	—	—	—	重さ 7.5g チャート
171	1008-02	石製品	剥片	F-S22	SF1479	4.81	3.02	0.7		—	—	—	—	重さ 9.7g 砂岩?
172	1001-08	縄文土器	深鉢	F-U14	SF1404 No. 1				内: ナデ 外: 縄文RL	にぶい黄褐色 10YR5/3	粗 (~3mm 砂粒含)	良	小片	
173	1002-05	縄文土器	深鉢	F-U14	SF1404 No. 2				内: ナデ 外: 押型文?	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~3mm 砂粒含)	良	小片	
174	1005-01	石製品	礫器	F-U14	SF1404 No. 12	(12.9)	(7.0)	(4.7)		—	—	—	—	重さ (510.7g) 砂岩
175	1010-01	石製品	石皿	M-D14	SF1454 No. 1	35.8	16.7	5.8		—	—	—	—	重さ (5.71kg) 砂岩
176	1009-01	石製品	礫器	F-R25	SF1490	11.6	6.7	5.7		—	—	—	—	重さ 713.1g 砂岩
177	1007-01	石製品	礫器	G-R2	SF1492 No. 2	13.2	8.7	7.6		—	—	—	—	重さ (1036.7g) 砂岩?
178	1007-02	石製品	礫器	G-R2	SF1492	9.9	8.2	4.2		—	—	—	—	重さ (644.1g) 砂岩
179	1132-01	石製品	石皿	L-G16	SF1544	20.5	18.0	6.8		—	—	—	—	重さ (4.59kg) 砂岩
180	1133-01	石製品	石皿	L-H18	SF1546 底面配石	(22.55)	20.2	6.45		—	—	—	—	重さ (4.11kg) 砂岩
181	1124-02	石製品	石皿	L-123	SF1570 底面配石	(23.3)	(15.6)	(5.1)		—	—	—	—	重さ (1.88kg) 砂岩
182	1124-01	石製品	石皿	L-123	SF1570 底面配石	(15.1)	(15.7)	(5.5)		—	—	—	—	重さ (1.94kg) 砂岩
183	1125-01	石製品	石皿	L-123	SF1570 底面配石	30.6	18.2	6.7		—	—	—	—	重さ 5.50kg 花崗岩
184	1003-04	縄文土器	深鉢	G-02	SF1493 No. 1				内: ナデ 外: 押型 (格子目) 文	灰黄褐色 10YR4/2	粗 (~2mm 砂粒)	良	小片	
185	405-09	縄文土器	深鉢	F-U25	SK1028				内: 不明 外: 押型 (格子目) 文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~2mm 小石含)	良	小片	
186	403-04	縄文土器	深鉢	M-A22	SK1075				内: ナデ 外: 押型 (格子目?) 文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~1mm 白色砂粒含)	良	小片	
187	406-08	縄文土器	深鉢	F-V20	SK1078				内: ナデ 外: 格子文	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~1.5mm 砂粒含)	良	小片	
188	403-03	縄文土器	深鉢	F-U23	SD1021				内: ナデ 外: 縄文	にぶい黄 2.5Y6/8	やや密 (~1mm 砂粒含)	良	小片	単節斜縄文
189	401-01	縄文土器	深鉢	F-W21	Pit2				内: ナデ 外: 押型 (斜格子) 文	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや密 (~2mm 白色小石等含)	良	小片	
190	401-02	縄文土器	深鉢	F-W21	Pit2				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや密 (~1mm 砂粒)	良	小片	
191	1107-07	縄文土器	深鉢	L-C24	Pit1				内: ナデ 外: 押型文	にぶい褐色 7.5YR6/4	やや密 (~3mm 砂粒含)	良	小片	
192	1106-05	縄文土器	深鉢	M-H3	SK1722				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄褐色 10YR6/3	粗 (~2mm 砂粒含)	良	小片	
193	1126-02	石製品	石皿	M-H3	SK1722 第1層 石7	(6.9)	(7.2)	(2.4)		—	—	—	—	重さ (0.18kg) 砂岩
194	1126-01	石製品	石皿	M-H3	SK1722 第1層 石3	9.7	10.6	6.1		—	—	—	—	重さ (0.86kg) 砂岩
195	1127-02	石製品	石皿	M-H3	SK1722 第1層 石2	15.7	7.1	4.6		—	—	—	—	重さ (0.54kg) 砂岩
196	1127-01	石製品	石皿	M-H3	SK1722 第1層 石1	18.8	13.9	5.3		—	—	—	—	重さ 2.48kg 砂岩
197	528-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層 No. 4				内: ナデ 外: ナデ	褐色 7.5YR7/6	やや密 (~4mm 白色粒多)	良	小片	
198	518-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや密 (~2mm 白色粒多)	良	小片	
199	508-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~3mm 白色粒多)	良	小片	
200	508-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: ナデ	灰黄褐色 2.5Y6/2	やや密 (~3mm 白色粒多)	良	小片	
201	518-11	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	明黄褐色 10YR7/6	やや密 (~2mm 白色粒多)	良	小片	
202	502-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層 No. 11				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~3mm 白色粒多)	良	小片	
203	516-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・隆帯	褐色 7.5YR7/6	やや粗 (~3mm 白色粒多)	良	小片	
204	515-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・隆帯	褐色 7.5YR7/6	やや粗 (~9mm 小石粒疎ら、~2mm 白色粒多)	良	小片	
205	516-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・条線・隆帯・沈線	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~2mm 黒色粒、茶色粒疎ら、~2mm 白色粒多)	良	小片	
206	518-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	淡黄褐色 10YR8/4	やや密 (~3mm 白色粒少含)	良	小片	
207	514-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: 不明 外: ナデ・沈線	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや密 (~2mm 白色粒多)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (5)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
208	516-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 縄文RL	にぶい赤褐 5YR5/4	密 (~2mm白色粒含)	良	小片	
209	515-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・隆帯	橙 7.5YR7/6	やや密 (~3mm小石粒多)	良	小片	
210	511-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 斜行沈線・隆帯・刻目	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多、~8mm大の小石含)	良	小片	
211	527-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 11				内: ナデ 外: 貝殻等回転押圧 (疑似縄文)	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	
212	514-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	円孔
213	516-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: ナデ・条線・隆帯	橙 5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
214	506-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 土器2				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒含)	良	小片	
215	506-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 5				内: ケズリ・ナデ 外: ケズリ・ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~4mm白色粒多)	良	小片	
216	528-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 No. 1				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・押圧	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	スス付着
217	528-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 2				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・押圧	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
218	528-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 4				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・押圧	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~6mm小石粒多)	良	小片	
219	503-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 13				内: ナデ 外: 押圧・ナデ	淡黄 2.5Y7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
220	505-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 沈線・刻突	にぶい橙 7.5YR7/6	やや密 (~6mm白石含)	良	小片	
221	518-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: 不明 外: ナデ・刻突	暗灰黄 2.5Y5/2	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	山形突起部の割断片の可能性有
222	528-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 5				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・押圧	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm小石粒多、長石・雲母等)	良	小片	スス付着
223	512-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・刻突・沈線	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
224	517-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・刻突	灰黄 2.5Y6/2	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
225	509-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・刻突	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
226	503-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 No. 6				内: ナデ 外: ナデ・刻突文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~4mm白色粒多)	良	小片	227と同一個体か
227	503-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 6	11.5			内: ナデ 外: ナデ・刻突文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~4mm白色粒多)	良	2/12	226と同一個体か
228	504-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層E				内: ナデ 外: 沈線・条線	橙色 5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
229	502-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 7				内: ナデ? 外: 沈線・斜行沈線・隆帯	にぶい橙 7.5YR7/4	粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
230	501-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・斜条線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
231	501-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・斜条線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm白色粒多雲母等)	良	小片	
232	510-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 条線	橙 7.5YR6/6 明黄褐 10YR6/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
233	508-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・縄文RL	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~1mm白色粒多)	良	小片	
234	510-10	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・斜行条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~7mm小石白色粒含)	良	小片	
235	510-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 縄文 (LR)・沈線	淡黄 2.5Y7/4	やや密 (~2mm白色粒含)	良	小片	
236	501-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
237	516-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・縄文RL	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
238	501-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・斜条線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
239	506-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層				内: ナデ 外: 条線・沈線	橙 7.5YR7/6	密 (~2mm白色粒含)	良	小片	
240	521-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ 外: 刻突・条線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
241	521-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ・オサエ 外: 条線・沈線	橙 2.5YR7/6	やや密 (~1mm白色粒多)	良	小片	
242	502-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 11				内: ナデ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
243	501-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・斜条線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
244	508-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・条線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒多、雲母等)	良	小片	
245	521-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ 外: 隆帯・条線	淡黄橙 10YR8/4	やや密 (~1mm白色粒多)	良	小片	
246	509-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・条線	橙 7.5YR7/6 黄褐 2.5Y5/4	やや密 (~2mm白色粒多、雲母等)	良	小片	横状把手
247	502-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 2				内: ナデ 外: 条線	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
248	506-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 5				内: ナデ 外: 条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~6mm白色粒多)	良	小片	
249	502-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 2				内: ナデ 外: 条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~5mm白色粒多)	良	小片	
250	516-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR6/3	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
251	502-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層				内: ナデ・オサエ 外: 条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
252	510-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ・オサエ 外: 条線	淡黄 2.5Y8/3	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
253	519-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ・オサエ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
254	516-10	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR7/3	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
255	511-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・条線・沈線	にぶい黄橙 10YR7/2	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
256	516-09	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR7/3	やや粗 (雲母微量混、~4mm白色粒多)	良	小片	
257	510-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 沈線・斜条線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
258	519-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ・オサエ 外: 沈線・条線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
259	521-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 沈線・条線	黄褐 10YR5/6	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (6)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口徑	器高	底徑						
260	510-09	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 縄文 (RL)・沈線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm石英、白色粒多)	良	小片	
261	520-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ・オサエ 外: 沈線・条線	黄橙 10YR8/6	やや密 (~5mm小石倉、石英等 倉、~3mm白色粒多)	良	体部8/12	
262	512-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・凹線・刺突	橙 7.5YR7/6	やや密 (~5mm小石粒、~2mm白色 粒多)	良	小片	
263	503-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.1				内: ナデ 外: ナデ・隆帯・刺目・沈線	灰黄褐 10YR6/2	粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
264	505-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.10				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~3mm白色粒倉)	良	小片	
265	530-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No.1・2・5・ 11・13 No.1	30.8			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・沈線・刺目	にぶい橙 7.5YR7/4	粗 (~5mm砂粒多倉)	良	口縁部 11/12	
266	506-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No.5				内: ナデ 外: ナデ・凹線	橙 5YR6/8 橙 7.5YR6/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
267	528-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層				内: ナデ 外: ナデ・凹線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
268	510-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・凹線	にぶい黄橙 10YR6/3	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
269	509-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 土器2				内: ナデ 外: 沈線・縄文	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~6mm小石粒多)	良	小片	
270	513-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
271	508-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 土器2				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~7mm小石粒多)	良	小片	
272	517-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: ナデ・沈線	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~3mm白色粒多、~1mm雲 母、茶色粒少量倉)	良	小片	
273	518-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~5mm小石倉、~2mm白色 粒多)	良	小片	
274	501-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
275	517-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線	にぶい赤褐 5YR5/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
276	528-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.4				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~5mm白色粒多)	良	小片	
277	508-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 土器2				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~4mm小石粒多)	良	小片	
278	511-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・条線	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~2mm長石粒倉)	良	小片	
279	521-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ・オサエ 外: 沈線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
280	501-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.8				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	LR縄文
281	521-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ・ケズリ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	
282	519-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・条線・ナデ	橙 2.5YR6/6	やや密 (~6mm風化白色粒多)	良	小片	
283	516-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	明黄褐 10YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
284	514-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
285	510-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 沈線・縄文	淡黄 2.5Y7/4	やや密 (~1mm白色粒多)	良	小片	
286	505-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.10				内: ナデ 外: 沈線	淡黄橙 10YR8/4	密 (~1mm砂粒多)	良	小片	
287	505-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.10				内: ナデ 外: 沈線	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~3mm白色粒、雲母等)	良	小片	
288	515-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
289	516-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・条線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
290	513-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・押圧・沈線	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	円孔
291	503-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層				内: 不明 外: 沈線・条線	淡黄 2.5Y7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
292	513-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒倉、~2mm白 色粒多)	良	小片	
293	510-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 沈線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
294	506-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No.5				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい橙 5YR6/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
295	508-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: 沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
296	514-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~1mm白色粒多)	良	小片	円孔
297	507-07	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・隆帯・押圧	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒)	良	小片	349と同一個体か
298	517-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・縄文?	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
299	517-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 条線・沈線	淡黄橙 7.5YR8/6	やや密 (~2mm白色粒倉)	良	小片	
300	512-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 沈線・条線	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~4mm小石粒多)	良	小片	
301	518-10	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	褐 7.5YR4/4	やや密 (~4mm白色粒多)	良	小片	
302	513-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	円孔
303	511-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: 沈線・刺突	淡黄 2.5Y7/3	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
304	511-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい橙 5YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
305	515-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~3mm白色粒)	良	小片	
306	518-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
307	509-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 No.5				内: ナデ 外: 刺突 (瓜形)	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~4mm小石粒多)	良	小片	
308	518-12	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄 2.5Y6/3	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
309	521-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 アゼ				内: ナデ 外: 刺突・隆帯	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
310	518-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線・刺突	にぶい黄 2.5Y6/3	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	
311	504-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No.13				内: ナデ 外: 刺突	にぶい黄 2.5Y6/4	やや密 (~6mm白色粒多)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (7)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
312	504-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 刺突・沈線	にぶい黄橙 10YR6/3	やや密 (~5mm白色粒多)	良	小片	
313	504-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 刺突	黄褐 2.5Y5/4	やや密 (~5mm白色粒多)	良	小片	
314	518-03	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・刺突	黄褐 2.5Y5/3	やや密 (~3mm白色粒多、チャート含)	良	小片	
315	518-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: オサエ・ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄 2.5Y6/4	やや密 (チャート含、~4mm白色粒多、~7mm小石含)	良	小片	
316	508-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103				内: ナデ 外: ナデ・隆帯・沈線・凹点	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
317	510-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ・隆帯・凹線・刻目文	黄褐 10YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
318	517-09	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
319	517-10	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	橙 5YR6/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	
320	506-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 5				内: ナデ 外: 隆帯・沈線	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~4mm白色粒、雲母等)	良	小片	
321	514-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 5YR6/6	やや密 (~4mm白色粒多)	良	小片	
322	504-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 沈線・刺突	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~6mm白色粒多)	良	小片	
323	513-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・沈線	明黄褐 10YR7/6	やや粗 (~5mm小石粒、~1mm白色粒多)	良	小片	
324	513-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	
325	507-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層 No. 5				内: ナデ 外: ナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	横状把手
326	515-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	明黄褐 10YR7/6	やや密 (~4mmチャート含、~2mm白色粒多)	良	小片	
327	505-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 10				内: ナデ 外: 羽状沈線・隆帯	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	3/12	
328	514-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・沈線・刺突	橙 7.5YR7/6	やや密 (~5mm小石含、~3mm白色粒多)	良	小片	円孔
329	514-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・押圧・沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	横状把手
330	513-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm小石含、~2mm白色粒多)	良	小片	円孔
331	513-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~5mm小石粒、~2mm白色粒多)	良	小片	
332	509-02	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 No. 5				内: ナデ 外: 不明	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~3mm白色粒多)	良	小片	底部
333	507-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層 西半				内: ナデ 外: ナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	底部
334	518-09	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6 にぶい黄 2.5Y6/3	やや密 (~2mm白色粒多)	良	小片	底部
335	512-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~小石含、~2mm白色粒多)	良	小片	底部
336	517-06	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	淡赤橙 2.5YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	底部
337	517-05	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半				内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや密 (~6mm白色粒多)	良	小片	底部
338	517-07	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 西半	9.0			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~5mm白色粒多)	完形	小片	底部
339	509-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 No. 1				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~4mm白色粒多)	良	小片	底部
340	501-08	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 9	10.3			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (~7mm小石多)	良	小片	底部
341	507-04	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 3				内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	底部
342	527-01	縄文土器	深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 11	11.2			内: ナデ 外: ナデ・オサエ	橙 7.5YR7/6	粗 (~5mm白色粒多)	良	底部完存 胴部1/3	胴~底部
343	501-09	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 上層No. 9				内: ナデ 外: ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	粗 (~5mm小石多)	良	小片	台部
344	507-03	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 13				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~5mm白色粒多)	良	小片	台部、円孔
345	511-06	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 東半				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒雲母多)	良	小片	台部・円孔・347と同一個体
346	507-02	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 8				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~4mm白色粒)	良	小片	台部、円孔
347	511-07	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 東半	7.4			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	台部・円孔・345と同一個体
348	526-02	縄文土器	台付深鉢	E-T23	SH1103 下層No. 8				内: ナデ 外: ナデ・縄文	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (~3mm白色粒、灰色粒等多)	良	小片	台部、円孔
349	507-01	縄文土器	台付深鉢	E-T21	SH1103 下層No. 12				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒)	良	小片	台部、297と同一個体 砂岩
350	540-05	石製品	石鏃	E-T21	SH1103 西半	2	1.44	0.4		—	—	—	—	重さ0.7g 青チャート
351	542-02	石製品	楔形	E-T21	SH1103 東半	2.44	3.92	0.7		—	—	—	—	重さ7.2g 赤チャート
352	543-01	石製品	RF	E-T21	SH1103 下層	6	5.3	1.8		—	—	—	—	重さ48.7g サヌカイト
353	543-03	石製品	UF	E-T21	SH1103 下層東	(13.8)	(10.8)	(3.1)		—	—	—	—	重さ(326.4g) 砂岩
354	543-02	石製品	石皿	E-T21	SH1103 下層東	(9.8)	(8.7)	(6.3)		—	—	—	—	重さ(854.5g) 火砕岩
355	544-01	石製品	石皿	E-T21	SH1103	35.7	14.6	8.7		—	—	—	—	重さ(7.52kg) 砂岩
356	545-01	石製品	石皿	E-T21	SH1103 上層No. 3	24.8	21.5	10.5		—	—	—	—	重さ(3.9kg) 花崗岩
357	529-01	縄文土器	深鉢	E-T23	SH1104 土器1	32.0			内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm小石粒多、チャート等含)	良	口縁部 1/12	
358	522-03	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ 外: 縄文 (RL)・沈線	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm白色粒含)	良	小片	
359	528-08	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 アゼ				内: ナデ 外: ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~3mm小石粒多)	良	小片	
360	522-08	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 東半				内: ナデ 外: 沈線	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~3mm白色粒含)	良	小片	
361	524-01	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 西半下層				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~9mm小石有、~3mm白色粒多)	良	小片	
362	522-04	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: オサエ・ナデ 外: ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~3mm小石含)	良	小片	外面炭化物付着
363	524-02	縄文土器	深鉢	E-T24	SH1104 アゼ				内: オサエ・ナデ 外: ナデ	淡黄 2.5Y7/4	やや密 (~7mm小石粒、~2mm白色粒、雲母等多)	良	小片	外面炭化物付着

第 32 表 遺物観察表 (8)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
364	524-06	縄文土器	深鉢	E-T24	SH1104 アゼ				内: ナデ 外: ナデ・糸線	にふい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
365	522-01	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ・オサエ 外: 沈線	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~1mm白色粒含)	良	小片	
366	524-04	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ 外: 斜行沈線	にふい黄 2.5Y6/3	やや粗 (~3mm白色粒含)	良	小片	
367	526-01	縄文土器	深鉢	E-T23	SH1104 土器4				内: ナデ 外: 糸線・沈線	浅黄 2.5Y7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
368	524-03	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 アゼ				内: ナデ 外: 糸線	にふい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒多)	良	小片	外面炭化物付着
369	522-05	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ 外: 糸線・沈線	にふい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒含)	良	小片	
370	522-06	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 東半				内: ナデ 外: 糸線・沈線	にふい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒含)	良	小片	
371	525-03	縄文土器	深鉢	E-T23	SH1104内 Pit2				内: ナデ 外: 縄文RL・沈線	にふい黄橙 10YR7/3	やや粗 (~6mm白色小石、白色粒多)	良	小片	
372	525-02	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 土器3				内: ナデ 外: ナデ・縄文RL	浅黄 2.5Y7/4	やや粗 (4mm小石有、~2mm白色粒多)	良	小片	
373	522-02	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ 外: 沈線	にふい橙 7.5YR5/4	粗 (~3mm白色粒含)	良	小片	
374	524-05	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104				内: ナデ 外: ナデ・糸線	にふい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
375	522-07	縄文土器	深鉢	E-T23・24	北区 表土掘削中				内: ナデ 外: ナデ・糸線	にふい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~2mm白色粒含)	良	小片	外面炭化物付着
376	526-03	縄文土器	台付深鉢	E-T23	SH1104				内: ナデ 外: 沈線・ナデ	橙 7.5YR7/6 灰黄褐 10YR5/2	粗 (~4mm白色粒多)	良	小片	
377	525-01	縄文土器	深鉢	E-T23・24	SH1104 土器3				内: ナデ 外: ナデ・縄文RL	浅黄 2.5Y7/4	やや粗 (~3mm白色粒多)	良	小片	
378	540-02	石製品	凹石	E-T23・24	SH1104 西半 Pit1	6.4	6.8	5.1		—	—	—	—	重さ (261.2g) 砂岩 NNY-SRP13
379	1278-05	縄文土器	深鉢	J-X14・15 J-Y14	SH1679				内: オサエ 外: オサエ・ナデ・刻突	にふい黄褐 10YR5/4	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
380	1278-06	縄文土器	深鉢	J-X14・15 J-Y14	SH1679				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・刻突	黒褐 10YR3/2	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	
381	1279-04	縄文土器	深鉢	J-Y14	SH1679 南東				内: オサエ・ナデ 外: 刻突・ナデ・オサエ・沈線	にふい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	
382	1279-02	縄文土器	深鉢	J-Y14	SH1679 南東				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・縄文・沈線	にふい黄褐 10YR5/3	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	単節縄文R
383	1278-04	縄文土器	台付深鉢	J-Y14	SH1679 南東				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・隆帯	にふい黄褐 10YR5/4	粗 (~φ5mmの小石含)	良	台部 3/12	円孔
384	1278-03	縄文土器	深鉢	J-X14・15 J-Y14	SH1679 取4			8.0	内: ナデ 外: オサエ・ナデ	明黄褐 10YR6/6	粗 (~φ2mmの小石含)	良	底部 5/12	
385	1286-06	石製品	剥片	J-X14	SH1679 周辺	1.8	2.6	0.5		—	—	—	—	重さ1.6g サヌカイト
386	1283-01	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693 取1				内: ナデ 外: 沈線・ナデ・糸線	にふい黄褐 10YR4/3	粗 (~φ3mmの小石含)	良	体部 2/12	SH1679 屋内炉
387	1283-05	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ5mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
388	1284-05	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693 取5				内: ナデ 外: ナデ・糸線	明赤褐 5YR5/6	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
389	1283-02	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693 取3				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
390	1284-02	縄文土器	深鉢	J-Y14	SK1693				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	橙 5YR6/6	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
391	1283-03	縄文土器	深鉢	J-Y14	SK1693 取2				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	橙 2.5YR6/6	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉・被熱
392	1284-03	縄文土器	深鉢	J-Y14	SK1693				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	褐 10YR4/4	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
393	1283-04	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	橙 2.5YR6/6	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉・被熱
394	1284-04	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693 取5				内: ナデ 外: ナデ・沈線	明赤褐 5YR5/8	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
395	1284-01	縄文土器	深鉢	J-X14	SK1693 取5				内: ナデ 外: ナデ・沈線・糸線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ5mmの小石含)	良	小片	SH1679 屋内炉
396	901-03	石製品	磨石	K-T13	SK1311	6.6	6.1	2.2		—	—	—	—	重さ (97.4g) ホルンフェルス
397	913-03	縄文土器	深鉢	K-U12	SK1312 No. 30				内: ナデ 外: 糸線	明赤褐 5YR5/6	やや粗	良	小片	
398	912-04	縄文土器	深鉢	K-U12	SK1312 No. 11				内: ナデ 外: 糸線	明褐 7.5YR5/6 橙 2.5YR6/8	やや粗	良	小片	
399	912-03	縄文土器	深鉢	K-U12	SK1312 No. 6				内: ナデ 外: ナデ・糸線	橙 7.5YR6/6 橙 5YR6/6	やや密	良	小片	
400	913-01	縄文土器	深鉢	K-U12	SK1312				内: ナデ 外: ナデ・糸線	明赤褐 5YR5/6	やや粗	良	小片	
401	912-02	縄文土器	深鉢	K-U12	SK1312 No. 6				内: ナデ 外: ナデ・糸線	明赤褐 5YR5/6 褐 10YR4/4	やや粗	良	小片	
402	913-02	石製品	切目石鐘	K-U12	SK1312 No. 28	(3.75)	(3.65)	(2.1)		—	—	—	—	重さ30.9g ホルンフェルス
403	909-06	縄文土器	深鉢	R-A8	SK1336				内: ナデ 外: 糸線?	灰黄褐 10YR5/2 明褐 7.5YR5/6	粗	良	小片	
404	1106-09	縄文土器	深鉢	L-E23	SK1565				内: ナデ 外: ナデ・隆帯・刻突	にふい黄橙 10YR6/3	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
405	1105-03	縄文土器	深鉢	L-E23	SK1565	26.0			内: ナデ 外: ナデ・無文	にふい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	外面炭化物付着
406	1281-01	縄文土器	浅鉢	J-R19	SK1656 取1	18.4			内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	灰黄褐 10YR5/2	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	口縁部 3/12	単節縄文
407	1281-06	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線	にふい黄褐 10YR4/3	やや密	良	小片	
408	1281-04	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線	にふい黄褐 10YR5/4	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
409	1281-07	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	明黄褐 10YR1/6	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
410	1281-05	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・隆帯・沈線	橙 7.5YR6/6	やや粗	良	小片	外面炭化物付着
411	1277-01	縄文土器	深鉢	J-R19	SK1656 取4				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・糸線	にふい黄橙 10YR7/4	粗 (~φ1mm砂粒含)	良	小片	
412	1281-02	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	にふい黄褐 10YR5/4	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	単節縄文L
413	1281-03	縄文土器	深鉢	J-R13*	SK1656				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
414	1287-01	縄文土器	深鉢	J-R19	SK1656 取3				内: 不明 外: 不明	橙 5YR7/8 明黄褐 10YR1/6	やや粗	良	底部	
415	1286-05	石製品	剥片	J-R13*	SK1656	3.3	2.75	0.9		—	—	—	—	重さ5.6g チャート

*グリッド表記

第32表 遺物観察表(9)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口徑	器高	底径						
416	1278-02	石製品	磨石・敲石	J-V15	SK1670 取5	8.2	5.5	4.7		—	—	—	—	重さ274.1g 砂岩、凹有
417	1280-01	縄文土器	深鉢	0-Y13*	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・隆帯・刻目・縄文・沈線	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	単節縄文
418	1280-05	縄文土器	深鉢	0-Y13	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線	灰黄褐 10YR4/2	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
419	1280-02	縄文土器	深鉢	0-Y13	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (~φ5mmの小石含)	良	小片	
420	1280-06	縄文土器	深鉢	0-Y13	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (~φ5mmの小石含)	良	小片	単節縄文R
421	1280-07	縄文土器	深鉢	0-Y13*	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	単節縄文R
422	1280-04	縄文土器	深鉢	0-Y13*	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR4/3	やや粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	単節縄文R
423	1280-03	縄文土器	深鉢	0-Y13*	SK1692				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・沈線・縄文	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
424	1286-04	石製品	剥片	J-Y13	SK1692	1.1	1.9	0.2		—	—	—	—	重さ0.4g サヌカイト
425	1279-01	縄文土器	深鉢	0-A9	SK1695				内: ナデ 外: ナデ	黄褐 10YR5/6	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
426	1279-03	縄文土器	深鉢	0-A9	SK1695				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	明黄褐 10YR7/6	粗 (~φ1mmの小石含)	良	小片	
427	1353-02	石製品	切目石鐘	J-S6	SK1807 No. 22	4.0	5.85	1.9		—	—	—	—	重さ63.7g 片麻岩
428	1349-02	縄文土器	深鉢	J-P7	SK1809 No. 1				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	明赤褐 5YR5/6	やや粗 (~0.2mmの砂粒あり)	良	小片	
429	1360-02	石製品	磨石	J-V2	SK1823	9.9	11.2	5.0		—	—	—	—	重さ824.7g 石英斑岩
430	1350-02	縄文土器	深鉢	J-Y7	SK1827 No. 16				内: ナデ 外: ナデ・沈線	明黄褐 10YR7/6 灰黄褐 10YR5/2	やや粗 (~0.3mmの小石あり)	良	小片	
431	1363-03	縄文土器	深鉢	J-Y7	SK1827 No. 12				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	単節縄文L
432	1364-01	縄文土器	深鉢	J-Y7	SK1827 No. 9				内: ナデ 外: ナデ・沈線	暗褐 10YR3/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
433	1348-01	縄文土器	深鉢	J-Y6	SK1840 No. 13				内: ナデ 外: ナデ・口縁部無文	にぶい黄褐 10YR6/4 黄橙 10YR8/6	粗 (~0.4mmの小石を含む)	良	小片	
434	1363-01	縄文土器	深鉢	J-Y6	SK1840 No. 2				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	黒褐 10YR3/1	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	無節縄文R
435	1361-01	石製品	切目石鐘	J-W6	SK1841	3.7	4.8	2.0		—	—	—	—	重さ48.9g ホルンフェルス
436	1275-05	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657	27.6			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	にぶい黄褐 10YR4/3	粗 (~φ2mmの小石含む)	良	口縁部 2/12	
437	1274-04	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	褐 10YR4/4	粗 (~φ3mmの石含む)	良	小片	
438	1274-03	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~φ3mmの石含む)	良	小片	
439	1275-02	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取1				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	にぶい黄褐 10YR5/3	やや粗 (~φ1mmの石含む)	良	小片	中津式
440	1275-03	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	にぶい黄褐 10YR4/3	粗 (~φ2mmの小石含む)	良	小片	
441	1274-02	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ 外: ナデ・沈線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ3mmの石含む)	良	小片	称名寺式
442	1275-01	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線・縄文	暗灰 N3/	粗 (~φ3mmの石含む)	良	小片	
443	1276-05	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取2				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	明黄褐 10YR7/6	やや粗 (~φ1mmの砂粒含)	良	小片	
444	1276-03	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取2				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	オリーブ褐 2.5Y4/3	やや密 (~φ1mmの砂粒含)	良	小片	
445	1275-04	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取5				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	灰黄褐 10YR4/2	粗 (~φ2mmの小石含む)	良	小片	
446	1276-04	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取4				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~φ2mmの石含)	良	小片	無節縄文R. 煤付着
447	1276-01	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取7				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	にぶい黄褐 10YR5/4	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	
448	1276-02	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線	オリーブ黒 7.5Y3/1	粗 (~φ2mmの小石含)	やや良	小片	
449	1277-02	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線・縄文	にぶい黄褐 10YR4/3	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	無節縄文R
450	1276-06	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取3				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線・縄文	にぶい黄褐 10YR5/4	やや粗 (~φ2mmの石含)	良	小片	無節縄文R
451	1277-03	縄文土器	深鉢	J-N16	SK1657 取6				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・沈線・縄文	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	無節縄文R
452	1274-01	石製品	磨石	J-N16	SK1657	11.8	7.6	5.3		—	—	—	—	重さ(660.7g) 砂岩
453	1270-08	石製品	UF	J-N16	SK1657	5.25	2.85	0.4		—	—	—	—	重さ6.3g サヌカイト
454	1364-02	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 44・48				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	明褐 7.5YR5/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
455	1349-04	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 1				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	灰黄橙 10YR4/2 黒褐 10YR3/1	やや密 (~0.3mmの砂粒あり)	良	小片	
456	1363-04	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 45				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	褐 7.5YR4/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	単節縄文R
457	1363-05	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 41				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	褐 10YR4/4	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	単節縄文R
458	1349-06	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838				内: ナデ 外: ナデ・沈線	橙 7.5YR6/8 にぶい黄 7.5YR5/4	やや粗 (~0.4mmの小石あり)	良	小片	
459	1350-01	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	褐 10YR4/4 明黄褐 10YR6/6	やや粗 (~0.4mmの小石あり)	良	小片	
460	1349-03	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 14			6.2	内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	橙 7.5Y6/8 褐 10YR4/6	やや粗 (~0.4mmの小石あり)	良	底部 5/12	
461	1349-05	縄文土器	深鉢	J-X6	SK1838 No. 45			10.6	外: 工具ナデ	明赤褐 5YR5/8 にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~0.4mmの小石あり)	良	底部 11/12	
462	1360-01	石製品	凹石	J-X6	SK1838 No. 30	10.6	13.1	4.5		—	—	—	—	重さ996.5g 溶結凝灰岩
463	531-01	縄文土器	深鉢	F-S1	SK1109	28.7	42.4		内: オサエ・ナデ 外: ナデ・条痕・ケズリ	黄褐 2.5Y5/6	やや粗 (~3mm長石、石英、~5mm 黒色小石)	並	6/12	突帯文、内面炭化物 付着
464	538-07	縄文土器	深鉢	F-V4	SK1118				内: ナデ 外: 無文	黄褐 10YR8/6	粗 (~3mm角小石多)	良	小片	
465	521-08	縄文土器	深鉢	F-V4	SK1118			11.5	内: ナデ 外: ナデ・ケズリ	明黄褐 10YR7/6	粗 (~5mm白色粒多)	良	底部 小片	
466	1106-10	縄文土器	深鉢	L-J12	SK1517				内: オサエ・ナデ 外: 無文・ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	467と同一個体?

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (10)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考	
						口径	器高	底径							
467	1104-02	縄文土器	深鉢	L-J12	SK1517			5.8	内: オサエ・ナデ 外: ケズリ・ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm小石含)	良	底部片	466と同一個体? 炭化物付着	
468	1102-01	縄文土器	深鉢	M-D7	SK1590	34.2	33.0		内: ナデ 外: ナデ・条痕・ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	ほぼ 完形	ベンガラ付着。 炭化物付着	
469	1103-01	縄文土器	深鉢	M-D7	SK1590	26.2	32.5		内: ナデ 外: ナデ・条痕・ケズリ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~4mm長石、~2mm石英 含)	良	ほぼ 完形	夾帯文 スミス付着	
470	1282-03	縄文土器	深鉢	J-X17	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・縄文・沈線	にぶい黄橙 10YR4/3	粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	無節縄文LR	
471	1282-02	縄文土器	深鉢	J-N14	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・沈線	暗橙 7.5YR3/4	やや密	良	小片		
472	538-09	縄文土器	深鉢	E-U23	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・沈線	明黄橙 10YR7/6	やや密 (~3mm角小石)	良	小片		
473	538-06	縄文土器	深鉢	E-U23	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・押型文?	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密 (~2mm角小石少)	良	小片	大川B式か	
474	538-11	縄文土器	深鉢	E-U23	Pit1				内: ナデ 外: 無文	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm角小石)	良	小片		
475	538-10	縄文土器	深鉢	E-U23	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・無文	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~8mm円小石)	良	小片		
476	1282-01	縄文土器	深鉢	J-W17	Pit2				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・縄文・沈線	にぶい橙 7.5YR5/4	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	小片	無節縄文LR	
477	538-12	縄文土器	深鉢	E-T23	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・沈線・条線	明黄橙 10YR7/6	やや粗 (~2mm角小石)	良	小片		
478	1105-06	縄文土器	深鉢	M-B7	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・刺突文	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~2mm砂粒含)	良	小片		
479	1105-04	縄文土器	深鉢	M-G4	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・磨帯	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片		
480	1106-03	縄文土器	深鉢	M-G11	Pit1				内: ナデ 外: 条痕	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~1mm金雲母等含)	良	小片		
481	1105-01	縄文土器	浅鉢	M-F6	Pit1				内: ナデ・ミガキ 外: 浮線文・沈線	浅黄 2.5Y7/3	やや密 (~2mm白色細砂、黒色小 石等含)	良	小片	赤色顔料付着	
482	1281-08	縄文土器	深鉢	J-W17	Pit1			6.0	内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR4/3	粗 (~φ2mmの小石含)	良	底部 7/12		
483	1270-05	石製品	石匙	J-O21	Pit1	3.36	6.54	0.78		—	—	—	—	ほぼ 完形	重さ12.6g サヌカイト
484	1351-04	石製品	剥片	J-Y7	Pit1	2.7	1.7	0.5		—	—	—	—	—	重さ(1.6g) サヌカイト
485	1351-01	石製品	切目石鏝	J-U9	Pit1	3.35	5.8	1.9		—	—	—	—	—	重さ56.0g 泥岩
486	540-06	石製品	石敷	E-X12	北区 Pit1	1.71	1.39	0.24		—	—	—	—	—	重さ0.6g 青チャート
487	1351-03	石製品	UF	J-X7	Pit1	4.05	2.9	1.1		—	—	—	—	—	重さ11.4g チャート
488	439-01	弥生土器	壺	G-V3	SH1026	23.8			内: ナデ・ヨコナデ 外: ナデ・ヨコナデ	橙 5YR6/8	やや密 (~3mmの小石を 含)	良	口縁部 1/12	瘤状突起貼付けか?	
489	438-02	弥生土器	太頸壺	G-V4	SH1026 No. 10				内: ナデ 外: ナデ・半籠竹管文	橙 7.5YR7/6	粗	良	口縁部 1/12以下		
490	437-01	弥生土器	太頸壺	G-V4	SH1026 No. 9	17.6			内: ナデ 外: ナデ・ハケメ?・沈線?	橙 5YR6/8 明赤褐 5YR5/6	密	良	口縁部 4/12	被熱	
491	437-02	弥生土器	壺	G-V3	SH1026 No. 3				内: ナデ? 外: ナデ・直線文	灰黄橙 10YR5/2 褐灰 10YR4/1	やや粗	良	体部		
492	437-3	弥生土器	壺	G-V3	SH1026				内: ナデ・ハケメ 外: ナデ・ハケメ・刻目	浅黄橙 10YR8/3	密 (2mm砂粒少量含)	良	小片		
493	438-04	弥生土器	壺	G-V3	SH1026				内: ナデ・ハケメ 外: ナデ・ハケメ	橙 7.5YR6/8	粗	良	口縁部 1/12以下?		
494	438-01	弥生土器	壺	G-V3	SH1026	21.5			内: ナデ・ハケメ 外: ナデ・ハケメ・刻目	橙 7.5YR7/6 褐灰 7.5YR4/1	やや密 (~2.5mmの小石を 含)	良	口縁部 2/12		
495	416-05	石製品	柱状片刃石斧	G-V3	SH1026 No. 1	5.8	1.6	0.9		—	—	—	—	—	重さ17.7g 砂岩?
496	413-02	石製品	石皿	G-V3	SH1026 No. 11	(13)	(11.1)	(4.8)		—	—	—	—	—	重さ(1150.0g) 砂岩・NNY-SRP25
497	905-01	弥生土器	壺	P-P2	SH1305				内: 不明 外: 不明	橙 5YR6/6	密 (0.1mmまでの極細粒砂を微量 に含)	良	小片		
498	905-02	土製品	高杯内盤	P-P2	SH1305 サブトレ内(東半)	3.0				浅黄橙 7.5YR8/4	やや密	良	完形	渦巻状内盤	
499	1271-07	弥生土器	受口状口縁 壺	O-D15	SH1331				内: ナデ 外: ナデ・刺突	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片		
500	909-01	弥生土器	受口状口縁 壺	O-D16 O-E15・16	SH1331	13.5			内: ナデ 外: ナデ・刺突文・ハケメ	浅黄橙 10YR8/3 橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mmの小石を 含)	良	口縁部 1/12	外面スス付着	
501	909-03	土師器	壺	K-Y2	SH1333 柱穴B1				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗	良	口縁部 小片		
502	909-02	弥生土器	壺	K-Y2	SH1333 柱穴B1			3.6	内: ナデ? 外: ナデ・ミガキ?	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~3mmの小石を 含)	良	底部 6/12		
503	1029-05	弥生土器	壺	M-B14	SH1444 アゼ			7.0	内: ナデ 外: ハケ・ナデ	にぶい黄橙 10YR6/3	粗 (~φ4mm極細粒砂を少量 含)	良	底部 2/12		
504	1029-04	弥生土器	壺	M-C14	SH1444 南東				内: ナデ 外: ナデ・樹描直線文	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~φ1mm粗粒砂を少量 含)	良	小片		
505	1029-03	弥生土器	壺	M-B14	SH1444 北東				内: ナデ 外: ナデ・樹描直線文	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~φ3mm極細粒砂を少量 含)	良	小片		
506	1222-06	弥生土器	壺	K-T2*	SH1639 アゼ				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	環孔2個	
507	1222-05	弥生土器	壺	K-U3	SH1639 取1	13.8			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	橙 7.5YR7/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 完形		
508	1222-07	弥生土器	高杯	K-T2*	SH1639 下層				内: ハケ・ナデ 外: ミガキ	にぶい黄橙 10YR7/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	小片		
509	1222-04	須恵器	杯身	K-U3	SH1639 南東 上層	10.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	灰 7.5Y5/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12		
510	1222-08	弥生土器	高杯	K-K4	SH1641 上面				内: 不明 外: ミガキ・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm砂粒含)	良	小片		
511	1223-04	弥生土器	壺	J-P22	SH1644 北西	12.4			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12		
512	1223-05	弥生土器	壺	J-P22	SH1644 南東	15.1			内: ナデ・ハケ・刺突 外: ナデ	明黄橙 10YR7/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12		
513	1223-02	弥生土器	壺	J-Q22	SH1644 貯蔵穴			5.8	内: オサエ・ハケ 外: ナデ・工具ナデ	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	底部 4/12		
514	1223-07	弥生土器	高杯	J-A22*	SH1644 貯蔵穴				内: ナデ 外: 不明・直線文・沈線	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	不良	底部 3/12		
515	1223-03	弥生土器	高杯	J-P23	SH1644 北東				内: オサエ・ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (~4mm砂粒多含)	良	底部 4/12		
516	1223-06	弥生土器	高杯	J-P22	SH1644 壁周溝				内: ナデ・工具ナデ 外: 工具ナデ	浅黄橙 7.5YR8/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	底部 12/12		
517	1223-01	石製品	砥石	J-Q22	SH1644 南西 下層	11.2	3.4	2.6		—	—	—	—	—	重さ(138.2g) ホルンフェルス 砥面3面

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (11)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
518	1287-05	須恵器	杯蓋	J-P22	SH1644 南東				内:ロクロケズリ 外:ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2 淡黄 2.5Y7/3	密	良	小片	
519	1287-06	須恵器	杯身	J-P22	SH1644 埴土坑	13.9			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	青灰 10B66/1	密	良	口縁部 2/12	
520	1232-07	弥生土器	受口状口縁 壺	J-T21	SH1646 主柱穴1				内:不明 外:刺突文・不明	にぶい黄橙 10YR7/2	粗 (~φ3mmの小石含)	良	小片	
521	1228-04	弥生土器	壺	J-S21	SH1646 東				内:ハケ・刺突文 外:波線	橙 7.5YR6/6	粗 (径~2mm長石含)	良	口縁部 2/12	
522	1228-03	弥生土器	小型壺	J-S21	SH1646 取1		2.9		内:ハケ・ナデ 外:工具ナデ・ミガキ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (径~1mm長石含)	良	体部 12/12	上半赤彩
523	1287-04	弥生土器	壺	J-U21	SH1646 西				内:ナデ 外:ハケ・半載竹管文	にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR6/3	密	良	小片	部分赤彩
524	1228-01	弥生土器	壺?	J-P19*	SH1646 東		4.6		内:オサエ・工具ナデ 外:ハケ・ナデ	にぶい橙 5YR6/4	粗 (径~1mm砂粒含)	良	底部 8/12	
525	1229-01	弥生土器	壺	J-U20	SH1646 取3				内:ハケ・ナデ 外:ハケ・ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (径~7mm長石含)	良	体部片	
526	1228-05	弥生土器	高杯	J-S21	SH1646 西				内:ナデ 外:ミガキ・櫛描直線文	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	底部 6/12	
527	1228-02	弥生土器	脚付壺?	J-W21*	SH1646 貯蔵穴		5.8		内:ハケメ	にぶい黄橙 10YR7/4	(径~1mm長石含)	良	底部 3/12	
528	1230-01	石製品	磨製石斧	J-S21	SH1646 取2	20.1	6.9	3.3		—	—	—	—	重さ721.2g 火砕岩
529	1226-02	弥生土器	受口状口縁 壺	J-R19*	SH1645 南東				内:ナデ 外:ナデ・刺目文	にぶい黄橙 10YR7/3	密 (~2mm砂粒含)	良	小片	
530	1226-03	弥生土器	壺	J-Q19	SH1645 南西	15.8			内:オサエ・ナデ 外:ハケ・ナデ	橙 5YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	外面保付着
531	1226-04	弥生土器	壺	J-Q18	SH1645 南西				内:ハケ 外:ナデ・ハケ	灰黄 2.5Y7/2	密 (~2mm砂粒含)	良	小片	
532	1224-03	弥生土器	台付壺	J-R19	SH1645 南東		6.8		内:オサエ・ナデ 外:オサエ・ナデ	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~2mm砂粒含)	良	底部 3/12	
533	1224-01	弥生土器	壺	J-Q18*	SH1645 北西 上層		4.9		内:ケズリ 外:ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (~4mm砂粒多含)	良	底部 3/12	
534	1225-02	弥生土器	壺	J-Q19	SH1645 上面		9.8		内:ナデ 外:ハケ・ナデ	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~2mm砂粒含) 密	良	底部 2/12	
535	1226-05	弥生土器	壺	J-P20	SH1645 北東 下層		9.2		内:ナデ 外:オサエ・ナデ	淡黄橙 10YR8/4	粗 (~3mm砂粒含)	良	底部 2/12	
536	1226-06	弥生土器	壺	J-P19	SH1645 主柱穴1 取1		4.4		内:オサエ・ナデ 外:ハケ・ナデ	にぶい黄橙 10YR7/3	密 (~2mm砂粒含)	良	底部 12/12	
537	1227-03	弥生土器	壺	J-P19	SH1645 北西 下層	19.6			内:羽状文・ハケ・オサエ・ナデ 外:ナデ・ハケ・突帯・竹管文	淡黄橙 10YR8/4	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
538	1227-02	弥生土器	壺	J-P19	SH1645 北西 下層	17.6			内:オサエ・ナデ 外:波線・ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	口縁部 5/12	
539	1225-04	弥生土器	壺	J-Q19	SH1645 上面				内:オサエ・ナデ 外:ナデ・竹管文・櫛描直線文・波状 文	淡黄橙 10YR8/4	密 (~2mm砂粒含)	良	体部 2/12	
540	1225-06	弥生土器	壺	J-Q19	SH1645 南西 上層		6.0		内:オサエ・ナデ 外:工具ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	密 (~1mm砂粒含)	良	底部 3/12	
541	1224-04	弥生土器	高杯	J-Q18*	SH1645 北西 上層	20.5			内:ミガキ? 外:ミガキ?	橙 5YR6/6	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12以下	
542	1224-05	弥生土器	高杯	J-R19*	SH1645 南東				内:ナデ 外:ミガキ・刺突文・櫛描直線文	にぶい黄橙 10YR6/4	密	良	小片	
543	1225-03	弥生土器	高杯	J-Q19	SH1645 南西 上面				内:シボリ・ナデ 外:ミガキ・櫛描直線文	橙 7.5YR7/6	密	良	底部 3/12	透孔1箇所
544	1227-01	弥生土器	高杯	J-Q19	SH1645 南西				内:シボリ・オサエ・ナデ 外:ミガキ・櫛描直線文	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	底部 3/12	
545	1225-08	弥生土器	高杯	J-Q19	SH1645 南西				内:シボリ・ナデ 外:ミガキ	橙 5YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	底部 12/12	
546	1270-06	石製品	石鏃	J-Q19	SH1645 南西	(2.26)	3.06	0.7		—	—	—	—	重さ(3.8g) サヌカイト
547	1224-02	須恵器	杯蓋	J-Q20	SH1645 北東 上層	12.1			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
548	1225-01	須恵器	壺	J-Q19	SH1645 上面			4.8	内:ロクロナデ 外:ナデ・ロクロケズリ・ヘラ切り	灰白 2.5Y7/1	密	良	底部 5/12	
549	1226-01	須恵器	壺	J-P20 J-Q19	SH1645 北東 下層	18.5			内:ロクロナデ・ナデ 外:ロクロナデ・タタキ	灰白 5Y7/1	密 (~4mmの小石含)	良	口縁部 3/12	
550	1225-05	土師器	壺	J-Q17*	SH1645 南東 上層				内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 10YR8/4	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
551	1230-02	石製品	砥石	J-Q17	SH1647 貯蔵穴	14.8	3.6	2.9		—	—	—	—	砥石目・中目(#180) 重さ346.8g・砂岩 砥面3面
552	1242-07	弥生土器	壺	J-V18	SH1661 北東		3.7		内:ナデ 外:ハケ・ナデ	にぶい橙 2.5YR6/4	密 (~1mm砂粒含)	良	底部 6/12	被熱
553	1242-09	弥生土器	受口状口縁 壺	J-V18	SH1661 北東	11.7			内:オサエ・ナデ・ハケメ 外:ナデ・刺突文・ハケメ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
554	1242-08	弥生土器	壺	J-V18	SH1661 北東		2.8		内:ハケ・工具ナデ・シボリ痕・ナデ 外:工具ナデ・ミガキ	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	体部 12/12	
555	1286-07	弥生土器	壺	Q-B13	SH1683内 中央土坑		5.0		内:オサエ・ナデ? 外:工具ナデ?	にぶい橙 5YR6/4 橙 5YR7/6	密	良	底部 6/12	被熱
556	1271-05	弥生土器	壺	J-L22	SH394 土坑1				内:不明 外:不明	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
557	1271-06	弥生土器	壺	J-L22	SH394 上層		5.6		内:オサエ・工具ナデ 外:オサエ・ナデ	橙 7.5YR7/6	密	良	底部 5/12	
558	1271-04	弥生土器	高杯	J-L22	SH394 上層				内:工具ナデ・ミガキ 外:工具ナデ・ミガキ	橙 5YR6/8	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
559	1271-03	弥生土器	高杯	J-L22	SH394 上層		5.8		内:ハケ 外:ハケ	橙 5YR6/8	やや密 (~1mm砂粒含)	良	底部 1/12	
560	441-03	弥生土器	壺	G-V5	SK1027				内:オサエ・ナデ 外:オサエ・ナデ・櫛描直線文	黄橙 7.5YR7/8	粗 (~4mmの小石含)	良	小片	
561	407-01	弥生土器	壺	G-V5	SK1027	16.8			内:ナデ・櫛描直線文・波状文 外:ナデ・ハケ・櫛状具押引き	にぶい褐色 7.5YR4/5	やや粗 (~φ1mm粒多)	良	2/12	
562	439-02	弥生土器	壺	G-V5	SH1027 (2層)	23.0			内:オサエ・ナデ・ハケメ 外:ハケメ・刺目文	にぶい橙 7.5YR6/4	密	良	口縁部 1/12以下	
563	420-01	石製品	打製石斧	G-V5	SK1027 No.1	(11.8)	(10.7)	(3.6)		—	—	—	—	重さ(634.4g) ホルンフェルス
564	438-03	弥生土器	壺	G-Y9	SK1038 その①				内:オサエ・ナデ 外:ハケメ	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~2mmの小石含)	良	小片	
565	440-02	弥生土器	壺	G-Y9	SK1038		6.4		内:オサエ・ナデ 外:ナデ	明赤褐 5YR5/8 黄橙 7.5YR7/8	粗	良	底部 完形	
566	418-01	石製品	磨製石斧	M-E23	SK1050	(5.8)	6.1	2.5		—	—	—	—	重さ(123.6g) 泥岩
567	1034-03	弥生土器	壺	F-V14 F-W14	SK1418				内:ナデ 外:ナデ・櫛描直線文・波状文	淡黄橙 10YR8/3	密 (~φ3mm礫を微量含)	良	底部 2/12	

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (12)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
568	1034-05	弥生土器	壺	F-W14 F-W14	SK1418	5.6			内: オサエ・ナデ 外: ナデ・ハケ	にふい橙 5YR7/4	密 (~φ1mm粗粒砂を微量含)	良	底部 6/12	
569	1034-04	弥生土器	壺	F-W14 F-W14	SK1418				内: ナデ 外: ナデ・櫛直線文	にふい橙 7.5YR7/4	密 (~φ1mm粗粒砂を微量含)	良	小片	
570	1237-01	弥生土器	厚口鉢	J-P13* J-P14	SK1653	14.4			内: オサエ・ナデ 外: 櫛直線文・ナデ	にふい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
571	1236-07	弥生土器	壺	J-O13 J-O14	SK1653				内: ナデ 外: ナデ・刻目文	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
572	1237-03	弥生土器	壺	J-P13* J-P14	SK1653				内: オサエ・ナデ 外: ハケ・櫛直線文	橙 5YR6/6	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
573	1237-02	弥生土器	壺	J-P13* J-P14	SK1653		6.7		内: オサエ・ナデ 外: ハケ・工具ナデ	橙 7.5YR6/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	底部 7/12	
574	1238-01	弥生土器	壺	J-O20	SK1654 No.1・2・3・4・5				内: オサエ・ナデ 外: ハケ・ミガキ・櫛直線文	にふい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	体部 小片	
575	441-02	弥生土器	細頸壺	N-C9	SD1042	8.4			内: ナデ 外: ナデ・波状文・櫛直線文	橙 5YR6/8 灰黄橙 10YR4/2	やや密 (~3mmの砂粒含)	良	口縁部 2/12	
576	442-01	弥生土器	壺	N-C9	SD1042				内: オサエ後ハケメ・工具ナデ 外: ハケメ・ナデ・櫛直線文	橙 7.5YR6/6 明黄橙 10YR6/6	粗 (~3mmの砂粒含)	良	小片	
577	442-02	弥生土器	壺	N-C9	SD1042		5.5		内: オサエ・ナデ 外: ナデ・ミガキ?	橙 7.5YR6/6 褐灰 10YR4/1	粗 (~3mmの砂粒含)	良	底部 2/12	
578	441-01	弥生土器	壺	N-C9	SD1042		5.7		内: オサエ・ナデ・ヨコナデ 外: 工具ナデ・ミガキ・櫛直線文・連 弧文	暗灰黄 2.5Y4/2	やや密 (~1mmの砂粒含)	良	底部 1/12	
579	1346-03	弥生土器	壺?	J-V4	Pit2	27.0			内: ナデ 外: ナデ・ハケ・直線文	明赤橙 2.5YR5/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	被熱
580	1346-02	弥生土器	壺	J-V4	Pit2	24.0			内: 不明 外: 刻目文	橙 7.5YR7/6	粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
581	456-04	弥生土器	壺	F-U22	Pit1				内: ナデ・瘤状突起貼付 外: ナデ	淡黄橙 7.5YR8/6		良	口縁部 1/12以下	
582	457-03	弥生土器	壺	G-U5	Pit1	19.6			内: ナデ 外: ナデ・ハケメ・半截竹管文・刻突	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~3mmの小石を含)	良	口縁部 1/12	
583	459-04	弥生土器	壺	F-S25	Pit1				内: ナデ 外: ナデ・半截竹管文	橙 5YR7/8	やや密	良	小片	体部
584	1269-02	弥生土器	壺	J-R20	Pit2				内: オサエ・ナデ 外: ナデ・竹管文	淡黄橙 10YR8/4	粗 (~4mm砂粒含)	良	胃部 1/12	
585	1346-01	弥生土器	壺	J-V4	Pit2				内: オサエ・ナデ 外: ナデ・櫛直線文	褐灰 10YR4/1	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
586	1269-01	弥生土器	壺	J-R21	Pit1	25.7			内: ナデ 外: ナデ・竹管文・ハケ	にふい黄橙 10YR5/4	粗 (~6mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
587	1032-01	須恵器	高杯	M-F19	SH701 No.2	16.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白 7.5Y7/1	やや密	良	9/12	脚部二重沈線
588	1031-07	須恵器	鉢?	M-F19	SH701 中央東貯蔵穴 +南東貯蔵穴Pit1	16.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ケズリ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	
589	1032-03	須恵器	壺	M-F19	SH701 南東貯蔵穴		15.0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	体部 1/12	自然釉付着
590	1031-08	土師器	壺	M-F19	SH701 南東貯蔵穴Pit2	13.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密 (~φ1mm粗粒砂を微量含)	良	口縁部 1.5/12	
591	1032-02	土師器	壺	M-F19	SH701 南東貯蔵穴Pit2				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/3	密 (~φ1mm粗粒砂を微量含)	良	口縁部 2/12	
592	1031-06	土師器	壺	M-F19	SH701 No.1				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや粗 (~φ2mm粗粒砂を微量含)	良	底部 完形	煤付着
593	429-01	石製品	磁石	G-W3	SH1011 No.1	(11.6)	(7.5)	(6.4)	使用面2面	—	—	—	—	重さ(811.6g) 曹土砂岩
594	444-01	須恵器	短頸壺	M-C25	SH1044内 Pit6 No.4	14.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白2.5Y7/1 灰黄2.5Y7/2 灰7.5Y5/1	密 (~3mmの小石を含)	良	胃部 4.5/12	
595	458-02	須恵器	壺	M-C25	SH1044内 Pit2				内: ナデ・同心円文当具痕 外: ナデ・タタキ	橙 7.5YR7/6	密	良	小片	
596	443-02	土師器	壺	M-C25	SH1044内 Pit6 No.1	25.6			内: 不明 外: ヨコナデ・工具痕・ハケメ	淡黄橙 7.5YR8/4		良	口縁部 1/12	
597	449-03	須恵器	杯H蓋	M-J23	SH1057内 Pit1	9.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 10YR7/1 褐灰 10YR6/1	密	良	口縁部 4/12	
598	450-02	須恵器	杯H蓋	M-J23	SH1057 SK1061				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
599	454-04	須恵器	杯H身	M-J23	SK1061	9.7			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 N7/	密	良	口縁部 5/12	
600	449-04	須恵器	蓋	M-J23	SH1057	13.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y5/1 黄 5Y2/1	密	良	口縁部 1/12	
601	454-05	須恵器	短頸壺	M-K23	SK1061 (1層)	13.2			内外: 摩滅のため不明	灰N6/ 灰白 7.5Y7/1	密 (~6mmの小石含)	不良	胃部 2/12以下	
602	450-03	須恵器	横瓶?	M-J23	SH1057 SK1061				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N4/	密	良	口縁部 1/12	自然釉付着 黒N1.5/
603	450-04	須恵器	平瓶?	M-J23	SH1057 SK1061				外: ロクロナデ	暗褐 7.5YR3/3 灰黄 2.5Y7/2 灰黄橙 10YR5/2	密	良	小片	自然釉付着 暗オリーブ5Y4/3
604	454-06	土師器	壺	M-J24	SK1061				内外: 摩滅のため不明	赤橙 10YR6/6	やや密	良	小片	小型壺
605	450-05	土師器	壺	M-J23	SH1057 SK1061				内: ヨコナデ・ハケメ 外: ヨコナデ・ナデ・ハケメ	橙 7.5YR7/6 淡黄橙 10YR8/4	密 (砂粒少)	良	小片	小型壺
606	450-01	土師器	壺	M-J23	SH1057 SK1061	(20.6)			内: ヨコナデ・ハケメ 外: ヨコナデ・ハケメ	淡黄橙 7.5YR8/6 淡黄橙 10YR8/3	密	良	口縁部 1/12	長胴壺
607	455-02	土師器	長胴壺	M-J23	SK1061 (西壁)				内外: 摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	やや密	良	小片	
608	449-05	土製品	籠羽口	M-J23	SH1057				内: ナデ 外: ナデ	淡黄橙 10YR8/4 灰白 N7/	粗	良	小片	
609	448-03	土師器	壺	M-K25	SH1058	18.1			内外: 摩滅のため不明	褐灰 10YR4/1 黄橙 7.5YR7/8	密	良	口縁部 2.5/12	
610	455-01	土師器	壺	N-H3	SH1063 貯蔵穴				内: ナデ・ハケメ 外: ヨコナデ・ハケメ?	淡黄橙 10YR8/4	やや密	良	小片	内面煤付着 小型壺
611	534-02	須恵器	高杯	L-P2	SH1164				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	暗青灰 5B3/	密	良	小片	
612	534-01	土師器	壺	L-P3	SH1164 カマド No.1				内: ナデ・ハケ 外: オサエ・ナデ	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
613	807-01	須恵器	無台杯	N-U14	SH1209				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 N5/	密 (~1mm砂粒含)	良	底部 4/12	
614	812-03	土師器	壺	N-H13 N-H14	SH1213 カマド	25.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	橙 7.5YR7/6	やや密 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
615	813-03	須恵器	無台杯	N-K7	SH1220 北東	9.8	2.8	6.4	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り?	灰 5Y6/1	密	良	3/12	
616	814-04	須恵器	杯蓋 b	N-K3	SH1223 貯蔵穴1	19.7			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	橙 7.5YR6/6	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	岡山産

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (13)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
617	815-03	須恵器	杯	N-K3	SH1223 貯蔵穴1				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	密	良	小片	
618	802-03	土師器	小型壺	N-K3	SH1223 貯蔵穴1	15.2			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	橙 7.5YR7/6	やや密	良	6/12	(~1mm砂粒含)
619	815-02	土師器	壺	N-L3	SH1223 貯蔵穴2				内外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	やや粗	良	小片	
620	815-01	土師器	甌	N-L3	SH1223 貯蔵穴2				内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/3	やや粗	良	小片	
621	814-06	土師器	把手 鍋・甌	N-K2	SH1223 Pit1				内外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	把手のみ	小型品
622	814-05	土製品	土鍾	N-K3	SH1223 貯蔵穴1	4.0	1.1	1.0	外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	密	良	完形	重さ3.5g
623	814-07	石製品	台石	N-K3	SH1223 貯蔵穴1	(7.5)	(4.9)	(4.5)	使用面1面	—	—	—	—	ホルンフェルス
624	911-05	須恵器	杯H蓋	K-V10	SH1318 床面				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N6/	密	良	口縁部 1/12	
625	911-03	須恵器	杯H蓋	K-V10	SH1318 No.1, No.2				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 N8/	密	良	口縁部 1/12	自然粘付着
626	906-01	土師器	長胴壺	K-U10	SH1318 カマドNo.3	18.3			内外:摩滅甚しいが ナデ・ハケメ	明黄橙 10YR7/6	やや密	良	口縁部 完形	
627	903-02	須恵器	杯H身	K-U8	SH1320 No.14	10.8	4.6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	灰白 2.5Y7/1	密	良	7/12	
628	903-01	須恵器	杯H身	K-U8	SH1320 床面	12.2	4.8		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰 5Y6/1	やや粗	良	肩部 2/12	
629	911-02	須恵器	提瓶	K-U9	SH1320床直				内外:ロクロナデ 把手:貼り付け	灰N5/	密	良	小片	
630	907-01	土師器	壺	K-U8	SH1320 No.22	17.6			内:ナデ・ハケメ 外:ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	口縁部 3/12	
631	908-02	土師器	壺	K-U8	SH1320 No.20				内外:摩滅のため不明	黄橙 10YR8/6	密	良	口縁部 2/12	
632	908-03	土師器	壺	K-U8	SH1320 No.18				内外:摩滅のため不明	黄橙 10YR8/6	密	良	口縁部 3/12	
633	907-02	土師器	壺	K-U8	SH1320 No.1				内外:摩滅のため不明	黄橙 7.5YR7/8	やや密	良	小片	
634	908-01	土師器	壺	K-V8	SH1320	(33.6)			内外:摩滅のため不明	黄橙 10YR8/6	やや密 (1~2mmの小石を含)	良	口縁部 1/12	
635	911-04	須恵器	杯H蓋	K-X8	SH1321 No.4	12.9			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰N6/ 灰N4/	密	良	口縁部 1/12 中心あり	
636	910-02	須恵器	杯H身	K-W8	SH1321 北西貯蔵穴No.1				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰N4/ 灰白7/	密	良	口縁部 1.5/12	
637	909-05	須恵器	杯H身	K-X8	SH1321 No.6	12.3			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	
638	910-01	土師器	壺	K-W7	SH1321 南西貯蔵穴				内外:摩滅のため不明	橙5YR7/6	やや密	良	小片	小型壺
639	903-03	須恵器	杯H蓋	K-U6 K-V6	SH1322 No.8床面直上 No.9	12.5	3.6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰 10Y6/1	密	良	口縁部 9/12	
640	909-04	土師器	把手 鍋・甌	K-V6	SH1322 No.4				内:ハケ 外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	密 (~4mmの小石を含)	良	把手のみ	
641	902-02	石製品	磁石	K-U5	SH1322	10.5	3.5	1.2	使用痕4面	—	—	—	—	ホルンフェルス
642	1023-08	土師器	壺	M-A13	SH1436 南東土坑	12.0			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/3	密 (~φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	4/12	
643	1024-04	土師器	製塩土器	F-Y13	SH1436 東土坑	(6.0)			内:ナデ 外:ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	密	良	1/12	美濃式?
644	1024-05	土師器	製塩土器	F-Y13	SH1436 東土坑	(7.0)			内:ナデ 外:ナデ	にぶい橙 5YR7/4	密 (~φ0.5mm中粒砂を極微量 含)	良	1/12	美濃式?
645	1024-03	土師器	製塩土器	F-Y13	SH1436 東土坑	(7.0)			内:ナデ・オサエ 外:ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR7/4	密 (~φ1mm中粒砂を極微量含)	良	1/12	美濃式?
646	1022-01	須恵器	杯H蓋	M-B16	SH1438 北東区	9.1			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 10Y6/1	密	良	口縁部 2.5/12	猿投窯
647	1023-03	須恵器	杯H蓋	M-A17	SH1438 Pit2=中央土坑	11.0	2.4		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 2.5Y7/1	密	良	口縁部 2.5/12	湖西窯
648	1023-07	須恵器	杯H身	M-A17	SH1438 北東土坑No.1	10.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	密	良	完形	湖西窯
649	1023-05	須恵器	杯H身	M-A16	SH1438 Pit2=カマド周辺				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	良	小片	猿投窯
650	1023-04	須恵器	杯B	M-A16	SH1438 Pit2=カマド周辺	13.2	4.5	8.8	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	箱灰 10YR5/1	密	良	2/12	貼付高台
651	1023-06	須恵器	高杯	M-A17	SH1438 Pit2=中央土坑				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	脚縁部 小片	
652	1022-02	須恵器	壺	M-B16	SH1438 南西				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 10Y6/1	密	良	小片	
653	1023-02	土師器	製塩土器	M-A17	SH1438 Pit2=中央土坑				内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 7.5YR8/4	密 (~φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	小片	美濃式?
654	1022-07	土師器	製塩土器	M-A16	SH1438 カマド周辺	(6.0)			内:ナデ 外:ナデ	橙 5YR7/6	密 (~φ0.5mm中粒砂を極微量 含)	良	小片	美濃式?
655	1023-01	土師器	製塩土器	M-A17	SH1438 Pit2=中央土坑	(7.0)			内:ナデ 外:ナデ	にぶい橙 7.5YR5/4	密 (~φ1/4mm中粒砂を極微量 含)	良	小片	美濃式?
656	1022-03	土師器	杯	M-A16	SH1438				内:ナデ・放射状暗文 外:ナデ	橙 5YR7/6	密 (~φ0.5mm中粒砂を極微量 含)	良	小片	
657	1021-01	土師器	小型壺	M-A16	SH1438 No.4・No.5=カマド	13.0			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ・ヘラケズリ	淡黄橙 10YR8/4	やや密 (~φ1mm粗粒砂を極微量 含)	良	口縁部 完形	
658	1024-02	土師器	壺	M-A16	SH1438 No.5=カマド				内:ハケ・オサエ 外:ハケ・ケズリ	淡橙 5YR8/3	やや密 (~φ2mm粗粒砂を極微量 含)	良	体部 小片	
659	1022-05	土師器	壺	M-A17	SH1438 北東土坑No.3	21.0			内:ナデ・ハケ・オサエ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	密 (~φ0.5mm中粒砂を極微量 含)	良	口縁部 3/12	
660	1021-02	土師器	壺	M-A16	SH1438 No.5=カマド	16.0			内:ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/6	密 (~φ2mm粗粒砂を極微量 含)	良	口縁部 2/12	
661	1021-03	土師器	壺	M-B16	SH1438 南西				内:ナデ・オサエ・ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/4	やや密 (~φ2mm粗粒砂を極微量 含)	良	口縁部 1/12	
662	1022-04	土師器	壺	M-A17	SH1438 北東土坑No.2	20.8			内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 7.5YR8/3	密 (~φ1mm粗粒砂を極微量 含)	良	口縁部 1.5/12	
663	1022-06	土師器	壺	M-A17	SH1438 北東土坑No.3	20.0			内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 10YR8/3	密 (~φ0.5mm中粒砂を極微量 含)	良	口縁部 3/12	近江系
664	1024-01	土師器	長胴壺	M-A16	SH1438 No.1				内:ハケ 外:ハケ	淡黄橙 10YR8/4	やや密 (~φ2mm粗粒砂を極微量 含)	良	体部片	
665	1025-01	土製品	籠羽口	M-A16	SH1438 カマド	14.0		孔径 2.4~	内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 10YR8/3	密 (~φ3mm礫を極微量含)	良	ほぼ完形?	
666	1030-03	須恵器	杯H蓋	M-D13	SH1450 北東土坑No.1	10.9	3.9		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	灰白 5Y7/1	密	良	完形	自然粘付着

第 32 表 遺物観察表 (14)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
667	1030-02	須恵器	杯H身	M-D13	SH1450 北東土坑No. 2	11.4	3.0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	灰白 5Y7/1	密	良	完形	自然釉付着
668	1030-04	土師器	小型壺	M-E13	SH1450内 Pit1	13.2			内外: 摩滅の強い 外: ハケ	淡黄橙 7.5YR8/4	密 (〜φ2mm極粗粒砂を少量含)	良	口縁部 2/12	
669	1030-05	土師器	小型壺	M-D13	SH1450内 Pit2	13.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/4	密 (〜φ1mm粗粒砂を微量含)	良	口縁部 7/12	
670	1033-06	須恵器	杯H蓋	G-08	SH1496	11.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	
671	1033-05	土師器	壺	G-08	SH1496	14.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密 (〜φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	口縁部 2/12	
672	1034-01	土師器	壺	G-08	SH1496				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄 2.5Y8/3	密 (〜φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	口縁部 1/12	
673	1033-07	土師器	壺	G-08	SH1496				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/4	密 (〜φ0.5mm中粒砂を極微量含)	良	口縁部 1/12	
674	1034-02	土師器	製塩土器	G-08	SH1496	(6.7)			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	淡赤橙 2.5YR7/4	やや粗 (〜φ2mm極粗粒砂を微量含)	良	口縁部 2/12	
675	1118-05	須恵器	杯H蓋	L-G15	SH1515 貯蔵穴	(13.4)			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 7.5Y4/1	密	良	小片	
676	1118-07	須恵器	杯H身	L-G14	SH1515 表土掘削中	(12.2)			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
677	1118-08	土師器	壺	L-116	SH1516貯蔵穴 (土器1〜7)				内: ハケ・ケズリ 外: ハケ	にぶい黄褐 10YR5/3	粗 (径〜2mm粗粒多含)	良	体下部 完形	
678	1115-08	須恵器	高杯	L-D21	SH1562 Pit12-貯蔵穴		10.0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	良	底部 2/12	
679	1118-06	須恵器	壺	L-D21	SH1562 Pit4=カマド内				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	やや密	良	小片	内面自然釉付着
680	1115-07	土師器	壺	L-E21	SH1562 貯蔵穴 (SK1573)	18.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	口縁部 3/12	
681	432-02	土師器	壺	T9	②=SH1562	18.0			内外: 摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	やや密	良	口縁部 2/12	
682	432-03	土師器	瓶	T9	②=SH1562	26.5			内: ハケメ・タテケズリ・ヨコナデ 外: ヨコナデ・ハケメ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	口縁部 1/12	
683	1118-03	土師器	瓶	L-D21	SH1562 カマド崩落土中				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (径〜1mm砂粒含)	良	底部片	孔は半月状2つか
684	1123-01	石製品	砥石	L-D21	SH1562 貯蔵穴 (SK1573)	(12.2)	7.6	8.6	使用面3面	—	—	—	破片	重さ(1.05kg) 砂岩
685	1118-02	土師器	壺	M-D6	SH1598 貯蔵穴Pit1	18.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (径〜1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
686	1209-05	須恵器	杯H蓋	K-S17	SH1606 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	やや密	やや不良	縁 1/12	
687	1208-07	土師器	壺	K-S17	SH1606 貯蔵穴 取1〜3	14.8			内: ナデ・ハケ・オサエ・工具ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	密	良	7/12	
688	1210-02	須恵器	杯H蓋	K-O15	SH1607 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	灰 10Y5/1	やや密 (〜2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
689	1210-06	須恵器	杯H身	K-P15	SH1607 Pit2	10.2	3.7		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (〜3mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
690	1211-06	須恵器	杯H身	K-P15	SH1607 南東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	灰 7.5Y5/1	やや粗 (〜3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
691	1210-01	須恵器	高杯蓋	K-O15	SH1607 北東	13.9	5.3	細径 3.8	内: ロクロナデ・同心円文当具痕 外: ロクロナデ・ロクワズリ・鋳貼	灰 10Y5/1	粗 (〜4mm黒色粒多含)	良	8/12	
692	1210-03	須恵器	平瓶	K-P15	SH1607				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y4/1	やや粗 (〜3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
693	1210-05	土師器	壺	K-P15	SH1607 北東	18.0			内外: 摩滅のため不明	黄橙 10YR5/6	粗 (〜3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
694	1210-04	土師器	壺	K-P15	SH1607 取1				内外: 摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	粗 (〜5mm砂粒含)	良	底部 4/12	
695	1211-05	須恵器	杯H蓋	K-L10	SH1617 東アゼ	12.8	4.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	暗緑灰 10B4/1	やや粗 (〜4mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
696	1211-03	須恵器	杯H身	K-L10	SH1617 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 7.5Y4/1	やや密 (〜1mm砂粒含)	良	小片	
697	1211-02	須恵器	杯H身	K-M10	SH1617 南東	10.2	3.1		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰 5Y5/1	やや密 (〜1mm砂粒含)	良	2/12	
698	1211-01	須恵器	高杯	K-L10	SH1617 北アゼ			9.7	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N4/	粗 (〜5mm黒色粒含)	良	脚部 1/12	三方透
699	1211-04	須恵器	壺	K-L10	SH1617 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・二重沈線	暗灰 N3/	やや密 (〜2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
700	1216-01	須恵器	横瓶	K-L10	SH1617 取4	12.8			内: ロクロナデ・同心円文当具痕 外: ロクロナデ・タタキ (平行or縦格 子)	灰 N5/	やや密	良	口縁部 4/12	自然釉付着 火ぶくれ
701	1212-01	須恵器	提瓶	K-L10	SH1617 取1				内: ロクロナデ 外: 平行タタキ・カキメ・中心線	灰白 2.5Y7/1	やや密 (〜2mm砂粒含)	良	3/12	自然釉付着
702	1288-02	土師器	壺	K-L10	SH1617 取り上げ2	18.2			内外: 摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR6/4	密	良	口縁部 2/12	
703	1213-01	土師器	壺	K-L10	SH1617 北西	16.0			内外: 摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	密 (〜2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
704	1214-05	須恵器	杯H蓋	K-P10 K-P11	SH1624 北西下層	12.8	3.7		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部1/12 中心あり	
705	1214-04	須恵器	杯H蓋	K-P10	SH1624 北西 主柱穴1	12.8	4.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	淡黄橙 10YR8/4	密	やや不良	2/12	猿投窯
706	1213-04	須恵器	杯H身	K-P11	SH1624 南西上層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	密	良	口縁部 1/12	
707	1215-01	須恵器	杯H身	K-P11	SH1624 取2	11.2	4.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ	灰白 7.5YR8/1	密 (直径3mm以下の砂粒含)	良	6/12	朱書 ヘラ記号「x」
708	1213-03	須恵器	杯H身	K-P10 K-P11	SH1624 南西取5	11.4	4.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラコソ	灰 N6/	密	良	口縁部 4/12	
709	1213-02	須恵器	杯H身	K-P10 K-P11	SH1624 南西	11.9	3.9		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰 N6/	密 (〜1mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
710	1216-02	須恵器	杯H身	K-P11	SH1624 取4	12.0	4.1		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラコソ	灰 N6/	密	良	4/12	
711	1216-03	須恵器	高杯蓋	K-P11	SH1624 取1	13.0	4.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクワズリ・鋳貼	灰 5Y6/1	やや粗 (径〜1mm砂粒含)	やや不良	完形	
712	1214-09	須恵器	高杯	K-P10 K-P11	SH1624 北西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y8/1	密	良	脚部のみ	透かしあり
713	1216-04	須恵器	壺瓶類	K-P11	SH1624 アゼ	(8.0)			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・二重沈線	灰黄 2.5Y7/2	やや密	良	口縁部 3/12	歪み大
714	1214-03	土師器	壺	K-P10 K-P11	SH1624 北西				内: ナデ・ハケ 外: 摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	やや粗	良	小片	
715	1214-02	土師器	壺	K-P10 K-P11	SH1624 北西				内外: 摩滅のため不明	明黄橙 10YR7/6	やや粗	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (15)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
716	1214-06	土師器	壺	K-P11	SH1624 北東上層				内外：摩滅のため不明	淡黄緑 10YR8/4	密 (~2mm砂粒含)	良	小片	
717	1213-07	土師器	壺	K-P11	SH1624 南西上層	17.6			内外：摩滅のため不明	淡黄緑 10YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
718	1214-01	土師器	壺	K-P11	SH1624 北西上層	17.8			内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2割/12	
719	1216-05	土師器	壺	K-P11	SH1624 北東上層 取4	18.4			内：摩滅のため不明 外：摩滅のため不明瞭、工具ナデ?	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (径~2mm砂粒含)	良	口縁部 7/12	
720	1213-08	土師器	壺	K-P11	SH1624 南東上層	19.2			内外：摩滅のため不明	黄緑 10YR8/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
721	1213-06	土師器	把手 鏡・瓶	K-P11	SH1624 南西上層				内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	淡黄緑 7.5YR8/6	やや粗	良	把手のみ	
722	1288-06	須恵器	壺	K-P7	SH1628				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰N5/	密		小片	
723	1219-02	須恵器	杯H蓋	K-P10	SH1631 取1	13.4	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	密	良	10/12	
724	1218-03	須恵器	杯H身	K-Q9	SH1631 南東上層	11.7			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 10Y5/1	密	良	口縁部 2/12	
725	1218-09	須恵器	杯H身	K-P9	SH1631 取3	12.7	3.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	やや密	不良	4/12	
726	1218-05	須恵器	杯H身	K-P9	SH1631 カマド内	12.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N5/	密	良	口縁部 2/12	
727	1218-01	須恵器	杯H身	K-P10	SH1631 北東	10.0	4.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 7.5Y5/1	密 (~φ2mmの小石含)	良	底部 2/12	
728	1214-08	須恵器	杯H身	K-P9 K-P10	SH1631 北東	11.2	4.6		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部1/12 底部5/12	
729	1219-01	須恵器	杯H身	K-Q9	SH1631 北西	10.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1.5/12	
730	1218-08	須恵器	杯H身	K-P10	SH1631 北東	10.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 7.5Y6/1	密	良	口縁部 4/12	ヘラ記号
731	1218-10	須恵器	杯H身	K-P10 +K-R12	SH1631 南東上層 +SB1614 P115	11.2	4.5		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/2	密	良	底部 5/12	
732	1218-06	須恵器	杯H身	K-P10	SH1631 北東	10.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 10Y5/1	密 (~φ2mmの小石含)	良	口縁部 1/12	
733	1218-04	須恵器	杯H身	K-Q9	SH1631 北東土柱穴	10.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
734	1218-07	須恵器	杯H身	K-P9	SH1631 取6				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	淡黄 2.5Y7/3	密	良	底部 3/12	ヘラ記号
735	1219-04	須恵器	高杯	K-Q10	SH1631 取2	12.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ、工具による刺突文	灰黄 2.5Y7/2	密 (~φ1mmの小石含)	良	杯部 7/12	三方透
736	1218-02	須恵器	高杯	K-Q9	SH1631 南東上層				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ、沈線	灰黄 2.5Y7/2	密 (~φ1mmの小石含)	良	底部 2/12	三方透
737	1219-03	須恵器	壺?	K-P10	SH1631 上面検出				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ、文様あり	灰白 5Y7/1	密	良	小片	
738	1220-01	土師器	壺	K-P9	SH1631 取4	17.7			内：ハケ 外：摩滅のため不明	明黄緑 10YR7/6	やや密 (~φ2mmの小石含)	良	口縁部 1/12	
739	1217-05	土師器	壺	K-A10*	SH1631 貯蔵穴2	19.8			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	明黄緑 10YR6/6	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
740	1217-04	土師器	壺	K-Q10	SH1631 南東上層	18.9			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密	良	口縁部 4/12	
741	1217-01	土師器	壺	K-P10	SH1631 貯蔵穴1	18.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
742	1216-06	土師器	壺	K-P9 K-P10	SH1631 北	16.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	淡黄 2.5Y7/3	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
743	1219-05	土師器	壺	K-P10	SH1631				内：ナデ・ハケ 外：ナデ	にぶい黄緑 10YR7/3	やや密	良	小片	
744	1288-01	土師器	壺	K-P10	SH1631				内外：摩滅のため不明	淡黄緑 10YR8/4	密	良	小片	
745	1220-02	土師器	壺	K-P9	SH1631 取5	37.4			内：ハケ? 外：ナデ?	にぶい黄緑 10YR6/4	やや密 (~2mmの小石含)	良	口縁部 2/12	
746	1217-02	土師器	把手 鏡・瓶	K-P10	SH1631 北東				内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	明黄緑 10YR6/6	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	把手のみ	
747	1217-03	土師器	把手 鏡・瓶	K-P10	SH1631 北東				内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	橙 5YR6/6	粗 (径~1mm砂粒含)	良	把手のみ	
748	1216-07	土師器	瓶	K-P9	SH1631 カマド				内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	橙 5YR6/6	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
749	1219-06	土師器	瓶	K-P10	SH1631 アゼ		12.0		内：ナデ・ハケ 外：工具ナデ・ハケ	橙 5YR6/6	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	底部2/12 底面欠損	
750	1231-07	須恵器	杯H身	J-S17	SH1648 北東	13.0	4.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N5/	やや密	良	3/12	
751	1231-04	土師器	壺	J-S16	SH1648 北西				内：オサエ・ナデ 外：ハケ・ナデ	にぶい黄緑 10YR5/4	粗 (径~4mm長石含)	良	底部 のみ	
752	1231-05	土師器	瓶	J-S16	SH1648 カマド	25.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄 2.5Y6/3	やや密 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
753	1232-04	須恵器	杯H蓋	J-S17	SH1649 カマド	14.0	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 7.5Y7/1	やや密 (~φ2mmの小石含)	良	口縁部 3/12	
754	1232-03	須恵器	杯H身	J-U16	SH1649 内土坑1 取1	11.6	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	やや密 (~φ3mmの小石含)	やや 不良	口縁部 5/12	
755	1232-02	須恵器	杯H身	J-S16	SH1649 北東	12.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (~5mm小石含)	良	口縁部 2/12	
756	1232-01	須恵器	杯H身	J-S16	SH1649 南東	12.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 3/12	
757	1232-05	須恵器	壺	J-S16	SH1649 北東	10.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 5/12	
758	1232-06	須恵器	壺	J-S16	SH1649 北東				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 5Y5/1	密	良	小片	
759	1233-01	土師器	把手 鏡・瓶	J-S17	SH1649 カマド				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR5/3	やや粗 (~φ3mmの小石含)	良	把手のみ	
760	1233-02	土師器	把手 鏡・瓶	J-T15 J-T16	SH1649 北西				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	黄緑 10YR8/6	やや密 (~φ2mmの小石含)	良	把手のみ	
761	1235-03	須恵器	杯H蓋	J-R15	SH1650 北西				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N4/	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
762	1233-04	須恵器	杯H蓋	J-R15	SH1650 No.2	14.4	5.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	やや密 (~φ2mmの小石含)	やや 不良	2/12	
763	1235-02	須恵器	杯H身	J-R15	SH1650 北西	11.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y5/1	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	外面に黒ガラ付着
764	1233-05	須恵器	杯H身	J-Q15	SH1650 No.3	12.0	4.9		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	密	良	10/12	
765	1235-07	須恵器	杯H身	J-R15	SH1650 付近				内：ロクロナデ・ナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 7.5Y7/1	密	やや 不良	底部 6/12	
766	1234-02	土師器	高杯	J-R15	SH1650 付近				内：ナデ 外：ハケ・ナデ	橙 2.5YR6/6	密 (~φ2mmの小石含)	良	杯部 7/12	

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (16)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
767	1233-03	土師器	壺	J-R15	SH1650 アゼ				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄緑 10YR7/3	やや密	良	小片	
768	1236-05	土師器	壺	J-R15	SH1650 南東				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	黒斑
769	1234-01	土師器	壺	J-R15	SH1650				内: ナデ・オサエ 外: 不明	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~φ2mmの小石含)	良	底部 残部	
770	1235-06	土師器	壺	J-R15	SH1650 付近	16.2			内: ハケ・ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR6/4	やや密	良	口縁部 3/12	
771	1236-02	須恵器	杯H蓋	J-O15	SH1651	14.7	5.3		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y6/2	密	良	積 6/12	
772	1235-05	須恵器	杯H蓋	J-O19*	SH1651 アゼ	14.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	やや密 (~7mm小石砂粒含)	良	口縁部 2/12	
773	1235-08	須恵器	杯H身	J-O16	SH1651 北東	11.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい黄 2.5Y6/3	やや粗 (~5mm小石砂粒含)	良	口縁部 2/12	
774	1236-03	須恵器	壺	J-P16	SH1651 南東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・刺突	灰黄 2.5Y6/2	密	良	体部片	
775	1236-06	土師器	高杯	J-P16	SH1651 アゼ				内: シボリ・ナデ 外: ナデ・オサエ	橙 5YR6/6	やや密 (~3mm砂粒含)	良	脚部	
776	1236-04	土師器	把手 鍋・瓶	J-P16	SH1651 アゼ				内: ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (~5mm小石砂粒含)	良	把手のみ	
777	1239-02	須恵器	杯H身	J-P11	SH1652 南東	12.7	4.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	やや粗 (~2mm長石含)	良	受部 2/12	
778	1239-01	須恵器	杯H身	J-O12*	SH1652 貯蔵穴				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N4/	密	良	受部 1/12	
779	1239-03	土師器	高杯	J-P11	SH1652 南西				内: ナデ・シボリ 外: ナデ	橙 7.5YR6/6	やや粗 (径~4mm長石含)	良	脚部 6/12	
780	1239-05	土師器	把手 鍋・瓶	J-P11	SH1652 南東				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄緑 10YR5/3	やや粗 (径~1mmの長石含)	良	把手のみ	
781	1239-04	土師器	壺	J-P11	SH1652 南東	18.6			内外: 摩滅のため不明	淡黄 2.5Y8/3	やや密	良	口縁部 2/12	
782	1241-03	須恵器	杯H蓋	J-S10	SH1659 貯蔵穴 取1	13.5			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y4/1	やや粗 (径~5mm長石含)	良	口縁部 3/12	
783	1241-04	須恵器	杯H身	J-O9 J-O10	SH1659 南	15.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	粗 (径~4mm砂粒含)	良	体部 3/12	
784	1241-05	須恵器	杯H身	J-S10	SH1659 貯蔵穴 取3	12.5	4.0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	やや粗 (径~1mm長石含)	良	3/12	
785	1241-06	須恵器	杯H身	J-S10	SH1659 取4	13.0	5.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	粗 (径~2mm砂粒含)	良	6/12	
786	1241-02	須恵器	壺	J-S10	SH1659 貯蔵穴	(19.0)			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	
787	1286-03	土師器	壺	J-U9・10	SH1659 北	15.7			内外: ナデ? 摩滅のため不明	橙 7.5YR6/6	密	良	口縁部 1/12	
788	1286-02	土師器	壺	J-U9・10	SH1659 北	17.7			内外: 摩滅のため不明	淡黄緑 7.5YR6/4	やや粗	良	口縁部 2/12	
789	1240-06	土師器	壺	J-O9 J-O10	SH1659 南	17.0			内: ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR5/4	粗 (径~8mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
790	1241-01	土師器	壺	J-S10	SH1659				内: ハケ・オサエ・ナデ 外: ハケ	にぶい黄緑 10YR5/3	粗 (径~8mm砂粒含)	良	底部	
791	1301-01	土師器	把手 鍋・瓶	J-S9	SH1659				内: ハケ 外: ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄緑 10YR6/4	粗 (径~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
792	1242-03	須恵器	杯H蓋	J-T11	SH1660				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	やや密 (~2mm砂粒含)	やや不良	天井部 のみ	
793	1242-05	須恵器	杯H身	J-U11	SH1660	13.0	3.6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰 7.5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	4/12	
794	1242-02	須恵器	高杯蓋?	J-T11	SH1660				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	淡黄緑 10YR8/3	密	良	口縁部 1/12	
795	1242-04	土師器	壺	J-T11	SH1660				内外: 摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
796	1243-04	須恵器	杯H蓋	J-U15	SH1662 貯蔵穴2	13.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
797	1243-06	須恵器	杯H身	J-U15	SH1662 南西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 7.5Y6/1	やや密 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
798	1243-01	須恵器	杯H身	J-U15	SH1662 貯蔵穴1	9.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	
799	1243-02	須恵器	壺	J-U15	SH1662 貯蔵穴1				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	口縁部 1/12	
800	1243-07	土師器	壺	J-U15	SH1662 北東				内外: 摩滅のため不明	橙 7.5YR6/6	密	良	口縁部 2/12	
801	1286-01	土師器	壺	J-U15	SH1662 貯蔵穴1	14.4			内: ナデ・ハケメ 外: ナデ・ハケメ	橙 7.5YR7/6	密	良	口縁部 2/12	
802	1243-03	土師器	壺	J-U15	SH1662 貯蔵穴1	14.4			内: ハケ・ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR6/4	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
803	1243-08	土師器	壺	J-U16	SH1662 Pit1	23.4			内外: 摩滅のため不明	明黄緑 10YR7/6	やや粗	良	口縁部 1/12	
804	1243-05	土師器	高杯	J-U15	SH1662 貯蔵穴2		10.0		内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・工具ナデ	橙 7.5YR6/6	やや密 (~2mm砂粒含)	良	脚部 2/12	
805	1244-03	須恵器	杯H身	J-Y18	SH1663 貯蔵穴				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密 (~1mm砂粒含)	良	受部 2/12	
806	1244-01	土師器	壺	J-Y18	SH1663 北東				内: ナデ 外: ナデ・オサエ?	にぶい黄緑 10YR7/4	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
807	1285-04	土師器	移動式 壺?	J-V18	SH1663 北西				内: 摩滅のため不明 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	密	良	小片	
808	1244-04	須恵器	杯H蓋	J-W17*	SH1664 南西	13.1			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
809	1244-07	須恵器	杯H蓋	J-W17*	SH1664 北東	13.2			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
810	1244-02	須恵器	杯H蓋	J-W17*	SH1664 北西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄緑 10YR5/2	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
811	1244-10	須恵器	杯H身	J-W17*	SH1664 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	密 (~1mm砂粒含)	不良	小片	
812	1244-08	須恵器	杯H身	J-W17*	SH1664 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密 (~1mm砂粒含)	良	受部 2/12	
813	1244-09	須恵器	杯H身	J-W17*	SH1664 北東	11.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 N7/	密 (~2mm砂粒含)	良	3/12	
814	1244-06	須恵器	杯H身	J-W17*	SH1664 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密 (~1mm砂粒含)	良	受部 2/12	
815	1244-05	須恵器	壺 蓋?	J-W17*	SH1664 南西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・洗線・刺突	灰白 N7/	密 (~2mm砂粒含)	良	体部片	
816	1245-01	須恵器	壺	J-W17*	SH1664 北東	10.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・洗線・波状文	灰白 10Y7/1	密 (~3mm砂粒含)	やや不良	口縁部 4/12	
817	1245-02	土師器	壺	J-W17*	SH1664 北東	17.8			内: 摩滅のため不明 外: ナデ・ハケ	明黄緑 10YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (17)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
818	1247-01	土師器	壺	J-V13	SH1672 北				内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
819	1247-03	土師器	把手 鍋・瓶	J-V13	SH1672 北				内：オサエ・ナデ 外：ナデ	淡黄 2.5Y8/3	粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
820	1302-01	須恵器	杯H蓋	J-Y8 Q-A8	SH1674No. 4 +SK1695	14.6	4.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	やや密	良	3/12	
821	1304-01	須恵器	杯H蓋	J-Y9	SH1674 柱穴82付近	14.0	3.9		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 7.5Y4/1	密	良	口縁部 1.5/12	
822	1302-02	須恵器	杯H身	J-Y8	SH1674 柱穴61				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 7.5Y6/1	やや密	良	受部 1/12	
823	1302-03	須恵器	杯H身	J-Y8	SH1674	12.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	やや密	良	口縁部 1.5/12	
824	1301-04	須恵器	杯H身	J-X8	SH1674 No. 16	13.4	4.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N6/	やや密	良	6/12	自然釉付着
825	1248-05	須恵器	杯H身	J-V9*	SH1674北西 +SH1682	12.5			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	にぶい黄緑 10YR7/3	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
826	1304-03	須恵器	高杯蓋	J-X8 J-Y8・9	SH1674 No. 1・2	4.8	6.15	口径 4.6	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・カキメ・ナデ	灰 N6/	やや密	良	3/12	
827	1304-02	須恵器	高杯	J-Y8	SH1674 No. 8			10.2	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・二重沈線	灰 N6/	密	良	底部 5/12	三方透
828	1248-04	須恵器	壺	J-X8-9* J-V9 +J-V1	SH1674北 +SK1673取2 +SH1821	13.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y7/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 10/12	
829	1302-04	須恵器	瓶	J-Y8	SH1674 No. 9				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	灰白 5Y7/2	密	良	把手のみ	
830	1302-05	土師器	高杯	J-Y9	SH1674 南側土坑 No. 13・14・15 =南東土坑	13.3	8.6	7.8	内：摩滅のため不明 外：ナデ・ハケ	明赤褐 5YR5/6	粗 (径~6mm長石含)	良	全体 10/12	
831	1303-05	土師器	壺	J-X8	SH1674				内外：摩滅のため不明	灰黄褐 10YR5/2	粗 (径~4mm砂粒含)	良	小片	
832	1303-07	土師器	壺	J-Y8	SH1674				内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR6/4	粗 (径~1mm砂粒含)	良	小片	
833	1248-06	土師器	壺	J-X9	SH1674南	17.7			内：ナデ・ハケ 外：オサエ・ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
834	1303-09	土師器	瓶	J-Y8	SH1674	(21.6)			内：オサエ・ナデ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄褐 10YR5/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
835	430-05	土師器	把手 鍋・瓶	T2	③=SH1674				内：ナデ 外：オサエ・ナデ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや粗 (1~4mmの小石を含)	良	把手のみ	
836	1301-03	土師器	把手 鍋・瓶	J-Y8	SH1674 No. 5				内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (径~5mm砂粒含)	良	把手のみ	
837	1303-04	土製品	土鏝	J-Y8	SH1674	(3.4)	1.2	1.2	外：ナデ	にぶい黄緑 10YR7/3	粗 (径~4mm砂粒含)	良	4/12	重さ(4.2g)
838	1303-03	土製品	土鏝	J-Y8	SH1674	(3.8)	1.7	1.7	外：ナデ	淡黄緑 10YR8/3	密	良	3/12	重さ(8.2g)
839	1303-01	土製品	土鏝	J-Y8	SH1674	(3.1)	2.0	(1.2)	外：ナデ	にぶい黄緑 10YR7/4	粗 (径~4mm砂粒含)	良	3/12	重さ(6.2g)
840	1303-02	土製品	土鏝	J-Y8	SH1674	(4.3)	(1.9)	(1.0)	外：ナデ	明黄褐 10YR7/6	粗 (径~1mm砂粒含)	良	3/12	重さ(6.5g)
841	1270-01	石製品	紡錘車	J-X9	SH1674	上径 3.23	(0.87)	孔径 0.6	研磨・穿孔	—	—	—	上半のみ	重さ(10.94g) ホルンフェルス
842	1351-05	石製品	磁石	J-Y8	SH1674 No. 7	15.8	23.0	4.6	石皿を転用?	—	—	—	一部欠損	重さ(2.15kg) 砂岩
843	1250-07	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 北	12.4	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	やや粗 (径~5mm砂粒含)	良	3/12	
844	1250-09	須恵器	杯H身	Q-C10	SH1675 取1・2	12.0	5.1		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N5/	粗 (~2mm砂粒含)	良	10/12	
845	1250-08	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 取3	11.7	5.5		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	粗 (~3mm砂粒含)	良	12/12	
846	1250-06	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 南東	12.9	5.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	やや密	良	3/12	
847	1250-03	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 取4	11.9			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	粗 (径~4mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
848	1250-05	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 取3	12.5			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	やや密	不良	口縁部 2/12	
849	1250-02	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 取4	13.0	4.6		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N6/	やや密 (径~1mm砂粒含)	良	4/12	
850	1250-04	須恵器	杯H身	Q-C11	SH1675 南東	13.9			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N5/	やや粗 (径~1mm長石含)	良	口縁部 2/12	
851	1250-01	須恵器	高杯	Q-C11	SH1675 西	12.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N5/	やや粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
852	1249-04	須恵器	壺	Q-C11	SH1675 貯蔵穴				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・カキメ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	頸部 3/12	
853	1249-06	須恵器	鉢?	Q-C11	SH1675 南東				内：ロクロナデ 外：ケズリ	灰 7.5Y6/1	やや粗 (径~1mm長石含)	良	体部片	
854	1249-05	須恵器	鉢?	Q-C11	SH1675 南東			6.7	内：ロクロナデ 外：ケズリ	灰 7.5Y5/1	やや粗 (径~1mm長石含)	良	底部 12/12	
855	1249-07	須恵器	壺	Q-C11	SH1675 南西	(39.2)			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N4/	密	良	口縁部 1/12	
856	1249-02	土師器	壺	Q-C11	SH1675	14.6			内外：摩滅のため不明	橙 5YR6/6	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
857	1251-01	土師器	壺	Q-B11	SH1675 貯蔵穴	17.8			内：ハケ・ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ・ハケ	橙 7.5YR7/6	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 6/12	
858	1249-01	土師器	台付瓶	Q-B11	SH1675 貯蔵穴				内外：摩滅のため不明	橙 5YR6/6	やや密	良	台接合部 のみ	
859	1249-03	石製品	磁石?	Q-C11	SH1675 南西	6.5	6.9	2.7	使用痕僅か 転用品?	—	—	—	完形	重さ153.8g ホルンフェルス
860	1251-03	須恵器	杯H蓋	Q-C・D 10・11	SH1676床下土坑 +SH1694貯蔵穴	15.3	5.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N5/	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
861	1252-01	須恵器	杯H身	Q-C16*	SH1676 貯蔵穴	12.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	受部 2.5/12	
862	1252-02	須恵器	杯H身	Q-C16*	SH1676南東 貯蔵穴内	13.2	5.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	黄灰 2.5Y5/1	密	良	口縁部 2.5/12	
863	1251-04	土師器	壺	Q-D11	SH1676 内Pi11	19.8			内：ハケ 外：ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄緑 10YR5/3	やや密 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
864	1251-05	土師器	壺	Q-C16*	SH1676 南東	17.2			内：ハケ 外：ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄緑 10YR6/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
865	1251-02	土師器	壺	Q-C16*	SH1676 貯蔵穴	12.7			内：ハケ・ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~4mm砂粒含)	良	9/12	
866	1252-03	土師器	壺	Q-C16*	SH1676 南東				内：ハケ 外：ハケ	にぶい黄緑 10YR6/3	粗 (~5mm砂粒含)	良	底部	
867	1251-06	土師器	壺	Q-C16*	SH1676 カマド				内：工員ナデ 外：ハケ	にぶい黄緑 10YR6/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	底部	
868	430-01	須恵器	杯H身	T2	①=SH1680 (・SH1688)	12.2	5.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	密 (~6.5mmの小石を含)	やや 不良	口縁部 3/12	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (18)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
869	431-02	土師器	壺	T2	①=SH1680 (・SH1688)	21.4			内: ハケメ・ナデ 外: ハケメ・ナデ・ヨコナデ	黄橙 10YR8/6	やや密 (~3mmの小石を舎)	良	口縁部 2/12	
870	1253-01	土師器	壺	J-X12	SH1681 アゼ				内外・摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	やや密	良	頸部 2/12	
871	1257-04	須恵器	杯H身	J-Y13	SH1682 アゼ内				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	口縁部 1/12	
872	1257-03	土師器	壺	J-Y13	SH1682 カマド内	(18.2)			内: ハケ 外: ナデ・ハケ	にふい橙 5YR6/4	やや密 (~2mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
873	1256-01	土師器	壺	J-Y13	SH1682 カマド 取1	(15.8)			内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にふい橙 7.5YR6/3	密	良	口縁部 1/12	
874	1256-03	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取2	(17.2)			内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR5/3	やや粗 (~5mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
875	1256-07	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴	17.2			内: ナデ・工具ナデ 外: ナデ・オサエ・ハケ	にふい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~8mm小石、砂粒舎)	良	口縁部 4/12	
876	1256-04	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取2	(23.2)			内: ナデ? 外: ナデ	にふい黄橙 10YR5/3	やや粗 (~5mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
877	1259-01	土師器	長胴壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取2	19.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	浅黄橙 10YR8/4	粗 (~5mm砂粒舎)	良	2/12	
878	1256-02	土師器	壺	J-Y13	SH1682 カマド 取1	(11.6)			内: ナデ・工具ナデ 外: ナデ・ハケ?	にふい黄橙 10YR6/3	やや密 (~4mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
879	1258-01	土師器	長胴壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取4	19.2			内: ナデ・ハケ・オサエ 外: ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR6/3	粗 (~7mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
880	1258-03	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取3	19.5			内: ナデ・ハケ・オサエ 外: ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR6/3	粗 (~8mm砂粒舎)	良	口縁部 5/12	
881	1259-02	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴				内: オサエ 外: オサエ・ナデ	にふい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~5mm砂粒舎)	良	底部	
882	1258-02	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取4				内: ハケ 外: ハケ	にふい黄橙 10YR7/3	粗 (~4mm砂粒舎)	良	底部	
883	1256-05	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取3				内: オサエ・ナデ・工具ナデ 外: ナデ	にふい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~5mm砂粒舎)	良	底部	
884	1256-06	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取4				内: オサエ・ナデ 外: ハケ	にふい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~5mm砂粒舎)	良	底部	
885	1257-02	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴				内: 工具ナデ 外: ハケ	にふい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm砂粒舎)	良	底部	
886	1257-01	土師器	壺	J-Y13	SH1682 貯蔵穴				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にふい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~2mm砂粒舎)	良	底部	
887	1260-01	土師器	鍋	J-Y13	SH1682 貯蔵穴 取3	28.0			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ・把手貼付	にふい黄橙 10YR7/4	密 (~4mm石舎)	良	2/12	
888	1255-02	須恵器	杯H蓋	0-B12	SH1684 北	12.0	5.3		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (径~2mm砂粒舎)	良	口縁部 2/12	
889	1262-03	須恵器	杯H蓋	0-B12	SH1684 付近	14.8	4.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密	良	4/12	
890	1255-01	須恵器	杯H身	0-B12	SH1684 貯蔵穴西P1t				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	やや粗 (径~3mm砂粒舎)	良	口縁部 1.5/12	
891	1254-04	須恵器	杯H身	0-B12	SH1684 北	12.1	4.9		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y5/1	やや粗 (径~1mm砂粒舎)	良	2/12	
892	1254-07	須恵器	杯H身	0-B12	SH1684 付近				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 N7/	やや密 (径~2mm長石舎)	良	受部 1/12	
893	1254-05	須恵器	杯H身	0-B12	S H1684 北	13.3	4.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	やや粗 (径~1mm砂粒舎)	良	受部 3/12	
894	1254-03	須恵器	鉢?	0-B12	SH1684 西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・タキ	灰黄 2.5Y7/2	やや粗 (径~1mm砂粒舎)	良	小片	
895	1254-02	須恵器	壺	0-B12	SH1684 北	23.1			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y5/2	やや粗 (径~1mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
896	1254-01	須恵器	壺	0-B12	SH1684 北				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・タキ	灰白 5Y7/1	密	良	小片	
897	1262-02	須恵器	壺	0-B12	SH1684 付近				内: ナデ 外: ナデ・タキ	灰白 2.5Y8/2	密	やや不良 (軟)	小片	
898	1253-02	土師器	壺	0-B12	SH1684 北	19.2			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR6/4	粗 (径~4mm砂粒舎)	良	口縁部 1/12	
899	1253-03	土師器	壺	0-B12	SH1684 貯蔵穴	14.9			内外・摩滅のため不明	にふい黄橙 10YR5/3	粗 (径~3mm砂粒舎)	良	口縁部 2/12	
900	1253-04	土師器	壺	0-B12	SH1684 東	16.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR6/4	粗 (径~2mm砂粒舎)	良	口縁部 3/12	
901	1253-06	土師器	壺	0-B12	SH1684 貯蔵穴				内: オサエ・ナデ・ケズリ? 外: ナデ	にふい黄橙 10YR5/3	粗 (径~5mm砂粒舎)	良	底部	
902	1253-05	土師器	把手 鋏・瓶	0-B12	SH1684 北				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	にふい黄橙 10YR6/4	粗 (径~5mm砂粒舎)	良	把手のみ	
903	1262-01	土製品	不明	0-B12	SH1684 北				外: オサエ・ナデ・ハケ	にふい黄橙 10YR7/4	やや密 (~3mm砂粒舎)	良	破片	釋状
904	1255-04	須恵器	杯H	0-F10	SH1685 アゼ				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	粗 (径~4mm砂粒舎)	良	天井部・底部 2/12	
905	1255-05	須恵器	杯H身	0-F10	SH1685 東	(13.4)	4.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄橙 10YR6/2	やや密 (径~4mm砂粒舎)	良	1/12 受部欠損	
906	1255-07	須恵器	罎	0-F10	SH1685 東	13.2			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N6/	やや粗 (径~3mm長石舎)	良	口縁部 4/12	
907	1255-06	須恵器	罎	0-F10	SH1685 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ、線状の刺突文?	黄灰 N3/	密	良	口縁部 2/12	
908	1262-06	須恵器	杯H蓋	0-B9	SH1688南 貯蔵穴取1	14.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	8/12	
909	1304-04	須恵器	杯H蓋	0-B9	SH1688 No. 2	14.7			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	やや密	やや 不良	天井部 7/12	
910	1263-01	須恵器	杯H身	0-B9	SH1688 カマド上面	12.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y6/2	密	良	口縁部 3/12	
911	1304-07	須恵器	杯H身	0-A9	SH1688 No. 20	12.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	にふい黄 2.5Y6/3	密	良	口縁部 3/12	自然釉付着
912	1304-05	須恵器	杯H身	0-B9	SH1688 No. 7	11.4	5.1		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	密	良	8/12	
913	1304-06	須恵器	杯H身	0-B9 +0-A5	SH1688No. 5 +SH1832No. 1	12.2	5.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密	良	4/12	
914	1263-02	須恵器	杯H身	0-B9	SH1688 アゼ				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	密	良	受部 1/12	
915	1304-08	須恵器	杯H身	0-A9	SH1688				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
916	1263-04	須恵器	壺	0-B9	SH1688 貯蔵穴 取2				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ、波状文	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 1/12	
917	1263-05	須恵器	壺	0-B9	SH1688				内: ロクロナデ・細同心円文当具痕 外: ロクロナデ・平行タキ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	頸部 2/12	
918	1306-04	須恵器	瓶	0-B9	SH1688 No. 6				内: ナデ 外: オサエ・ナデ	灰白 2.5Y8/2	密	良	把手のみ	
919	1305-01	土師器	碗	0-B9	SH1688	10.8	6.1		内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	にふい黄橙 10YR6/4	粗 (~φ2mmの小石舎)	良	3/12	

第 32 表 遺物観察表 (19)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
920	1263-06	土師器	壺	Q-B9	SH1688	18.0			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
921	1262-05	土師器	壺	Q-B9	SH1688 貯蔵穴取2	16.4			内: ハケ 外: ハケ・オサエ	にぶい黄褐色 10YR7/4	粗 (~7mm砂粒多含)	良	口縁部 6/12	
922	1262-04	土師器	壺	Q-B9	SH1688 貯蔵穴取2	20.8			内: ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄褐色 10YR6/3	粗 (~0.5mm砂粒多含)	良	口縁部 2/12	
923	1305-04	土師器	壺 (蓋?)	Q-B9	SH1688 No. 7	16.0			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや密	良	口縁部 1/12	
924	1306-05	土師器	壺	Q-B9	SH1688	20.0			内: ナデ・ハケ? 外: ナデ	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
925	1305-05	土師器	壺	Q-B9	SH1688 No. 18	14.4			内: ナデ・ハケ? 外: ナデ・ハケ?	明赤褐色 5YR5/6	やや粗	良	口縁部 2/12	
926	1262-07	土師器	壺	Q-B9	SH1688				内: ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR6/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
927	1305-03	土師器	壺 (蓋?)	Q-B9	SH1688				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR6/4	やや粗	良	小片	
928	1306-08	土師器	台付壺	Q-B9	SH1688 No. 1		(8.4)	内外: 摩滅のため不明	橙 5YR7/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	台部のみ	下縁が接地面かは不明	
929	1306-03	土師器	把手 鍋・瓶	Q-B9	SH1688 一拵				内: ナデ 外: ハケ・ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
930	1306-07	土製品	土鏝	Q-B9	SH1688 一拵	(5.3)	(2.2)	(2.2)	外: ナデ	淡黄褐色 10YR8/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	6/12	重さ(28.6g)
931	1306-06	土製品	土鏝	Q-B9	SH1688 一拵	(6.0)	(2.3)	(1.8)	外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/4	やや密 (~2mm砂粒含)	良	6/12	重さ(22.2g)
932	1352-01	石製品	砥石	Q-B9	SH1688 No. 14	9.9	5.2	2.1	凹状の使用痕。破面も使用 転用品?	—	—	—	—	重さ(175.8g) ホルンフェルス
933	1353-01	石製品	砥石	G-A9	SH1688 No. 21・22	12.55	19.0	3.4	凹状の使用痕 転用品?	—	—	—	—	完形 重さ870.1g 砂岩
934	1362-01	石製品	砥石	Q-B9	SH1688 No. 8	11.2	24.9	11.3	複数面使用 台石を転用?	—	—	—	—	一部欠損 重さ(4.4kg) 砂岩
935	1264-03	須恵器	杯H蓋	J-U12	SH1689				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	小片	
936	1264-04	土師器	壺	J-U11	SH1689 床面直上				内: ナデ・ハケ 外: 摩滅のため不明	淡黄褐色 7.5YR8/3	密 (~2mm砂粒含)	良	頸部2/12	
937	1264-02	土師器	壺	J-V12	SH1689				内: オサエ・ナデ? 外: オサエ・ナデ?	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	底部	
938	1265-02	須恵器	杯H蓋	J-V12	SH1690 包含層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	小片	
939	1265-01	土師器	壺	J-V12	SH1690 包含層				内: ナデ・ハケ? 外: 摩滅のため不明	黄褐色 10YR8/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1.5/12	
940	1264-06	土師器	壺	J-V13 J-W13	SH1690 南東	18.0			内: ハケ 外: ナデ・ハケ?	橙 7.5YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
941	1264-05	石製品	砥石	J-V13* J-W13	SH1690 南東	14.4	4.6	3.5	使用痕僅か 砥石を転用?	—	—	—	—	完形 重さ493.0g 砂岩
942	1265-07	須恵器	杯H蓋	Q-D11	SH1694 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1.5/12	
943	1265-06	須恵器	杯H蓋	Q-D11	SH1694 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・工具刺突	灰 5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1.5/12	
944	1265-09	須恵器	杯H身	Q-D11	SH1694 カマド				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1.5/12	
945	1265-05	須恵器	杯H身	Q-D11	SH1694 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	受部 2割/12	
946	1266-01	須恵器	壺	Q-D11	SH1694 取2				内: ロクロナデ・工具ナデ 外: ロクロナデ・平行タタキ	灰白 5Y7/2	密	やや 不良	口縁部 1/12	
947	1119-08	須恵器	杯蓋と 壺蓋?	M-D11 M-D12	SH1714	8.1	2.5	2.6	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	鋳貼付
948	1121-01	須恵器	杯蓋と	M-D11 M-D12	SH1714	12.0	3.1	2.8	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや密	良	完形	鋳貼付
949	1119-06	須恵器	杯蓋と	M-D11	SH1714 底面	12.4	2.9	2.6	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	鋳貼付
950	1119-05	須恵器	無台杯	M-D11 M-D12	SH1714	10.8	3.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰黄褐色 10YR6/2	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	6/12	
951	1119-09	須恵器	杯	M-D11 M-D12	SH1714	10.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
952	1119-07	須恵器	杯	M-D11 M-D12	SH1714	9.9			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
953	1120-01	須恵器	壺	M-D11 M-D12	SH1714				内: ロクロナデ・閉塞円蓋 外: ロクロナデ	黄灰 10YR5/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	肩部 2/12	肩部に自然粘付着
954	1120-02	須恵器	壺	M-D11 M-D12	SH1714				内: ナデ・同心円文当具底 外: ナデ・縦格子状タタキ	灰白 7.5Y8/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	やや不良 (軟)	肩部 2/12	
955	1119-02	土師器	壺	M-D11 M-D12	SH1714	16.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄褐色 7.5YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
956	1119-04	土師器	壺	M-D11 M-D12	SH1714				内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	煤付着
957	1119-01	土師器	壺	M-D11 M-D12	SH1714				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR6/4	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
958	1119-03	土師器	壺	M-D11	SH1714 底面				内: 摩滅のため不明 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 5YR6/4	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
959	1306-02	須恵器	杯H蓋	J-R6	SH1805 南東土坑 No. 1	14.4	4.7		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	不良	5/12	
960	1320-08	須恵器	杯H身	J-Q6 J-V7	SH1805 北東貯蔵穴No. 5 +SH1814	12.0	5.6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y4/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	やや 不良	口縁部 一部欠損	
961	1307-01	須恵器	杯H身	J-R6	SH1805 南東土坑 No. 17	12.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 7.5Y7/1	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
962	1307-03	須恵器	杯H身	J-Q6	SH1805 北東貯蔵穴 No. 2・3	13.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 7.5Y7/1	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
963	1307-04	須恵器	杯H身	J-Q6	SH1805 北東貯蔵穴 No. 11				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	やや密	良	小片	
964	1307-05	土師器	壺・壺?	J-R6	SH1805 南東土坑 No. 23				内: ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
965	1307-06	土師器	壺・壺?	J-R6	SH1805 南東土坑				内: ナデ・オサエ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~5mm砂粒含)	良	小片	
966	1308-01	須恵器	杯H蓋	J-T4	SH1808 No. 4	14.0	4.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 N7/	密	良	口縁部 2/12	
967	1308-05	土師器	壺	J-T4	SH1808 No. 5・6	15.0			内: ナデ・ハケ 外: 摩滅のため不明	にぶい黄褐色 10YR5/4	やや密	良	口縁部 10/12	
968	1308-03	土師器	壺	J-S4 J-T4	SH1808 No. 18・No. 7	15.2			内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密	良	口縁部 4/12	
969	1308-04	土師器	壺	J-T4	SH1808	14.4			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	橙 5YR7/8	やや密	良	口縁部 2/12	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (20)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
970	1308-02	土師器	壺	J-S5	SH1808	18.0			内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR7/4	密	良	口縁部 2/12	
971	1309-03	土師器	壺	J-S4	SH1808 No. 20	26.4			内外：摩滅のため不明 内：粘土紐巻上痕明瞭	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密	良	口縁部 2/12	
972	1309-01	土師器	壺	J-S4	SH1808 No. 9	17.2			内：ナデ・ハケ・ケズリ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密	良	口縁部 3/12	
973	1309-02	土師器	把手 鍋・瓶	J-S4	S H1808 No. 17				内外：摩滅のため不明 外：ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密	良	把手のみ	
974	1314-03	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813 No. 3	13.8	4.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 2.5Y7/1	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	5/12	
975	1314-04	須恵器	杯H蓋	J-V5 J-V6	SH1813 No. 4	13.9	4.7		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	やや粗 (~6mm砂粒含)	良	3/12	
976	1316-08	須恵器	杯H蓋	J-U4 J-U5	SH1813	14.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	やや密 (径~0.7mm長石含)	不良	口縁部 2/12	口縁部内側欠損 接合面は残存
977	1316-02	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813 主柱穴B2	14.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N4/	密	良	口縁部 5/12	
978	1315-03	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813 No. 5	14.3			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N5/	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
979	1316-05	須恵器	杯H蓋	J-U5	SH1813 床面から10cm上	15.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N4/	やや密	良	口縁部 2/12	
980	1316-06	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813	14.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 2.5Y6/2	密	良	口縁部 1/12	
981	1314-06	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813 No. 6	13.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	浅黄 2.5Y7/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	不良	口縁部 3/12	
982	1314-01	須恵器	杯H蓋	J-V5	SH1813 No. 2	12.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 10Y5/1	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	6/12	
983	1316-03	須恵器	杯H身	J-U5* J-V8	SH1813 北西落ち込み +SK1815	11.8	4.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密	良	口縁部 2/12	
984	1314-05	須恵器	杯H身	J-U5	SH1813 No. 7	12.6	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	5/12	
985	1315-04	須恵器	杯H身	J-U5	SH1813 No. 21	11.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
986	1316-01	須恵器	杯H身	J-V5	SH1813	13.0	5.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N4/	やや粗 (径~1mm長石含)	良	3/12	
987	1314-02	須恵器	杯H身	J-U5	SH1813主柱穴 No. 8	13.7			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰オリーブ 5Y6/2	やや粗 (~8mm砂粒含)	やや 不良	5/12	
988	1315-01	須恵器	杯H身	J-U5	SH1813	13.1	3.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
989	1315-02	須恵器	杯H身	J-U5	SH1813 北西土坑				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	やや粗 (~1mm砂粒含)	やや 不良	口縁部 1/12	
990	1316-04	須恵器	杯H身	J-V5	SH1813				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N4/	やや密 (径~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
991	1317-01	須恵器	甕	J-V5	SH1813	13.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・櫛指波状文	暗灰黄 2.5Y5/2	やや密	良	口縁部 1/12	
992	1321-02	須恵器	甕	J-V4 J-V4 J-U6	SH1813 +SH1818上層 北西				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・櫛指波状文	灰白 5Y7/1	密	良	頸部 3/12	
993	1347-01	須恵器	壺	J-U5	SH1813 No. 9~16・18・20・ 22・23	23.6	33.3		内：ナデ・同心円文当肩痕 外：ナデ・平行タタキ・流線?	灰黄 2.5Y5/1	密	良	8/12	自然釉付着
994	1318-03	土師器	鉢	J-U6	SH1813 No. 25	11.4	7.2		内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR6/4	やや密	良	体部 5/12	煤・焦げ付着
995	1317-02	土師器	壺	J-V5	SH1813				内外：摩滅のため不明 外：ハケ	灰黄緑 10YR4/2	粗 (径~6mm砂粒含)	良	底部	
996	1320-02	土師器	壺	J-U5	SH1813				内外：摩滅のため不明	にぶい黄 7.5YR6/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
997	1320-04	土師器	壺	J-V5	SH1813 床面直上				内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR5/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
998	1320-01	土師器	壺	J-V5	SH1813				内外：摩滅のため不明	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
999	1320-06	土師器	壺	J-V5	SH1813				内外：摩滅のため不明	にぶい黄緑 10YR6/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
1000	1320-05	土師器	壺	J-U5	SH1813				内外：摩滅のため不明	橙 7.5YR6/6	粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
1001	1320-03	土師器	壺	J-U5	SH1813				内外：摩滅のため不明	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
1002	1319-02	土師器	壺	J-U5	SH1813	19.6			内外：摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	やや粗	良	口縁部 1/12	
1003	1319-01	土師器	壺	J-U5	SH1813 北西土坑	19.6			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	橙 7.5YR6/6	やや密	良	口縁部 2/12	
1004	1317-03	土師器	把手 鍋・瓶	J-U5	SH1813				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR6/4	粗 (径~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1005	1318-01	土師器	瓶	J-U6	SH1813 カマド No. 35	24.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR6/3	やや密	良	口縁部 2/12	
1006	1321-01	土師器	鍋	J-U5 J-U6	SH1813 No. 19-27- 37-41-26-28-39-30+ カマド	21.4			内：ナデ・工具ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ・オサエ	にぶい黄 7.5YR6/4	粗 (~4mm砂粒含)	良	1/12	
1007	1318-02	土師器	鍋	J-V5	SH1813				内：不明 外：ハケ・把手貼付	にぶい黄緑 10YR7/4	やや粗	良	体部 1/12	
1008	1355-01	石製品	砥石	J-V5	SH1813	10.9	6.9	2.6	砥石を転用?	—	—	—	完形	重さ230.5g 砂岩
1009	1355-02	石製品	砥石	J-V4	SH1813	10.1	6.3	3.1	砥石を転用?	—	—	—	一部欠損	重さ280.1g 砂岩
1010	1352-02	石製品	砥石	J-U5	SH1813 北西土坑	13.65	14.7	2.7	石皿を転用?	—	—	—	完形	重さ708.3g 砂岩
1011	1322-02	須恵器	杯H身	J-V7	SH1814				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	やや密 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1012	1320-07	須恵器	杯H身	J-V6	SH1814 カマド周辺	10.4	4.3		内：ロクロナデ 外：摩滅のため不明	灰白 10YR8/2	やや密 (~2mm砂粒含)	やや 不良	3/12	
1013	1322-03	須恵器	杯H身	J-V6	SH1814 カマド周辺	11.9			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1014	1320-09	須恵器	杯H身	J-W6	SH1814貯蔵穴付近 No. 38	12.6	5.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (~4mm砂粒含)	良	6/12	
1015	1325-02	須恵器	横瓶	J-V6-V7 -W7 +J-W7 +J-V8	SH1814 No. 4.床面直上 +P1 +SK1815				内：オサエ・ナデ・内壁閉塞 外：ナデ・オサエ・タタキ・カキメ	灰 N6/	やや密	良~ やや 不良	6/12	
1016	1322-01	須恵器	壺	J-W7	SH1814貯蔵穴 No. 6				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	やや密 (~4mm砂粒含)	良	小片	
1017	1324-04	土師器	碗	J-W7	SH1814 南西貯蔵穴	(12.2)			内：ナデ 外：ナデ	橙 5YR7/6	密	良	口縁部 1/12	
1018	1324-05	土師器	壺	J-V6	SH1814 ベルト				内：ハケ・オサエ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや粗	良	小片	

*グリッド誤記

第 32 表 遺物観察表 (21)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1019	1324-03	土師器	壺	J-W7	SH1814 南西貯蔵穴				内: ナデ 外: ナデ	明黄褐色 10YR7/6	粗 (径~2mm長石含)	良	小片	
1020	1323-02	土師器	壺	J-V6	SH1814 カマド周辺				内外: 摩滅のため不明	にぶい橙 7.5YR6/4	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1021	1323-03	土師器	壺	J-W7	SH1814 南西貯蔵穴				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~6mm砂粒含)	良	小片	
1022	1322-08	土師器	壺	J-V7	SH1814 中央南床面直上				内: オサエ 外: ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1023	1322-04	土師器	壺	J-W7	SH1814貯蔵穴 No. 30・27	14.8			内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/4	粗 (~10mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1024	1322-07	土師器	壺	J-V6	SH1814 カマド周辺	12.2			内外: 摩滅のため不明	淡黄褐色 10YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1025	1322-06	土師器	壺	J-W7	SH1814 南西貯蔵穴	20.7			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄褐色 7.5YR8/4	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1026	1322-05	土師器	壺	J-W7	SH1814貯蔵穴 No. 26	22.6			内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい橙 7.5YR5/3	粗 (~1.1mm石含)	良	口縁部 2/12	
1027	1324-02	土師器	壺	J-W6 J-W7	SH1814貯蔵穴 No. 19・22・31・35・36	19.8			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄 2.5Y8/3	密	良	口縁部 1/12	
1028	1323-01	土師器	壺	J-W7	SH1814 No. 27 貯蔵穴周辺				内: オサエ 外: ナデ・オサエ	にぶい橙 7.5YR6/4	粗 (~5mm砂粒含)	良	小片	
1029	1324-01	土師器	甌	J-V6	SH1814			円孔 5.6	内: オサエ・ナデ 外: ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (径~3mm長石含)	良	底部 11/12	底部中央に円孔 1
1030	1323-04	土師器	把手 輪・甌	J-V7	SH1814 No. 3				内: ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
1031	1323-05	土師器	把手 輪・甌	J-W7	SH1814貯蔵穴 No. 15				内: ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR4/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1032	1323-06	土師器	把手 輪・甌	J-V6	SH1814 カマド周辺				内: ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手周辺	
1033	1354-01	石製品	磁石	J-V6	SH1814	11.6	9.3	3.6	石皿を転用?	—	—	—	一部欠損	重さ300.0g 砂岩
1034	1356-01	石製品	磁石	J-W7	SH1814 貯蔵穴No. 5	15.1	21.1	4.4	石皿を転用?	—	—	—	一部欠損	重さ(1.6kg) 砂岩
1035	1327-03	須恵器	杯H蓋	J-W5	SH1818 床面直上No. 5	14.7			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N5/	密	良	口縁部 2/12	
1036	1334-01	須恵器	杯H蓋	J-W5 J-X5	SH1818 主柱穴近形 北東下層No. 1 床面直上No. 6 南東上層	14.9	4.6		内: ロクロナデ・ナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/2	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	10/12	
1037	1331-02	須恵器	杯H蓋	J-X5	SH1818 No. 13	15.0	4.3		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	3/12	
1038	1327-02	須恵器	杯H蓋	J-X4 J-X5	SH1818 南東上層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 N6/	やや密	良	天井部 2/12	
1039	1328-04	須恵器	杯H蓋	J-X5	SH1818 南東上層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1040	1331-03	須恵器	杯H蓋	J-X5	SH1818 No. 16				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1041	1326-08	須恵器	杯H身	J-X4	SH1818 北東下層	10.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N4/	密	良	口縁部 1/12	
1042	1331-04	須恵器	杯H身	J-X4	SH1818 上層	10.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 2.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
1043	1328-05	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 貯蔵穴上層	10.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	受部 1.5/12	
1044	1328-03	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 南東下層	11.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 10Y5/1	やや密 (~4mm小石、砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1045	1331-05	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 No. 16	11.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1046	1331-06	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 貯蔵穴				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 N7/	密 (~2mm砂粒含)	良	受部 2/12	
1047	1327-01	須恵器	杯H身	J-W4	SH1818 No. 27カマド	13.0	4.5		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 N7/	やや密	良	5/12以上	
1048	1328-01	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 床面直上 No. 11		4.1~4.5		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	灰 10Y5/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	底部 6/12	口縁部歪み大
1049	1328-08	須恵器	杯H身	J-X4	SH1818 北西下層 No. 3				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR5/3	やや密	不良	受部 1/12	二次被熱
1050	1328-06	須恵器	杯H身	J-X5	SH1818 南東下層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密	良	小片	
1051	1328-07	須恵器	杯H身	J-W5 J-X5	SH1818 南東上層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	やや密	良	小片	
1052	1329-02	須恵器	杯H身	J-X4 J-X5	SH1818 南西下層				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロナズリ	にぶい橙 5YR6/3	やや密 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1053	1329-01	須恵器	壺	J-W4	SH1818 北東下層	15.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1054	1331-01	須恵器	壺	J-X5	SH1818 床面直上 No. 8				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・沈線・櫛溝状文	灰白 2.5Y7/1	密 (~3mm砂粒含)	良	腹部 3/12	
1055	1329-03	須恵器	横瓶	J-X5	SH1818 No. 17				内: 工具ナデ、閉塞円盤 外: タタキ・ロクロナズリ	灰白 2.5Y7/1	やや密 (~2mm砂粒含)	良	体部2/12	内面自然釉付着
1056	1333-03	土師器	甌	J-X5	SH1818 南東上層	11.8			内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	橙 5YR7/6	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1057	1333-01	土師器	高杯	J-X5	SH1818 No. 12			11.4	内: シボリ・ナデ 外: ミガキ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~6mm砂粒含)	良	脚部 10/12	
1058	1333-02	土師器	壺	J-W4	SH1818 No. 30	16.5			内: ナデ・ハケ? 外: ナデ	灰黄褐色 10YR4/2	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1059	1333-05	土師器	壺	J-W5 J-X5	SH1818 南東上層 No. 45・25	15.8			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/2	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1060	1332-02	土師器	壺	J-W5 J-W6	SH1818 No. 44・24	23.4			内: ナデ・オサエ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/4	粗 (~5mm小石含)	良	口縁部 1/12	
1061	1330-03	土師器	壺	J-W4	SH1818 カマド	15.6			内: ナデ・ケズリ 外: ナデ	にぶい橙 5YR6/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1062	1333-04	土師器	壺	J-X4	SH1818 北東下層	18.3			内: ナデ 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
1063	1330-01	土師器	壺	J-W5	SH1818 床面直上 No. 10	15.2			内外: 摩滅のため不明	橙 2.5YR6/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1064	1330-04	土師器	壺	J-X5	SH1818 貯蔵穴上層				内: ナデ 外: ナデ・ハケ?	にぶい黄褐色 10YR6/3	粗 (~3mm小石、砂粒含)	良	小片	
1065	1330-02	土師器	壺	J-W5 J-X5	SH1818 貯蔵穴上層No. 41	19.8			内: ナデ・オサエ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR7/3	粗 (~5mm小石、砂粒多含)	良	口縁部 1/12	
1066	1332-01	土師器	壺	J-X5	SH1818 No. 23	15.4			内: ナデ・オサエ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐色 10YR6/4	粗 (~5mm小石含)	良	口縁部 2/12	
1067	1354-03	石製品	磁石	J-W4	SH1818 No. 15	7.5	14.5	4.0	使用痕2面?	—	—	—	—	重さ759.3g ホルンフェルス

第 32 表 遺物観察表 (22)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1068	1335-02	須恵器	杯H蓋	J-V3 J-V4	SH1820東土坑 No. 7	14.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白 7.5Y7/1	粗 (径~2mm長石含)	良	口縁部 6/12	
1069	1335-01	須恵器	杯H身	J-V4	SH1820 No. 5東土坑	12.4	5.3		内外: 摩滅のため不明	にぶい黄褐 10YR5/3	粗 (径~3mm砂粒含)	不良	6/12	
1070	1334-02	須恵器	杯H身	J-V3	SH1820 No. 2	12.3			内: ロクロナデ・ナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 10Y5/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
1071	1334-03	須恵器	杯H身	J-V3	SH1820 No. 1	13.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 3跡/12	
1072	1335-06	須恵器	高杯?	J-V3 J-V4	SH1820	-			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ?	浅黄 2.5Y7/3	やや密	良	杯部 3/12	外面自然釉付着
1073	1336-01	須恵器	壺	J-V3 J-V4	SH1820				内: 同心円文当具痕 外: 振格子状タタキ・カキメ	灰 7.5Y6/1	やや粗 (径~1mmの小石含)	良	体部片	
1074	1335-05	土師器	壺	J-V3	SH1820 南東隅	18.4			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR5/3	(径~1mm長石含)	良	口縁部 2/12	
1075	1335-04	土師器	壺	J-V3・4 J-U3・4	SH1820	22.2			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄褐 10YR7/4	粗 (径~5mm長石含)	良	口縁部 3/12	
1076	1337-01	土師器	瓶	J-V3・4 J-U3・4	SH1820 No. 9・10・11	21.6			内: ナデ・ハケ・オサエ 外: ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗	良	4/12	
1077	1357-01	石製品	台石	J-U3	SH1820 No. 3	19.9	16.6	9.1		-	-	-	-	重さ4.7kg 砂岩
1078	1358-01	石製品	砥石	J-U3	SH1820 No. 4	8.35	25.5	7.4	使用面2面	-	-	-	-	重さ3.2kg ホルンフェルス
1079	1359-02	石製品	砥石	J-V4	SH1820東土坑 No. 6	8.35	9.2	2.2	磨石を転用?	-	-	-	-	重さ233.1g 砂岩
1080	1359-01	石製品	砥石	J-V3・4 J-U3・4	SH1820	9.3	7.25	2.3	小型石皿を転用?	-	-	-	-	重さ(267.7g) 砂岩
1081	1340-01	須恵器	杯H身	0-A6	SH1831 貯蔵穴No. 2	12.3	5.3		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	にぶい黄 7.5YR6/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	不良	口縁僅少 体部完形	
1082	1340-06	土師器	壺	0-A6	SH1831 貯蔵穴No. 1	10.8			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR5/3	粗 (~6mm小石・砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1083	1340-05	土師器	把手 鍋・瓶	0-A6	SH1831 貯蔵穴No. 3				内: ナデ 外: ナデ・オサエ・ナデ	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1084	1340-03	須恵器	杯H蓋	0-A5	SH1832 南東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 N5/	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1085	1341-01	須恵器	杯H蓋	0-B4	SH1832 南土坑				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N6/	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	
1086	1339-07	須恵器	杯H蓋	J-Y4	SH1832 カマド 東土坑②				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1087	1341-02	須恵器	杯H身	0-B4	SH1832 南土坑				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (径~1mm長石含)	良	小片	
1088	1341-04	須恵器	壺	J-Y4	SH1832 東土坑① No. 3	12.4			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・沈線	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 4/12	
1089	1340-04	土師器	壺	J-Y5	SH1832	14.4			内: ナデ・ハケ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR7/3	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1090	1341-03	土師器	壺	J-Y4	SH1832 東土坑① No. 1				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR6/4	粗 (径~5mm砂粒含)	良	小片	
1091	1343-02	須恵器	杯H蓋	P-A25	SH1834 北東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ?	灰 5Y5/1	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	
1092	1341-08	須恵器	杯H蓋	P-A25	SH1834 No. 21				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 10Y6/1	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	
1093	1342-02	須恵器	杯H蓋	P-A25	SH1834 No. 20	14.6	4.3		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 5Y6/1	密	良	3/12	外面自然釉付着
1094	1342-03	須恵器	杯H蓋	P-A25	SH1834 No. 24				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 5Y6/1	やや粗 (径~1mm長石含)	良	体部 1/12	
1095	1343-01	須恵器	杯H蓋	P-A24・ B24	SH1834 南西				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 W4/	やや密 (径~1mm長石含)	良	口縁部 1/12	
1096	1342-01	須恵器	杯H身	P-A24	SH1834 No. 15	10.5	3.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 10Y7/1	密	良	3/12	
1097	1348-06	須恵器	杯H	P-A24	SH1834 No. 29				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白2.5Y8/1 黄灰2.5Y5/1	やや密 (~0.3mmの砂粒あり)	良	天弁部 6/12	
1098	1342-04	須恵器	高杯	P-A25	SH1834 No. 19	9.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・沈線・波状文・ロク ローズリ	灰 N6/	やや粗 (径~1mm長石含)	良	口縁部 2/12	
1099	1342-05	土師器	壺	P-A24	SH1834 No. 15	12.2			内: ナデ・工具ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR7/3	粗 (径~2mm長石含)	良	口縁部 1/12	
1100	1343-03	土師器	壺	P-A24	SH1834 No. 3	15.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄 7.5YR6/4	粗 (径~3mm長石含)	良	口縁部 3/12	
1101	1344-01	土師器	壺	P-A25	SH1834 北東	17.9			内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR7/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1102	1344-03	土師器	壺	P-A24	SH1834 カマド	17.6			内: ナデ・オサエ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR7/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1103	1344-02	土師器	壺	I-Y24	SH1834 No. 16	24.1			内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR6/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1104	1344-04	土師器	壺	P-A25	SH1834 No. 26 貯蔵穴(SK1839)	11.3			内: オサエ 外: オサエ	にぶい黄褐 10YR7/4	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1105	1344-06	土師器	壺	P-A25	SH1834 貯蔵穴(SK1839)				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR6/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
1106	1344-05	土師器	壺	P-A24	SH1834 No. 28				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい黄褐 10YR7/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	小片	
1107	1344-09	土師器	壺	P-A25	SH1834 貯蔵穴(SK1839)				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄 7.5YR5/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1108	1344-07	土師器	壺	P-A24	SH1834 自然の落ちこみ				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR6/4	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1109	1344-08	土師器	壺	P-A24	SH1834 南西				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄褐 10YR7/2	粗 (~5mm砂粒含)	良	小片	
1110	1342-06	土師器	把手 鍋・瓶	P-B24	SH1834 No. 13				内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ	橙 7.5YR7/6	やや密	良	把手のみ	
1111	1345-02	土師器	把手 鍋・瓶	P-A25	SH1834 貯蔵穴(SK1839)				内: ハケ 外: ハケ・ナデ・オサエ	にぶい黄褐 10YR6/3	粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
1112	456-01	土師器	壺	M-124	SB1065 P1t2	(11.8)			内外: 摩滅のため不明	浅黄褐 10YR8/4	密	良	口縁部 1/12	
1113	456-02	土師器	壺	M-H24	SB1065 P1t2				内: ヨコハケ?ナデ 外: 摩滅のため不明	にぶい黄褐 10YR7/4	密	良	小片	
1114	457-05	土師器	壺	M-F21	SB1067 P1t1	(19.2)			内: ヨコナデ? 外: ヨコナデ	橙 7.5YR8/6	密	良	口縁部 1/12	
1115	814-03	須恵器	杯B?	N-L3	SB1072 P1t12		13.6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	にぶい黄 7.5YR5/3	密	良	底部 1/12	貼付高台
1116	458-03	土師器	壺	N-C2	SB1081 P1t3	(19.2)			内外: 摩滅のため不明、ナデ?	浅黄褐 7.5YR8/6	やや密	良	口縁部 1/12	
1117	817-04	須恵器	杯	M-K24	SB1089 P1t4				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	にぶい黄褐 10YR6/3	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (23)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1118	821-08	須恵器	杯蓋 b	N-K1	SB1090 Pit2	(18.0)			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄褐 10YR5/2	密	良	1/12 鈕欠損	鈕貼付痕跡あり
1119	821-06	須恵器	杯蓋 b	N-K1	SB1090 Pit3				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 10Y4/1	密	良	小片	
1120	821-09	須恵器	杯蓋 b 蓋蓋?	N-K1	SB1090 Pit2	10.4			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい黄褐 10YR5/3	密	良	5/12 鈕欠損	鈕貼付痕跡あり
1121	821-05	須恵器	壺	N-L1	SB1090 Pit2				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	橙 5YR6/6	密	良	小片	
1122	456-03	須恵器	壺	M-K25	SB1091 Pit2		19.3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい赤褐 5YR5/4	密	良	口縁部 1/12	
1123	817-06	須恵器	杯蓋 b	M-L25	SB1226 Pit3	(16.8)			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	褐灰 7.5YR4/1	密	良	口縁部 1/12	
1124	818-03	須恵器	杯蓋 b	M-L25	SB1226 Pit3	(17.6)			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	褐灰 10YR4/1	密	良	口縁部 1/12	
1125	817-01	須恵器	杯B	M-L25	SB1226 Pit2			11.0	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい橙 7.5YR7/4	密	良	底部 3/12	貼付高台
1126	818-01	須恵器	杯B	M-L25	SB1226 Pit3	14.0	3.6	10.9	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい赤褐 5YR5/4	密	良	1/12	貼付高台
1127	817-02	須恵器	杯	M-L25	SB1226 Pit1 壺形				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y6/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1128	818-02	須恵器	杯	M-L25	SB1226 Pit3				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい黄褐 10YR5/3	密	良	小片	火ぶくれ
1129	817-03	須恵器	杯	M-L25	SB1226 Pit1 壺形	10.2			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい赤褐 5YR5/4	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1130	817-05	須恵器	壺	M-L25	SB1226 Pit3				内:ナデ 外:ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1131	1271-02	須恵器	杯H蓋	K-S15	SB1314 Pit1	12.9	4.5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	10/12	
1132	1271-01	須恵器	杯H身	K-S15	SB1314 Pit1	11.9	4.5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	11/12	
1133	1035-02	須恵器	短頸壺	M-A19	SB1440 Pit3			14.0	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	肩部 1/12	
1134	1116-01	土師器	長頸壺	L-L15	SB1539 Pit3				内:ハケ 外:ハケ	明黄褐 10YR7/6	密 (~1mm砂粒含)	良	破片	
1135	1117-06	須恵器	杯H蓋	L-K19	SB1557 Pit5				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N6/	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1136	1116-03	土師器	壺	L-G21	SB1571 Pit1	13.8			内外:摩滅のため不明	灰黄 2.5Y7/2	密	良	口縁部 1/12	
1137	1117-02	土師器	壺	L-F22	SB1574 Pit4	19.6			内外:摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	密	良	口縁部 1/12	
1138	1116-04	土師器	壺	L-G21	SB1574 Pit2	15.0			内外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	密	良	口縁部 1/12	
1139	1117-08	須恵器	杯H身	L-G22	SB1575 Pit8	9.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	口縁部 2/12	
1140	1117-07	須恵器	杯H身	L-G22	SB1575 Pit6	9.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	口縁部 1/12	
1141	1116-02	土師器	壺	L-G22	SB1575 Pit8	25.6			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	口縁部 1/12	
1142	1117-05	須恵器	壺	L-123	SB1577 Pit5				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N6/	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1143	1267-02	須恵器	杯H身	K-Q13	SB1613 Pit1				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y6/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	受部 1/12	
1144	1269-04	土師器	把手 鍋・瓶	K-S12	SB1614 Pit2				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR7/3	粗 (~5mm砂粒含)	良	把手周辺	
1145	1266-02	土師器	壺	J-V12	SB1691 Pit5	17.1			内:ハケ 外:ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR7/4	密	良	口縁部 1/12	
1146	1273-01	土師器	瓶	J-V10	SB1691 Pit1				内:オサエ・ハケ 外:オサエ・ナデ・ハケ	にぶい黄褐 10YR6/4	やや密 (~3mm砂粒含)	良	把手周辺 ~体部	
1147	1265-03	須恵器	杯H身	J-V12	SB1697 Pit6				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	小片	
1148	1265-04	須恵器	杯H身	J-U11	SB1697 Pit1				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 N5/	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1149	1242-06	土師器	瓶?	J-U11	SB1697 Pit1				内:ハケ・ナデ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密	良	小片	
1150	1117-04	土製品	土鍾	F-Y11	SB1708 Pit2	3.8 ~	1.4	1.3	外:オサエ・ナデ	黄橙 10YR8/6	密	良	底部欠損	重さ(6.3g)
1151	1121-07	須恵器	杯H身	L-119	SB1729 Pit1	10.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ?	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
1152	1337-03	土製品	土鍾	J-W2	SB1822 Pit 1 壺形	(2.4)	0.95	0.85	内:ナデ	黄橙 10YR6/8	やや密	やや不良	小片	重さ(1.3g)
1153	1338-01	須恵器	杯H蓋	I-V24	SB1825 Pit 1 柱痕	14.2			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N5/	やや密	やや不良	口縁部 1/12	
1154	1341-05	須恵器	杯H蓋	Q-B4	SB1833 Pit 2 壺形				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N4/	密	良	小片	
1155	1341-07	須恵器	杯H身	Q-A4	SB1833 Pit 2				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密	良	小片	
1156	1341-06	土師器	壺	Q-B3	SB1833 Pit 3				内外:摩滅のため不明	橙 5YR7/6	粗 (径~1mm砂粒含)	良	小片	
1157	1267-06	須恵器	杯H身	K-R11	Pit2	10.5			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (~2mm黒粒含)	良	口縁部 2/12	外面自然釉付着
1158	1272-01	須恵器	高杯	K-R11	Pit2	9.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 7.5Y5/1	密	良	底部 12/12	二段三方透
1159	819-05	須恵器	杯蓋 b	M-L24	Pit2	14.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄褐 10YR6/2	密	良	4/12 鈕欠損	
1160	819-03	須恵器	皿	M-L24	Pit2	20.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	口縁部 1/12	
1161	818-04	須恵器	杯蓋 b	M-L24	Pit4				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 7.5Y6/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	鈕のみ	
1162	820-02	須恵器	無台杯	M-L24	Pit4	10.8	3.5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N4/	密	良	完形	
1163	820-01	須恵器	盤B	M-L24	Pit4	20.0	3.15	13.2	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい橙 5YR6/4	密	良	4/12	貼付高台
1164	817-07	須恵器	横瓶	M-L24	Pit4	10.2			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ (体部外面:平行タタキ)	灰褐 7.5YR4/2	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	体部との接面に体部 調整痕
1165	819-06	土師器	壺	M-L24	Pit4	22.0			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR6/4	密	良	口縁部 3/12	
1166	822-03	土師器	壺	M-L24	Pit4	16.8			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	密	良	口縁部 3/12	
1167	819-02	石製品	礎石	M-L24	Pit4	(5.4)	(3.4)	(1.1)	断面3面+破面1面も使用	—	—	—	—	重さ(30.5g) 凝灰岩

第 32 表 遺物観察表 (24)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1168	818-06	土師器	壺	M-L24	Pit10	(15.6)			内外：摩滅のため不明 オサエ・ナデ?	橙 5YR7/6	やや密 (~2mm砂粒含)	良	1/12	
1169	820-03	土師器	壺	M-L24	Pit10	18.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	浅黄橙 10YR8/4	やや密	良	口縁部 2/12	
1170	818-05	須恵器	無台杯	M-L24	Pit6	12.2	3.7	9.6	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	橙 7.5YR6/6	密	良	11/12	
1171	819-04	須恵器	無台杯	M-L24	Pit6	13.6	4.7	7.6	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・糸切底	浅黄橙 10YR8/4	密	不良	3/12	
1172	817-09	須恵器	杯B	M-L24	Pit6	14.5	4.5	9.3	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ?	明赤橙 5YR5/6	やや密 (8mm小石・砂粒含)	良	5/12	貼付高台
1173	822-04	土師器	壺	M-L24	Pit6				内：摩滅のため不明 外：ナデ・ハケ	にぶい橙 5YR7/4	密	良	口縁部 1/12	
1174	819-07	土師器	壺	M-L24	Pit6				内外：摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密	良	10/12	外面に二次被熱 内面に焦げ
1175	821-03	須恵器	杯	N-114	Pit3	10.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	
1176	821-04	須恵器	無台杯?	N-114	Pit3	10.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 1/12	壺蓋の可能性あり
1177	822-02	土師器	壺	N-J15	Pit3	14.0			内：ナデ・ハケ・オサエ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR6/3	密	良	口縁部 3/12	
1178	822-01	土師器	壺	N-J15	Pit3	22.0			内：ハケ・オサエ 外：ナデ・ハケ・オサエ	にぶい橙 7.5YR7/4	密	良	口縁部 4/12	
1179	1272-06	須恵器	杯H身	Q-C15	Pit2				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	やや密	良	底部 2/12	
1180	1272-03	須恵器	杯H身	Q-C15	Pit2	12.6	5.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y6/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	4/12	
1181	1272-05	須恵器	杯H身	Q-E14	Pit1	11.2	4.9		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1182	1272-04	土師器	壺	Q-E14	Pit1	20.4			内外：摩滅のため不明	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1183	457-02	須恵器	杯H身	M-H24	Pit1				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
1184	1272-02	須恵器	杯H身	J-V15	Pit1	11.6	3.5		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 10YR8/2	密	不良	6/12	
1185	457-01	須恵器	杯	G-W8	Pit1	20.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	播青灰 10B64/1 明青灰 5B7/1	やや粗	良	口縁部 1/12	
1186	821-07	須恵器	杯B	N-K4	Pit1		11.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	橙 7.5YR7/6	密	良	底部 3/12	貼付高台
1187	821-10	須恵器	碗	N-J9	Pit2		8.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ?	灰白 7.5Y7/1	密	良	底部 3/12	貼付高台 外面自然釉付着
1188	459-03	須恵器	杯B	M-J25	Pit1		11.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	橙5YR7/6 灰灰3/6 5Y6/1	密 (~3mmの小石を含)	良	底部 1/12	貼付高台
1189	821-11	須恵器	杯	M-M25	Pit1				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	にぶい黄橙 10YR5/3	密	良	小片	
1190	1121-02	須恵器	高杯	M-G12	Pit1	13.5	10.5	10.0	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	やや密	良	ほぼ完形	
1191	458-01	須恵器	碗	N-H3	Pit3				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	黄灰 2.5Y5/1	密	良	口縁部 小片	自然釉付着 オリーブ黄5Y6/3
1192	1035-04	須恵器	平瓶	M-C17	Pit2				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	頸部 6/12	外面自然釉付着
1193	904-02	須恵器	壺	K-T15	Pit4				内外：摩滅のため不明	灰白 7.5Y7/1	密 (~φ2mmの細粒砂を微量に 含)	不良	口縁部 1/12	
1194	457-04	土師器	壺	M-J24	Pit5	(20)			内：ヨコナデ・ハケ 外：ヨコナデ	浅黄橙 7.5YR8/4	密	良	口縁部 1/12	
1195	459-02	土師器	壺	F-Y24	Pit1				内外：摩滅のため不明	黄橙 10YR8/6	やや密	良	口縁部 小片	
1196	822-05	土師器	壺	M-N25	Pit4				内外：摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR6/4	密	良	小片	
1197	459-01	土師器	壺	F-V25	Pit1				内外：摩滅のため不明	橙5YR6/6 灰黄橙 10YR4/2	密	良	口縁部 1/12	
1198	1035-01	土師器	壺	F-W11	Pit1	13.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	浅黄橙 7.5YR8/3	密 (~φ1mm粗粒砂を微量含)	良	口縁部 3/12	
1199	821-12	土師器	小皿	M-M23	Pit2	8.2	3.0		内：ナデ 外：ナデ・オサエ	橙 7.5YR7/6	やや密	良	口縁部 4/12	口縁部に油煙 注記は表土掘削中
1200	1267-01	常滑陶器	壺	K-M21	Pit1		21.4		内：オサエ・ナデ 外：土具ナデ・オサエ・ナデ	橙 5YR7/8	やや粗 (~7mm砂粒含)	良	底部	
1201	1121-10	土師器	製塩土器	L-G23	Pit4				外：ナデ・オサエ	にぶい赤橙 5YR5/4	やや密	良	頸部のみ 底部欠損	知多式
1202	1035-03	土製品	土鐘	M-B15	Pit2				外：ナデ?	浅黄橙 10YR8/3	密 (~φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	両端欠損 11/12	重さ5.8g
1203	819-01	土製品	土鐘	M-L24	Pit5	6.1	1.25	1.1	外：ナデ?	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~φ1mm小石含)	良	完形	重さ7.4g
1204	821-01	土製品	土鐘	N-L24	Pit5	(4.1)	1.1	0.95	外：ナデ?	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	底部欠損	重さ(4.3g)
1205	821-02	土製品	土鐘	M-N25	Pit3	4.6	1.3	1.2	外：ナデ?	明赤橙 5YR7/6	密	良	完形	重さ6.1g
1206	1118-04	須恵器	杯H蓋	L-07	SK324	12.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	口縁部 2/12	
1207	440-01	須恵器	壺	M-B24	SK1037 (6層)				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・櫛指列点文・洗線	褐灰 10YR4/1	密	良	口縁部 1/12以下	自然釉付着
1208	439-03	土師器	壺	M-B25	SK1037 (1層)	(21.8)			内：ナデ? 外：ヨコナデ	灰白 10YR8/2	やや粗 (~3mmの小石を含)	良	口縁部 1/12	
1209	445-04	須恵器	杯	N-C1	SK1043	9.9			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N5/	密	良	口縁部 1/12	
1210	446-03	須恵器	高杯?	N-C1	SK1043	11.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ?	にぶい赤橙 5YR5/4 にぶい橙 7.5YR6/3	密	良	口縁部 1/12	杯部
1211	447-01	須恵器	高杯 脚部	N-C1	SK1043 No. 3		8.6		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	浅黄橙 10YR8/4	密	良	脚部 完形	透かし無
1212	445-02	須恵器	壺	N-C1	SK1043				内：同心円文当具底 外：縦格子状タタキ・カキメ	灰白 2.5Y8/2	密	良	小片	自然釉付着
1213	445-03	土師器	壺	N-C1	SK1043				内：ヨコナデ・ハケメ 外：ヨコナデ・ハケメ	橙 5YR7/6	密	良	口縁部 小片	
1214	444-03	土師器	壺	N-C1	SK1043				内：ヨコナデ・ハケメ 外：ヨコナデ・ナデ	浅黄橙 10YR8/4	密	良	口縁部 小片	
1215	447-02	土師器	壺	N-C1	SK1043	(16)			内：ナデ・ヨコナデ 外：ナデ・ハケメ	灰白 10YR8/2	密	良	口縁部 1/12	
1216	444-04	土師器	壺	N-C1	SK1043	(17)			内：ヨコナデ 外：ヨコナデ	橙 5Y7/6	密	良	口縁部 1/12	
1217	446-02	土師器	壺	N-C1	SK1043	(17)			内外：摩滅のため不明	浅黄橙 7.5YR8/3	密	良	口縁部 1/12	

第 32 表 遺物観察表 (25)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1218	446-01	土師器	壺	N-C1	SK1043 No.1	23.8			内外：摩滅のため不明	淡黄橙 7.5YR8/3	密	良	口縁部 2/12	
1219	446-04	土師器	壺	N-C1	SK1043	21.7			内：摩滅のため不明 外：ハケ？・ヨコナデ	黄橙 10YR8/6	密	良	口縁部 2/12	
1220	444-02	土師器	壺	N-C1	SK1043	17.8			内外：摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	密	良	口縁部 1/12	
1221	445-01	土師器	把手 鍋・甌	N-C1	SK1043				内：摩滅のため不明 外：ナデ	淡黄橙 7.5YR8/3	密	良	把手のみ	
1222	452-01	須恵器	杯H	N-E4	SK1051 (1層)				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 5Y5/1 にぶい黄橙 7.5YR6/4	密	良	中央部 完形	
1223	452-02	須恵器	杯H	M-G22	SK1052				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	にぶい黄橙 10YR5/3	密	良	中央部 完形	
1224	451-02	須恵器	壺	M-F22	SK1052				内：ヨコナデ 外：ヨコナデ	灰白 2.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12以下	自然釉付着 灰オリーブ5Y4/2
1225	431-03	土師器	壺	T15	①=SK1052				内：ハケメ 外：ハケメ・ヨコナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	密	良	小片	
1226	451-01	土師器	壺	M-F22	SK1052				内外：摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	密	良	小片	
1227	451-03	須恵器	高杯	N-G1	SK1053		10.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰N6/ 灰7.5Y6/1	密	良	底部 2/12	
1228	451-04	土師器	壺	N-G5	SK1056	28.1			内：ナデ・ハケメ 外：摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	やや密 (~1.5mmの小石を含む)	良	口縁部 1/12以下	
1229	448-02	須恵器	杯H蓋	M-125	SK1059		3.7	10.6	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	淡黄橙 10YR8/3	密 (~2.5mmの小石を含む)	良	完形	自然釉付着 ヘラ記号「x」有
1230	449-01	須恵器	杯H蓋	N-11	SK1059 (2層)				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 10Y6/1	密	良	小片	
1231	448-04	須恵器	杯H身	M-125	SK1059				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N6/	密	良	小片	
1232	453-02	須恵器	杯H身	M-11	SK1059 (1層)	11.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	黄灰 2.5Y6/1	やや密	良	口縁部1/12 底部7/12	
1233	449-02	土師器	煮沸具	M-125	SK1059				内：ナデ 外：ハケ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	口縁部 小片	焼成前穿孔
1234	448-01	土師器	壺	N-11	SK1059 (2層)	21.0			内：ヨコナデ・ハケメ 外：ヨコナデ・ナデ・ハケメ	淡黄橙 10YR8/4 褐灰 10YR5/1	密	良	口縁部 1/12	
1235	453-04	土師器	製塩土器	M-125	SK1059				外：オサエ・ナデ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	脚部 小片	知多式
1236	453-05	土師器	壺	N-J1	SK1060				内：ヨコナデ・ハケメ 外：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ	橙 5YR7/6 淡黄橙 10YR8/4	密 (~3mmの小石を含む)	良	小片	
1237	453-06	土師器	壺	N-J1	SK1060				内：ヨコナデ・ハケメ 外：ハケメ・ヨコナデ	橙 7.5YR7/6	やや密 (~1mmの砂粒を含む)	良	小片	
1238	454-01	土師器	壺	N-J1	SK1060 (2層)				内：ヨコナデ・ハケメ 外：ヨコナデ	淡黄橙 10YR8/4 橙 7.5YR7/6	密	良	小片	
1239	454-02	土師器	壺	N-J1	SK1060 (2層)	22.0			内：ヨコナデ・ハケメ 外：ハケメ・ヨコナデ	橙 5YR7/6 にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (~3mmの砂粒を含む)	良	口縁部 1.5/12	摩滅
1240	454-03	土師器	壺	N-J1	SK1060 (2層)	23.2			内：ヨコナデ・ハケメ・ナデ 外：ナデ・ヨコナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~3mmの砂粒を含む)	良	口縁部 2/12	
1241	536-03	須恵器	高杯	K-923 K-924	SK1161		14.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	暗灰黄 2.5Y5/2	密	良	脚部 1/12	方形透孔 (数不明)
1242	536-02	土師器	壺	K-924	SK1161				内外：ナデ 摩滅のため不明瞭	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~5mm砂粒を含む)	良	小片	
1243	536-01	土師器	壺	K-923 K-924	SK1161				内外：摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR4/3	やや粗 (~2mm砂粒を含む)	良	小片	
1244	536-09	須恵器	壺	K-924	SK1162				内：ナデ 外：平行タタキ	にぶい黄橙 5YR5/3	密	良	体部 小片	
1245	536-06	土師器	壺	K-924	SK1162				内外：摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	密 (~1mm砂粒を含む)	良	口縁部 小片	
1246	536-04	須恵器	杯H蓋	L-N4 L-05	SK1165				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	黄灰 2.5Y6/1	やや密 (~4mm砂粒を含む)	良	口縁部 1.5/12	天井部に赤色
1247	536-07	須恵器	杯H身	L-N4 +L-L3	SK1165アゼ +SK1167	11.4	4.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰黄 2.5Y6/1	やや密 (~3mm砂粒を含む)	良	口縁部 4/12	
1248	537-03	須恵器	壺	L-05	SK1165				内：ナデ 外：平行タタキ	灰白 2.5Y7/1	密	良	体部片	
1249	536-05	土師器	壺	L-05	SK1165				内：摩滅のため不明 外：ナデ・ヨコナデ	橙 7.5YR7/6	密	良	小片	
1250	536-08	土師器	把手 鍋・甌	L-05	SK1165				内外：摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	密	良	把手のみ	
1251	537-01	須恵器	壺	L-N1	SK1178	19.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	褐灰 10YR6/1	密 (φ6mm小石を含む)	良	2/12	
1252	537-02	須恵器	壺	L-N1	SK1178 No.1				内：同心円文当具痕・ナデ 外：縦格子状タタキ・ナデ	灰 N5/	密	良	体部片	外面に沈線
1253	806-04	須恵器	杯蓋g?	N-J13	SK1206				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 5Y5/1	密	良	紐付近 小片	
1254	806-06	須恵器	杯	N-J13	SK1206	9.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	黄灰 2.5Y6/1	密 (~1mm砂粒を含む)	良	口縁部 4/12	
1255	806-05	須恵器	無台杯	N-J13	SK1206	11.8	4.0	5.0	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	灰白 5Y7/1	密	良	11/12	
1256	806-01	須恵器	土管?	N-J13	SK1206				内：ナデ・オサエ 外：ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/2	やや粗 (~2mm砂粒を含む)	良	破片	外面自然釉?付着
1257	807-04	土師器	壺	N-J13	SK1206	14.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/3	密 (~1mm砂粒を含む)	良	口縁部 2/12	
1258	807-02	土師器	壺	N-J13	SK1206	19.8			内：ナデ 外：ナデ	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒を含む)	良	口縁部 2/12	
1259	807-03	土師器	壺	N-J13	SK1206	23.2			内：ナデ 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~2mm砂粒を含む)	良	口縁部 1/12	
1260	808-03	土製品	編羽口	N-J13	SK1206	(7.4)	(6.6)		内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒を含む)	良	破片	
1261	806-03	石製品	砥石	N-J13	SK1206	(6.2)	(4.3)	(1.7)	石皿を転用?	—	—	—	—	重さ (67.5g)
1262	806-02	石製品	砥石	N-J13	SK1206	(9.6)	4.5	3.7		—	—	—	—	重さ (306.9g)
1263	825-02	鉄製品	長頸瓶	N-J13	SK1206	4.0~	0.7	0.3						茎片
1264	806-07	須恵器	無台杯	N-H14	SK1208 No.1	9.8	3.2	6.8	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	やや密 (~3mm砂粒を含む)	良	口縁部 2/12	内面自然釉付着 底部筋状痕跡有
1265	808-01	須恵器	高杯	N-H14	SK1208 No.2	14.4	(4.3)	3.4	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクロナズリ	褐灰 10YR6/1	密 (~4mm小石を含む)	良	杯部のみ 11/12	破面摩耗 人為的なものか
1266	808-02	土師器	杯	N-H14	SK1208 No.3	16.6	5.1		内：ナデ・口縁部と底部摩耗 外：摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	密 (~4mm小石を含む)	良	2/12	内面に放射状織文
1267	807-05	土師器	壺	N-H14	SK1208 No.4	14.0			内：ナデ・工具ナデ・ハケ? 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/3	やや粗 (~2mm砂粒を含む)	良	口縁部 2/12	
1268	801-01	土師器	壺	N-G15	SK1210	27.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	黄橙 10YR8/6	やや密 (細砂を含む)	良	頸部 3/12	

第 32 表 遺物観察表 (26)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1269	801-02	土師器	壺	N-G15	SK1210	27.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ・ケズリ?	明黄褐 10YR7/6	やや密 (~3mm小石含)	良	2/12	
1270	809-01	石製品	砥石	N-G15	SK1210	(14.9)	(8.1)	(2.2)	石皿を転用?	—	—	—	—	重さ(267.6g) 砂岩
1271	809-03	須恵器	杯蓋 a	N-G15	SK1210・1211 検出中				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	黄灰 2.5Y4/1	密 (~1mm砂粒含)	良	小片	
1272	809-05	須恵器	無台杯	N-G15	SK1210・1211 検出中	9.8	3.5	7.6	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	灰 10Y4/1	やや密 (~4mm砂粒含)	良	3/12	
1273	809-02	石製品	砥石	N-G15	SK1210・1211 検出中	(10.1)	(7)	(2.3)	砥石を転用?	—	—	—	—	重さ(164.0g) 砂岩
1274	810-01	須恵器	無台杯	N-G15	SK1211 アゼ	11.6	3.6		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	にぶい橙 7.5YR5/3	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1275	810-02	須恵器	無台杯	N-G15	SK1211	12.8	3.6	7.9	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	にぶい赤褐 5YR4/3	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁 4/12	
1276	809-04	須恵器	杯B	N-G15	SK1211 南東床面	12.6	4.7	8.0	内：ナデ 外：ナデ・貼り付け高台	灰 10Y5/1	密 (~1mm砂粒含)	良	高台 3/12	
1277	809-07	須恵器	杯	N-G15	SK1211	12.3			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 10Y6/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1278	809-06	須恵器	杯	N-G15	SK1211				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄褐 10YR6/2	やや密 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1279	810-03	須恵器	平瓶?	N-G15	SK1211	5.7	(4.7)		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y8/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1280	810-04	須恵器	長頸壺	N-G15	SK1211		(9)		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 5Y7/1	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	頸部 のみ	
1281	802-02	須恵器	壺	N-G15	SK1211 土器No.1			18.8	内：ロクロナデ・ナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	褐灰 10YR6/1	やや密 (~2mm砂粒少)	良	底部 2/12	
1282	810-05	土師器	皿	N-G16	SK1211	(13.8)	2.4		内：ナデ 外：ナデ・工具ナデ	灰黄褐 10YR6/2	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	口縁 2/12	歪み大
1283	810-08	土師器	壺	N-G15	SK1211	12.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや粗 (~1mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1284	801-04	土師器	壺	N-G15	SK1211 南西上層 南東上層	12.6			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~2mm砂粒少)	良	口縁 6/12	
1285	810-06	土師器	壺	N-G15	SK1211 土器No.2	21.6			内：ナデ 外：ナデ	灰白 5Y7/1	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1286	801-03	土師器	壺	N-G15	SK1211 南西上層	21.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ・ケズリ	橙 7.5YR7/6	やや密 (砂粒少)	良	口縁 4/12	
1287	802-01	土師器	壺	N-G15	SK1211 南東上層	21.1			内：ハケ 外：ナデ・ハケ	黄橙 10YR6/6	やや粗 (~3mm砂粒)	良	口縁 2.5/12	
1288	811-01	土師器	壺	N-G15	SK1211	(25.7)			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~5mm砂粒含)	良	口縁 1/12以下	
1289	803-02	土師器	壺	N-G15	SK1211 南西上層	35.2			内：ナデ・オサエ 外：ナデ・ハケ	黄橙 7.5YR7/8	やや密 (~1.5mm白色、金雲母)	良	口縁 2/12	
1290	811-02	土師器	把手 銅・藍	N-G15	SK1211 南上層	—	—	—	内：オサエ・ハケ 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手付近	
1291	811-04	石製品	砥石	N-G15	SK1211	10.02	6.31	4.24	砥石を転用?	—	—	—	—	重さ454.9g 砂岩
1292	813-01	土師器	壺	N-G16	SF1212 土器No.10	25.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ・ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (径~2mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1293	812-02	土師器	壺	N-G16	SF1212 土器No.9	31.4			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1294	803-01	土師器	壺	N-G16	SF1212 土器No.12	27.3			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	密 (砂粒少)	良	口縁部 2/12	外面煤付着
1295	826-02	須恵器	無台杯	N-G16	SF1212 須恵器2+No.12				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 10Y7/1	密	良	底部 3/12	
1296	811-03	石製品	砥石	N-G16	SK1211・SF1212 検出中	10.61	4.54	3.53	砥石を転用?	—	—	—	—	重さ263.1g 砂岩
1297	804-01	須恵器	無台杯	-	SK1214・1215・1216 検出中	8.8	2.9		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰 7.5Y4/1	密	良	5/12	
1298	804-02	須恵器	無台杯	-	SK1214・1215・1216 検出中	11.6	4.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰黄 2.5Y7/2	密	良	3/12	
1299	826-03	須恵器	杯H	N-113・14* N-J13・14	SK1216				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	灰黄褐 10Y6/2	密	良	天井部 完存	
1300	826-01	須恵器	無台杯	N-113・14 N-J13・14	SK1216				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	灰白10Y7/1 灰10Y6/1	やや密	良	底部のみ	底部へラ記号
1301	813-02	土師器	壺	N-113*	SK1216				内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 小片	
1302	813-05	須恵器	杯	N-K4	SK1221	11.0			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 7.5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	
1303	813-04	須恵器	杯	N-K4	SK1221	(13.9)			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	橙 7.5YR6/6	密	良	口縁部 1/12	
1304	814-01	土製品	不明	N-K4 N-L4	SK1221	3.4	3.1	厚さ 0.5	内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	にぶい橙 5YR6/4	密	良	小片	
1305	814-08	土製品	不明	N-K4 N-L4	SK1221	3.4	4.2	厚さ 0.5	内：ナデ・オサエ 外：ナデ・オサエ	にぶい橙 5YR6/4	密	良	小片	
1306	815-05	須恵器	杯	N-L1	SK1224				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	密	良	小片	
1307	815-07	須恵器	杯	N-L1	SK1224	16.4			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	密	良	口縁部 1強/12	
1308	816-02	土師器	壺	N-K1	SK1225	18.0			内外：ナデ・ハケ 摩滅のため不明瞭	灰白 2.5Y8/2	やや密	良	口縁部 2/12	
1309	815-08	土師器	壺	M-L24	SK1229	11.2			内外：ナデ・ハケ 摩滅のため不明瞭	にぶい橙 7.5YR7/3	粗 (~φ2mm小石含)	良	口縁部 1/12	
1310	816-01	土師器	壺	M-L24	SK1229	16.0			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/3	やや密	良	口縁部 4/12	
1311	825-03	鉄製品	袋状鉄斧	M-L24	SK1229	9.2~	4.4	1.8						鍛造品
1312	805-03	須恵器	杯蓋 b	M-L24	SK1230 西半				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR5/3	密	良	小片	
1313	805-05	須恵器	杯	M-L24	SK1230 東半				内：ナデ 外：ナデ	橙 7.5YR7/6	やや密	良	小片	
1314	805-02	須恵器	杯	M-L24	SK1230 西半				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR5/3	密	良	小片	
1315	804-07	須恵器	杯	M-L24	SK1230 西半				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	暗灰黄 2.5Y5/2	密	良	小片	
1316	805-04	須恵器	杯	M-L24	SK1230 東半				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ?	橙 5YR6/8	密	良	小片	
1317	805-06	須恵器	無台杯	M-L24	SK1230西半 +p10	14.7	4.5	9.2	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクローズリ	赤褐 2.5YR4/6	密	良	口縁部 1.5/12	
1318	826-04	須恵器	碗	M-L24	SK1230 西半				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・糸切痕	明黄褐10YR7/6 黄褐7.5YR8/8	密	やや 不良	底部 完形	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (27)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1319	805-01	土師器	壺	M-L24	SK1230 東半	17.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄 5YR7/4	やや粗	良	4/12	
1320	804-05	土師器	壺	M-L24	SK1230 東半	14.8			内: 摩滅のため不明 外: ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密	良	口縁部 2/12	
1321	804-06	土師器	壺	M-L24	SK1230 西半	19.6			内外: 摩滅のため不明	灰白 2.5Y8/2	密	不良	口縁部 3/12	
1322	804-04	土師器	壺	M-L24	SK1230 東半	16.4			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ・ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密	良	口縁部 2/12	
1323	825-01	鉄製品	鉄鍔	M-L24	SK1230 西半	4.2~	2.1	0.3						鍔身片
1324	815-09	土師器	壺	M-L23	SK1231	14.0			内: 摩滅のため不明 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密	良	口縁部 2/12	
1325	905-03	土師器	壺	K-U14	SK1315 表土掘削中	18.0			内外: 摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	密 (0.1mmまでの極細粒砂を微量 に含)	良	口縁部 1/12	
1326	1026-05	須恵器	杯H身	F-W11 F-X11	SK1427 ベルト	11.0	2.6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	やや密	やや 不良	口縁部 3/12	
1327	1026-04	土師器	壺	F-X11	SK1427 中東区	15.0			内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/3	やや密 (〜φ2mm極細粒砂を極微 量含)	良	口縁部 2/12	
1328	1026-01	土師器	壺	F-W11	SK1427 No.1	16.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密 (〜φ2mm極細粒砂を極微 量含)	良	口縁部 4/12	表面に煤付着
1329	1027-02	土製品	土鏝	F-X11	SK1427 中東	4.8	1.3		外: ナデ	淡黄橙 10YR8/3	やや密 (〜φ1mm極細粒砂を極微 量含)	良	両端欠損 11/12	重さ (5.9g)
1330	1027-03	土製品	土鏝	F-X11	SK1427 中東	3.8	0.95		外: ナデ	淡黄橙 10YR8/3	やや粗 (〜φ1mm極細粒砂を極微 量含)	良	ほぼ 完形	重さ 2.9g
1331	1026-03	土師器	壺	F-X11	SK1428	16.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/3	やや密 (〜φ1mm極細粒砂を極微 量含)	良	口縁部 4/12	遺物ラベル混入あり (SK1427No.2)
1332	1027-05	土師器	壺	F-X11	SK1428 No.2	(22.0)			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや密 (〜φ2mm極細粒砂を微量 に含)	良	口縁部 1強/12	
1333	1027-01	須恵器	フラスコ瓶	F-X11 +F-W11	SK1429No.5 +SK1427No.1				内: ロクロナデ・円蓋閉塞 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 2.5Y7/1	密	良	体部 6/12	
1334	1028-01	須恵器	横瓶	F-X11	SK1429 No.1+No.2	11.0			内: ロクロナデ・オサエ・円蓋閉塞 外: ロクロナデ・平行タタキ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 完形	
1335	1027-06	土師器	壺	F-X11	SK1429No.4 +SK1427No.1	22.5			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/3	やや密 (〜φ2mm極細粒砂を微量 に含)	良	口縁部 4/12	
1336	1029-01	須恵器	無蓋高杯	M-A17	SK1439 北東	11.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	自然釉付着
1337	1029-02	土師器	杯	M-A17	SK1439 南東				内: ロクロナデ・放射状暗文 外: ロクロナデ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	小片	
1338	1019-01	須恵器	杯蓋 b	F-Y19	SK1442 No.3	15.0	2.6	口径 2.8	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	橙 5YR7/8	密 (〜φ1mmの白色粒含)	やや不良	7/12	猿投案
1339	1019-02	須恵器	杯蓋 b	F-Y19	SK1442 No.10	15.0	2.7	口径 2.7	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	橙 5YR7/8	密	やや不良	6/12	猿投案
1340	1019-03	須恵器	杯蓋 b	F-Y19	SK1442 No.9	14.4	3.4	口径 2.8	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	橙 5YR7/8	密	やや不良	11/12	猿投案
1341	1020-03	須恵器	無台杯	F-Y19	SK1442 No.4	9.2	3.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい黄橙 10YR4/3	密	良	9/12	猿投案
1342	1020-02	須恵器	無台杯	F-Y19	SK1442 No.2	13.0	4.5		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	黄橙 7.5YR8/8	密	やや不良	完形	猿投案
1343	1020-04	須恵器	高盤 皿?	F-Y19	SK1442	14.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N4/	密	良	口縁部 3/12	
1344	1020-01	須恵器	水瓶	F-Y19	SK1442 No.1	4.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 N7/ 黄灰 2.5Y5/1	密	良	口縁部完形 体部 3/12	
1345	1018-02	土師器	壺	F-Y19	SK1442 No.11	15.2			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	橙 5YR7/8	やや密 (砂粒少)	良	口縁部 3/12	
1346	1018-01	土師器	壺	F-Y19	SK1442 No.5・7・8	25.8			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	黄橙 7.5YR7/8	やや密 (細砂含)	良	口縁部 6/12	
1347	1018-04	土師器	長胴壺	F-Y19	SK1442 No.6				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 7.5YR8/4	やや密 (〜φ3mm砂粒少含)	良	体部片	
1348	1018-03	土師器	製塩土器	F-Y19	SK1442	16.8			内外: ナデ・粘土紐巻上痕明瞭	にぶい黄橙 10YR6/3	やや密 (小角石含)	良	6/12	志摩式
1349	1029-06	須恵器	無台杯	M-C12	SK1445 北	12.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	黄灰 2.5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	へら記号
1350	1029-07	須恵器	壺	M-C12	SK1445 北				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	やや密	良	口縁部 1/12	口縁部歪み大
1351	1030-01	土師器	壺	M-C13	SK1445 南	19.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	密 (〜φ5mm極細粒砂を少量含)	良	口縁部 1/12	
1352	1029-08	土師器	壺	M-C13	SK1445 No.1	23.8			内外: 摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/3	やや粗 (〜φ1mm極細粒砂を極微 量含)	良	口縁部 3/12	
1353	1004-02	石製品	磁石	M-C12	SK1445 No.1	(14.8)	(9.2)	(5.4)	碾磨を転用?	—	—	—	—	重さ (1063.2g) 砂岩
1354	1033-02	須恵器	杯蓋 a	M-B15 M-B16 +M-E12	SK1448 +SK1451 アゼ	11.6	2.35	口径 2.4	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密	良	口縁部 4.5/12	
1355	1033-01	須恵器	無台杯	M-C15 M-C16	SK1448	14.0	3.4		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	
1356	1033-04	須恵器	踵	M-C16	SK1448			体部径 6.0	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 7.5Y7/1	やや密	良	体部 1/12	
1357	1033-03	須恵器	壺	M-C16	SK1448	14.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N6/	密	良	口縁部 2/12	
1358	1034-06	須恵器	杯蓋 b	M-D15 M-D16	SK1449	19.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密 (〜φ2mm極細粒砂を微量含)	良	口縁部 1/12	
1359	1031-01	須恵器	杯蓋 a	M-E12	SK1451 西	13.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密	良	口縁部 3/12	
1360	1031-04	須恵器	杯蓋 b	M-E13	SK1451 東				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	黄灰 2.5Y6/1	密	良	小片	
1361	1036-01	須恵器	無台杯?	M-E13	SK1451				内: ロクロナデ・ナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	淡黄橙 10Y6/2	やや密 (〜0.2mmの砂粒あり)	やや 不良	底部のみ	
1362	1031-03	須恵器	杯	M-E12	SK1451 西	17.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
1363	1031-05	土師器	杯?	M-E13	SK1451 No.1				内: ナデ 外: ナデ	淡黄橙 10YR8/4	密	良	小片	
1364	1113-02	須恵器	杯H身	L-M9	SK1503				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N5/	密	良	口縁部 1/12	歪みあり
1365	1113-01	須恵器	短頸壺	L-M8	SK1503	8.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 N6/	やや密	良	口縁部 2/12	
1366	1135-03	須恵器	無台杯	L-F15	SK1510 焼土痕				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰 N5/ 灰 N6/	やや密 (〜0.2mmの砂粒あり)	良	底部 のみ	
1367	1118-01	土師器	壺	L-E14	SK1510				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・オサエ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (径〜1mm砂粒含)	良	小片	
1368	1113-05	須恵器	杯H身	L-L13	SK1520 底面	9.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	良	口縁部 1/12	

第 32 表 遺物観察表 (28)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1369	1113-03	須恵器	壺	L-K13	SK1520	14.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・平行タタキ	灰白 5Y7/2	やや密	良	口縁部 2/12	
1370	1113-04	土師器	壺	L-K13	SK1520				内外: 摩滅のため不明	浅黄橙 10YR8/4	やや密	良	小片	
1371	1113-06	須恵器	高杯	L-L13	SK1524 西洋				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・沈線	ナリーブ黒 5Y3/1	密	良	口縁部 3/12	三方透
1372	1134-01	土師器	把手 鍋・瓶	L-L13	SK1524				内外: 摩滅のため不明	黄橙 10YR8/6	やや粗	良	把手のみ	
1373	1113-07	土師器	壺	L-K12	SK1526				内外: 摩滅のため不明	にぶい橙 7.5YR7/4	密	良	小片	
1374	1113-08	土師器	把手 鍋・瓶	L-N12	SK1531				内: 摩滅のため不明 外: ナデ・オサエ	浅黄橙 10YR8/3	密	良	把手のみ	
1375	1114-02	須恵器	杯H身	L-L17	SK1538				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密	良	口縁部 1/12	
1376	1114-04	須恵器	高杯	L-K16	SK1538		11.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 7.5Y4/1	密	良	口縁部 3/12	三方透
1377	1114-01	土師器	壺	L-K17	SK1538				内外: 摩滅のため不明	明黄橙 10YR6/6	やや密	良	小片	
1378	1135-02	土師器	把手 鍋・瓶	L-K17	SK1538				外: オサエ・ナデ	明黄橙 10YR7/6	密	良	把手のみ	
1379	1130-01	石製品	砥石	L-K16	SK1538	19.3	16.5	6.2	石皿を転用?	—	—	—	—	重さ(3.66kg) 砂岩 被熱
1380	1114-06	須恵器	甕	L-L14	SK1542 底面				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 5/12	注口部貼付 欄掲列点文
1381	1110-02	須恵器	杯H蓋	L-L19	SK1543	9.8			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 1.5/12	
1382	1121-08	須恵器	杯H蓋	L-J20 +L-H21	SK1543 +Pit2 (SB1729柱痕)	10.5			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 10YR7/1	密	良	口縁部 2/12	自然釉付着
1383	1111-05	須恵器	杯H蓋	L-J19	SK1543	10.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N5/	密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1384	1110-03	須恵器	杯H蓋	L-L19	SK1543	11.0	4.0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
1385	1110-08	須恵器	杯H蓋	L-J19	SK1543	10.6	3.8		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密	良	9/12	
1386	1109-05	須恵器	杯H身	L-J19	SK1543				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y4/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	受部 1/12	
1387	1110-06	須恵器	杯H身	L-L19	SK1543	9.0	3.5		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密	良	受部 2/12	
1388	1109-06	須恵器	杯H身	L-J19	SK1543	9.5			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	口縁 2.5/12	
1389	1110-04	須恵器	杯H身	L-L19	SK1543	9.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密 (~2mm砂粒含)	良	受部 3/12	
1390	1110-05	須恵器	杯H身	L-L19	SK1543				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	受部 2/12	
1391	1111-06	須恵器	杯H身	L-J19	SK1543	10.2	4.2		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 2.5Y7/1	密 (~1mm砂粒含)	良	受部 11/12	外面へう記号
1392	1135-06	須恵器	高杯	L-J19	SK1543		11.5	12.2	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクケズリ・沈線	黄灰2.5Y5/1 灰5Y4/1	やや密 (~0.3mmの砂粒あり)	良	杯部1/12 接合部完形	透かし無
1393	1111-02	須恵器	高杯	L-J19	SK1543			12.0	内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密	良	口縁部 3/12	二方透かし
1394	1111-01	須恵器	高杯	L-J19	SK1543			9.2	内: シボリ・ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰黄橙 10YR6/2	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	二方透かし 外面自然釉厚く付着
1395	1135-04	須恵器	高杯	L-L19	SK1543				内: ロクロナデ・シボリ痕 外: ロクロナデ	灰 5Y6/ にぶい黄橙 10YR7/4	やや密 (~6mm白色ブロック含)	良	脚部片	透かし無
1396	1135-05	須恵器	高杯	L-J20	SK1543				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰5Y6/1 灰N5/	やや密 (~0.2mmの砂粒あり)	良	接合部 のみ	透かし無
1397	1110-01	須恵器	瓶	L-L19	SK1543	(6.0)			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	口縁部歪み大 内面自然釉付着
1398	1134-05	須恵器	甕	L-L19 +L-F20	SK1543 +SK1569				内: ロクロナデ・シボリ痕 外: ロクロナデ・欄掲列点文	褐灰 10YR6/1	密	良	頸部から 体部	注口部貼付
1399	1109-07	須恵器	甕?	L-J19	SK1543				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	暗灰 N3/	やや密 (~1mm砂粒含)	良	体部 1/12	
1400	1109-04	須恵器	フラスコ瓶	L-L19	SK1543				内: ロクロナデ・円盤閉塞 外: ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	体部片 (閉塞部)	へう記号
1401	1110-07	土師器	壺	L-J19	SK1543 3層目A	18.4			内: ハケ? 外: 摩滅のため不明	明黄橙 10YR7/6	密	良	口縁部 1/12	
1402	1108-02	土師器	壺	L-J19	SK1543	19.6			内外: 摩滅のため不明	浅黄 2.5Y8/3	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1403	1108-01	土師器	壺	L-J19	SK1543	19.3			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	灰白 10YR8/2	粗 (~4mm砂粒多含)	良	口縁 1/12	
1404	1108-04	土師器	壺	L-J19	SK1543	13.9			内: ハケ? 内外: 摩滅のため不明疎	浅黄橙 10YR8/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1405	1108-05	土師器	壺	L-L19	SK1543	13.8			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 5Y7/4	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1406	1109-02	土師器	壺	L-J19	SK1543	17.1			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	浅黄橙 10YR8/3	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1407	1109-01	土師器	壺	L-J19	SK1543	19.9			内: 摩滅のため不明 外: ナデ・ハケ	黄橙 10YR8/6	粗 (~4mm砂粒多含)	良	口縁 1/12	
1408	1108-03	土師器	壺	L-J19	SK1543 4層目D	19.3			内外: 摩滅のため不明	浅黄橙 10YR8/4	粗 (~4mm砂粒含)	良	口縁 3/12	
1409	1108-06	土師器	壺	L-J19	SK1543 4層目D2				内: ナデ・ハケ 外: 摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR7/3	密	良	口縁部 1/12以下	
1410	1109-03	土師器	壺	L-J19	SK1543				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	浅黄橙 10YR8/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	口縁 1/12以下	
1411	1135-07	土師器	把手 鍋・瓶	L-J20	SK1543				内: ハケメ・オサエ 外: ナデ・ハケメ	浅黄橙 10YR8/4	密	良	把手のみ	激しい摩滅
1412	1123-03	石製品	砥石	L-J19	SK1543	(4.6)	(2.7)	(3.8)	使用面2面	—	—	—	—	破片 重さ(30g) 砂岩
1413	1112-01	須恵器	横瓶	L-L17 +L-E20	SK1545 +SK1572	13.6			内: ロクロナデ・同心円文当具痕 外: ロクロナデ・縦格子伏々タタキ	灰 5Y6/1	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1414	1115-01	須恵器	壺	L-O20	SK1563				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・沈線・欄掲列点文	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	黄土塗布
1415	1115-05	須恵器	杯H	L-O20	SK1569 底面				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密	良	小片	
1416	1115-04	須恵器	高杯	L-F20	SK1569 底面	10.0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 5Y4/1	密	良	口縁部 1/12	
1417	1135-01	須恵器	高杯	L-F20	SK1569				内: ロクロナデ・シボリ 外: ロクロナデ	灰N5/ 灰N6/	密 (~0.6mmの小石あり)	良	脚部のみ	二段三方透
1418	1115-03	土師器	壺	L-O20	SK1569 底面	13.6			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	浅黄橙 10YR8/3	密	良	口縁部 1/12	
1419	1115-02	土師器	壺	L-F20	SK1569 底面	16.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ・オサエ	灰白 10YR8/2	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	口縁部 2/12	

第 32 表 遺物観察表 (29)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考	
						口径	器高	底径							
1420	1115-06	土師器	壺	L-F20	SK1569				内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	橙 5YR6/6	密	良	小片		
1421	1204-03	須恵器	杯H蓋	K-020*	SK1601	11.8	4.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	やや粗	(~2mm砂粒含)	良	4/12	
1422	1205-02	須恵器	杯H蓋	K-P20	SK1601 取3	11.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り?	灰 5Y6/1	やや密	(6mm小石、砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1423	1204-02	須恵器	杯H蓋	K-P20	SK1601 取6	12.4	3.2		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 5Y7/1	やや密	(~2mm砂粒含)	良	ほぼ 完形	
1424	1206-05	須恵器	杯H蓋	K-020	SK1601	12.4			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N5/	やや粗	(~3mm砂粒含)	良	天井部 6/12	
1425	1205-06	須恵器	杯H蓋	K-P21	SK1601				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰 7.5Y6/1	やや密	(~4mm砂粒含)	良	天井部 3/12	
1426	1202-02	須恵器	杯H蓋	K-P20	SK1601 取4	13.0	3.7		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	外:灰N5/ 内:褐灰7.5YR6/1	密	良	6/12	朱書「×」?	
1427	1201-02	須恵器	杯H蓋	K-020*	SK1601 取5	13.0	4.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰 N6/	密	良	10/12	朱書	
1428	1204-04	須恵器	杯H身	K-P20	SK1601	10.1	4.1		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 10Y6/1	やや密	(~2mm黒褐色粒含)	良	口縁部 4/12	
1429	1203-01	須恵器	杯H身	K-P20	SK1601	11.2	4.1		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	明オリーブ灰 2.5B7/2	密	良	7/12	朱書「×」?	
1430	1202-01	須恵器	杯H身	K-P20	SK1601	12.0	4.4		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	褐灰 7.5YR6/1	密	良	5/12	朱書「○」?	
1431	1204-05	須恵器	杯H身	K-P20	SK1601	10.7	4.3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰 5Y6/1	やや粗	(~3mm砂粒含)	良	4/12	
1432	1204-01	須恵器	杯H身	K-P20	SK1601	10.6			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ?	灰黄 2.5Y7/2	やや密	(~2mm砂粒含)	良	4/12	外面自然釉付着
1433	1201-01	須恵器	杯H身	K-020*	SK1601	12.0	3.7		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	密	良	6/12	朱書	
1434	1203-02	須恵器	杯H身	K-020* K-P20	SK1601 取1	11.6	4.2		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	黄灰 2.5Y6/1	密	良	11/12	朱書「×」?	
1435	1206-06	須恵器	杯H	K-P21	SK1601				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 5Y7/1	やや粗	(~3mm砂粒含)	良	天井部 6/12	
1436	1206-02	須恵器	高杯	K-P21	SK1601				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	やや密	(~2mm砂粒含)	良	小片	三方透
1437	1206-03	須恵器	高杯	K-P21	SK1601				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y6/1	密	やや不良	脚部	三方透	
1438	1205-03	須恵器	高杯	K-P20	SK1601		13.2		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y6/1	やや密	(~1mm砂粒含)	良	脚部 2/12	
1439	1205-04	須恵器	直口壺	K-P20	SK1601	10.2			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	密	やや不良	6/12		
1440	1206-01	須恵器	甌	K-020	SK1601				内:ナデ・オサエ 外:ナデ・タタキ	灰 5Y6/1	やや密	(~1mm砂粒含)	やや不良	把手付近 体部片	
1441	1205-01	須恵器	壺	K-P20	SK1601 取3				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・連続刺突文(羽状)	灰 5Y5/1	やや密	(~2mm砂粒含)	良	体部 6/12	
1442	1206-07	須恵器	壺	K-020	SK1601				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y5/1	密	(~1mm砂粒含)	良	口縁部 小片	
1443	1207-03	須恵器	壺	K-020	SK1601				内:同心円文当具痕 外:縦格子状タタキ	橙 7.5YR6/6	やや密		不良	小片	
1444	1209-06	土師器	台付椀	K-020	SK1601				内:ナデ 外:ナデ	淡黄橙 10YR8/4	やや密		良	小片	
1445	1208-05	土師器	壺	K-020*	SK1601				内外:摩滅のため不明	灰黄橙 10YR5/2	やや密	(~φ1mmの小石含む)	良	小片	
1446	1208-06	土師器	壺	K-020*	SK1601	(12.0)			内:ナデ・ハケ 外:ナデ	にぶい黄橙 10YR5/3	やや密	(~φ1mmの小石含む)	良	口縁部 1/12	
1447	1208-03	土師器	壺	K-P20	SK1601	(18.4)			内外:摩滅のため不明 外:ナデ	明黄橙 10YR7/6	やや密	(~φ4mmの小石含む)	良	口縁部 1/12	
1448	1208-01	土師器	壺	K-020*	SK1601	20.2			内外:摩滅のため不明	明黄橙 10YR6/6	やや密	(~φ2mmの小石含む)	良	口縁部 2/12	
1449	1209-01	土師器	壺	K-P20	SK1601 取7	18.8			内外:摩滅のため不明 外:ナデ・ハケ	明黄橙 10YR6/6	やや密	(~φ1mmの小石含む)	良	口縁部 6/12	
1450	1208-04	土師器	壺	K-P20	SK1601	(19.6)			内:ナデ・ハケ 外:ナデ	橙 7.5YR6/6	やや密	(~φ1mmの小石含む)	良	口縁部 1/12	
1451	1208-02	土師器	壺	K-020*	SK1601	17.2			内外:摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密	(~φ2mmの小石含む)	良	口縁部 3/12	
1452	1209-02	土師器	甌	K-020*	SK1601	(20.8)			内:ハケ 外:ナデ・ハケ	明黄橙 10YR6/6	やや密	(~φ3mmの小石含む)	良	口縁部 1/12	
1453	1207-02	土師器	把手 鏡・甌	K-020	SK1601				内外:摩滅のため不明	淡黄橙 10YR8/4	やや粗		良	把手のみ	
1454	1207-01	土師器	把手 鏡・甌	K-P21	SK1601				内:ナデ・オサエ・ハケ 外:ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗	(~2mm砂粒含)	良	把手のみ	
1455	1209-04	土製品	籠羽口	K-P20	SK1601				—	淡黄 2.5Y7/3	やや粗	(~φ5mmの小石含む)	良	小片	磁滓付着
1456	1289-01	鉄製品	不明	K-020	SK1601	11.4	4.4								重さ105.5g
1457	1267-03	須恵器	杯H	K-P16	SK1609				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 2.5Y8/2	やや粗	(~4mm砂粒含)	軟	底部? 2/12	
1458	1267-04	須恵器	杯H身	K-N15	SK1610	11.4			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 10Y5/1	密	(~3mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
1459	1288-03	土師器	把手 鏡・ハケ	K-N16	SK1610				内:ナデ・ハケ 外:オサエ後ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	密		良	把手のみ	
1460	1269-03	須恵器	杯H蓋?	K-L13	SK1615				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 5Y7/1	やや密	(~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1461	1268-02	須恵器	杯H蓋	K-L13	SK1615 取1	14.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/2	やや粗	(黒色粒含)(~4mm砂粒含)	良	6/12	
1462	1268-04	須恵器	壺	K-L13	SK1615 取3				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	暗灰 N3/	やや粗	(~3mm砂粒含)	良	小片	
1463	1268-06	土師器	壺	K-L13	SK1615 取6	16.6			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	橙 7.5YR6/6	やや粗	(~4mm砂粒含)	良	頸部 1/12	
1464	1268-05	土師器	壺	K-L13	SK1615 取4				内外:摩滅のため不明	明黄橙 10YR6/6	粗	(~4mm砂粒含)	良	小片	
1465	1268-01	土師器	壺	K-L13	SK1615 取5	17.8			内:ナデ・オサエ 外:ナデ・ハケ	明黄橙 10YR7/6	粗	(~3mm砂粒多含)	良	口縁部 2/12	炭化物付着
1466	1278-01	石製品	磁石	Q-A18	SK1630	(8.7)	(3.8)	(4.6)	使用面1面	—	—	—	—	重さ(311.3g) ホルンフェルス	
1467	1222-03	須恵器	杯H身	K-010	SK1633	10.5			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	やや粗	(~3mm砂粒含)	良	受部 3/12	
1468	1221-01	土師器	甌	K-09-10* K-09-10	SK1633	23.2			内:ナデ・ハケ・ケズリ 外:ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	密		良	7/12	把手1欠
1469	1240-03	須恵器	杯H身	J-P13	SK1658				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 7.5Y6/1	密		良	小片	
1470	1240-04	須恵器	壺 鉢?	J-P13	SK1658				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・平行タタキ	灰白 5Y7/1	やや密	(径~1mm長石含)	良	小片	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (30)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1471	1240-02	土師器	壺	J-P13	SK1658	(19.0)			内外：摩滅のため不明	明黄襖 10YR6/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1472	1239-06	土師器	把手 鍋・瓶	J-P13	SK1658				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄襖 10YR5/3	やや粗 (径~1mm長石含)	良	把手のみ	
1473	1240-01	土師器	把手 鍋・瓶	J-P13	SK1658				内：ナデ 外：ナデ・オサエ	にぶい黄襖 10YR6/4	粗 (径~5mm砂粒含)	良	把手付近	
1474	1245-03	須恵器	杯H蓋	J-P10	SK1668				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 2.5Y7/1	密	良	4/12	自然釉付着
1475	1245-05	須恵器	高杯	J-P10	SK1668				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰 N6/	密 (~1mm砂粒含)	良	杯部下半	
1476	1245-04	須恵器	提瓶	J-P10	SK1668				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y7/2	密 (~3mm砂粒含)	良	頸部	頸部に二重沈線
1477	1285-02	土師器	壺	J-P10	SK1668	(14.8)			内：ナデ・ケズリ 外：ナデ	にぶい黄襖 10YR7/4	やや粗	良	口縁部 1/12	
1478	1246-02	土師器	壺	J-P10	SK1668	18.0			内外：摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 2/12	
1479	1246-03	土師器	壺	J-P10	SK1668	18.4			内：オサエ・ナデ 外：オサエ・ナデ	洗黄襖 10YR8/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
1480	1285-01	土師器	壺	J-P10	SK1668	(19.7)			内外：摩滅のため不明	黄襖7.5YR8/8 橙5YR7/8	密	良	口縁部 1/12	
1481	1245-06	土師器	把手 鍋・瓶	J-P10	SK1668				内：ナデ 外：オサエ・ナデ	橙 7.5YR7/6	密 (~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1482	1245-07	土師器	把手 鍋・瓶	J-P10	SK1668				内：ナデ 外：オサエ・ナデ	洗黄襖 10YR8/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1483	1246-01	土師器	把手 鍋・瓶	J-P10	SK1668				内：ナデ 外：オサエ・ナデ	明黄襖 10YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	把手付近	
1484	1246-04	土師器	壺	J-Q13 J-R13・14	SK1669	19.0			内外：摩滅のため不明	にぶい黄襖 10YR7/4	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1485	1301-02	須恵器	杯H蓋	J-V9	SK1673 No. 2・3	12.2	4.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	やや密 (径~1mm砂粒含)	やや不良	4/12	
1486	1248-01	須恵器	杯H蓋	J-Q9*	SK1673	14.2	4.7		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	やや密 (~2mm砂粒含)	良	4/12	
1487	1247-07	須恵器	杯H身	J-V9	SK1673 取2	12.3	5.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y6/1	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	3/12	
1488	1247-06	須恵器	杯H身	J-Q9*	SK1673	12.8	5.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 5Y7/1	やや密 (~4mm砂粒含)	良	口縁部 3/12	
1489	1247-08	須恵器	杯H身	J-V9	SK1673 取1				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 7.5Y5/1	やや密 (~2mm砂粒含)	良	受部 6/12	
1490	1248-02	須恵器	杯H身	J-Q9*	SK1673	10.9	3.0		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 7.5Y7/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1491	1248-03	須恵器	壺	J-Q9*	SK1673				内外：摩滅のため不明	灰黄 2.5Y7/2	やや粗 (~2mm砂粒含)	不良	小片	
1492	1247-05	須恵器	台付壺?	J-V9	SK1673 内Pit1		13.5		内：オサエ・ナデ 外：平行タタキ・高台貼付	灰白 5Y7/1	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	底部	3/12
1493	1247-04	土師器	把手 鍋・瓶	J-Q9*	SK1673				内：オサエ・ナデ 外：ナデ	灰白 2.5Y8/2	粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
1494	1247-02	土師器	把手 鍋・瓶	J-Q9*	SK1673				内：オサエ・ナデ 外：ナデ・ハケ	にぶい橙 5YR7/4	粗 (~5mm砂粒含)	良	把手のみ	
1495	1264-01	土師器	壺	Q-A10	SK1687	19.5			内外：摩滅のため不明	にぶい黄襖 10YR6/4	密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1496	1117-01	土師器	壺	M-E9	SK1711	15.2			内：ナデ・ハケ 外：ナデ・ハケ	洗黄襖 10YR8/3	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1497	1307-07	土師器	把手 鍋・瓶	J-R6	SK1806				内外：摩滅のため不明	にぶい橙 7.5YR7/3	粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
1498	1310-04	須恵器	杯H蓋	I-T23	SK1811 No. 33	12.0	4.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	やや密	良	口縁部 3/12	
1499	1312-03	須恵器	杯H蓋	I-T23 I-U23	SK1811				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	密 (~1mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1500	1311-01	須恵器	杯H蓋	I-T23	SK1811 No. 22	15.3	4.8		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 6/12	
1501	1310-03	須恵器	杯H身	I-T23 I-U23	SK1811 No. 7・26・27	11.6	5.4		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N5/	やや粗 (~4mm小石、砂粒含)	良	受部 6/12	
1502	1312-02	須恵器	杯H身	I-T23	SK1811 No. 18・32	13.0	5.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄 2.5Y7/2	密	良	受部 3/12	自然釉付着
1503	1311-02	須恵器	杯H身	I-T23	SK1811	13.4	5.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	やや密 (~2mm砂粒含)	良	受部 6/12	
1504	1312-01	須恵器	杯H身	I-T13	SK1811 No. 16他	13.6			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	受部 2.5/12	
1505	1310-02	須恵器	杯H身	I-T23 I-U23	SK1811 No. 16・20	13.8	5.2		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y5/1	やや密	良	受部 3/12	
1506	1311-03	須恵器	高杯蓋	I-T23	SK1811 No. 53			細径 4.2	内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・カキメ	灰白 5Y7/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	天井部 6/12	
1507	1310-01	須恵器	壺	I-T23	SK1811 No. 13・28	19.8			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	やや密	良	口縁部 4/12	
1508	1312-07	土師器	壺	I-T23	SK1811 No. 44	18.0			内：ナデ 外：ハケ・ナデ	黄襖 10YR8/6	やや粗	良	口縁部 2/12	
1509	1313-04	土師器	壺	I-T23 I-U23	SK1811一拵 No. 35・37・40~ 43・46~48・51・ 52・54・57~59	21.6			内：ナデ 外：ナデ・ハケ	にぶい黄襖 10YR7/4	密	良	口縁部 4/12	
1510	1312-05	土師器	台付壺?	I-U23	SK1811 No. 11		9.0		内：オサエ・ナデ 外：オサエ・ナデ	橙 7.5YR7/6	密 (~2mm砂粒含)	良	台部 2/12	
1511	1312-04	土師器	壺	I-T23	SK1811		5.6		内：ナデ 外：ハケ・ナデ	洗黄 2.5Y8/3	密 (~2mm砂粒含)	良	底部	
1512	1312-06	土師器	瓶?	I-U23	SK1811 No. 2	(21.2)			内：オサエ・ナデ・ハケ 外：オサエ・ナデ	にぶい黄襖 10YR7/4	やや粗 (~7mm小石含)	良	口縁部 1/12	
1513	1313-02	土師器	把手 鍋・瓶	I-U23	SK1811 No. 1				内：オサエ・ナデ 外：オサエ・ナデ・ハケ	洗黄 2.5Y7/3	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	把手のみ	
1514	1313-01	土師器	把手 鍋・瓶	I-U23	SK1811 No. 8				内：オサエ・ナデ 外：オサエ・ナデ	洗黄襖 10YR8/4	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	把手のみ	
1515	1313-03	土製品	土鉢	I-U23	SK1811 No. 5	(2.4)	0.9	1.2	ナデ	橙 7.5YR7/6	密	良	端部欠損 6/12	重さ(2.3g)
1516	1326-05	須恵器	杯H蓋	J-V8	SK1815				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ	灰黄 2.5Y6/2	やや粗	良	小片	
1517	1325-01	須恵器	杯H蓋	J-V8	SK1815	13.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰白 7.5Y7/1	やや密	良	口縁部 2/12	
1518	1324-06	須恵器	杯H蓋	J-V8 J-V9	SK1815 +SK1673との境	15.4	4.3		内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	やや粗 (径~2mm砂粒含)	良	口縁部 5/12	
1519	1326-02	須恵器	杯H蓋	J-V9	SK1815 No. 1				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	やや密	良	口縁部 4/12	口縁部歪み大
1520	1326-01	須恵器	杯H蓋	J-V8	SK1815				内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい黄 2.5Y6/3	密	良	天井部 8/12	
1521	1326-03	須恵器	杯H身	J-V8	SK1815	12.2			内：ロクロナデ 外：ロクロナデ・ロクケズリ	灰 5Y6/1	密	良	受部 1.5/12	

*グリッド換記

第 32 表 遺物観察表 (31)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1522	1326-06	土師器	壺	J-V8	SK1815				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/3	やや粗	良	小片	
1523	1326-07	土師器	壺	J-W8	SK1816				内外: 摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR7/4	やや密	良	小片	
1524	1333-06	土師器	壺	J-U3	SK1819 No. 1				内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ	淡黄橙 10YR8/4	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	大型品
1525	1339-01	須恵器	杯H蓋	Q-A8	SK1830 西半				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 W6/	密	良	小片	
1526	1338-02	須恵器	杯H蓋	Q-A8	SK1830 西半				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰 W6/	密	良	小片	
1527	1338-03	須恵器	杯H身	Q-A8	SH1830 No. 11	12.0	4.6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白 5Y7/1	密	良	口縁部 2/12	
1528	1339-05	土師器	壺	Q-A8	SK1830 No. 17・8				内: 摩滅のため不明 外: ナデ・オサエ	淡黄橙 10YR8/4	粗 (~3mm砂粒多含)	良	口縁部 2/12	歪み大
1529	1339-06	土師器	壺	Q-A8	SK1830西半 No. 13	(19.0)			内外: 摩滅のため不明	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1530	1339-04	土師器	甌?	Q-A9	SK1830 No. 4				内外: 摩滅のため不明	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1531	1339-03	土師器	甌?	Q-A8	SK1830 西半				内: 摩滅のため不明 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR6/3	粗 (~3mm砂粒含)	良	小片	
1532	1339-02	土師器	把手 鍋・甌	Q-A8	SK1830 西半				内: ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒含) 1531に似る	良	把手のみ	把手: 差込式
1533	1338-04	土師器	把手 鍋・甌	Q-A8	SK1830 No. 6				内: ナデ 外: ナデ・オサエ	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~3mm砂粒含) 1530に似る	良	把手のみ	
1534	1361-02	石製品	砥石	Q-A8	SK1830 No. 14	3.2	8.1	3.3	使用面3面	—	—	—	—	重さ(78.4g) 凝灰岩
1535	1345-03	須恵器	杯H身	P-A24	SK1837 一括	14.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰白 5Y7/2	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁部 4/12	
1536	1107-09	縄文土器	深鉢	-	包含層SF1549?				内: ナデ 外: 押型文	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
1537	405-04	縄文土器	深鉢	F-U24	包含層				内: ナデ 外: 押型(格子目)文	橙 7.5YR6/6	やや粗 (~1.5mm小石多含)	良	小片	
1538	1106-01	縄文土器	深鉢	M-D10	包含層				内: ナデ 外: ナデ・条痕・刻目	にぶい黄橙 10YR7/2	やや粗 (~3mm角粒を多く含)	良	小片	突帯文
1539	1107-08	縄文土器	深鉢	-	包含層				内: ナデ 外: 押型(ネ方楕円形)文	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
1540	538-08	縄文土器	深鉢	E-U19	風倒木痕				内: 不明 外: 縄文?	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~2mm角小石)	良	小片	
1541	824-06	縄文土器	深鉢	M-L25	落ち込み				内: ナデ 外: ナデ・刺突?	ナリーブ 5Y6/6	粗 (~2mm砂粒含)	良	小片	
1542	403-07	縄文土器	深鉢	F-X22	包含層				内: ナデ 外: 山形文	にぶい黄橙 10YR6/4	やや密 (~2mm小石含)	良	小片	
1543	1105-05	縄文土器	深鉢	M-F3	切縁除去中				内: ナデ 外: 押型(平行四辺形)文	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~2.5mm砂粒含)	良	小片	
1544	1348-04	縄文土器	深鉢	Q-B3	風倒木痕				内: ナデ 外: 座帯・刺突	にぶい黄橙 10YR6/4 明黄橙 10YR6/6	やや密 (~0.3mmの砂粒あり)	良	小片	
1545	1101-01	縄文土器	深鉢	M-E3	切縁・根 攪乱				内: ナデ 外: 押型(ネ方楕円形)文	にぶい黄橙 10YR6/4	やや粗 (~4mm小石)	良	小片	
1546	1104-01	縄文土器	深鉢	-	表土				内: ナデ 外: ナデ	灰褐 7.5YR4/2 にぶい橙 7.5YR7/3	やや密 (1.2mmの砂粒を少含)	良	底部 小片	
1547	1104-03	縄文土器	深鉢	M-B6	風倒木痕	10.4			内: 不明 外: 刺突・ナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
1548	427-03	石製品	有茎尖頭器	N-C10	包含層	6.6	2.5	0.9		—	—	—	—	重さ8.2g 溶結凝灰岩
1549	1270-04	石製品	石器	K-M24	重機掘削	4.97	4.17	0.49		—	—	—	—	重さ11.8g サヌカイト
1550	1270-07	石製品	石器	J-O12	包含層	1.97	1.32	0.5		—	—	—	—	重さ0.8g チャート
1551	1123-04	石製品	石器	L-I19	切縁除去中	1.6	1.4	0.3		—	—	—	—	重さ0.5g チャート
1552	540-04	石製品	石器	-	南区 排土	1.57	1.5	0.5		—	—	—	—	重さ1.1g サヌカイト
1553	1270-03	石製品	石器	J-M24	包含層	1.41	1.35	0.26		—	—	—	—	重さ0.4g サヌカイト
1554	542-04	石製品	打製石斧	-	北区 調査区付近 表採	8.56	7.07	1.95		—	—	—	—	重さ(167.7g) ホルンフェルス
1555	430-06	石製品	切目石錘	T14 周辺	表採	7.5	5	1.9		—	—	—	—	重さ115.2g ホルンフェルス
1556	1269-05	石製品	磨石	J-Q21	包含層	15.2	4.6	3.6		—	—	—	—	重さ371.7g 火砕岩
1557	410-01	石製品	礎石	F-V25	包含層	9.1	8.7	3.3		—	—	—	—	重さ488.3g 砂岩
1558	1009-02	石製品	UF	F-U19	包含層	6.85	4.7	1.4		—	—	—	—	重さ52.8g 砂岩
1559	427-02	石製品	RF	F-U23	包含層	5.88	3.9	0.93		—	—	—	—	重さ20.9g サヌカイト
1560	418-03	石製品	RF	F-V24	包含層	5.9	7.3	1.3		—	—	—	—	重さ(46.2g) 緑色岩
1561	540-03	石製品	火打石	-	排土	3.51	2.34	1.78		—	—	—	—	重さ17.2g チャート
1562	542-01	石製品	UF	E-U15	谷底掘削中	3.74	3.06	0.66		—	—	—	—	重さ8.9g 赤チャート
1563	1349-01	石製品	RF	-	排土	3.5	2.9	0.7		—	—	—	—	重さ(3.8g) サヌカイト
1564	542-03	石製品	楔形	E-U15	谷底掘削中	2.01	2.41	0.74		—	—	—	—	重さ3.2g 青チャート
1565	426-02	石製品	打製石斧	-	燻道付炉穴近辺	11.1	5.3	2.6		—	—	—	—	未成品 重さ194.8g 溶結凝灰岩
1566	411-02	石製品	石皿	F-V22	包含層	(7.3)	(4.5)	(2.9)		—	—	—	—	重さ(147.4g) 砂岩
1567	824-05	石製品	石皿	M-M24	木の根痕	9.74	7.47	1.94		—	—	—	—	重さ(177.8g) 砂岩
1568	427-01	石製品	石皿	F-X22	包含層	(8.5)	(8.0)	(4.2)		—	—	—	—	重さ(510.4g) 砂岩, 凝結
1569	428-01	石製品	石皿	G-U2	包含層	(12.7)	(16.7)	(8.3)		—	—	—	—	重さ(3.03kg) 花崗岩
1570	1285-03	縄文土器	深鉢	J-W16	SH1664 南東				内: ナデ 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗	良	口縁部 1/12	
1571	1348-02	縄文土器	深鉢	J-Y8	SH1674				内: ナデ 外: ナデ・流線・縄文?	淡黄橙 10YR8/4 黒 10YR2/1	やや密 (~0.2mmの砂粒あり)	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (32)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1572	1348-05	縄文土器	深鉢	P-A25	SH1834北東 自然の落ちこみ				内: ナデ 外: 剥突	明黄橙 10YR7/6	やや密 (~0.3mmの砂粒あり)	良	小片	
1573	1348-03	縄文土器	深鉢	J-V5	SH1813				内: オサエ・ナデ 外: ナデ・底帯・剥突	橙 5YR6/8 黒褐 5YR3/1	密	良	小片	
1574	1363-02	縄文土器	深鉢	J-V5	SH1813床面検出 Pit1 No.1				内: ナデ 外: ナデ・沈線・縄文	褐 10YR4/6	粗 (~1mm砂粒含)	良	小片	単節縄文R
1575	406-06	縄文土器	深鉢	M-D22	SB1045 Pit2露形				内: ナデ 外: 沈線	にぶい橙 7.5YR6/4	粗 (~3mm小石多)	良	小片	
1576	1105-07	縄文土器	深鉢	M-E9	SK1711				内: 不明 外: 炭痕	褐 10YR4/4	やや粗 (~1.5mm砂粒含)	良	小片	
1577	1105-02	縄文土器	深鉢	M-E9	SK1711				内: ナデ 外: ナデ・突帯文・刻目・ケズリ	にぶい黄橙 10YR7/3	やや密 (各種砂粒含)	良	小片	突帯文
1578	1123-02	石製品	敲石	L-D21	SH1562 カマド	(3.6)	7.7	4.8		—	—	—	—	重さ(150g) 砂岩
1579	804-03	石製品	敲石	M-L24	SK1230 東半	11.6	5.8	3		—	—	—	—	重さ263.3g 砂岩
1580	1354-02	石製品	切目石錘	J-U3	SK1819	5.2	6.9	1.7		—	—	—	—	重さ80.4g 砂岩
1581	912-01	石製品	磨石	K-V12・13	SH1313	(2.6)	(3.9)	(4.3)		—	—	—	—	重さ44.2g 石英斑岩
1582	427-04	石製品	石鏃	G-X1	SK1031	1.72	1.53	0.26		—	—	—	—	重さ0.4g 安山岩 (下呂石)
1583	1351-02	石製品	石鏃	J-Y9	SH1674	1.5	2.15	0.3		—	—	—	—	重さ(0.9g) サヌカイト
1584	1270-02	石製品	石匙	J-R15	SH1650 カマド	2.98	2.98	0.62		—	—	—	—	重さ4.7g サヌカイト
1585	1266-03	石製品	磨製石斧	J-V12	SB1691 Pit15	(7.2)	3.2	1.9		—	—	—	—	重さ(83.2g) 砂岩
1586	1235-01	石製品	砥石	J-R15	SH1650 付近	6.1	2.8	1.0	砥面3面	—	—	—	—	重さ33.6g 砂岩
1587	902-03	石製品	剥片	K-V12	SH1313 攪乱溝	5.2	3.4	1.2		—	—	—	—	重さ18.8g チャート
1588	901-01	石製品	UF	K-W8	SK1330	3.58	1.89	0.43		—	—	—	—	重さ3.0g サヌカイト
1589	541-02	石製品	UF	T11		3.15	2.99	0.75		—	—	—	—	重さ7.9g チャート
1590	541-01	石製品	UF	T11		4.29	2.76	1.05		—	—	—	—	重さ8.9g チャート
1591	814-02	弥生土器	甕	N-K4 N-L4	SK1221				内: ナデ 外: ナデ・刻目文	褐灰 10YR4/1	粗 (径~1mm砂粒含)	良	口縁部 小片	
1592	815-04	弥生土器	甕	N-K3	SH1223 貯蔵穴1				内: ナデ 外: ナデ・刻目文	暗灰黄 2.5Y5/2	粗	良	小片	
1593	1114-05	弥生土器	甕	L-L13	SK1542 (SK1524東)				内: ナデ 外: ナデ・刻目文	浅黄橙 10YR6/4	粗	良	小片	
1594	1231-01	弥生土器	甕	J-S16	SH1648 カマド				内: ヨコナデ 外: ヨコナデ	明黄褐 10YR6/6	粗 (径~1mm長石含)	良	小片	
1595	1303-08	弥生土器	甕	J-Y9	SH1674 南土坑・南東土坑				内: ナデ 外: ナデ・刻目文	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (径~2mm長石含)	良	小片	
1596	1305-02	弥生土器	甕	Q-B9	SH1688				内: ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗	良	小片	
1597	815-06	古式土器 器?	壺	N-L1	SK1224			7.6	内: 不明 外: ナデ	橙 7.5YR6/6	やや密	良	底部 5/12	
1598	1117-03	弥生土器	甕	F-Y7	SB1703 Pit1			6.0	内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	密	良	底部 2/12	外面煤付着
1599	1231-02	弥生土器	甕	J-S16	SH1648 カマド				内: オサエ・ハケ 外: 不明	にぶい黄橙 10YR6/4	粗 (径~1mm長石含)	良	小片	
1600	1114-03	弥生土器	甕or壺?	L-K16	SK1538			7.2	内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい橙 7.5YR7/4	やや粗 (~φ2mmの小石含)	良	底部 3/12	
1601	1236-01	弥生土器	甕	J-P16	SH1651 南東			4.3	内: ナデ 外: オサエ・ナデ	灰白 2.5Y8/2	やや粗 (~4mm砂粒含)	良	底部 12/12	
1602	1222-02	弥生土器	台付甕	K-P10*	SH1628 北東			5.4	内: ナデ 外: オサエ・ナデ	にぶい橙 7.5YR6/4	粗 (~5mm砂粒含)	良	底部 9/12	被蝕
1603	1110-09	弥生土器	壺	L-J19	SK1543				内: オサエ・ナデ 外: 櫛歯直線文	にぶい橙 7.5YR7/4	密 (~2mm砂粒含)	良	小片	
1604	1242-01	弥生土器	壺	J-T11	SH1660			4.6	内: 不明 外: 不明	にぶい黄橙 10YR7/4	やや粗 (~3mm砂粒含)	良	底部 9/12	
1605	1231-03	弥生土器	壺	J-S16	SH1648 北西			5.0	内: ナデ・ハケ 外: ケズリ・ミガキ	にぶい橙 2.5YR6/3	粗 (径~1mm長石含)	良	底部 5/12	
1606	1345-01	弥生土器	壺	L-Y24	SK1836を含む 攪乱Pit1			10.1	内: 不明 外: ナデ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	底部 2/12	
1607	1331-07	弥生土器	壺	J-W5	SH1818 床面直上No.4			6.0	内: オサエ・ナデ 外: オサエ・ナデ	橙 7.5YR7/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	底部 3/12	
1608	1230-03	弥生土器	高杯	J-S16	SH1648 北西				内: シボリ痕 外: ミガキ・櫛歯直線文	にぶい黄橙 10YR6/4	密	良	小片	
1609	1122-03	弥生土器	壺	M-E5	切株除去中				内: ナデ 外: ハケ・櫛歯直線文	浅黄橙 10YR6/3	やや粗 (~φ2mm小石含む)	良	小片	
1610	1122-02	弥生土器	壺	F-Y8	検出中				内: 不明 外: 櫛歯直線文・剥突?	灰白 10YR8/2	やや粗	良	小片	
1611	824-07	弥生土器	壺	M-M24	木の根痕				内: ナデ 外: ナデ・ヘラ描文	灰黄褐 10YR6/2	粗 (~6mm砂粒含)	良	小片	
1612	1122-04	弥生土器	壺	F-X8	切株除去中				内: ハケ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR6/4	やや密	良	小片	
1613	1122-01	弥生土器	壺	L-F14	切株除去中			7.6	内: 工具ナデ 外: オサエ・ナデ・ハケ?	にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗	良	底部 3/12	
1614	824-04	弥生土器	甕or壺?	M-M24	木の根痕			5.9	内: オサエ・ナデ 外: ナデ・ハケ	にぶい橙 7.5YR7/4	粗 (~2mm砂粒)	良	底部 3/12	
1615	824-03	弥生土器	壺	-	表採	21.0			内: ナデ・ハケ 外: ナデ・ハケ・刻目文	にぶい黄橙 10YR7/3	粗 (~7mm砂粒含)	良	口縁 1/12 以下	
1616	1268-03	弥生土器	壺	K-O13	包含層			8.7	内: 不明 外: ナデ	にぶい黄橙 10YR7/4	粗 (~6mm砂粒多含)	良	底部 4/12	
1617	1122-05	弥生土器	高杯	F-W8	切株除去中				内: オサエ・ナデ・シボリ痕 外: 剥突文・ナデ	橙 7.5YR6/6	やや粗	良	底部 4/12	
1618	1267-05	須恵器	杯H蓋	K-O10	包含層	12.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密	良	口縁部 1/12	
1619	1134-02	須恵器	杯H蓋	L-I19	表土				内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	赤灰 2.5YR5/1	やや密	良	口縁部 僅少	
1620	823-09	須恵器	杯H蓋	M-L25	落ち込み	11.3			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ヘラ切り	灰白 2.5Y7/1	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1621	1288-04	須恵器	杯H身	-	包含層	13.6			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクローズリ	灰 N6/	密	良	口縁部 2/12	

*グリッド表記

第 32 表 遺物観察表 (33)

報告番号	実測番号	種類	器種等	出土位置 グリッド	出土遺構等	計測値 (cm)			調整技法の特徴	色調	胎土	焼成	残存	備考
						口径	器高	底径						
1622	1346-04	須恵器	杯H身	-	排土	11.8	4.6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 2.5Y4/1	やや密 (~1mm砂粒含)	良	底部 6/12	
1623	1267-07	須恵器	杯H身	K-010	包含層	12.2	4.8		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	黄灰 N3/	密 (~2mm砂粒含)	良	底部 7/12	自然粘付着
1624	1345-04	須恵器	杯H身	P-A23	包含層	11.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰オリーブ 5YR6/2	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1625	1121-06	須恵器	杯H身	L-M11	検出中	10.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N4/	密	良	口縁部 1/12	
1626	435-02	須恵器	杯蓋 a	N-F1	包含層	12.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 2.5Y6/1	密	良	口縁部 2/12	
1627	434-01	須恵器	杯蓋 b	N-B7	包含層		19.2		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N6/1	やや密 (~2mmの砂粒含)	良	口縁部 1/12	
1628	823-05	須恵器	杯蓋 b	M-L25	検出中	13.4			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい黄緑 10YR6/3	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1629	435-01	須恵器	杯蓋 b	N-G1	包含層	14.0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 N5/	密	良	口縁部 1/12	
1630	430-03	須恵器	杯蓋 b	T14	①	15.5	3.45		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	橙7.5YR6/6	密	良	口縁部 1/12	粘貼付
1631	430-04	須恵器	杯蓋 b	T14	①	14.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい褐 7.5YR5/3	密	良	口縁部 2/12	
1632	434-05	須恵器	無台杯	G-U1	包含層	9.2			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・沈線・ナデ	灰白 2.5Y8/1	密	不良	口縁部 2/12	
1633	434-06	須恵器	無台杯	F-W24	攪乱	13.6			内:ナデ・ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰 N6/	密 (~0.2mmの小石含)	良	口縁部 1/12	
1634	434-03	須恵器	杯	M-J23	表土	12.4			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰 5Y5/1	密 (~5mmの小石含)	良	口縁部 1/12	
1635	823-03	須恵器	杯	M-M24	木の根痕	13.8			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密 (~3mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1636	823-01	須恵器	無台杯	M-M24	木の根痕	10.0	4.1		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	にぶい赤褐 5YR5/3	やや粗 (~2mm砂粒含)	良	11/12	
1637	823-02	須恵器	無台杯	N-L3	攪乱	11.8	4.6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	橙 7.5YR7/6	密	やや不良	口縁部 5/12	
1638	433-03	須恵器	無台杯	T14	①	12.6	4.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	橙5YR6/6 黒褐7.5YR3/1	密	良	口縁部 5/12	
1639	823-04	須恵器	無台杯	M-L25	検出中				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	橙 7.5YR7/6	やや粗 (~2mm砂粒含)	やや不良	底部 1/12	
1640	1035-06	須恵器	無台杯?	-	排土		7.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	淡黄緑 10YR8/4	密	良	底部 4/12	
1641	1209-03	須恵器	無台杯	K-020	SK1601 攪乱	12.9	3.6~4.0	5.7	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	橙 5YR6/6	密	良	完形	岡山窯の焼A
1642	430-02	須恵器	盤B	T14	①		9.8		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクケズリ	灰黄褐 10YR5/2	密	良	底部 3/12	自然粘付着 貼付高台
1643	432-01	須恵器	盤B	T14	①		9.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	橙5YR7/8 黄褐7.5YR7/8	密	良	底部 2/12	貼付高台
1644	434-04	須恵器	托	M-F25	攪乱				内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	黄灰 2.5YR4/1	密 (~1mmの砂粒含)	良	口縁部 1/12以下	
1645	434-02	須恵器	高杯	4次調査区 北西					内:ロクロナデ・シボリ痕 外:ロクロナデ	灰 N6/	密	良	小片	脚部
1646	823-07	須恵器	短頸壺	M-M24	木の根痕	6.3			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 2.5Y7/1	粗 (~1mm砂粒含)	良	口縁 2/12	
1647	433-01	須恵器	壺	T14	①		8.5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰白 10YR8/2	密	良	底部 4/12	
1648	1267-08	須恵器	壺	K-L23	包含層		6.1		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰黄 2.5Y6/2	密	良	底部 7/12	へら記号「一」
1649	433-02	須恵器	壺	T14	①	31.5			内:ヨコナデ 外:ヨコナデ・ハケメ?	にぶい褐 7.5YR5/3	密	良	口縁部 1/12以下	
1650	533-02	土師器	碗	T11		12.6			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・オサエ	灰褐 7.5YR6/2	密 (~1mm白色等砂粒含)	良	2/12	
1651	1121-04	土師器	壺	M-D5	切株攪乱	18.0			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・オサエ	にぶい黄緑 10YR7/4	やや密	良	口縁部 1/12	
1652	824-02	土師器	壺	M-L25	検出中	18.3			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	橙 2.5YR7/6	粗 (~3mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1653	1134-03	土師器	壺	2工区 D-Y21	包含層	19.6			内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ	灰白 2.5Y8/1	やや密	良	口縁部 2/12	
1654	824-01	土師器	壺	M-M24	木の根痕	20.5			内:ナデ・ハケ 外:ナデ・ハケ	にぶい黄緑 10YR7/3	やや密 (~2mm砂粒含)	良	口縁 1/12	
1655	436-01	土師器	壺	N-J1	包含層	24.0			内:ハケメ・ヨコナデ 外:ハケメ・ヨコナデ	淡黄緑 10YR8/4	密	良	口縁部 1/12	
1656	1121-03	土師器	壺	L-E21	切株除去中	23.6			内:ハケ 外:ナデ・ハケ	淡黄緑 10YR8/3	やや密	良	口縁部 2/12	
1657	431-01	土師器	把手 鍋・瓶	T14	①				内:ハケメ 外:ハケメ・貼付後ナデ	淡黄緑 7.5YR8/4	密	良	把手周辺	脚部
1658	904-01	土師器	鍋	P-P2	西区 表土				内:ナデ 外:ナデ	黒褐 10YR3/1	密	良	小片	焼成前穿孔
1659	533-04	山茶碗	碗	T11		14.4	6.4		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 7.5Y7/1	密 (細砂含)	良	口縁部2/12 底部3/12	
1660	533-06	山茶碗	碗	T11		13.6			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 7.5Y8/1	密 (~2mm小石)	良	口縁部 2/12	
1661	533-08	山茶碗	碗	T11		12.7			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ	灰白 7.5Y8/1	密 (~2mm小石) 硬	良	口縁部 3/12	
1662	1122-06	山茶碗	碗	L-F25	切株除去中		7.4		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰白 5Y7/1	密	良	底部 3/12	貼付高台
1663	533-07	山茶碗	碗	T11			7.3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰白 7.5Y7/1	密 (~1mm細砂)	良	底部 5/12	
1664	533-09	山茶碗	碗	T11			5.7		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰白 N7/0	密 (~3mm白色小石) 硬	良	底部 3/12	
1665	533-03	山茶碗	小皿	T11		8.2	1.8	5.0	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・糸切痕	灰白 5YR8/1	密 (~3mm小石含) 胎土精良	良	完形	
1666	1027-04	土製品	土鏝	F-X11	包含層	4.7	1.3		外:ナデ	淡黄緑 10YR8/3	やや密 (~φ1mm粗粒砂を極微量含)	良	ほぼ 完形	重さ44.9g 片岩類・滑石
1667	823-08	石製品	紡錘車	-	排土	4.18	4.16	1.96		-	-	-	-	